

令和 2 (2020) 年度

大妻女子大学人間関係学部

人間関係学科

人間福祉学科

F D 活動報告書



大妻女子大学人間関係学部 F D 委員会

令和 2(2020) 年度

大妻女子大学人間関係学部

人間関係学科

人間福祉学科

F D 活動報告書



大妻女子大学人間関係学部 F D 委員会

令和 2（2020）年度 FD 活動報告書の刊行にあたって

人間関係学部の FD 活動は、全学の中でも引き続き高評価をいただいている。それは令和 2 年度のコロナ禍においても同様だった。例えば学部 FD 研修会はオンライン開催となったが、ほぼ全員が 4 つの分科会のどれかに参加し、「別の分科会の内容を知りたいので動画配信してほしい」という要望も相次いだ。またここ数年、本学部の教育・研究目標である「共生社会の実現」の一環として、障害学生支援やネイティブ講師による週 5 回の英語の必修授業（Tama English Program、通称 TEP（テップ））にも先駆的な取り組みを果たしてきた。

また全学的な取り組みとして、前年度に引き続き、伊藤正直理事長・学長による方針の下、文部科学省の私立大学等改革総合支援事業タイプ 1（特色ある教育の展開）の継続的採択を目指し、引き続き教育の質に関わる取り組みを見直し、それらを改善する様々な取り組みが行われた。さらに、タイプ 3（地域社会への貢献）の中の「プラットフォーム型」の取り組みも継続し、結果として昨年度に引き続いて両タイプが選定された。

本学部においても、全体としては通常行っていることを上記支援事業の基準に沿って確認する作業が中心となった。また、さらに令和 2 年度はコロナ禍によるオンライン授業を通じて、機器備品の整備、教員への know-how の伝達、より効果的なスキルの集約と伝達を随時行い、学部 FD 研修会等で共有した。そのような中、学生がオンライン授業を受けるための場所として、多摩キャンパス 5 号館の forest café が折よく完成し、広くおしゃれな空間でゆったりとオンライン授業を受ける環境が整ったことは、大変幸いであった。

その結果、休退学する学生の増加は特にみられず、学生たちの授業外学習時間は飛躍的に増加し、授業改善アンケートにおける評価も高まった。学部 FD 委員会に学生代表を招いた授業改善のためのディスカッションもオンラインに形を変えて継続し、例年にも増して活発な意見交換がなされた。今後はさらに学部の多くの学生から意見を聴取する方法を模索したいと考えている。

また、本学部主催のマレーシア短期研修プログラム（Malaysian Cultural Camp、通称 MCC）は、コロナ禍のため 2 年連続で延期となったが、来年こそはぜひ実施にこぎつけたいと考えている。これは本学部の関係者はもちろんのこと、学院やマレーシア Sunway 大学のスタッフたちも心待ちにしている事である。

以上のように、人間関係学部は常に改革と前進を怠らずに、教育目標である「共生社会の実現」と、その背景として必須の姿勢である「自他の多様性を認めるあり方」を目指していきたい。そのエビデンスの一つとして、本報告書をご高覧いただければ幸いである。

人間関係学部長 福島哲夫

令和 2（2020）年度 FD 活動報告書 目次および執筆担当

令和 2（2020）年度 FD 活動報告書の刊行にあたって（学部長）

I	令和 2（2020）年度人間関係学部の FD 活動について（学部 FD 委員長）	1
II	授業改善に関するアンケート（社会学専攻委員）	3
III	オンライン授業実践に関するアンケート（学部 FD 委員長）	69
IV	学科・専攻における令和 2（2020）年度 FD 活動への取り組み	77
1	人間関係学科	77
	（1）社会学専攻における FD 活動に関する取り組み（社会学専攻委員）	77
	（2）社会・臨床心理学専攻における FD 活動に関する取り組み （社会・臨床心理学専攻委員）	87
2	人間福祉学科における FD 活動に関する取り組み（人間福祉学科委員）	103
V	オフィスアワー（人間福祉学科長）	131
VI	クラス指導について（人間関係学科長）	135
VII	人間関係学部 F D 研修会（学部 FD 委員長）	141
VIII	授業改善に向けた学生の代表者（学友会）との意見交換 （学部 FD 委員長）	145
IX	非常勤講師との教育懇談会（人間福祉学科委員）	147
X	人間関係学部における F D 活動の課題（学部 FD 委員長）	153

I 令和 2（2020）年度人間関係学部のFD活動について

1. 人間関係学部におけるFD活動の取り組み

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で例年とは大きく異なる状況下で下記のFD活動の取り組みを行った。

1) 学部FD研修会の実施

「授業をよりよくするためのオンライン授業 Tips」という研修を Zoom により実施した(2020年12月11日)。研修会の内容と参加者の意見については、本報告書の中で詳しく紹介されている。

2) 学生による授業評価

2020年度においても、前期・後期の年2回、学生による授業アンケートを実施した。なお、今年度より全学で UNIPA を用いて実施した。また、アンケート項目についても今年度に特化した形の項目に急遽変更した。

3) 授業改善に向けた学生代表者との意見交換

教育の質の更なる向上に向けて、2020年度においても、授業改善について学生代表者との意見交換を行った(2021年1月22日(金))。意見交換の内容については、本報告書の中で詳しく紹介されている。

4) オンライン授業実践に関するアンケート

新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインでの授業となった今年度前期を終えた段階で、教員を対象としたオンライン授業実践に関するアンケートを行った。具体的なアンケートの内容と結果については、本報告書の中で詳しく紹介されている。

5) オフィスアワーの実施

学生が事前の予約なしに気軽に教員の研究室を訪ねることができる時間帯という趣旨で、本学部では全ての専任教員がオフィスアワーを設定し、大学のホームページ等でこれを公開している。本年度は対面ではなくオンラインでのオフィスアワーの実施という初めての試みを行った。

6) 非常勤講師との教育懇談会

例年前期・後期に実施している非常勤講師との教育懇談会であるが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により前期開催分は中止となり、後期のみ実施した。教育懇談会の内容については、本報告書の中で詳しく紹介されている。

7) 各種委員会との連携

学生の教育内容・教育環境の向上のためには FD 委員会による取り組みだけでは不十分であるため、教学面の管理を担当する教務委員会、就学環境全般の改善を目指す学生委員会、健康面をサポートする保健管理委員会等の各種委員会が教授会・学科会議等の場で報告する事項を参考にしながら、FD 活動の一層の充実を図っている。

8) 各学科・専攻における FD 活動の内容の共有

教育方法に関する配慮・工夫に関しては、基本的にそれぞれの学科・専攻の専門的な判断にゆだねられるべき領域であるが、同時にある教員・ある専攻が行っている取り組みが、専門性の垣根を超えた普遍性を持つ場合もあり、そのような参考にすべきノウハウについては、学内の様々な機会を利用して全教員が共有できるようにしている。また、本報告書の中でも各学科における FD 活動の内容を具体的に紹介しているが、そこで述べられた内容を各教員が参考にしながら、今後の教育内容の向上につなげることを期待している。

9) クラス担任制度

本学部においては、ほとんどの専任教員がいずれかのクラス担任として学生の指導にあたり、このシステムが学生の教育効果を高めるうえにおいても大きな効果を発揮している。本報告書の中でも各教員が 1 年間のクラス担任としての活動を振り返って、今後の取り組みにつながるような提言や意見交換を行っている。

Ⅱ 授業改善に関するアンケート（前期・後期）

1. はじめに

学部授業の質の向上を目的に、本学部では平成 16 年度から、専任教員および非常勤講師が担当する授業について「学生による授業評価」（以下、授業アンケート）を実施している。授業アンケートは、2 ヶ年にわたって全担当科目（卒業論文指導とゼミナールは原則として除く）に対して実施し、授業改善に努めてきた。ただし、やむを得ない事由により実施対象から除外すべきと思われる科目の場合は FD 委員会において審議を行った上で、判断している（人間関係学部「授業に関するアンケート」の実施要綱）。なお、現状は毎年度担当科目のほぼ全科目を対象に授業アンケートを行ってきた。昨年度より、全学でアンケート実施を決めていくこととなり、前期の段階で、年間の授業アンケートを実施する科目を学部で取りまとめ、全学の FD 委員会で承認するという手続きとなった。そして、今年度より、授業中に紙媒体で行う形式から、Web の UNIPA（ユニパ）を用いて、授業中以外でも回答ができる形態に、実施形態が変わった。

例年、アンケート実施後、授業科目別集計を各担当教員にフィードバックし、授業評価の結果について意見と改善等（①今回のアンケート結果を受けて、どのようにご自身の授業を改善されますか、②施設・教室の設備や受講者数、教育条件などについて改善すべき点があればご指摘ください、③受講生への要望があればお書きください）について回答を求め、それらは本報告書並びにホームページにて公開してきた。（ただし、各専任教員・非常勤講師は、書面により、アンケートの実施および評価結果ならびに意見・改善策等の掲載等を拒否することができる。）しかし、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、各担当教員に授業評価の結果についての意見と改善等について回答してもらうことができなかった。

2. 調査目的

授業に関するアンケートは、教員の学生に対する教育サービスの質と量の向上を図るとともに、よりよい教授法のあり方を考える基礎資料を得るための組織的活動である。

3. 調査概要

（1）実施時期および手続き

前期は、令和 2 年 7 月 9 日（木）～8 月 5 日（水）の約 4 週間に実施し、後期は、令和 3 年 1 月 9 日（土）～1 月 30 日（土）の 3 週間に実施した。また、授業アンケートの実施にあたり、例年は、書面およびホームページ等を用いて、さらに、平成 24 年度からは大学行事予定表に授業アンケート実施時期を掲載し、4 月の段階から学生と各教員への周知と調査への協力を依頼してきた。今年度は、ほとんどの授業がオンラインに切り替わり、対面で学生と会う機会がほとんどなかったため、書面での通知はできなかったが、ホームページ等を用いて周知を行った。

また、学生が率直に記入し、提出しやすいように無記名式で回答できるようになっている。そして、「授業内容や授業方法の改善を図るために実施するものであり、調査結果は統計的に処理され、個人が特定されるものではないこと、さらに成績に影響することは全くないこと」を

アンケートに明記して実施している。

（２）調査対象と回答率

前期の調査は、総科目数 273 のうち 264 科目で実施した。調査対象者は、調査実施科目の履修者 9,506 名であった。そのうち有効回答者は 5,602 名であり、回答率は 58.93%であった。

後期の調査は、総科目数 260 のうち 248 科目で実施した。調査対象者は、調査対象科目の履修者 8,939 名であった。そのうち有効回答者は 3,007 名であり、回答率は 33.64%であった。

前期・後期合わせて、総科目数 533 のうち 512 科目で実施した。調査対象者は、調査実施科目の履修者 18,445 名であった。そのうち有効回答者は 8,609 名であり、回収率は 46.6%（昨年度 73.9%）であった。

昨年度に比較して、回収率が大幅に下落したが、これは、今年度から紙媒体ではなく、オンラインでの調査に変更したことによると考えられる。

（３）調査項目

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、ほとんどの授業がオンライン授業に切り替わったことを受け、例年と授業アンケートの調査項目が変化した。

例年では、授業アンケートは、6段階評価による全 5 カテゴリー 21 項目が掲載されていたが、今年度は、オンライン授業にあわせて、質問内容が一部変更となり、前期は、6 段階評価による 8 項目を、後期は、6 段階評価による 10 項目を問うものとなった。

授業アンケートには、以下の 6 カテゴリー「5. そう思う」、「4. ややそう思う」、「3. どちらともいえない」、「2. あまりそう思わない」、「1. そう思わない」「0. わからない／判断しづらい」の 6 段階評価によって回答を求める形式であった。「0. わからない／判断しづらい」については昨年度より新しく追加された。

なお、前期の No.2 および後期の No.4（授業外学修の時間（授業 1 回あたりの平均）はどの程度ですか）の回答ラベルは「5. 3 時間以上」、「4. 2 時間以上 3 時間未満」、「3. 1 時間以上 2 時間未満」、「2. 30 分以上 1 時間未満」、「1. 30 分未満」「0. していない」とした。前期の No.6（オンライン授業はどのような方法で実施されましたか）の回答ラベルは、「テキスト（教材）提示」「スライド（PowerPoint）」「音声データとテキスト（PowerPoint／PDF 等）」「動画視聴（YouTube 等）」「リアルタイム動画配信（Zoom 等）」「リアルタイム双方向型（Zoom 等）」

「その他」とした。後期の No.1（授業形態はどのような方法で実施されましたか）の回答ラベルは、「オンデマンド型：テキスト（教材）提示」「オンデマンド型：スライド（PPT）」「オンデマンド型：音声データとテキスト（PPT／PDF 等）」「オンデマンド型：動画視聴（YouTube 等）」「リアルタイム型：動画配信（Zoom 等）」「リアルタイム型：双方向型（Zoom 等）」「対面」とした。前期の No.7 および後期の No.8（オンライン授業において manaba はどのように活用されましたか）の回答ラベルは、「予習復習（アンケートなど）」「小テスト」「レポート提出」「中間／期末テスト」「コースコンテンツ」「プロジェクト」「コースニュース」「掲示板」「レスポンス」「その他」とした。本調査のアンケートのウェブページを次ページ以降に示した。

調査項目（前期）

- ① 授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか
- ② 授業外学修の時間（授業 1 回あたりの平均）はどの程度ですか
※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PC やスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。
- ③ 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか
- ④ シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか
- ⑤ この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか
- ⑥ オンライン授業はどのような方法で実施されましたか
- ⑦ オンライン授業において **manaba** はどのように活用されましたか
- ⑧ 自由回答

自由回答

- ① 授業改善に向けたあなたの意見や要望・希望及びオンライン授業に関する感想・意見を書いてください

調査項目（後期）

- ① 授業形態はどのような方法で実施されましたか
- ② 問 2 で回答した授業形態に満足していますか。
- ③ 授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか
- ④ 授業外学修の時間（授業 1 回あたりの平均）はどの程度ですか
※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PC やスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。
- ⑤ 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか
- ⑥ シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか
- ⑦ この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか
- ⑧ 授業において **manaba** はどのように活用されましたか
- ⑨ あなたは授業に満足しましたか。
- ⑩ 自由回答

自由回答

- ① 授業改善に向けたあなたの意見や要望・希望及びオンライン授業に関する感想・意見を書いてください

（４）授業アンケート結果の活用ならびに情報公開と情報保護

- ① 各教員の担当科目ごとの調査結果（授業科目別集計）は、年度内に各教員に個別に通知する。
- ② 教員は、授業アンケートの結果に対して、意見や改善策等を FD 委員会に提出する。

- ③ ②の意見や改善策等は、FD 報告書ならびに学部ホームページ上に掲載し、一般公開する。
ただし、各教員は、書面により掲載等を拒否することができる。
- ④ 調査データの処理は外部業者に委託し、集計結果の分析およびデータ保管は、FD 委員会の責任において行った。なお、教員への配布物は、各教員が自己責任において管理・廃棄等を行うこととした。

回答者には以下のイメージで表示されます。

123456789 科目A(教員B)

大妻女子大学「授業改善のためのアンケート」

このアンケートは、授業内容や授業方法の改善を図るためのものです。無記名回答ですので、あなたの成績に影響することはありません。早速に回答してください。

1. 授業改善に向けたあなたの意見や要望・希望に関する感想・意見を書いてください

<

>

2. 授業は学生の理解度を高めながら進められましたか (必須)

☐ ①そう思う ☐ ②ややそう思う ☐ ③どちらともいえない ☐ ④あまりそう思わない ☐ ⑤そう思わない ☐ ⑥わからない／判断しづらい

3. 授業が学生の理解(授業・回答)の程度はどの程度ですか

※授業が学生には、希望・要望・課題・ポイントの作成、作品の制作、プレゼンテーションの準備、友人等との相談、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間をみます。(必須)

☐ ①3時間以上 ☐ ②2時間以上3時間未満 ☐ ③1時間以上2時間未満 ☐ ④30分以上1時間未満 ☐ ⑤30分未満 ☐ ⑥していない

4. 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか (必須)

☐ ①そう思う ☐ ②ややそう思う ☐ ③どちらともいえない ☐ ④あまりそう思わない ☐ ⑤そう思わない ☐ ⑥わからない／判断しづらい

5. シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか (必須)

☐ ①そう思う ☐ ②ややそう思う ☐ ③どちらともいえない ☐ ④あまりそう思わない ☐ ⑤そう思わない ☐ ⑥わからない／判断しづらい

6. この授業によって、新しい知識・技能・もの思方や考え方を習得できましたか (必須)

☐ ①そう思う ☐ ②ややそう思う ☐ ③どちらともいえない ☐ ④あまりそう思わない ☐ ⑤そう思わない ☐ ⑥わからない／判断しづらい

7. 授業形態はどのような方法で実施されましたか(複数回答可) (必須)

☐ オンデマンド型/テキスト教材提示

☐ オンデマンド型/スライド(PowerPoint)

☐ オンデマンド型/音声データとテキスト(PowerPoint/PDF等)

☐ オンデマンド型/動画視聴(YouTube等)

☐ リアルタイム型/動画配信(Zoom等)

☐ リアルタイム型/双方向型(Zoom等)

☐ 対面

8. 問アで回答した授業形態に満足していますか。(必須)

☐ ①そう思う ☐ ②ややそう思う ☐ ③どちらともいえない ☐ ④あまりそう思わない ☐ ⑤そう思わない ☐ ⑥わからない／判断しづらい

9. 授業においてmanabaはどのように活用されましたか(複数回答可) (必須)

☐ 学習履歴(アンケートなど)

☐ チャット

☐ レポート提出

☐ 中間/期末テスト

☐ コースコンテンツ

☐ プロジェクト

☐ コースニュース

☐ 掲示板

☐ レスポ

☐ その他

10. あなたは授業に満足しましたか。(必須)

☐ ①そう思う ☐ ②ややそう思う ☐ ③どちらともいえない ☐ ④あまりそう思わない ☐ ⑤そう思わない ☐ ⑥わからない／判断しづらい

ご協力、ありがとうございます。

回答

回答者には以下のイメージで表示されます。

123456789 科目A(教員B)

大妻女子大学「授業改善のためのアンケート」

このアンケートは、授業内容や授業方法の改善を図るためのものです。無記名回答ですので、あなたの成績に影響することはありません。早速に回答してください。

1. 授業改善に向けたあなたの意見や要望・希望に関する感想・意見を書いてください

<

>

2. 授業は学生の理解度を高めながら進められましたか (必須)

☐ ①そう思う ☐ ②ややそう思う ☐ ③どちらともいえない ☐ ④あまりそう思わない ☐ ⑤そう思わない ☐ ⑥わからない／判断しづらい

3. 授業が学生の理解(授業・回答)の程度はどの程度ですか

※授業が学生には、希望・要望・課題・ポイントの作成、作品の制作、プレゼンテーションの準備、友人等との相談、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間をみます。(必須)

☐ ①3時間以上 ☐ ②2時間以上3時間未満 ☐ ③1時間以上2時間未満 ☐ ④30分以上1時間未満 ☐ ⑤30分未満 ☐ ⑥していない

4. 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか (必須)

☐ ①そう思う ☐ ②ややそう思う ☐ ③どちらともいえない ☐ ④あまりそう思わない ☐ ⑤そう思わない ☐ ⑥わからない／判断しづらい

5. シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか (必須)

☐ ①そう思う ☐ ②ややそう思う ☐ ③どちらともいえない ☐ ④あまりそう思わない ☐ ⑤そう思わない ☐ ⑥わからない／判断しづらい

6. この授業によって、新しい知識・技能・もの思方や考え方を習得できましたか (必須)

☐ ①そう思う ☐ ②ややそう思う ☐ ③どちらともいえない ☐ ④あまりそう思わない ☐ ⑤そう思わない ☐ ⑥わからない／判断しづらい

7. オンライン授業はどのような方法で実施されましたか(複数回答可) (必須)

☐ テキスト(教材)提示

☐ スライド(PowerPoint)

☐ 音声データとテキスト(PowerPoint/PDF等)

☐ 動画視聴(YouTube等)

☐ リアルタイム/動画配信(Zoom等)

☐ リアルタイム/双方向型(Zoom等)

☐ その他

8. オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか(複数回答可) (必須)

☐ 学習履歴(アンケートなど)

☐ チャット

☐ レポート提出

☐ 中間/期末テスト

☐ コースコンテンツ

☐ プロジェクト

☐ コースニュース

☐ 掲示板

☐ レスポ

☐ その他

ご協力、ありがとうございます。

回答

4. 調査結果の分析

以下に、人間関係学部全体のアンケート集計結果の概要について報告する。具体的には、自由回答を除く前期 7 項目、後期 9 項目に関する評価平均点（5 点満点）について、今年度の結果を述べる。なお、例年は、過年度との比較を行ってきたが、今年度から質問項目が大幅に変化し、過年度との比較ができなくなったため、比較については来年度以降行うものとした。分析に際して、「0. わからない／判断しづらい」を除いて平均値を算出している。

① 「授業形態はどのような方法で実施されましたか」の評価

前期は、「テキスト（教材）提示」37.9、「スライド（PowerPoint）」42.5、「音声データとテキスト（PowerPoint／PDF 等）」22.8、「動画視聴（YouTube 等）」34.8、「リアルタイム動画配信（Zoom 等）」21.7、「リアルタイム双方向型（Zoom 等）」27.7、「その他」3.8 であった。もっとも多かったのが、「スライド（PowerPoint）」42.5 であり、次いで、「テキスト（教材）提示」37.9 が多かった。後期は、「オンデマンド型：テキスト（教材）提示」24.6、「オンデマンド型：スライド（PPT）」21.1、「オンデマンド型：音声データとテキスト（PPT／PDF 等）」11.8、「オンデマンド型：動画視聴（YouTube 等）」27.9、「リアルタイム型：動画配信（Zoom 等）」22.9、「リアルタイム型：双方向型（Zoom 等）」39.1、「対面」5.5 だった。もっとも多かったのが、「リアルタイム型：双方向型（Zoom 等）」39.1 であり、次いで、オンデマンド型：動画視聴（YouTube 等）」27.9 が多かった。前期に多かった「スライド（PowerPoint）」42.5 が、後期には 21.1 に減り、前期には 27.7 であった「リアルタイム双方向型（Zoom 等）」が、後期には、39.1 と増えており、教員が zoom 等の扱いに慣れるにつれて、「リアルタイム型：双方向型」が増えていったと考えられる。

② 「問 2 で回答した授業形態に満足していますか」の評価（後期のみ）

本項目は、前期には問われていなかったため、後期のみ分析の対象とする。今年度後期授業アンケートにおける学生による本項目の評価平均値（5 点満点）は 4.17 であり、自分の受けた授業形態に対する満足度は比較的高かったことが示されている。

③ 「授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか」の評価

今年度前期授業アンケートにおける学生による本項目の評価平均値（5 点満点）は 3.98 であり、後期は 4.01 であった。前期後期とも「授業は学生の理解度を考慮しながら進められた」と比較的肯定的に評価されていることが示されている。

④ 「授業外学修の時間（授業 1 回あたりの平均）はどの程度ですか」の評価

今年度の授業アンケートにおける学生による本項目の評価平均値（5 点満点）は、前期が 3.07 であり、後期は 2.75 であった。前期後期共にほぼ 3 点以下であり、他の調査カテゴリーと比較すると、「授業外学修の時間（授業 1 回あたりの平均）」には課題が残っていることが示されている。

⑤ 「質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか」の評価

前期授業アンケートにおける学生による本項目の評価平均値（5 点満点）は 3.59 であり、後期は 3.8 であった。前期後期共に 4 点以下であり、他の調査カテゴリーと比較すると、「学生自身の授業への取り組み」には課題が残っていることが示されている。

⑥ 「シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか」の評価

前期授業アンケートにおける学生による本項目の評価平均値（5点満点）は3.75であり、後期は3.87であった。前期後期ともに、4点以下であり、学生がシラバスを科目の選択や学習の参考にするということには課題が残っていることが示されている。シラバスの内容の改善というよりも、シラバスの活用の仕方について学生に丁寧に伝えることがポイントになるのではないだろうか。

⑦ 「この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか」の評価

前期授業アンケートにおける学生による本項目の評価平均値（5点満点）は4.24であり、後期は4.29であった。前期後期共に4点を上回っており、本調査の質問項目のなかでもっとも高い評価を得ている。

⑧ 「オンライン授業において manaba はどのように活用されましたか」の評価

前期は、「予習復習（アンケートなど）」29.2、「小テスト」36.0、「レポート提出」81.1、「中間／期末テスト」20.5、「コースコンテンツ」50.9、「プロジェクト」4.5、「コースニュース」51.9、「掲示板」52.1、「レスポンス」12.9、「その他」1.4であった。後期は、「予習復習（アンケートなど）」28.8、「小テスト」39.2、「レポート提出」74.7、「中間／期末テスト」20.1、「コースコンテンツ」53.9、「プロジェクト」4.1、「コースニュース」57.8、「掲示板」49.2、「レスポンス」12.4、「その他」2.0であった。前期後期ともに、「レポート提出」がもっとも多く活用されている機能であり、次いで「コースニュース」「掲示板」「コースコンテンツ」がよく活用されていた。

⑨ 「あなたは授業に満足しましたか」の評価（後期のみ）

本項目は、前期には問われていなかったため、後期のみ分析の対象とする。今年度後期授業アンケートにおける学生による本項目の評価平均値（5点満点）は4.16であり、後期の授業に対する満足度は比較的高かったことが示されている。

5. 授業アンケート調査結果の活用

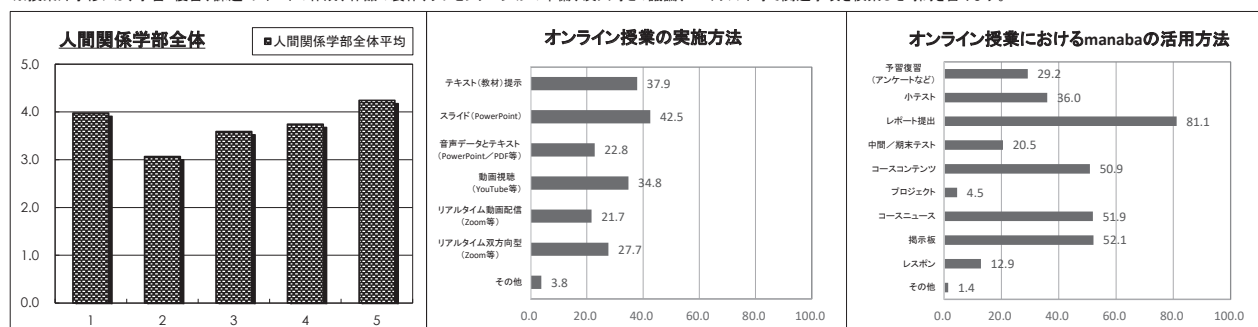
例年、授業アンケート調査結果を今後の授業改善に活用することを目的とし、調査後に、授業科目別集計を各担当教員にフィードバックし、授業評価の結果について意見と改善策等（①今回のアンケート結果を受けて、どのようにご自身の授業を改善されますか、②施設・教室の設備や受講者数、教育条件などについて改善すべき点があればご指摘ください、③受講生への要望があればお書きください）について自由記述による回答を求めてきた。さらに、例年はその回答結果についても本報告書に掲載してきた。しかし、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、このアンケートを実施することが叶わなかったため、本報告書でもこの箇所に関する記述はなしとする。

2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(全体)

大妻女子大学

集計		人間関係学部全体							受講者数		9,506	
									回答者数		5,602	
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.98	35.4	35.8	16.3	5.6	3.4	3.6	1.04			
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.07	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.14			
			12.9	20.3	34.3	22.0	8.8	1.7				
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.59	22.0	29.6	24.7	7.1	6.6	10.0	1.15			
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.75	27.4	33.2	19.4	5.8	6.6	7.5	1.16	No1～5の 全体 平均値	3.73	
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.24	44.6	39.7	10.1	2.6	1.8	1.1	0.88			
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他				
		37.9	42.5	22.8	34.8	21.7	27.7	3.8				
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ ン	その他	
		29.2	36.0	81.1	20.5	50.9	4.5	51.9	52.1	12.9	1.4	

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



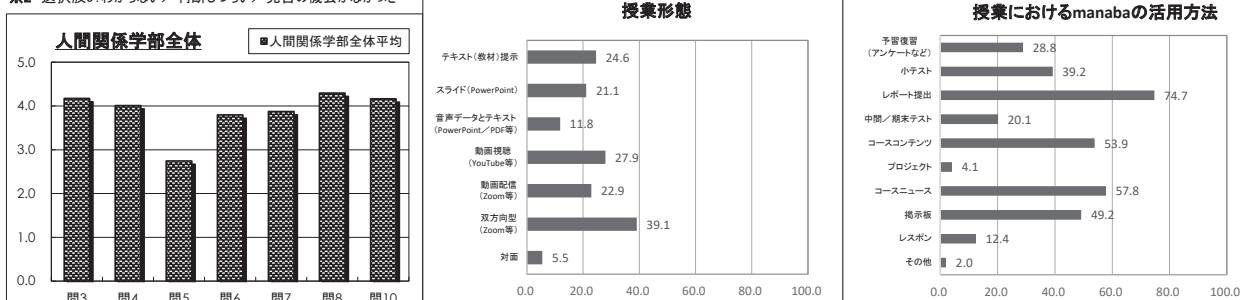
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(全体)

大妻女子大学

集計		人間関係学部全体						受講者数		8,939		
								回答者数		3,007		
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型				1.01	※問4～8, 10の平均値	
		テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)	対面				
		24.6	21.1	11.8	27.9	22.9	39.1	5.5				
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.17	46.2	35.1	10.7	3.9	3.5	0.6	1.01			
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.01	37.1	33.4	15.4	5.8	3.1	5.2	1.05	全体 平均値	3.81	
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.75	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.12			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.80	23.8	28.2	18.8	6.2	3.0	20.0	1.07			
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.87	30.8	31.4	17.1	4.3	5.6	10.9	1.13			
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.29	47.3	38.6	8.0	3.1	1.4	1.6	0.86			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポシ	その他
		28.8	39.2	74.7	20.1	53.9	4.1	57.8	49.2	12.4	2.0	
10	あなたは授業に満足しましたか	4.16	43.0	38.1	11.0	3.8	2.8	1.3	0.97			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

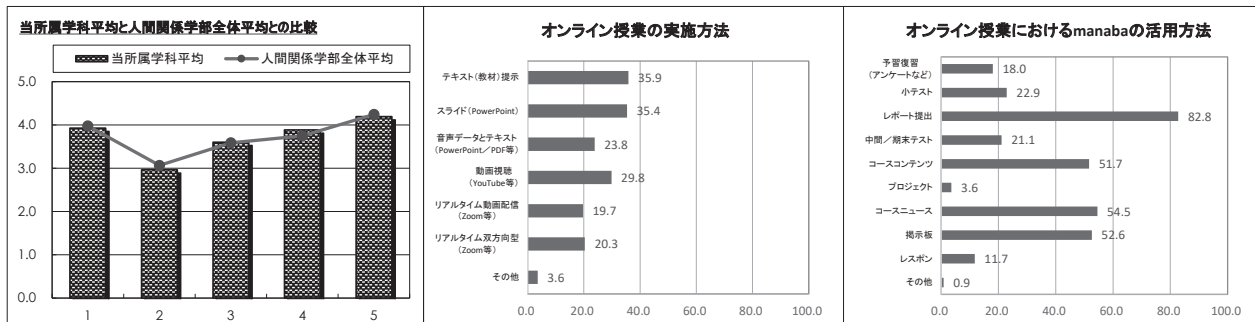


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(所属学科別)

大妻女子大学

所属学科		人間関係学科 社会学専攻				受講者数		-			
						回答者数		1,951			
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5	4	3	2	1	0			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.93	32.0	38.1	17.6	5.2	3.7	3.5	1.03		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	2.96	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.14	No1～5の 区分 平均値	3.71
			11.4	18.0	35.2	24.2	10.0	1.1			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.60	20.2	31.7	24.6	5.7	6.6	11.1	1.13		
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.88	31.8	31.4	19.3	3.4	5.4	8.7	1.11	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.19	41.2	41.3	11.6	2.3	2.1	1.6	0.89		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		35.9	35.4	23.8	29.8	19.7	20.3	3.6			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケート等)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
		18.0	22.9	82.8	21.1	51.7	3.6	54.5	52.6	11.7	0.9

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



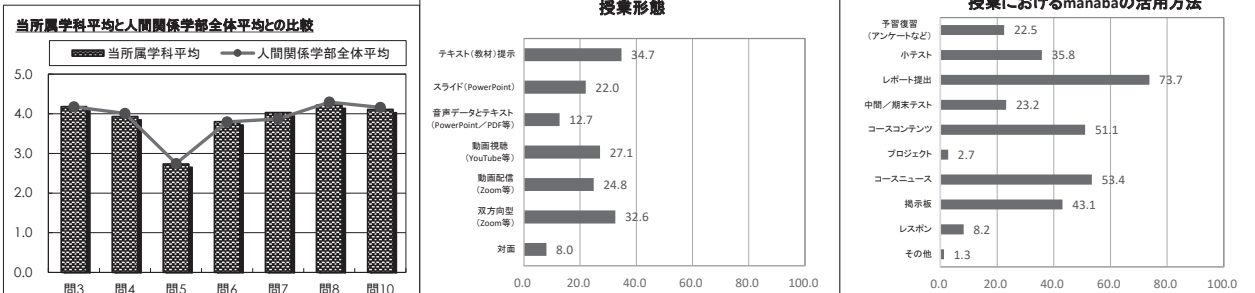
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(所属学科別)

大妻女子大学

所属学科		人間関係学科 社会学専攻					受講者数		-			
							回答者数		1,112			
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
			オンデマンド型			リアルタイム型						
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)	対面			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		34.7	22.0	12.7	27.1	24.8	32.6	8.0			
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.18	44.3	39.1	8.3	4.7	2.9	0.7	0.97	※問4～8, 10の平均値		
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.93	33.5	36.3	13.7	7.8	3.7	4.9	1.08	区分 平均値	3.80	
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.73	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.14			
			8.2	13.8	34.6	25.5	15.3	2.6				
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.80	23.7	29.1	18.2	7.1	2.4	19.5	1.05	全体 平均値	3.81	
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	4.03	33.7	35.9	14.1	4.2	2.9	9.2	1.00			
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.22	41.5	44.1	7.2	4.0	1.5	1.7	0.86			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
			22.5	35.8	73.7	23.2	51.1	2.7	53.4	43.1	8.2	1.3
10	あなたは授業に満足しましたか	4.11	39.0	42.4	10.3	4.3	3.0	1.0	0.96			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢の「わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった」

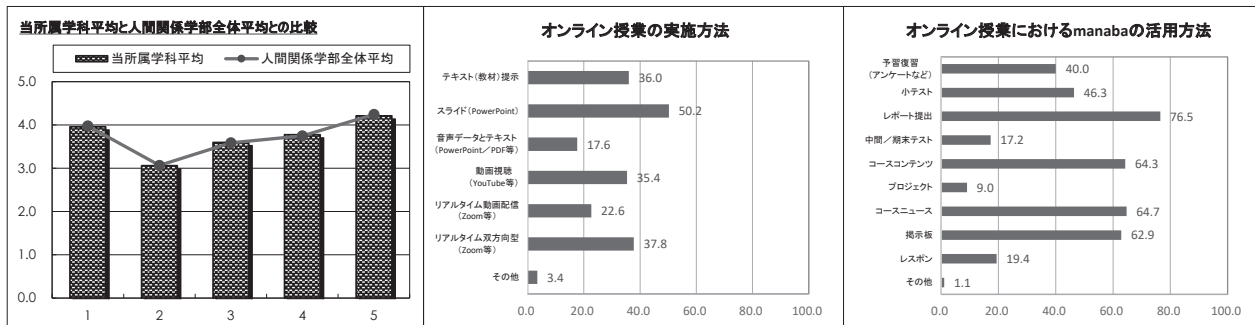


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(所属学科別)

大妻女子大学

所属学科		人間関係学科 社会・臨床心理学専攻						受講者数		-	
								回答者数		1,519	
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.96	34.6	36.0	16.4	6.5	3.2	3.4	1.04		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.06	3時間以上 15.1	2時間以上 3時間未満 19.2	1時間以上 2時間未満 29.8	30分以上 1時間未満 23.0	30分未満 10.2	していない 2.7	1.21	No1～5の 区分 平均値	3.72
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.60	23.7	28.0	24.1	7.0	7.4	9.8	1.19		
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.77	27.5	35.3	18.5	5.7	6.2	6.8	1.13	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.21	43.3	39.6	11.7	3.0	1.5	0.9	0.88		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示 36.0	スライド (PowerPoint) 50.2	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等) 17.6	動画視聴 (YouTube等) 35.4	リアルタイム 動画配信 (Zoom等) 22.6	リアルタイム 双方向型 (Zoom等) 37.8	その他 3.4			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど) 40.0	小テスト 46.3	レポート提出 76.5	中間／ 期末テスト 17.2	コース コンテンツ 64.3	プロジェクト 9.0	コース ニュース 64.7	掲示板 62.9	レスポンス 19.4	その他 1.1

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



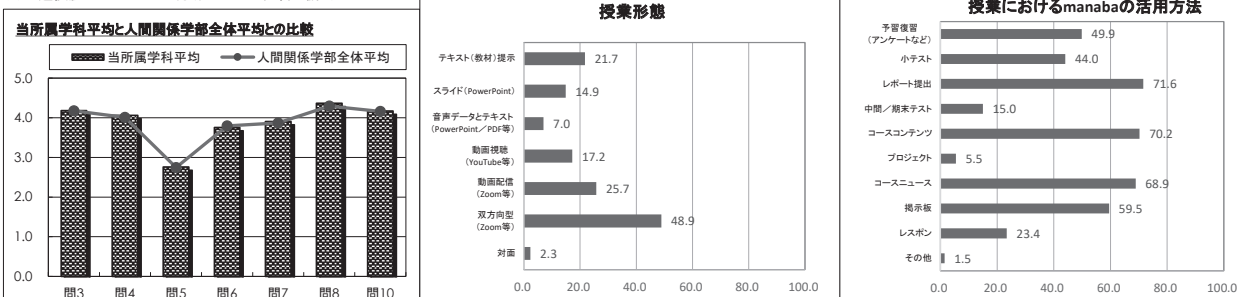
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(所属学科別)

大妻女子大学

所属学科		人間関係学科 社会・臨床心理学専攻							受講者数		－	
									回答者数		820	
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型						
		テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)	対面				
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.18	21.7	14.9	7.0	17.2	25.7	48.9	2.3	※問4～8, 10の平均値		
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.06	39.5	32.4	15.1	4.5	3.2	5.2	1.03		区分 平均値	3.84
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.76	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.18			
			9.8	14.6	30.9	27.2	15.4	2.2				
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.75	21.7	30.6	18.4	6.2	3.5	19.5	1.07			
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.90	31.0	33.3	17.8	5.1	3.9	8.9	1.07			
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.37	53.9	33.9	6.6	2.4	2.1	1.1	0.88			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他	
		49.9	44.0	71.6	15.0	70.2	5.5	68.9	59.5	23.4	1.5	
10	あなたは授業に満足しましたか	4.17	45.4	35.5	11.5	3.7	3.3	0.7	1.00			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢の「わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった」

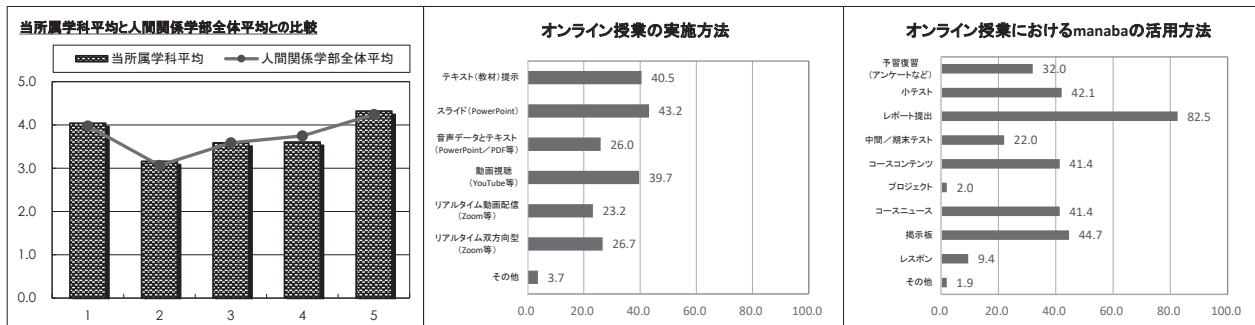


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(所属学科別)

大妻女子大学

所属学科		人間福祉学科 1、2、3年生				受講者数		-			
						回答者数		2,011			
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5	4	3	2	1	0			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.04	38.9	33.9	15.0	5.0	3.3	3.8	1.04		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.16	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.10	No1～5の 区分 平均値	3.75
			13.0	22.9	36.6	19.4	6.7	1.4			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.59	22.5	28.7	25.3	8.4	6.0	9.1	1.15	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.61	23.6	33.0	20.4	7.8	8.0	7.2	1.20		
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.32	49.4	38.0	7.7	2.4	1.7	0.8	0.85		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		40.5	43.2	26.0	39.7	23.2	26.7	3.7			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
		32.0	42.1	82.5	22.0	41.4	2.0	41.4	44.7	9.4	1.9

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



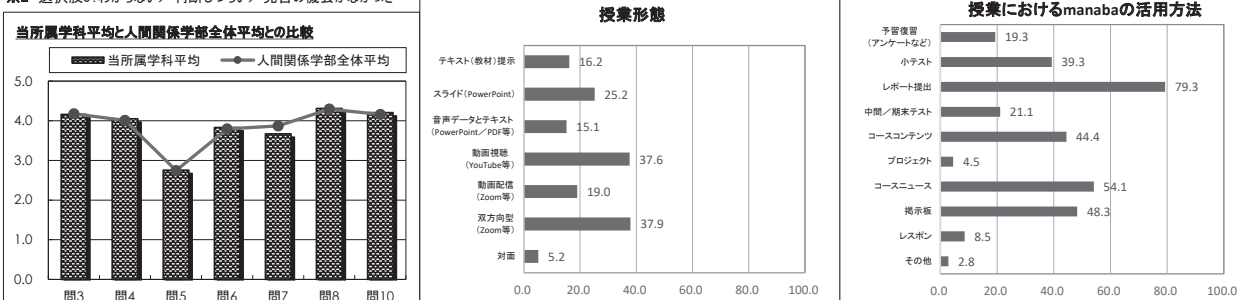
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(所属学科別)

大妻女子大学

所属学科		人間福祉学科 1、2、3年生					受講者数		－			
							回答者数		1,044			
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
			オンデマンド型			リアルタイム型						
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)	対面			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		16.2	25.2	15.1	37.6	19.0	37.9	5.2			
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.16	47.8	31.8	11.7	3.5	4.3	0.9	1.05	※問4～8、10の平均値		
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.05	39.2	31.0	17.2	4.6	2.6	5.4	1.02	区分 平均値	3.81	
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.75	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.07			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.83	25.9	25.9	19.3	5.2	3.3	20.5	1.08	全体 平均値	3.81	
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.67	28.1	25.0	19.7	3.7	9.8	13.7	1.28			
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.31	48.3	36.3	10.1	2.7	0.8	1.9	0.82			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
			19.3	39.3	79.3	21.1	44.4	4.5	54.1	48.3	8.5	2.8
10	あなたは授業に満足しましたか	4.21	45.3	35.6	11.4	3.4	2.3	2.0	0.94			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

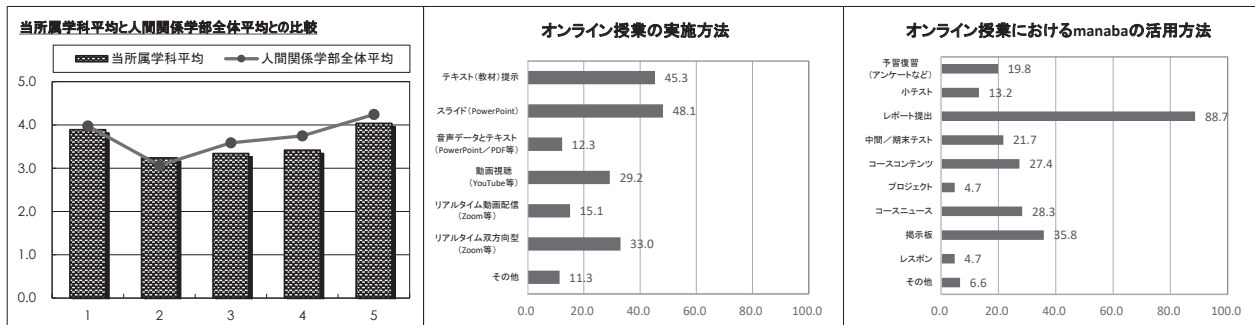


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(所属学科別)

大妻女子大学

所属学科		人間福祉学科 人間福祉学専攻				受講者数		-			
						回答者数		106			
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5	4	3	2	1	0			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.89	38.7	25.5	16.0	9.4	4.7	5.7	1.20		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.24	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.01	No1～5の 区分 平均値	3.59
			10.4	26.4	36.8	17.0	3.8	5.7			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.34	17.9	26.4	25.5	12.3	9.4	8.5	1.23		
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.42	18.9	36.8	17.0	15.1	9.4	2.8	1.24	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.04	34.9	48.1	5.7	5.7	4.7	0.9	1.04		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		45.3	48.1	12.3	29.2	15.1	33.0	11.3			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
		19.8	13.2	88.7	21.7	27.4	4.7	28.3	35.8	4.7	6.6

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



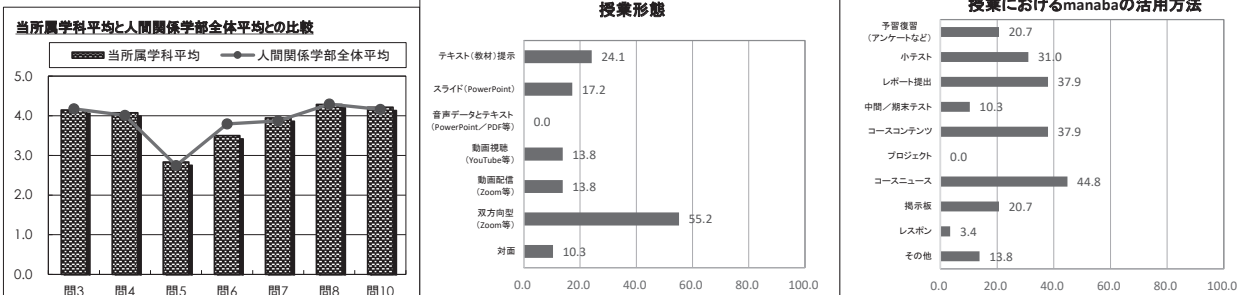
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(所属学科別)

大妻女子大学

所属学科		人間福祉学科 人間福祉学専攻						受講者数		-		
								回答者数		29		
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか	24.1	オンデマンド型			リアルタイム型			対面	0.89	※問4～8, 10の平均値	
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)				
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.14	34.5	48.3	10.3	0.0	3.4	3.4	0.89			
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.07	34.5	34.5	20.7	3.4	0.0	6.9	0.87	区分 平均値	3.85	
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.83	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	0.82			全体 平均値
			3.4	6.9	48.3	20.7	3.4	17.2				
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.50	13.8	10.3	31.0	6.9	0.0	37.9	0.99			
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.95	17.2	34.5	10.3	0.0	3.4	34.5	0.97			
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.29	44.8	41.4	6.9	0.0	3.4	3.4	0.90			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他	
		20.7	31.0	37.9	10.3	37.9	0.0	44.8	20.7	3.4	13.8	
10	あなたは授業に満足しましたか	4.21	41.4	41.4	10.3	0.0	3.4	3.4	0.92			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢の「わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった」



2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(所属学科別)

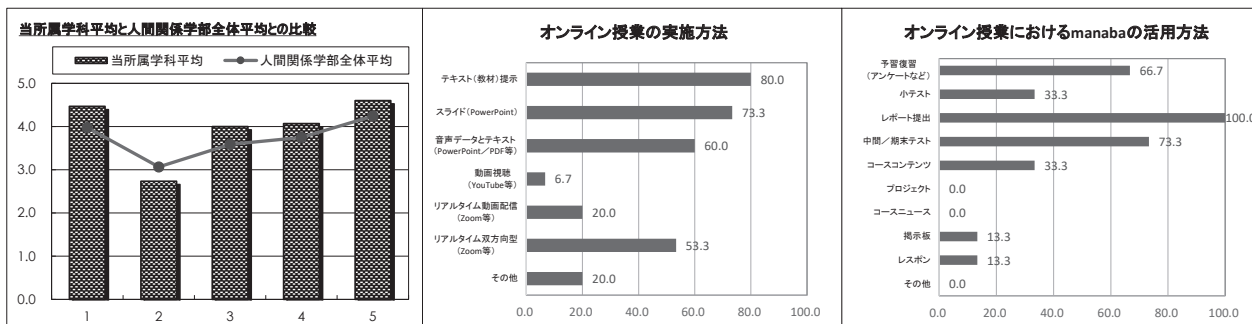
大妻女子大学

所属学科	人間福祉学科 介護福祉学専攻
------	----------------

受講者数	—
回答者数	15

No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差		
			5	4	3	2	1	0			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.47	60.0	33.3	0.0	6.7	0.0	0.0	0.83		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	2.73	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	0.96	No1～5の 区分 平均値	3.97
			0.0	20.0	46.7	20.0	13.3	0.0			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	4.00	26.7	40.0	26.7	0.0	0.0	6.7	0.78		
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	4.07	26.7	53.3	20.0	0.0	0.0	0.0	0.70	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.60	66.7	26.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.63		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		80.0	73.3	60.0	6.7	20.0	53.3	20.0			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ ン	その他
		66.7	33.3	100.0	73.3	33.3	0.0	0.0	13.3	13.3	0.0

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(所属学科別)

大妻女子大学

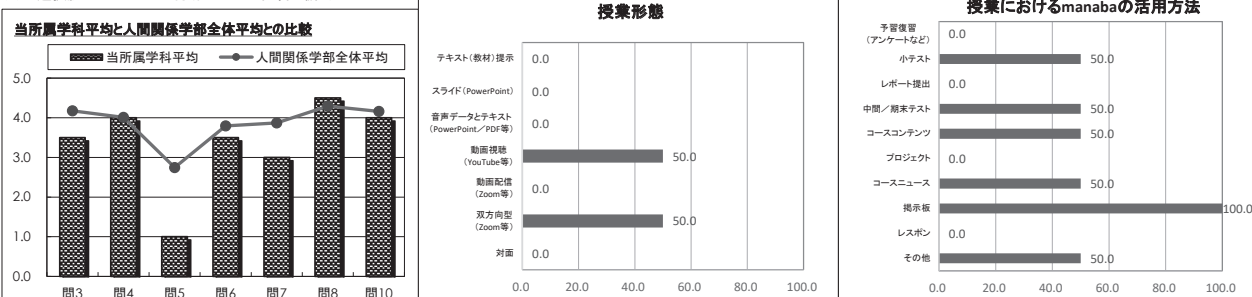
所属学科	人間福祉学科 介護福祉学専攻
------	----------------

受講者数	—
回答者数	2

問.	設問文	平均点	回答率(%)							標準 偏差		
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型				※問4～8, 10の平均値		
		テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データ&テキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)	対面				
		0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0				
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	3.50	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.71			
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.00	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	1.41	区分 平均値	3.33	
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	1.00	3時間以上 0.0	2時間以上 3時間未満 0.0	1時間以上 2時間未満 0.0	30分以上 1時間未満 0.0	30分未満 100.0	していない 0.0	0.00			全体 平均値
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.50	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.71			
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.00	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.00			
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.50	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.71			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ ン	その他	
		0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	100.0	0.0	50.0	
10	あなたは授業に満足しましたか	4.00	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	1.41			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった



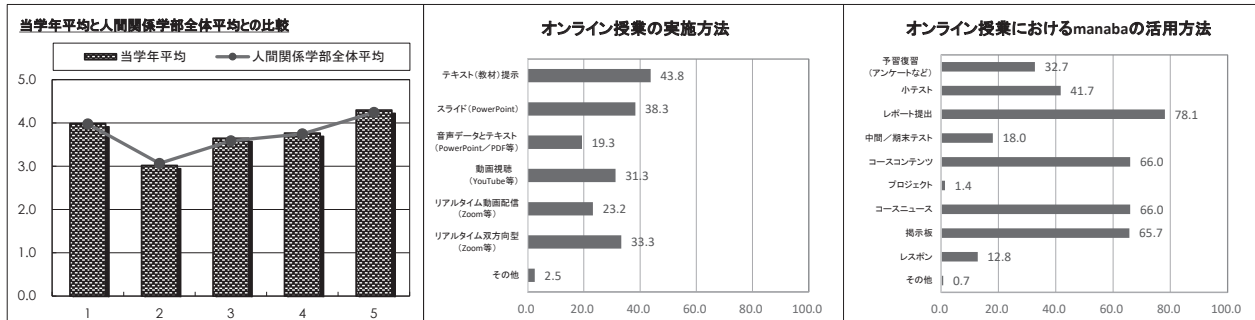
2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(学年別)

大妻女子大学

学年		1年		受講者数		-	
				回答者数		2,211	

No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5	4	3	2	1	0			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.99	36.5	34.0	18.5	5.7	2.6	2.6	1.02		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.02	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.14	No1～5の 区分 平均値	3.74
			11.1	21.6	34.5	21.0	10.5	1.3			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.65	22.0	30.1	26.8	7.1	4.3	9.7	1.08		
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.77	28.1	32.2	19.4	5.2	6.6	8.6	1.16	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.30	48.2	36.8	10.5	2.1	1.4	1.0	0.85		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		43.8	38.3	19.3	31.3	23.2	33.3	2.5			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ	その他
		32.7	41.7	78.1	18.0	66.0	1.4	66.0	65.7	12.8	0.7

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



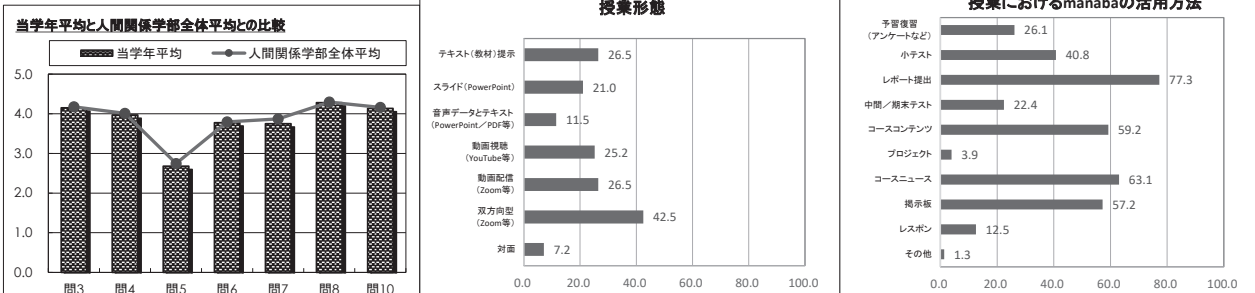
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(学年別)

大妻女子大学

学年		1年		受講者数		-					
				回答者数		1,356					
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差		
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型				※問4～8, 10の平均値	
		テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)	対面			
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.15	26.5	21.0	11.5	25.2	26.5	42.5	7.2	1.00	
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.97	36.3	33.0	33.0	15.4	6.3	3.7	5.3	1.08	区分 平均値
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.68	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.08	全体 平均値	3.77
			5.1	15.2	35.1	26.7	15.0	2.9	1.08	3.81	
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.77	22.8	26.5	19.5	5.4	3.3	22.5	1.08		
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.75	27.4	29.8	19.2	4.2	7.2	12.2	1.18		
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.28	46.7	38.1	8.6	3.2	1.4	2.1	0.86		
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ	その他
		26.1	40.8	77.3	22.4	59.2	3.9	63.1	57.2	12.5	1.3
10	あなたは授業に満足しましたか	4.14	41.8	38.1	11.9	3.8	2.9	1.5	0.97		

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢の「わからない」/「判断しづらい」/「発言の機会がなかった」



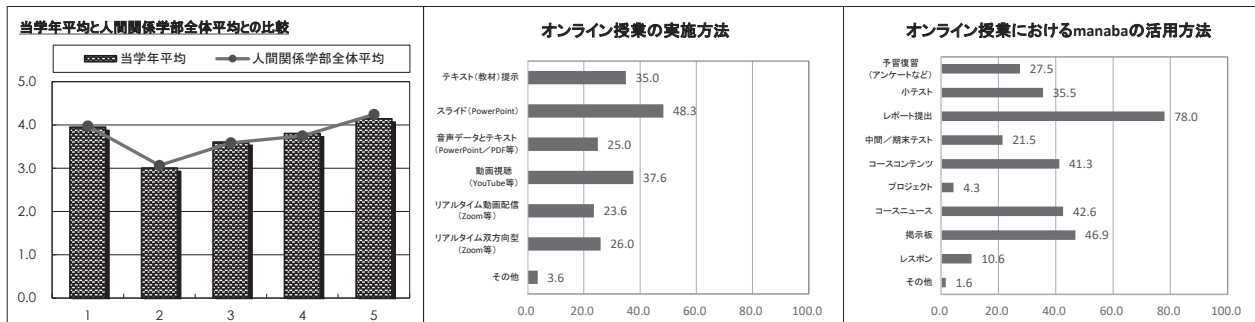
2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(学年別)

大妻女子大学

学年		2年		受講者数		-	
				回答者数		1,519	

No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5	4	3	2	1	0			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.95	33.4	37.9	14.3	5.2	4.5	4.6	1.07		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.00	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.13	No1～5の 区分 平均値	3.70
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.61	11.8	18.4	35.1	23.8	9.0	1.8	1.18		
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.80	26.1	36.1	21.3	5.1	4.3	7.0	1.05	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.14	39.6	42.1	11.1	3.7	2.4	1.1	0.93		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		35.0	48.3	25.0	37.6	23.6	26.0	3.6			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
		27.5	35.5	78.0	21.5	41.3	4.3	42.6	46.9	10.6	1.6

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



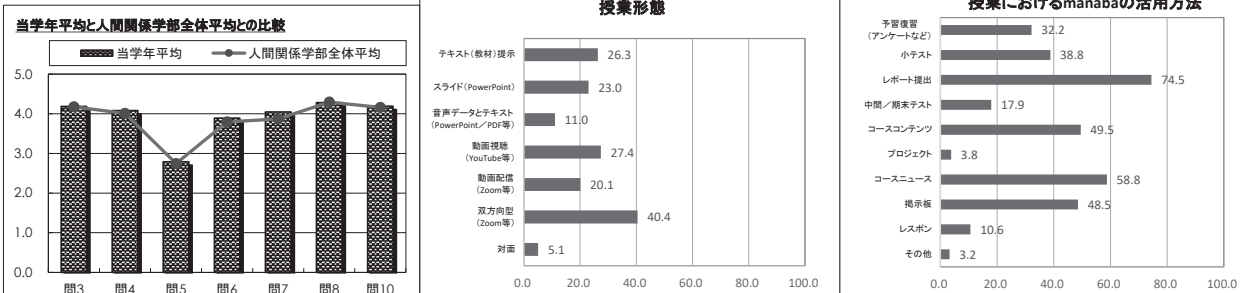
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(学年別)

大妻女子大学

学年		2年		受講者数		-						
				回答者数		905						
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
			オンデマンド型			リアルタイム型						
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)	対面			
			26.3	23.0	11.0	27.4	20.1	40.4	5.1			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか											
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.19	49.7	31.4	10.4	3.6	4.5	0.3	1.06	※問4～8, 10の平均値		
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.08	39.1	35.0	14.3	4.8	2.5	4.3	0.99	区分 平均値	3.88	
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.79	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.19			
			10.4	14.5	31.3	25.9	14.9	3.1		全体 平均値	3.81	
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.89	27.1	31.3	16.8	5.2	3.0	16.7	1.04			
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	4.05	35.6	35.9	13.5	4.1	3.2	7.7	1.01			
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.28	46.4	39.8	7.1	3.5	1.5	1.7	0.87			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
			32.2	38.8	74.5	17.9	49.5	3.8	58.8	48.5	10.6	3.2
10	あなたは授業に満足しましたか	4.19	44.2	38.0	10.1	3.9	2.5	1.3	0.95			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢の「わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった」

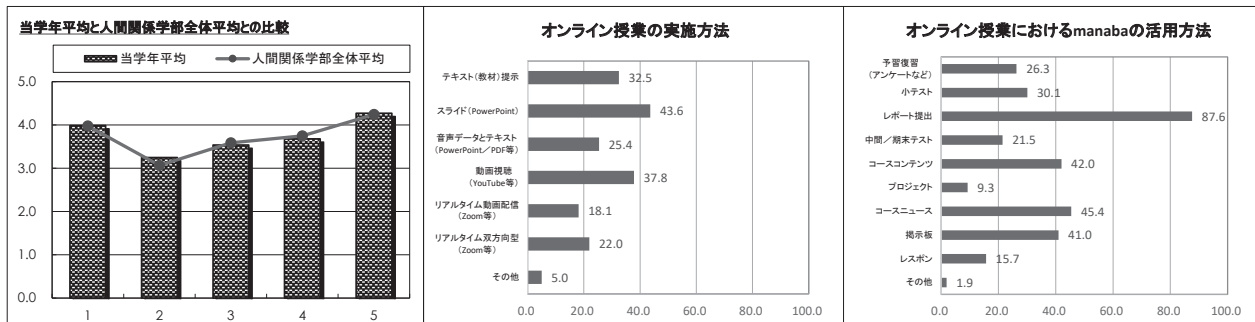


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(学年別)

大妻女子大学

学年		3年		受講者数		-					
				回答者数		1,543					
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.98	34.7	37.5	15.6	5.2	3.4	3.7	1.03		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.25	3時間以上 17.2	2時間以上 3時間未満 20.9	1時間以上 2時間未満 34.0	30分以上 1時間未満 21.1	30分未満 5.0	していない 1.9	1.13	No1～5の 区分 平均値	3.75
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.54	21.1	31.2	23.3	6.7	8.8	8.8	1.20		
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.68	27.7	32.3	17.6	7.3	8.6	6.6	1.23	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.27	45.2	40.8	8.6	1.9	2.1	1.4	0.86		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示 32.5	スライド (PowerPoint) 43.6	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等) 25.4	動画視聴 (YouTube等) 37.8	リアルタイム 動画配信 (Zoom等) 18.1	リアルタイム 双方向型 (Zoom等) 22.0	その他 5.0			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど) 26.3	小テスト 30.1	レポート提出 87.6	中間／ 期末テスト 21.5	コース コンテンツ 42.0	プロジェクト 9.3	コース ニュース 45.4	掲示板 41.0	レスポ ン 15.7	その他 1.9

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



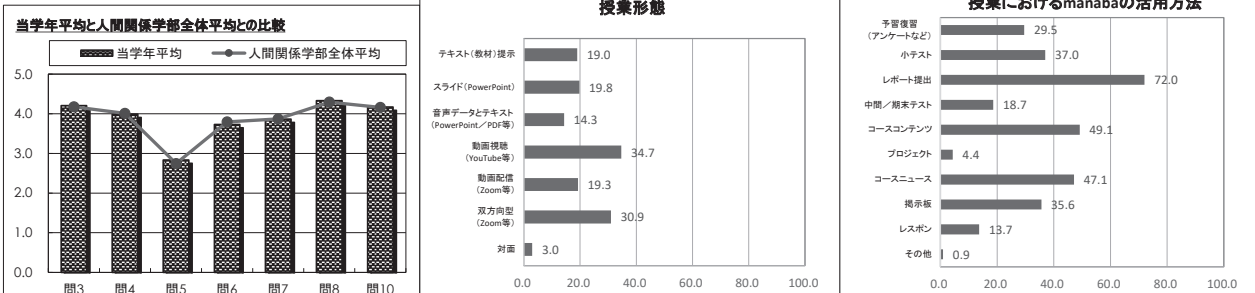
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(学年別)

大妻女子大学

学年		3年		受講者数		-						
				回答者数		643						
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
			オンデマンド型			リアルタイム型						
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)	対面			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		19.0	19.8	14.3	34.7	19.3	30.9	3.0			
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.21	44.6	39.7	8.6	3.4	3.0	0.8	0.95	※問4～8, 10の平均値		
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.99	35.3	32.8	16.8	5.6	2.8	6.7	1.03	区分 平均値	3.82	
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.83	3時間以上 7.9	2時間以上 3時間未満 17.3	1時間以上 2時間未満 37.2	30分以上 1時間未満 21.9	30分未満 13.7	していない 2.0	1.12			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.73	21.0	29.4	18.8	8.7	2.2	19.9	1.05	全体 平均値	3.81	
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.87	31.6	30.2	16.2	5.0	5.8	11.4	1.15			
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.33	49.8	37.6	8.2	2.2	1.4	0.8	0.83			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ	その他
			29.5	37.0	72.0	18.7	49.1	4.4	47.1	35.6	13.7	0.9
10	あなたは授業に満足しましたか	4.17	43.9	38.6	9.5	4.0	3.1	0.9	0.98			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった



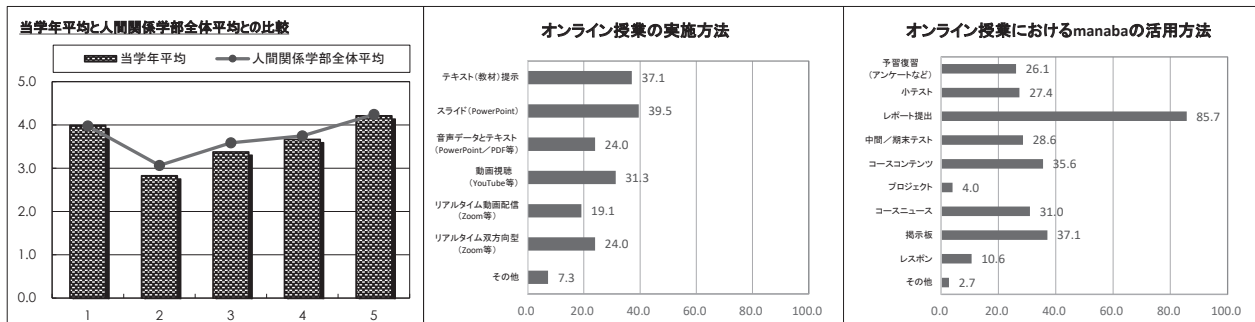
2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(学年別)

大妻女子大学

学年		4年		受講者数		-	
				回答者数		329	

No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5	4	3	2	1	0			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.99	39.5	30.1	13.4	7.6	4.0	5.5	1.12		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	2.82	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.18	No1~5の 区分 平均値	3.62
			9.7	16.7	31.0	25.2	14.0	3.3			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.38	20.7	24.0	23.7	9.4	11.2	10.9	1.29		
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.66	27.4	30.7	19.8	6.7	8.5	7.0	1.23	No1~5の 学部全体 平均値	3.73
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.21	41.9	43.2	9.1	3.6	1.5	0.6	0.87		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		37.1	39.5	24.0	31.3	19.1	24.0	7.3			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
		26.1	27.4	85.7	28.6	35.6	4.0	31.0	37.1	10.6	2.7

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



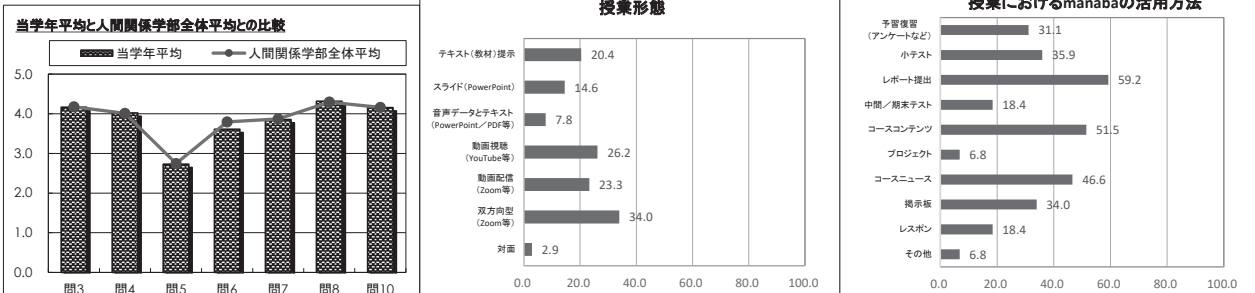
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(学年別)

大妻女子大学

学年		4年		受講者数		-						
				回答者数		103						
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
			オンデマンド型			リアルタイム型						
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)	対面			
			20.4	14.6	7.8	26.2	23.3	34.0	2.9			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか											
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.17	47.6	31.1	12.6	4.9	2.9	1.0	1.03	※問4～8, 10の平均値		
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.02	42.7	28.2	16.5	7.8	2.9	1.9	1.10	区分 平均値	3.80	
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.73	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.13			
			7.8	13.6	27.2	30.1	11.7	9.7		全体 平均値	3.81	
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.61	25.2	17.5	26.2	9.7	3.9	17.5	1.18			
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.86	30.1	19.4	26.2	1.9	3.9	18.4	1.10			
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.31	47.6	39.8	7.8	2.9	1.0	1.0	0.82			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
			31.1	35.9	59.2	18.4	51.5	6.8	46.6	34.0	18.4	6.8
10	あなたは授業に満足しましたか	4.16	41.7	36.9	17.5	0.0	2.9	1.0	0.92			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢の「わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった」

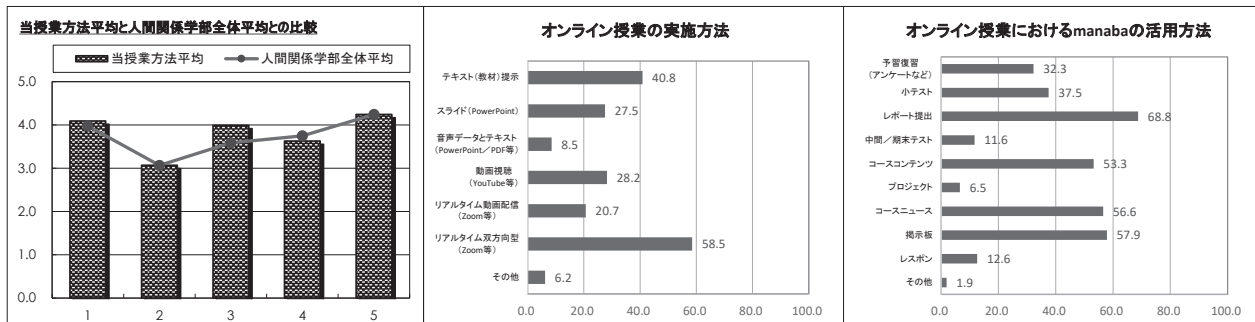


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

大妻女子大学

授業方法		演習							受講者数		2,033	
									回答者数		1,271	
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.09	44.4	30.8	13.1	6.1	3.3	2.3	1.07			
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.07	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.24	No1～5の 区分 平均値	3.81	
			15.5	20.7	29.8	20.8	12.0	1.1				
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.99	36.3	32.0	17.8	4.7	3.3	5.8	1.04			
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.63	24.5	29.0	21.6	6.0	8.0	10.9	1.21	No1～5の 学部全体 平均値	3.73	
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.24	45.4	38.3	11.2	2.8	1.5	0.9	0.87			
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他				
		40.8	27.5	8.5	28.2	20.7	58.5	6.2				
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他	
		32.3	37.5	68.8	11.6	53.3	6.5	56.6	57.9	12.6	1.9	

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



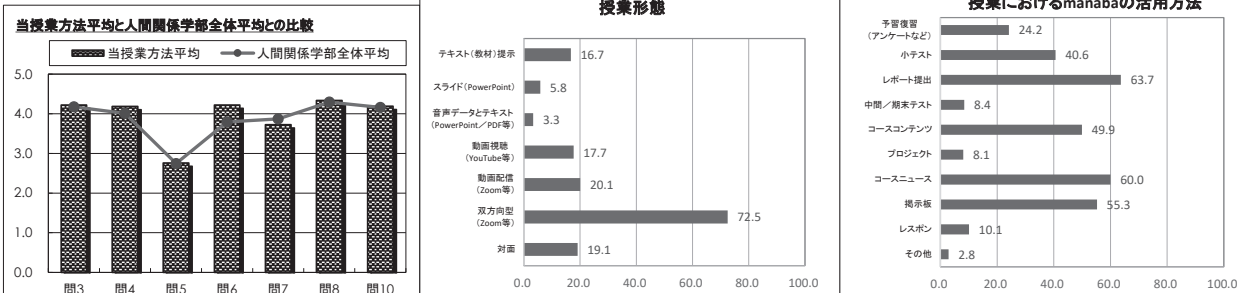
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

大妻女子大学

授業方法		演習							受講者数		1,786
									回答者数		633
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差		
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型					
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)			
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.22	16.7	5.8	3.3	17.7	20.1	72.5	19.1	※問4～8, 10の平均値	
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.18	46.0	34.1	10.7	5.1	2.4	1.7	0.98	区分 平均値	3.90
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.76	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.18		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	4.22	8.7	16.4	31.3	25.1	16.1	2.4	0.94		
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.73	26.7	27.2	19.1	3.9	7.6	15.5	1.21		
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.34	48.0	38.4	7.3	1.9	1.4	3.0	0.82		
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
		24.2	40.6	63.7	8.4	49.9	8.1	60.0	55.3	10.1	2.8
10	あなたは授業に満足しましたか	4.19	45.3	36.5	10.1	4.3	2.7	1.1	0.97		

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢の「わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった」

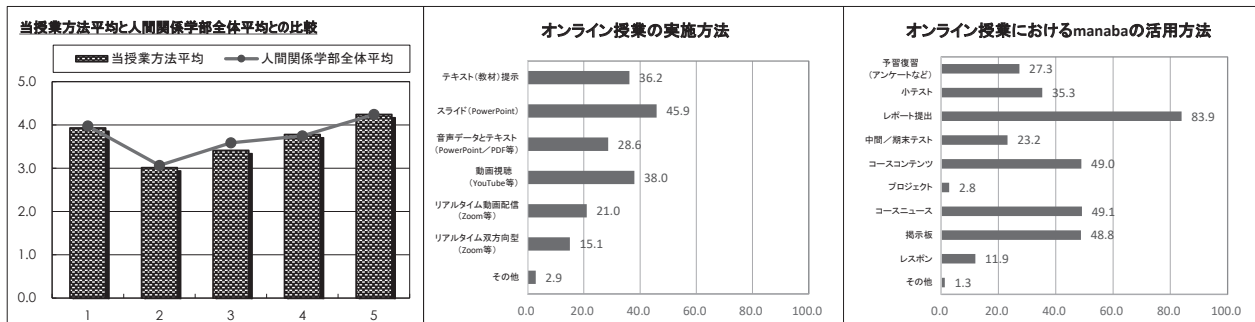


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

大妻女子大学

授業方法		講義		受講者数		6,707						
				回答者数		3,853						
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.93	32.5	36.6	17.5	5.3	3.7	4.3	1.04			
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.01	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.10	No1～5の 区分 平均値	3.68	
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.41	10.7	19.8	35.9	23.2	8.4	2.0	1.16			
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.78	28.4	34.4	18.7	5.8	6.3	6.5	1.14	No1～5の 学部全体 平均値	3.73	
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.24	44.7	39.9	9.5	2.5	2.1	1.3	0.88			
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか		テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		36.2	45.9	28.6	38.0	21.0	15.1	2.9				
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
		27.3	35.3	83.9	23.2	49.0	2.8	49.1	48.8	11.9	1.3	

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



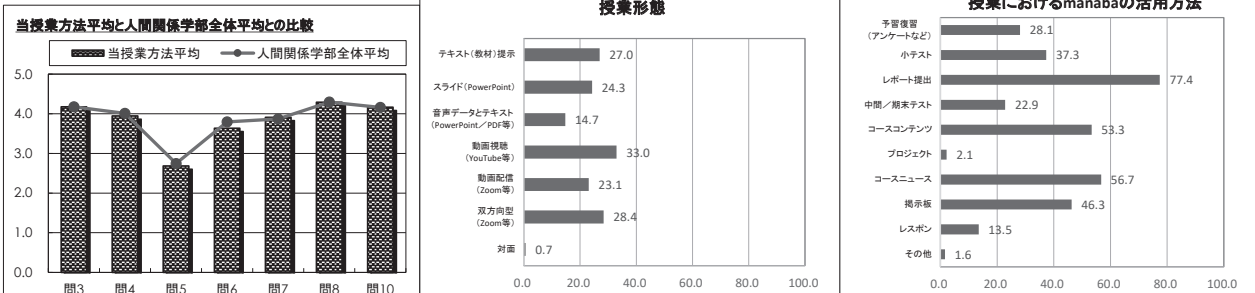
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

大妻女子大学

授業方法		講義		受講者数		6,525						
				回答者数		2,143						
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型			対面			
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)				
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.18	27.0	24.3	14.7	33.0	23.1	28.4	0.7	0.98	※問4～8、10の平均値	
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.94		33.8	33.4	17.1	6.0	3.3	6.3	1.06	区分 平均値	3.78
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.69		3時間以上 5.6	2時間以上 3時間未満 14.4	1時間以上 2時間未満 35.4	30分以上 1時間未満 26.9	30分未満 14.6	していない 3.2	1.08		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.63		18.1	26.3	21.4	7.6	3.2	23.4	1.07	全体 平均値	3.81
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.91		32.2	32.8	16.0	4.4	5.1	9.5	1.11		
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.29		47.3	38.8	8.1	3.3	1.3	1.2	0.85		
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
		28.1	37.3	77.4	22.9	53.3	2.1	56.7	46.3	13.5	1.6	
10	あなたは授業に満足しましたか	4.17		42.6	38.5	11.5	3.5	2.6	1.3	0.95		

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢の「わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった」

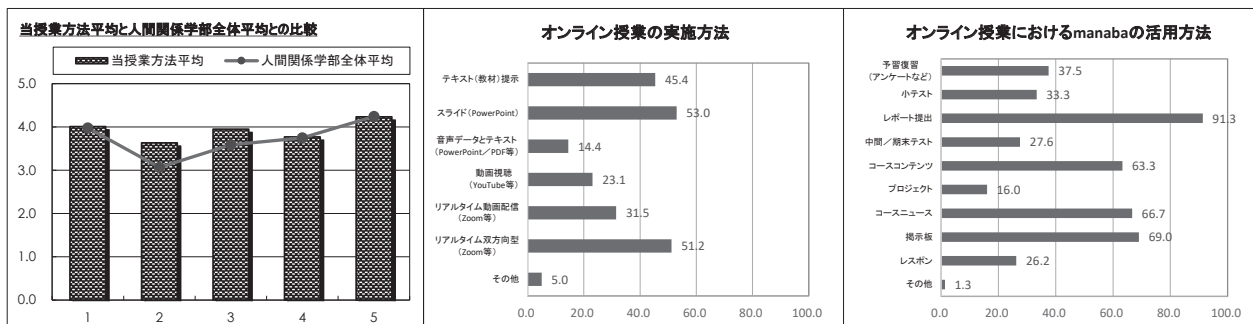


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

大妻女子大学

授業方法		講義・演習		受講者数		616					
				回答者数		381					
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5	4	3	2	1	0			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.01	34.9	41.2	14.2	6.8	2.1	0.8	0.98		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.63	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.11	No1～5の 区分 平均値	3.92
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.95	28.1	25.5	29.9	12.9	2.9	0.8	1.01		
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.77	27.0	35.4	20.7	6.0	5.2	5.5	1.10	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.23	44.4	39.1	12.3	2.9	1.0	0.3	0.85		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		45.4	53.0	14.4	23.1	31.5	51.2	5.0			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ ン	その他
		37.5	33.3	91.3	27.6	63.3	16.0	66.7	69.0	26.2	1.3

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



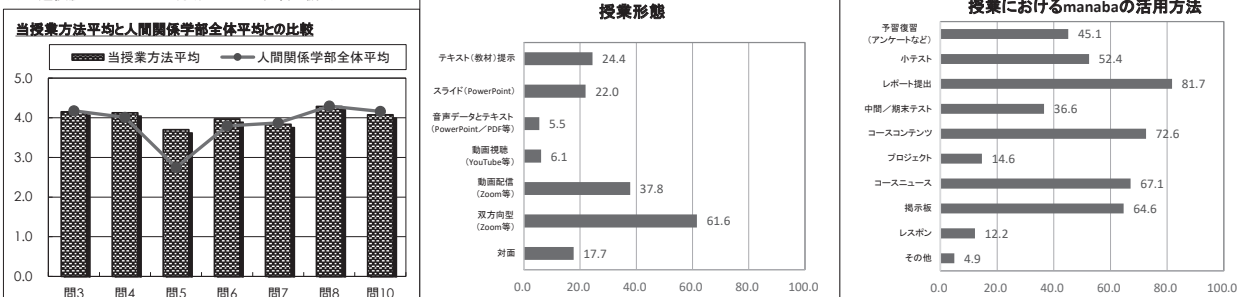
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

大妻女子大学

授業方法		講義・演習					受講者数		468			
							回答者数		164			
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型				※問4～8、10の平均値		
		テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)	対面				
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.15	24.4	22.0	5.5	6.1	37.8	61.6	17.7			
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.12	47.0	31.7	9.8	6.1	4.3	1.2	1.10	区分 平均値	4.00	
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	3.70	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.04	全体 平均値	3.81	
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.97	27.4	27.4	34.1	7.9	2.4	0.6				
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.83	28.0	30.5	21.3	4.3	4.3	11.6	1.08			
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.29	47.0	39.0	7.3	3.0	1.8	1.8	0.88			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ ン	その他
		45.1	52.4	81.7	36.6	72.6	14.6	67.1	64.6	12.2	4.9	
10	あなたは授業に満足しましたか	4.07	42.1	39.0	7.9	4.3	6.1	0.6	1.11			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢の「わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった」

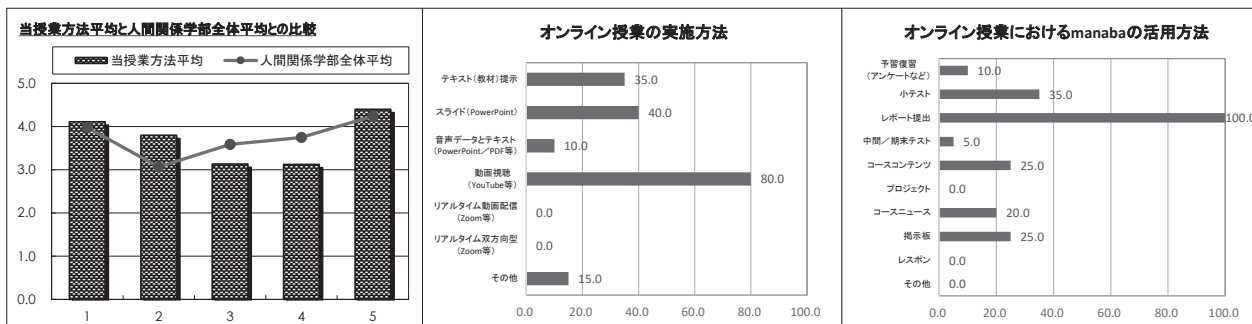


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

大妻女子大学

授業方法		講義・実習							受講者数		30	
									回答者数		20	
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.11	25.0	55.0	5.0	5.0	0.0	10.0	0.76			
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.80	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	0.89			
			30.0	20.0	50.0	0.0	0.0	0.0		No1～5の 区分 平均値	3.76	
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.13	25.0	0.0	25.0	10.0	15.0	25.0	1.55			
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.13	10.0	40.0	0.0	10.0	20.0	20.0	1.50			
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.40	50.0	45.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.75	No1～5の 学部全体 平均値	3.73	
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他				
		35.0	40.0	10.0	80.0	0.0	0.0	15.0				
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ	その他	
		10.0	35.0	100.0	5.0	25.0	0.0	20.0	25.0	0.0	0.0	

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



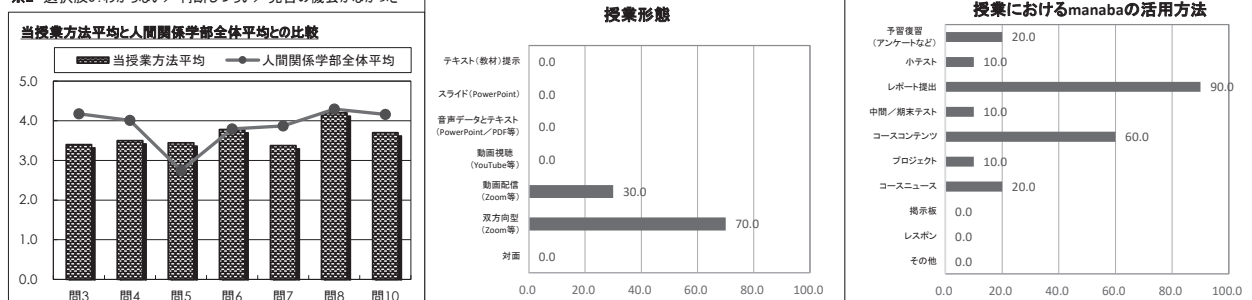
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

大妻女子大学

授業方法			講義・実習					受講者数		30		
								回答者数		10		
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型			対面			
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)				
			0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	70.0				
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	3.40	30.0	20.0	20.0	20.0	10.0	0.0	1.43	※問4～8, 10の平均値		
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.50	30.0	30.0	10.0	20.0	10.0	0.0	1.43	区分 平均値	3.68	
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	3.44	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.42			全体 平均値
			30.0	10.0	30.0	10.0	10.0	10.0				
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.78	20.0	40.0	20.0	10.0	0.0	10.0	0.97			
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.38	10.0	30.0	30.0	0.0	10.0	20.0	1.19			
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.20	50.0	30.0	10.0	10.0	0.0	0.0	1.03			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ	その他	
		20.0	10.0	90.0	10.0	60.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	
10	あなたは授業に満足しましたか	3.70	40.0	30.0	0.0	20.0	10.0	0.0	1.49			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢の「わからない」「判断しづらい」「発言の機会がなかった」



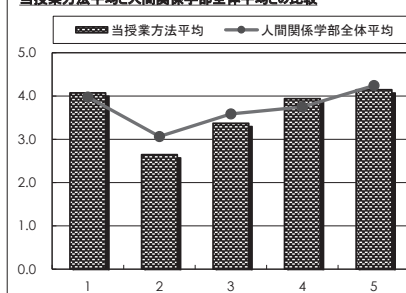
2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

大妻女子大学

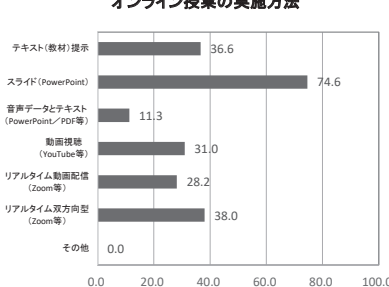
授業方法		実技		受講者数		112					
				回答者数		71					
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5	4	3	2	1	0			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.07	31.0	43.7	18.3	2.8	0.0	4.2	0.80		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	2.65	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	0.84	No1～5の 区分 平均値	3.64
			2.8	8.5	42.3	36.6	5.6	4.2			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.37	14.1	23.9	35.2	8.5	5.6	12.7	1.07		
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.94	35.2	31.0	18.3	2.8	5.6	7.0	1.12	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.14	28.2	54.9	14.1	0.0	0.0	2.8	0.65		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		36.6	74.6	11.3	31.0	28.2	38.0	0.0			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ	その他
		35.2	59.2	90.1	2.8	54.9	1.4	50.7	47.9	0.0	0.0

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。

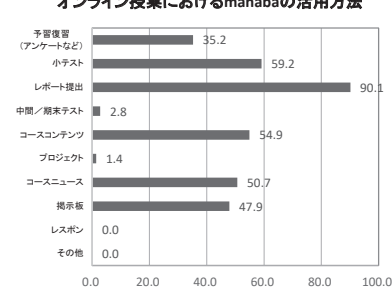
当授業方法平均と人間関係学部全体平均との比較



オンライン授業の実施方法



オンライン授業におけるmanabaの活用方法



2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

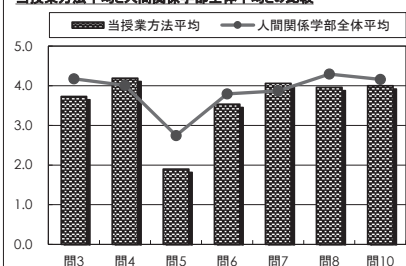
大妻女子大学

授業方法		実技		受講者数		122					
				回答者数		54					
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差		
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型				※問4～8, 10の平均値	
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)			
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	3.73	25.9	75.9	18.5	20.4	1.9	0.0	0.0		
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.19	38.9	25.9	22.2	0.0	0.0	13.0	0.82	区分 平均値	3.61
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	1.90	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	0.87		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.53	0.0	3.7	18.5	33.3	35.2	9.3			
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	4.06	38.9	25.9	22.2	0.0	3.7	9.3	1.03		
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	3.96	38.9	31.5	14.8	5.6	5.6	3.7	1.15		
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ	その他
		61.1	64.8	70.4	1.9	63.0	0.0	53.7	55.6	0.0	0.0
10	あなたは授業に満足しましたか	4.00	33.3	37.0	14.8	3.7	3.7	7.4	1.03		

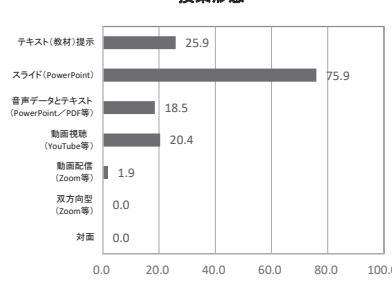
※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

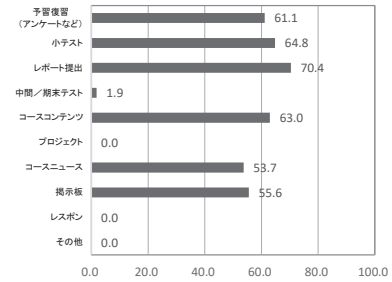
当授業方法平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



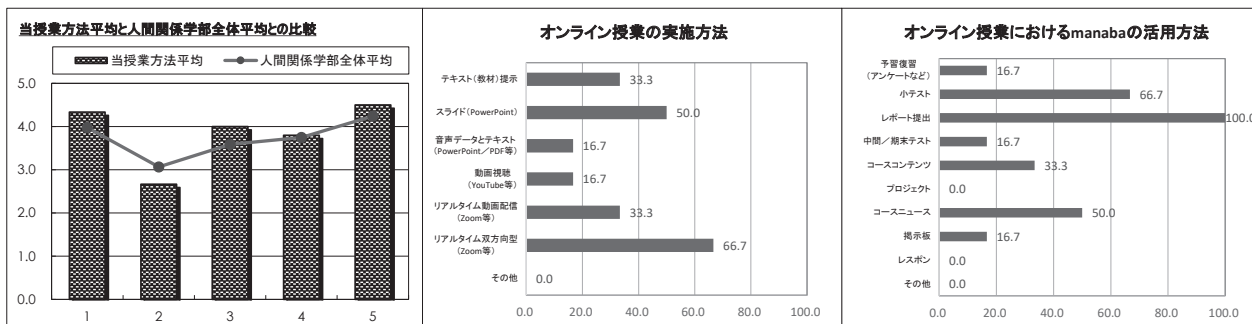
2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

大妻女子大学

授業方法		実習		受講者数		8	
				回答者数		6	

No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5	4	3	2	1	0			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.33	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.82		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	2.67	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.03	No1～5の 区分 平均値	3.86
			0.0	16.7	50.0	16.7	16.7	0.0			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	4.00	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00		
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.80	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	1.30	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.50	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.55		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		33.3	50.0	16.7	16.7	33.3	66.7	0.0			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ	その他
		16.7	66.7	100.0	16.7	33.3	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



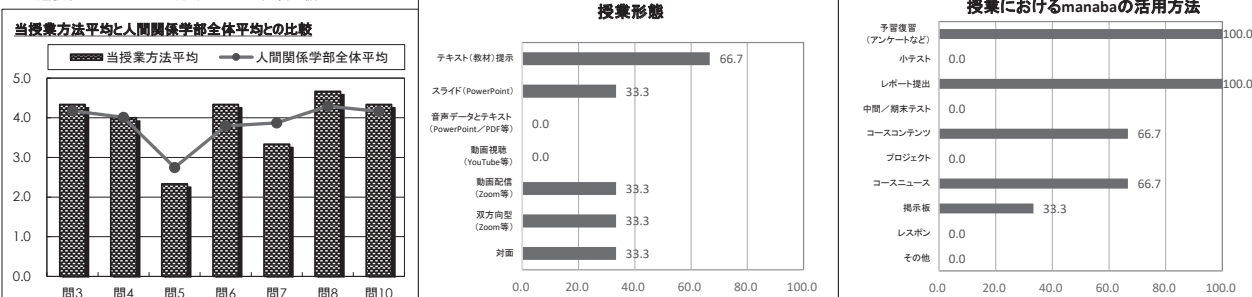
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

大妻女子大学

授業方法		実習		受講者数		8					
				回答者数		3					
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差		
			5	4	3	2	1	0			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型					
		テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)	対面			
		66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3			
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.33	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.58	※問4～8, 10の平均値	
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.00	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	区分 平均値	3.83
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.33	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.53	全体 平均値	3.81
			0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	4.33	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.58		
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.33	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	1.15		
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.67	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.58		
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ	その他
		100.0	0.0	100.0	0.0	66.7	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
10	あなたは授業に満足しましたか	4.33	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.58		

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

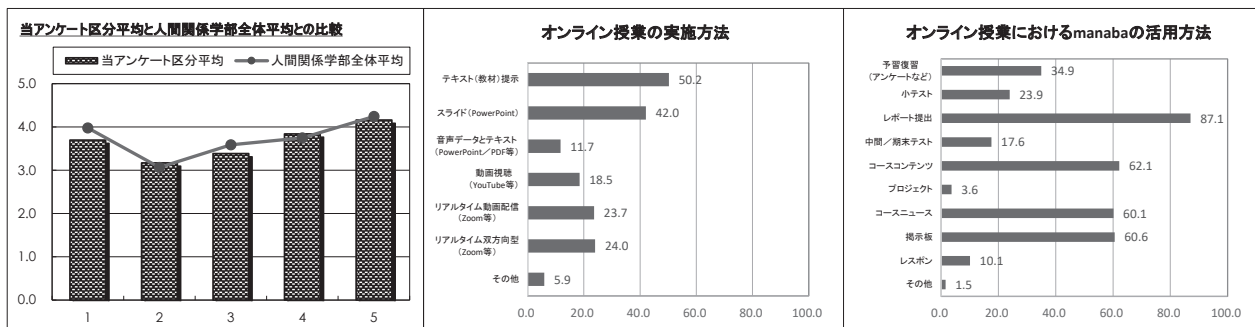


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		31人間(教養科目)					受講者数		1,863		
							回答者数		1,099		
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5	4	3	2	1	0			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.70	26.6	33.8	21.8	7.6	6.1	4.1	1.14		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.17	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.15	No1～5の 区分 平均値	3.66
			14.6	22.8	32.7	19.6	7.9	2.4			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.39	17.2	23.7	30.8	8.6	7.8	11.9	1.16		
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.84	30.0	34.2	18.6	5.4	5.3	6.6	1.11	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.16	41.5	38.9	13.0	2.7	2.5	1.5	0.93		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		50.2	42.0	11.7	18.5	23.7	24.0	5.9			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
		34.9	23.9	87.1	17.6	62.1	3.6	60.1	60.6	10.1	1.5

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



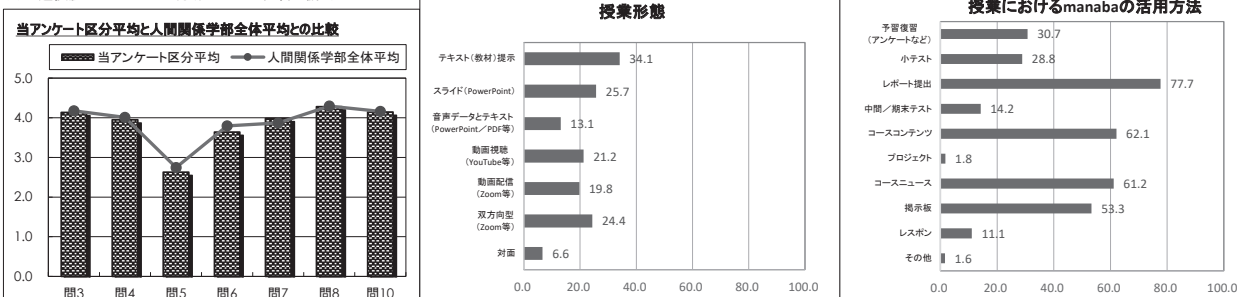
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		31人間(教養科目)					受講者数		2,121			
							回答者数		739			
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
			オンデマンド型			リアルタイム型						
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)	対面			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		34.1	25.7	13.1	21.2	19.8	24.4	6.6			
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.14	43.8	36.4	11.6	3.8	3.7	0.7	1.01	※問4～8, 10の平均値		
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.95	32.2	34.9	18.5	5.7	2.3	6.4	1.00	区分 平均値	3.78	
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.63	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.05			全体 平均値
			4.9	13.3	33.6	29.9	14.2	4.2				
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.64	18.0	26.3	18.0	7.0	4.1	26.7	1.12			
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.99	33.7	33.8	15.4	3.7	4.1	9.3	1.05			
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.28	46.1	39.4	8.5	2.3	1.8	1.9	0.86			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
			30.7	28.8	77.7	14.2	62.1	1.8	61.2	53.3	11.1	1.6
10	あなたは授業に満足しましたか	4.15	40.2	40.3	13.1	2.7	2.4	1.2	0.92			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢の「わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった」

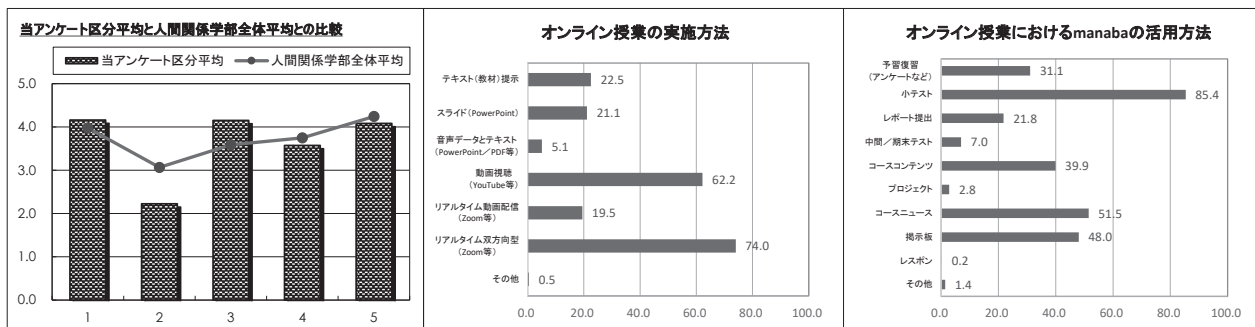


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		35人間(外国語科目)						受講者数		731	
								回答者数		431	
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.16	46.2	31.8	13.0	4.2	3.0	1.9	1.01		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	2.22	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.04	No1~5の 区分 平均値	3.63
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	4.15	3.5	7.7	23.4	37.6	26.9	0.9			
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.57	23.0	25.8	23.9	5.8	8.1	13.5	1.22	No1~5の 学部全体 平均値	3.73
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.08	36.9	39.4	16.2	3.2	2.1	2.1	0.93		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		22.5	21.1	5.1	62.2	19.5	74.0	0.5			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
		31.1	85.4	21.8	7.0	39.9	2.8	51.5	48.0	0.2	1.4

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



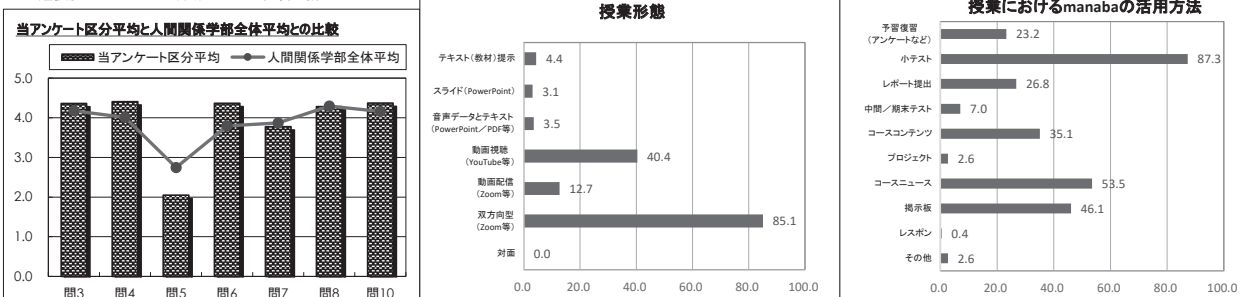
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		35人間(外国語科目)							受講者数		665	
									回答者数		228	
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型						
		テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)	対面				
		4.4	3.1	3.5	40.4	12.7	85.1	0.0				
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.36	59.6	24.6	11.0	1.8	3.1	0.0	0.96	※問4～8, 10の平均値		
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.41	57.5	30.7	6.6	2.6	1.8	0.9	0.87	区分 平均値	3.88	
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.05	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	0.92			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	4.36	51.8	35.5	6.6	0.9	2.6	2.6	0.87	全体 平均値	3.81	
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.78	28.1	24.6	19.3	3.1	7.0	18.0	1.21			
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.28	44.3	39.9	9.6	1.8	1.3	3.1	0.82			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他	
		23.2	87.3	26.8	7.0	35.1	2.6	53.5	46.1	0.4	2.6	
10	あなたは授業に満足しましたか	4.37	51.8	35.5	7.5	3.9	0.0	1.3	0.79			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢の「わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった」

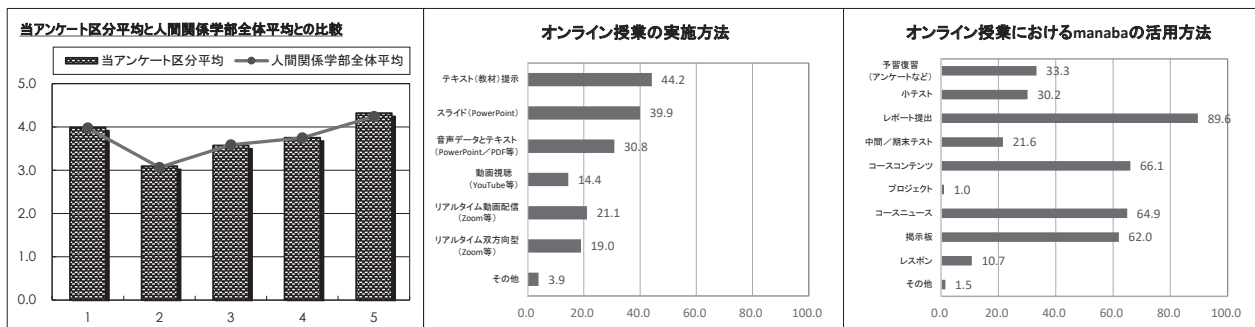


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		51人間関係学部(共通科目)						受講者数		810	
								回答者数		616	
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5	4	3	2	1	0			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.99	33.6	37.3	19.5	4.5	1.9	3.1	0.96		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.10	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.13	No1～5の 区分 平均値	3.75
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.57	16.4	34.1	26.8	7.8	4.1	10.9	1.03		
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.75	28.2	33.4	16.7	5.7	7.6	8.3	1.19	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.32	50.2	36.9	8.6	2.1	1.8	0.5	0.86		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		44.2	39.9	30.8	14.4	21.1	19.0	3.9			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
		33.3	30.2	89.6	21.6	66.1	1.0	64.9	62.0	10.7	1.5

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



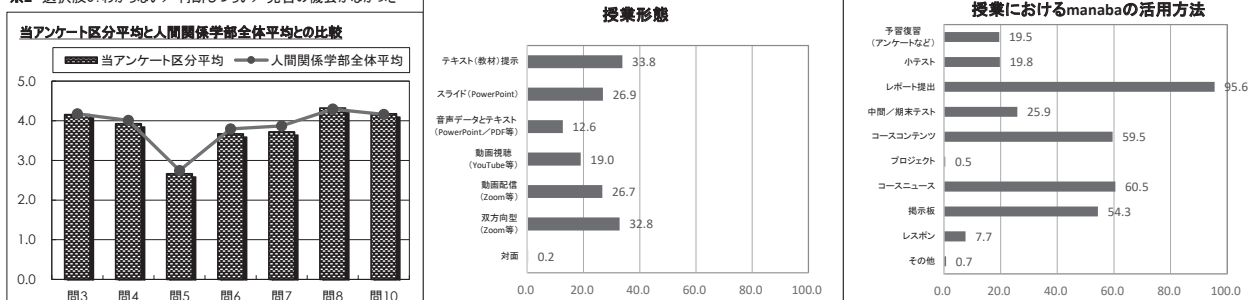
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		51人間関係学部(共通科目)						受講者数		1,009		
								回答者数		405		
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型						
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)				対面
			33.8	26.9	12.6	19.0	26.7	32.8				0.2
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.16	44.4	35.3	12.1	5.4	2.0	0.7	0.97	※問4～8, 10の平均値		
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.92	33.1	33.3	18.0	5.9	3.5	6.2	1.06	区分 平均値	3.75	
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.66	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.04			全体 平均値
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.67	16.5	26.2	24.7	5.7	1.7	25.2	0.98			
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.72	26.4	33.1	18.5	4.7	7.9	9.4	1.19			
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.32	46.7	41.7	8.1	2.2	0.7	0.5	0.78			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他	
		19.5	19.8	95.6	25.9	59.5	0.5	60.5	54.3	7.7	0.7	
10	あなたは授業に満足しましたか	4.18	42.5	37.0	14.3	3.2	1.5	1.5	0.90			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

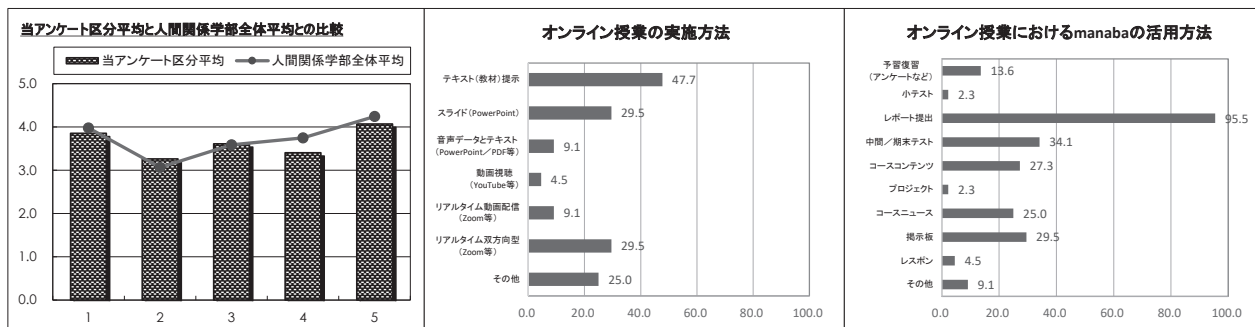


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		52人間福祉学科(学科共通科目)							受講者数	93
									回答者数	44
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差	
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい		
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.85	40.9	22.7	9.1	15.9	4.5	6.8	1.30	
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.26	3時間以上 9.1	2時間以上 25.0	1時間以上 43.2	30分以上 18.2	1時間未満 0.0	30分未満 4.5	0.89	No1~5の 区分 平均値
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.61	22.7	31.8	27.3	2.3	9.1	6.8	1.18	
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.40	15.9	36.4	20.5	15.9	6.8	4.5	1.17	
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.07	38.6	40.9	11.4	6.8	2.3	0.0	1.00	No1~5の 学部全体 平均値
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか		テキスト (教材)提示 47.7	スライド (PowerPoint) 29.5	音声データとテキスト (PowerPoint/ PDF等) 9.1	動画視聴 (YouTube等) 4.5	リアルタイム 動画配信 (Zoom等) 9.1	リアルタイム 双方向型 (Zoom等) 29.5	その他 25.0	
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか		予習復習 (アンケートなど) 13.6	小テスト 2.3	レポート提出 95.5	中間/ 期末テスト 34.1	コース コンテンツ 27.3	プロジェクト 2.3	コース ニュース 25.0	掲示板 29.5
										レスポンス 4.5
										その他 9.1

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



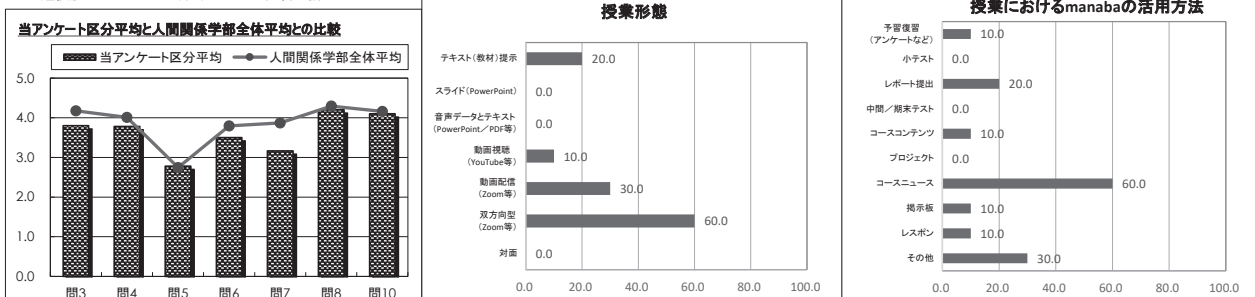
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		52人間福祉学科(学科共通科目)							受講者数	59
									回答者数	10
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差	
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型				
			テキスト (教材)提示 20.0	スライド (PowerPoint) 0.0	音声データとテキスト (PowerPoint/ PDF等) 0.0	動画視聴 (YouTube等) 10.0	動画配信 (Zoom等) 30.0	双方向型 (Zoom等) 60.0	対面 0.0	
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	3.80	30.0	40.0	20.0	0.0	10.0	0.0	1.23	※問4~8, 10の平均値
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.78	20.0	40.0	20.0	10.0	0.0	10.0	0.97	区分 平均値
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.78	3時間以上 10.0	2時間以上 10.0	1時間以上 20.0	30分以上 50.0	1時間未満 0.0	30分未満 10.0	1.09	全体 平均値
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.50	10.0	0.0	30.0	0.0	0.0	60.0	1.00	
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.17	10.0	10.0	30.0	0.0	10.0	40.0	1.33	
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.20	50.0	40.0	0.0	0.0	10.0	0.0	1.23	
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか		予習復習 (アンケートなど) 10.0	小テスト 0.0	レポート提出 20.0	中間/ 期末テスト 0.0	コース コンテンツ 10.0	プロジェクト 0.0	コース ニュース 60.0	掲示板 10.0
10	あなたは授業に満足しましたか	4.10	50.0	30.0	10.0	0.0	10.0	0.0	1.29	レスポンス 10.0
										その他 30.0

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

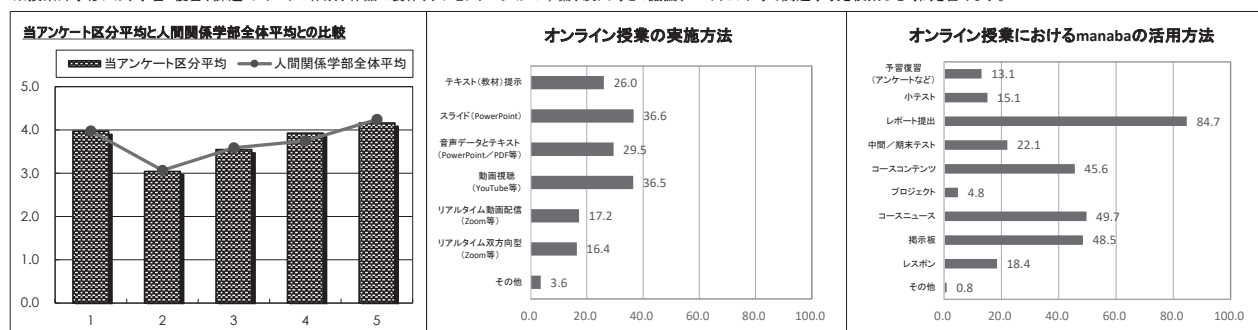


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		53人間関係学科社会学専攻(専門科目)						受講者数		1,880	
								回答者数		1,079	
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.97	33.4	38.9	16.3	5.2	3.2	3.1	1.01		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.04	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.10	No1～5の 区分 平均値	3.73
			12.2	18.0	37.9	24.0	7.2	0.6			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.54	19.6	30.5	26.3	5.2	7.9	10.6	1.15		
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.93	32.6	33.1	18.5	2.8	5.1	7.9	1.08	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.16	39.3	42.8	11.2	2.7	2.3	1.7	0.90		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		26.0	36.6	29.5	36.5	17.2	16.4	3.6			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
		13.1	15.1	84.7	22.1	45.6	4.8	49.7	48.5	18.4	0.8

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



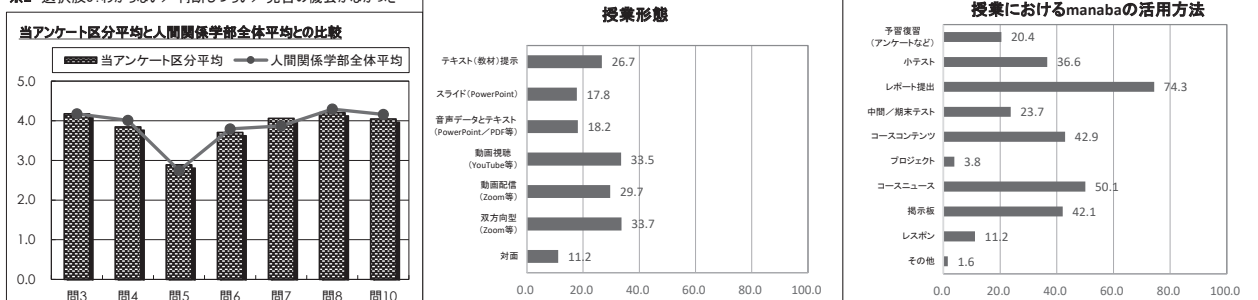
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		53人間関係学科社会学専攻(専門科目)							受講者数		1,519	
									回答者数		573	
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか	26.7	オンデマンド型			リアルタイム型			対面			
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)				
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.17	17.8	18.2	33.5	29.7	33.7	11.2	1.03	※問4～8, 10の平均値		
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.84	32.6	33.5	15.4	8.2	5.2	5.1	1.15	区分 平均値	3.79	
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.89	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.18			全体 平均値
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.71	21.5	28.3	17.8	9.6	2.6	20.2	1.09			
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	4.06	37.2	36.1	12.9	4.5	3.1	6.1	1.01			
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.21	44.7	38.9	7.2	4.7	2.6	1.9	0.96			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他	
		20.4	36.6	74.3	23.7	42.9	3.8	50.1	42.1	11.2	1.6	
10	あなたは授業に満足しましたか	4.04	40.5	37.5	10.5	5.8	4.7	1.0	1.08			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

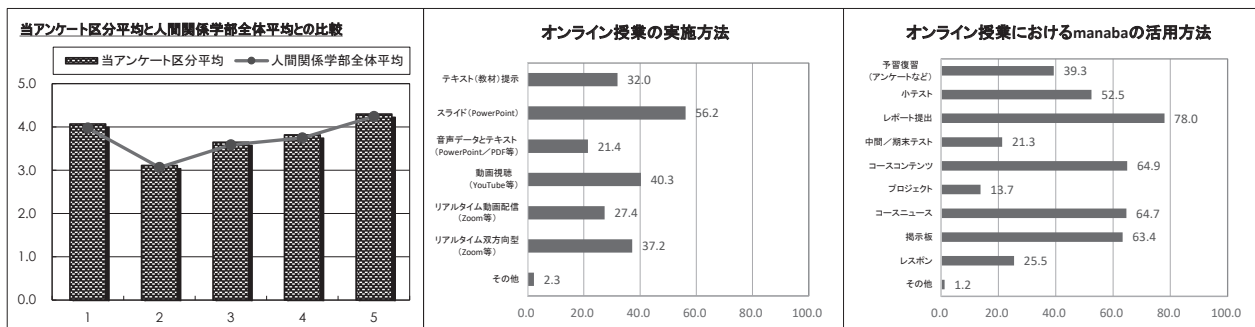


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		54人間関係学科社会・臨床心理学専攻(専門科目)						受講者数		1,506	
								回答者数		844	
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5	4	3	2	1	0			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.07	37.4	37.7	13.7	5.5	2.1	3.6	0.98		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.11	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.22	No1～5の 区分 平均値	3.79
			16.6	19.3	29.1	22.4	9.6	3.0			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.64	25.2	30.1	20.4	6.2	8.2	10.0	1.21		
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.82	29.9	35.1	19.1	5.1	6.0	4.9	1.13	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.30	47.9	37.9	9.6	2.5	1.3	0.8	0.84		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		32.0	56.2	21.4	40.3	27.4	37.2	2.3			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
		39.3	52.5	78.0	21.3	64.9	13.7	64.7	63.4	25.5	1.2

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



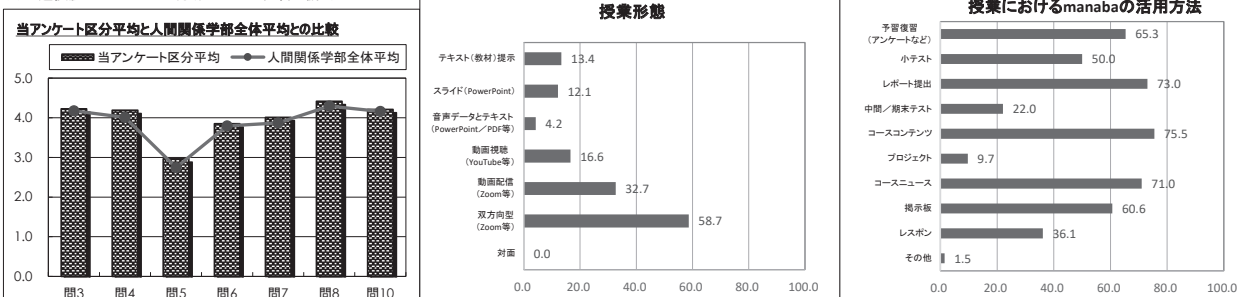
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		54人間関係学科社会・臨床心理学専攻(専門科目)						受講者数		1,336	
								回答者数		404	
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差		
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型				※問4～8, 10の平均値	
		テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)	対面			
		13.4	12.1	4.2	16.6	32.7	58.7	0.0			
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.23	49.8	33.4	10.4	2.5	4.0	0.0	1.00		
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.19	47.5	30.9	9.9	4.5	3.5	3.7	1.04	区分 平均値	3.94
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.96	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.24	全体 平均値	3.81
			14.1	17.8	31.2	22.5	13.6	0.7			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.85	26.0	31.4	19.8	4.7	3.2	14.9	1.04		
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	4.01	35.4	32.2	17.3	4.2	3.0	7.9	1.02		
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.42	57.7	30.4	6.4	3.2	1.2	1.0	0.85		
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
		65.3	50.0	73.0	22.0	75.5	9.7	71.0	60.6	36.1	1.5
10	あなたは授業に満足しましたか	4.21	49.8	33.7	7.7	4.7	4.0	0.2	1.04		

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

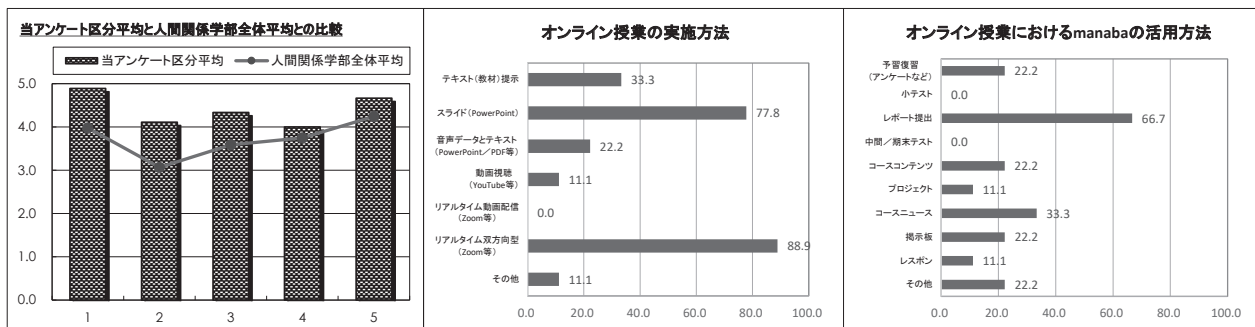


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		55人間福祉学科人間福祉学専攻(専門科目)						受講者数		18		
								回答者数		9		
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.89	88.9	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.33			
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	4.11	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	0.93	No1～5の 区分 平均値	4.40	
			44.4	22.2	33.3	0.0	0.0	0.0				
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	4.33	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.50			
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	4.00	55.6	22.2	0.0	11.1	11.1	0.0	1.50	No1～5の 学部全体 平均値	3.73	
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.67	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.50			
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか		テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
			33.3	77.8	22.2	11.1	0.0	88.9	11.1			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
			22.2	0.0	66.7	0.0	22.2	11.1	33.3	22.2	11.1	22.2

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



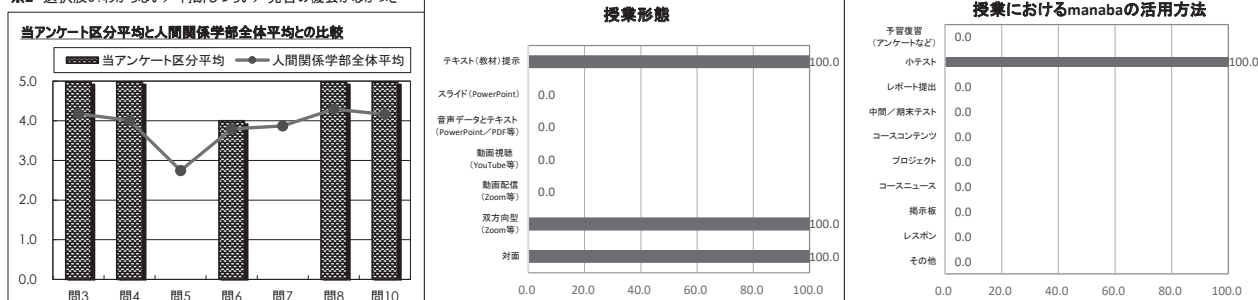
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		55人間福祉学科人間福祉学専攻(専門科目)							受講者数		12	
									回答者数		2	
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型						
		テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)	対面				
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	5.00	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	※問4～8, 10の平均値		
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	5.00	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	区分 平均値	4.75
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	－	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	－	全体 平均値		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	4.00	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.00	
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	－	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	－		
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	5.00	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00		
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他	
		0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
10	あなたは授業に満足しましたか	5.00	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった



2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

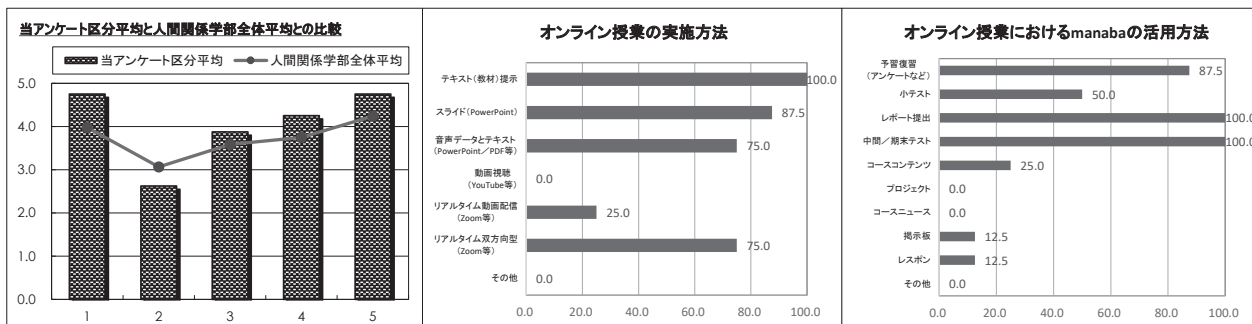
大妻女子大学

アンケート区分	56人間福祉学科介護福祉学専攻(専門科目)
---------	-----------------------

受講者数	20
回答者数	8

No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.75	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.46	1.19	No1～5の 区分 平均値	4.05
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	2.63	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない				
			0.0	25.0	37.5	12.5	25.0	0.0				
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.88	12.5	62.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.64			
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	4.25	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.46			
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.75	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.46			
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他				
		100.0	87.5	75.0	0.0	25.0	75.0	0.0				
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他	
		87.5	50.0	100.0	100.0	25.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

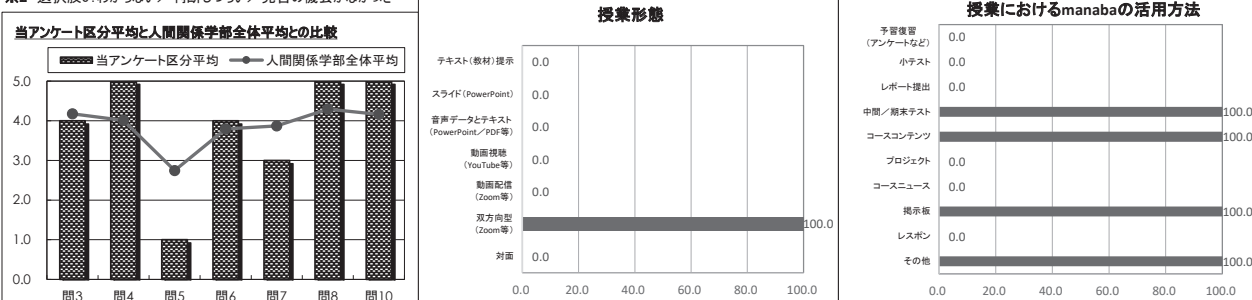
アンケート区分	56人間福祉学科介護福祉学専攻(専門科目)
---------	-----------------------

受講者数	11
回答者数	1

問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか	オンデマンド型	リアルタイム型			対面						
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)						動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	※問4～8, 10の平均値	
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	5.00	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	区分 平均値	3.83
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	1.00	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	－		全体 平均値	3.81
			0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0				
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	4.00	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－		
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.00	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－		
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	5.00	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－		
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他	
		0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	
10	あなたは授業に満足しましたか	5.00	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

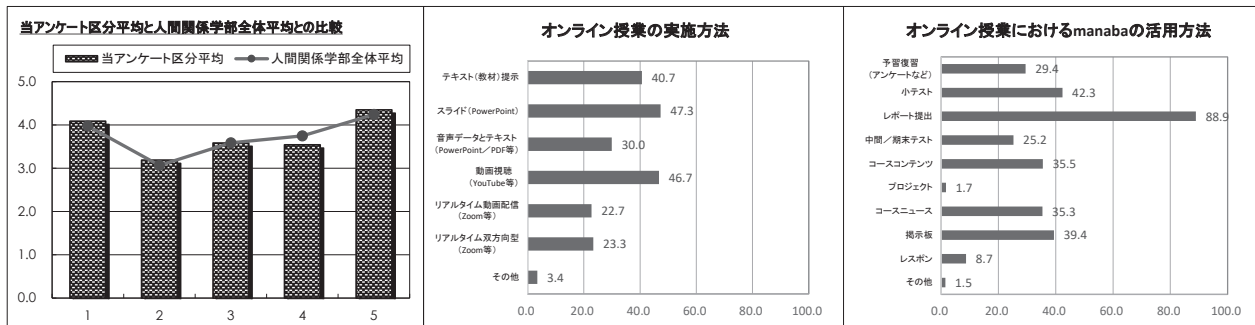


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		57人間福祉学科(専門科目)							受講者数	2,437
									回答者数	1,372
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差	
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい		
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.09	39.9	34.7	13.1	5.0	2.8	4.4	1.01	
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.19	3時間以上 12.3	2時間以上 23.2	1時間以上 39.0	30分以上 18.8	1時間未満 5.2	30分未満 1.5	1.05	No1~5の 区分 平均値
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.58	21.9	28.8	24.9	9.0	5.6	9.8	1.14	
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.54	21.1	32.9	21.1	8.8	8.2	7.9	1.20	
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.35	49.6	39.9	6.2	2.3	1.4	0.7	0.81	No1~5の 学部全体 平均値
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか		テキスト (教材)提示 40.7	スライド (PowerPoint) 47.3	音声データとテキスト (PowerPoint/PDF等) 30.0	動画視聴 (YouTube等) 46.7	リアルタイム 動画配信 (Zoom等) 22.7	リアルタイム 双方向型 (Zoom等) 23.3	その他 3.4	
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか		予習復習 (アンケートなど) 29.4	小テスト 42.3	レポート提出 88.9	中間/ 期末テスト 25.2	コース コンテンツ 35.5	プロジェクト 1.7	コース ニュース 35.3	掲示板 39.4
										レスポンス 8.7
										その他 1.5

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



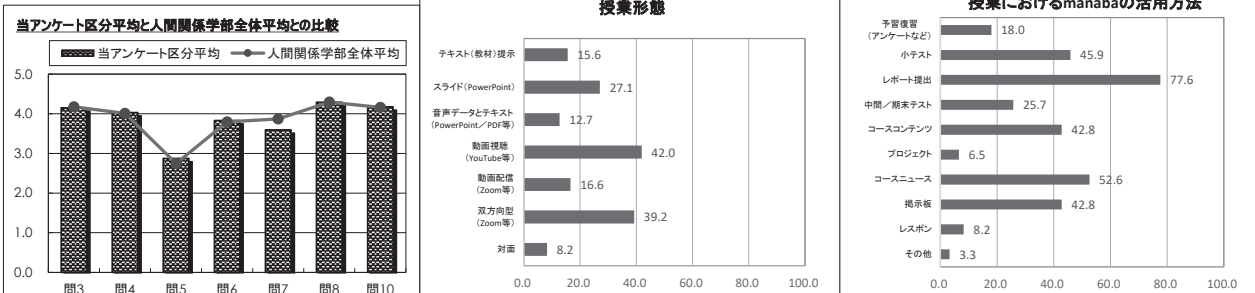
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		57人間福祉学科(専門科目)							受講者数	2,027
									回答者数	584
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差	
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型				
			テキスト (教材)提示 15.6	スライド (PowerPoint) 27.1	音声データとテキスト (PowerPoint/PDF等) 12.7	動画視聴 (YouTube等) 42.0	動画配信 (Zoom等) 16.6	双方向型 (Zoom等) 39.2	対面 8.2	
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.15	44.2	37.0	10.4	3.6	3.9	0.9	1.02	※問4~8, 10の平均値
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.03	36.8	32.5	17.0	5.5	2.1	6.2	1.00	区分 平均値
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.87	3時間以上 6.2	2時間以上 19.7	1時間以上 36.8	30分以上 22.4	1時間未満 11.0	30分未満 3.9	1.07	3.81
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.83	25.9	27.2	19.9	5.5	2.9	18.7	1.06	全体 平均値
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.59	24.1	24.0	21.1	4.3	9.4	17.1	1.27	
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.29	45.9	39.4	9.2	3.3	0.5	1.7	0.81	
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか		予習復習 (アンケートなど) 18.0	小テスト 45.9	レポート提出 77.6	中間/ 期末テスト 25.7	コース コンテンツ 42.8	プロジェクト 6.5	コース ニュース 52.6	掲示板 42.8
										レスポンス 8.2
										その他 3.3
10	あなたは授業に満足しましたか	4.18	41.3	40.6	10.4	2.9	2.6	2.2	0.92	

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

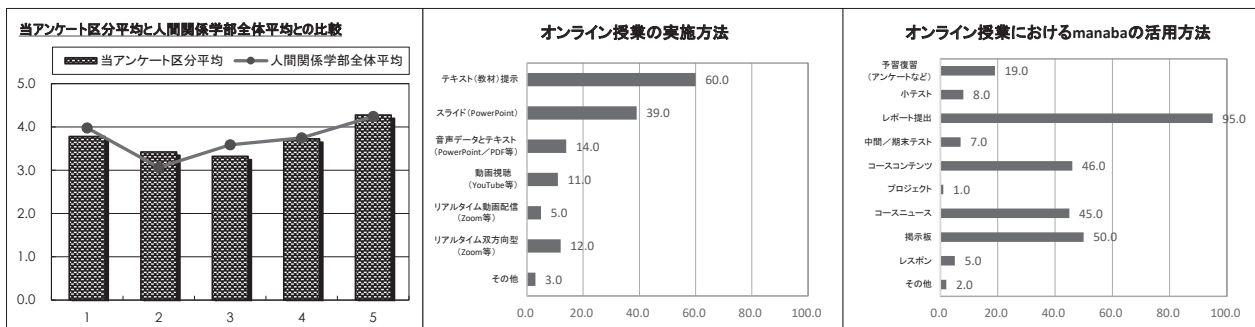


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		92諸課程科目(多摩)						受講者数		148	
								回答者数		100	
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5	4	3	2	1	0			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.78	27.0	39.0	19.0	4.0	7.0	4.0	1.13		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.42	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.13	No1～5の 区分 平均値	3.71
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.32	22.0	23.0	33.0	17.0	4.0	1.0	1.32		
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.73	26.0	38.0	18.0	5.0	8.0	5.0	1.17	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.27	40.0	49.0	7.0	3.0	0.0	1.0	0.73		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		60.0	39.0	14.0	11.0	5.0	12.0	3.0			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
		19.0	8.0	95.0	7.0	46.0	1.0	45.0	50.0	5.0	2.0

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



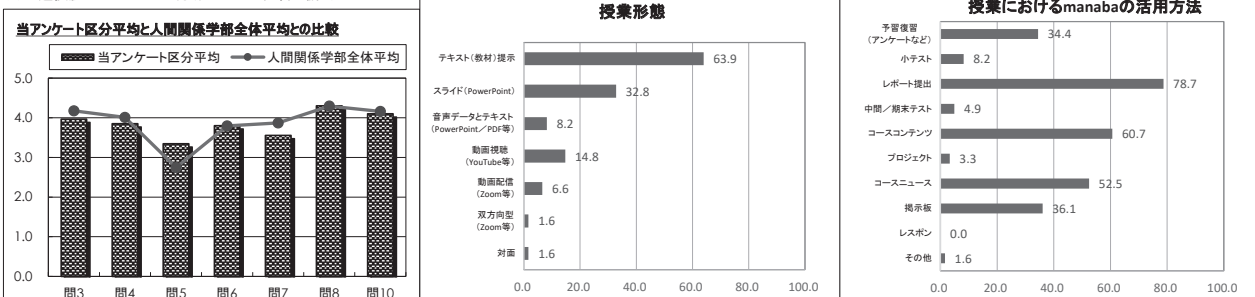
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		92諸課程科目(多摩)							受講者数		180	
									回答者数		61	
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型						
		テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)	対面				
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	63.9	32.8	8.2	14.8	6.6	1.6	1.6				
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.97	31.1	45.9	14.8	4.9	3.3	0.0	0.98	※問4～8, 10の平均値		
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	3.85	24.6	49.2	14.8	4.9	4.9	1.6	1.02	区分 平均値	3.83	
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.34	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.05			全体 平均値
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	13.1	27.9	39.3	8.2	6.6	4.9					
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	3.80	27.9	27.9	26.2	4.9	3.3	9.8	1.06			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	3.56	14.8	41.0	16.4	11.5	4.9	11.5	1.09			
10	あなたは授業に満足しましたか	4.30	42.6	47.5	3.3	4.9	0.0	1.6	0.77			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他	
		34.4	8.2	78.7	4.9	60.7	3.3	52.5	36.1	0.0	1.6	
10	あなたは授業に満足しましたか	4.10	37.7	42.6	11.5	3.3	3.3	1.6	0.97			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢の「わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった」

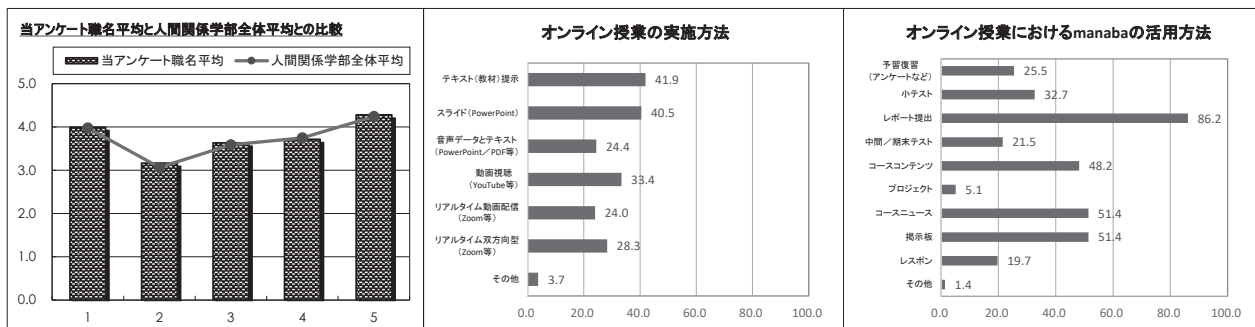


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート職名別)

大妻女子大学

アンケート職名		1.専任						受講者数		4,199	
								回答者数		2,489	
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.00	34.9	37.4	16.1	5.6	2.7	3.4	1.00		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.17	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.09	No1～5の 区分 平均値	3.76
			13.4	21.9	36.7	20.4	5.9	1.7			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.63	22.3	31.1	24.4	6.9	5.7	9.5	1.12	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.71	26.1	33.4	19.6	5.9	7.0	8.1	1.16		
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.28	45.4	41.1	9.0	2.3	1.3	0.9	0.83		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		41.9	40.5	24.4	33.4	24.0	28.3	3.7			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
		25.5	32.7	86.2	21.5	48.2	5.1	51.4	51.4	19.7	1.4

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



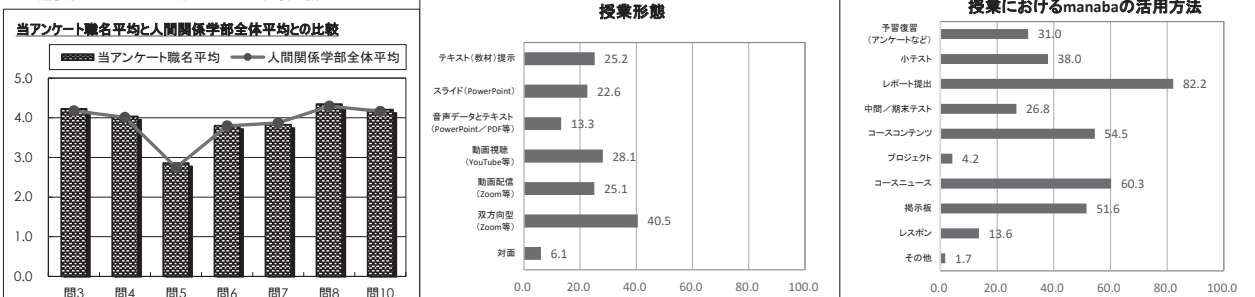
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート職名別)

大妻女子大学

アンケート職名		1.専任							受講者数		4,457			
									回答者数		1,515			
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差					
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい						
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型			対面					
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)						
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.23	25.2	22.6	13.3	28.1	25.1	40.5	6.1	※問4～8、10の平均値	区分 平均値	3.85		
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.03	38.2	34.1	14.4	5.9	2.9	4.4	1.04					
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.86	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.12				全体 平均値	3.81
			8.3	17.9	35.2	23.6	12.3	2.6						
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.80	22.8	29.3	19.8	5.7	2.6	19.7	1.03					
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.82	29.0	32.3	17.0	4.8	6.1	10.8	1.15					
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.34	49.1	39.0	7.2	2.7	0.9	1.1	0.80					
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他			
		31.0	38.0	82.2	26.8	54.5	4.2	60.3	51.6	13.6	1.7			
10	あなたは授業に満足しましたか	4.20	44.2	38.3	10.6	3.1	2.4	1.4	0.93					

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢の「わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった」

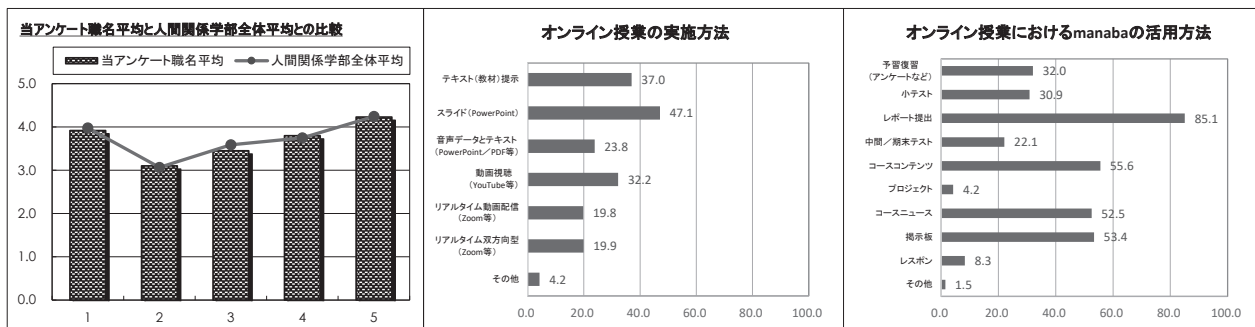


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート職名別)

大妻女子大学

アンケート職名		3.兼任						受講者数		4,684	
								回答者数		2,748	
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5	4	3	2	1	0			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.92	34.0	34.6	17.0	6.0	4.3	4.1	1.08		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.10	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.15	No1～5の 区分 平均値	3.70
			13.7	20.7	34.0	21.2	8.5	1.9			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.45	18.2	27.3	27.0	7.9	8.1	11.6	1.18		
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.80	29.3	34.1	18.7	5.7	6.0	6.2	1.14	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.23	45.0	38.5	10.2	2.8	2.3	1.2	0.91		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		37.0	47.1	23.8	32.2	19.8	19.9	4.2			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
		32.0	30.9	85.1	22.1	55.6	4.2	52.5	53.4	8.3	1.5

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



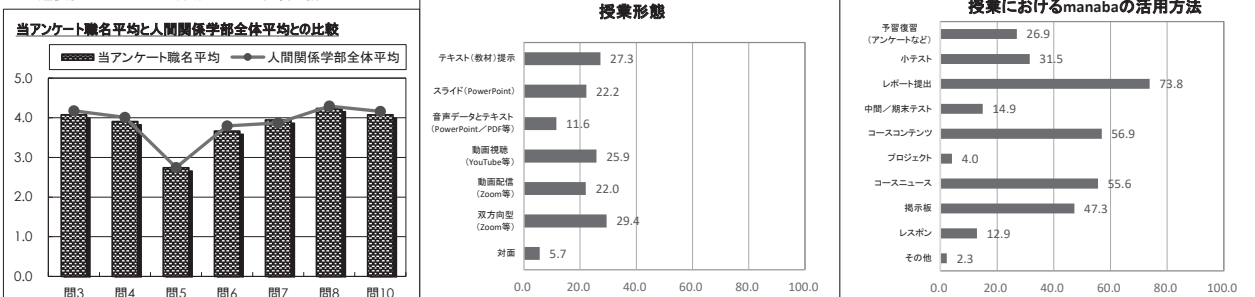
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート職名別)

大妻女子大学

アンケート職名		3.兼任							受講者数		3,882	
									回答者数		1,288	
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型			対面			
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)				
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.08	27.3	22.2	11.6	25.9	22.0	29.4	5.7	※問4～8, 10の平均値		
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.91	32.4	33.2	17.9	6.1	3.7	6.8	1.07	区分 平均値	3.76	
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.74	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.11			全体 平均値
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.67	7.3	14.4	34.8	25.9	14.1	3.6	1.11			
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.95	33.6	31.3	16.8	3.9	4.6	9.8	1.09			
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.24	45.4	38.3	8.5	3.7	2.1	1.9	0.92			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他	
		26.9	31.5	73.8	14.9	56.9	4.0	55.6	47.3	12.9	2.3	
10	あなたは授業に満足しましたか	4.07	40.0	38.4	12.0	4.7	3.8	1.2	1.03			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢の「わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった」

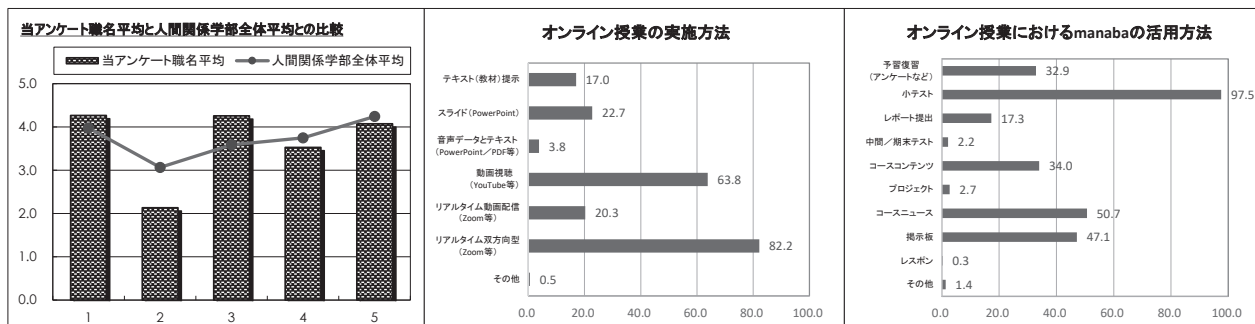


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート職名別)

大妻女子大学

アンケート職名		4.TEP							受講者数		623	
									回答者数		365	
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.27	48.8	33.4	12.1	1.9	2.2	1.6	0.91			
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	2.13	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.04	No1～5の 区分 平均値	3.65	
			3.8	6.0	20.3	38.9	30.4	0.5				
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	4.26	47.9	35.9	9.6	3.6	1.9	1.1	0.91			
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.53	22.2	25.2	23.6	5.8	9.3	14.0	1.25	No1～5の 学部全体 平均値	3.73	
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.07	36.4	39.5	16.7	3.0	2.2	2.2	0.93			
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他				
		17.0	22.7	3.8	63.8	20.3	82.2	0.5				
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ ン	その他	
		32.9	97.5	17.3	2.2	34.0	2.7	50.7	47.1	0.3	1.4	

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



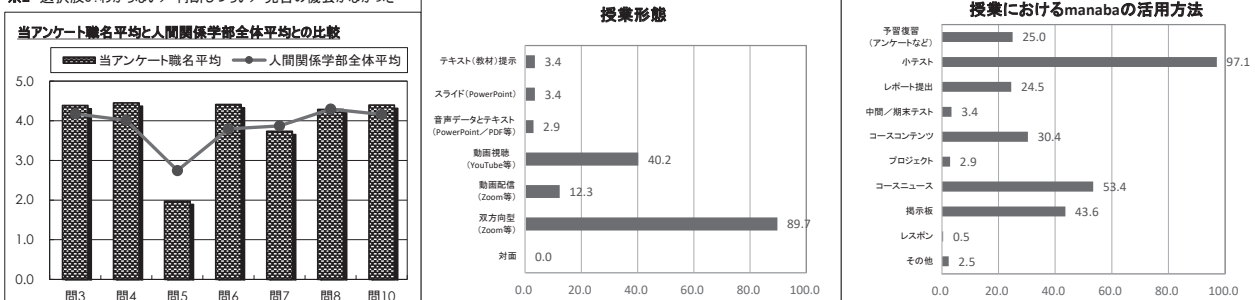
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート職名別)

大妻女子大学

アンケート職名		4.TEP							受講者数		600	
									回答者数		204	
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
			オンデマンド型			リアルタイム型						
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)	対面			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		3.4	3.4	2.9	40.2	12.3	89.7	0.0			
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.39	61.3	23.0	11.8	1.0	2.9	0.0	0.94	※問4～8, 10の平均値		
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.45	59.3	29.4	6.9	2.5	1.0	1.0	0.81	区分 平均値	3.88	
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	1.98	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	0.91		全体 平均値	3.81
			1.5	2.9	21.6	37.7	34.3	2.0				
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	4.41	54.9	35.3	5.9	0.5	2.5	1.0	0.83			
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.73	26.5	24.5	19.6	2.5	7.8	19.1	1.23			
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.28	45.6	37.3	10.8	1.5	1.5	3.4	0.84			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ ン	その他	
		25.0	97.1	24.5	3.4	30.4	2.9	53.4	43.6	0.5	2.5	
10	あなたは授業に満足しましたか	4.40	52.9	34.8	7.8	2.9	0.0	1.5	0.76			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢0: わからない／判断しづらい／発言の機会がなかった

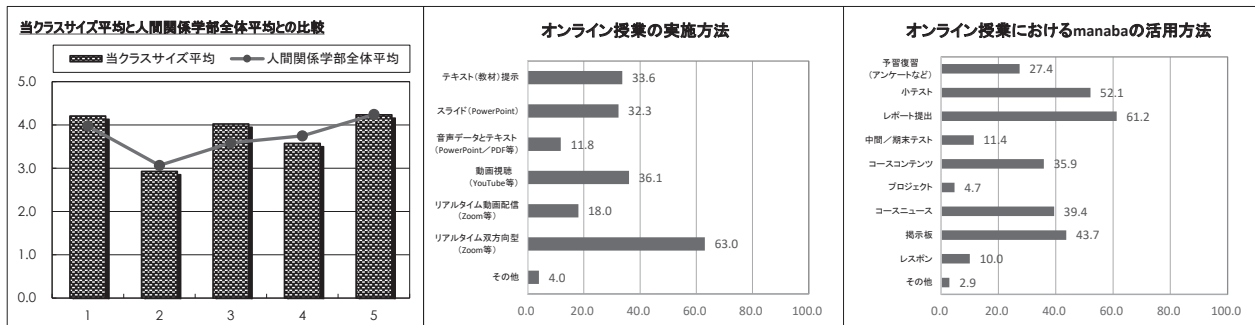


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(クラスサイズ別)

大妻女子大学

クラスサイズ		1～15名							受講者数		850	
									回答者数		449	
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.20	48.1	32.3	10.2	4.2	3.1	2.0	1.01			
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	2.93	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.31	No1～5の 区分 平均値	3.79	
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	4.02	16.3	16.3	26.3	23.2	16.5	1.6	1.05			
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.57	23.4	29.2	21.2	6.9	8.9	10.5	1.23	No1～5の 学部全体 平均値	3.73	
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.23	43.0	41.0	10.9	2.9	1.1	1.1	0.84			
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他				
		33.6	32.3	11.8	36.1	18.0	63.0	4.0				
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他	
		27.4	52.1	61.2	11.4	35.9	4.7	39.4	43.7	10.0	2.9	

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



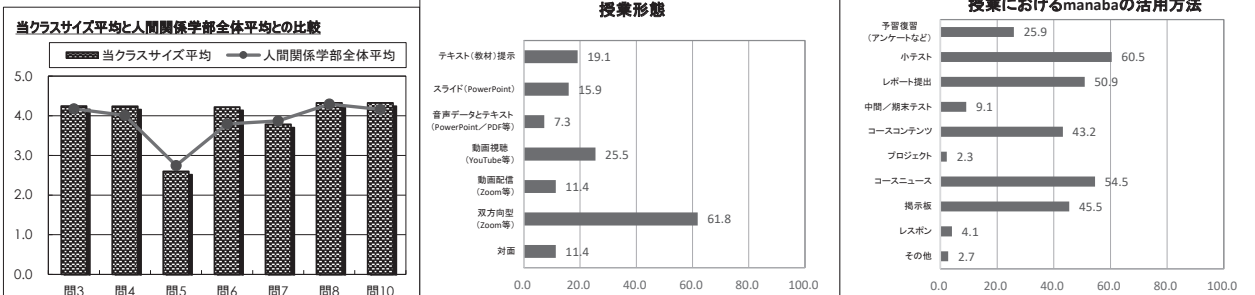
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(クラスサイズ別)

大妻女子大学

クラスサイズ		1～15名							受講者数		721	
									回答者数		220	
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型				※問4～8、10の平均値		
		テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)	対面				
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.25	19.1	15.9	7.3	25.5	11.4	61.8	11.4			
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.24	45.9	33.6	15.0	2.3	0.9	2.3	0.86	区分 平均値	3.92	
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.60	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.21			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	4.22	6.8	16.4	25.5	25.5	21.4	4.5	0.89	全体 平均値	3.81	
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.79	23.6	32.3	17.3	4.5	5.0	17.3	1.10			
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.33	48.6	37.7	6.4	3.2	1.4	2.7	0.85			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他	
		25.9	60.5	50.9	9.1	43.2	2.3	54.5	45.5	4.1	2.7	
10	あなたは授業に満足しましたか	4.33	49.5	36.8	9.1	2.7	0.9	0.9	0.83			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢の「わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった」



2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(クラスサイズ別)

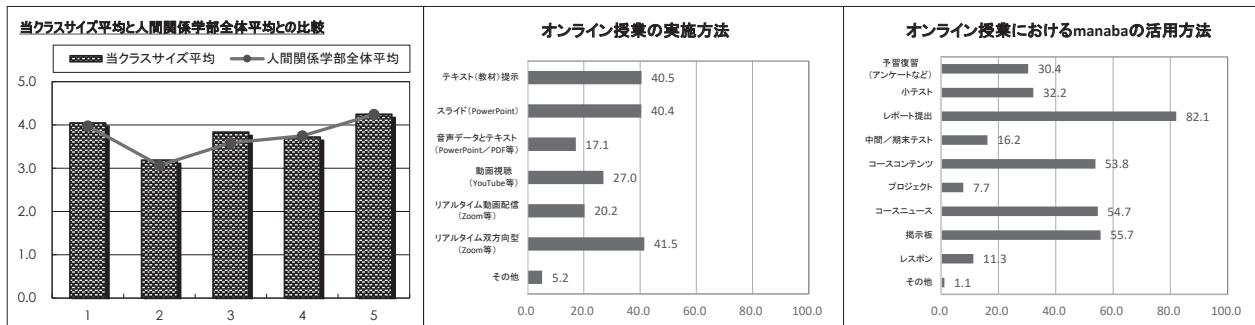
大妻女子大学

クラスサイズ	16～49名
--------	--------

受講者数	2,848
回答者数	1,705

No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5	4	3	2	1	0			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.05	39.1	34.7	14.3	5.7	2.9	3.2	1.03		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.19	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.15	No1～5の 区分 平均値	3.81
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.83	16.0	21.2	33.7	20.2	7.3	1.7	1.12		
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.72	26.8	31.1	21.5	5.8	6.5	8.4	1.16	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.25	44.5	39.9	11.2	2.0	1.5	0.9	0.85		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		40.5	40.4	17.1	27.0	20.2	41.5	5.2			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
		30.4	32.2	82.1	16.2	53.8	7.7	54.7	55.7	11.3	1.1

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(クラスサイズ別)

大妻女子大学

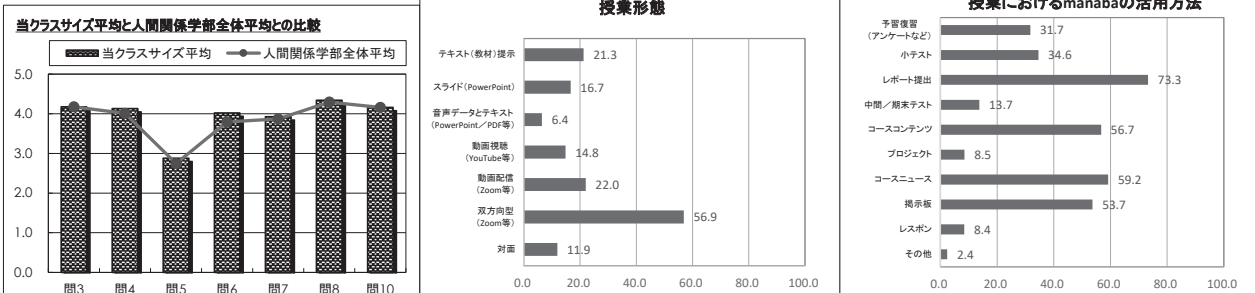
クラスサイズ	16～49名
--------	--------

受講者数	2,725
回答者数	917

問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型						
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)				対面
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.18	21.3	16.7	6.4	14.8	22.0	56.9	11.9	1.03	※問4～8、10の平均値	
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.13		41.4	35.2	11.9	5.5	2.1	3.9	0.98	区分 平均値	3.91
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.88		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.22		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	4.02		12.6	15.3	31.8	23.3	14.5	2.4	1.00		
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.92		32.4	30.0	17.2	3.7	4.8	11.9	1.10		
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.34		49.0	38.3	7.3	2.0	1.4	2.1	0.82		
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
		31.7	34.6	73.3	13.7	56.7	8.5	59.2	53.7	8.4	2.4	
10	あなたは授業に満足しましたか	4.16		43.2	38.4	10.1	3.9	3.2	1.2	0.98		

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

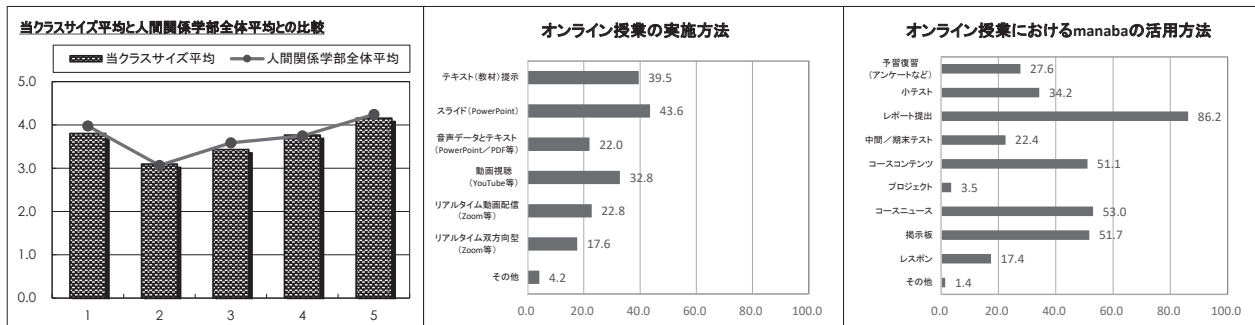


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(クラスサイズ別)

大妻女子大学

クラスサイズ		50～100名							受講者数		3,762	
									回答者数		2,156	
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.80	28.4	36.9	18.6	7.2	4.7	4.2	1.09			
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.10	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.12	No1～5の 区分 平均値	3.65	
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.43	12.4	22.0	34.0	22.0	7.7	1.9				
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.77	17.0	27.5	27.8	7.7	7.9	12.1	1.16	No1～5の 学部全体 平均値	3.73	
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.16	41.2	40.6	10.4	3.6	2.7	1.4	0.95			
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他				
		39.5	43.6	22.0	32.8	22.8	17.6	4.2				
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他	
		27.6	34.2	86.2	22.4	51.1	3.5	53.0	51.7	17.4	1.4	

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



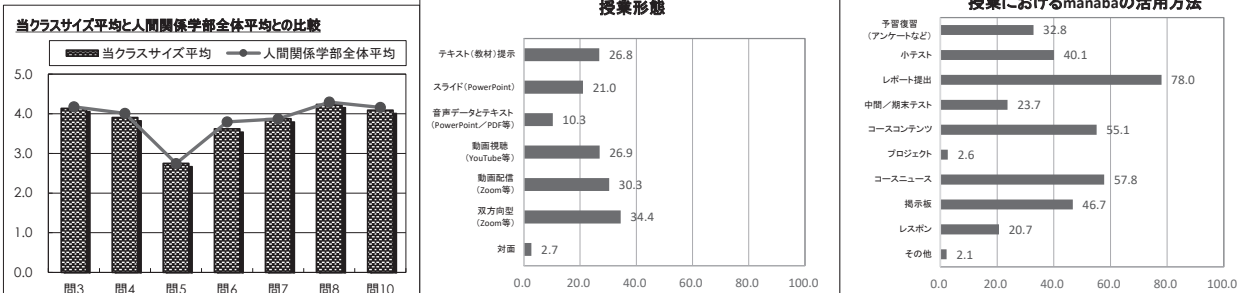
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(クラスサイズ別)

大妻女子大学

クラスサイズ		50～100名							受講者数		3,394	
									回答者数		1,118	
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型						
		テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)	対面				
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.13	26.8	21.0	10.3	26.9	30.3	34.4	2.7	※問4～8、10の平均値		
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.91	34.9	32.1	15.4	7.5	4.5	5.6	1.13			
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.75	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.07	区分 平均値	3.75	
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.62	6.7	14.0	37.1	26.5	12.7	3.0	1.09	全体 平均値	3.81	
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.87	30.6	33.6	16.8	4.3	5.5	9.1	1.12			
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.23	45.3	38.6	8.1	4.6	1.7	1.8	0.91			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他	
		32.8	40.1	78.0	23.7	55.1	2.6	57.8	46.7	20.7	2.1	
10	あなたは授業に満足しましたか	4.09	40.6	38.0	11.5	4.6	3.8	1.5	1.03			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

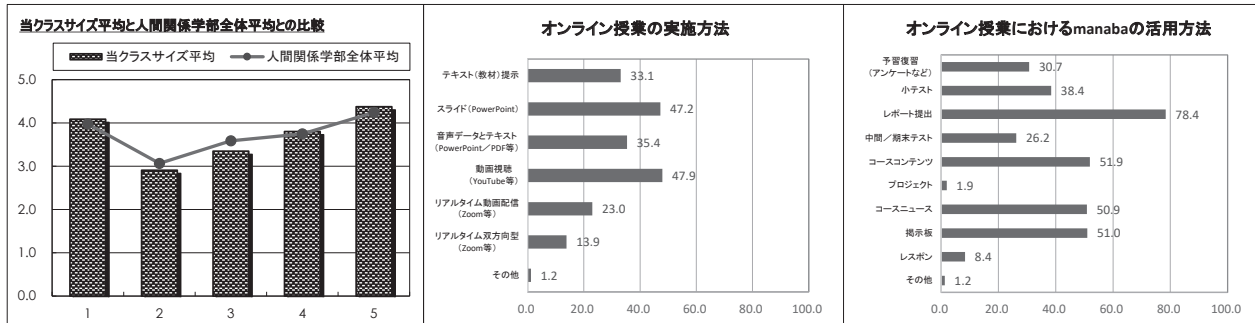


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(クラスサイズ別)

大妻女子大学

クラスサイズ		101名以上							受講者数		2,046	
									回答者数		1,292	
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.09	37.5	36.5	17.1	2.9	2.0	3.9	0.93			
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	2.91	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.08			
			8.5	17.6	38.4	24.1	9.8	1.6		No1～5の 区分 平均値	3.71	
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.35	13.5	28.0	30.5	8.7	7.7	11.5	1.12			
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.80	29.4	35.1	18.5	5.2	6.4	5.4	1.14			
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.38	51.2	37.5	7.7	1.6	1.0	1.0	0.78	No1～5の 学部全体 平均値	3.73	
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他				
		33.1	47.2	35.4	47.9	23.0	13.9	1.2				
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他	
		30.7	38.4	78.4	26.2	51.9	1.9	50.9	51.0	8.4	1.2	

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



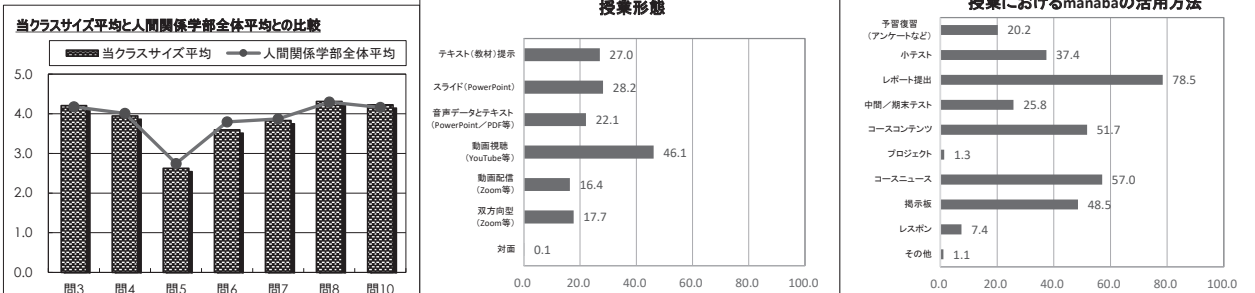
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(クラスサイズ別)

大妻女子大学

クラスサイズ		101名以上							受講者数		2,099		
									回答者数		752		
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差				
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい					
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型			対面				
		テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)						
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.21	27.0	28.2	22.1	46.1	16.4	17.7	0.1				
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.94	32.7	33.0	19.8	4.5	3.1	6.9	1.03	区分 平均値	3.76		
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.62	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.02			全体 平均値	3.81
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.59	2.1	17.3	35.0	26.9	15.6	3.2					
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.83	31.4	29.4	17.3	4.8	6.6	10.5	1.18				
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.31	47.9	39.1	9.3	2.1	1.1	0.5	0.81				
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他		
		20.2	37.4	78.5	25.8	51.7	1.3	57.0	48.5	7.4	1.1		
10	あなたは授業に満足しましたか	4.22	44.3	38.3	12.0	2.7	1.6	1.2	0.88				

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢の「わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった」

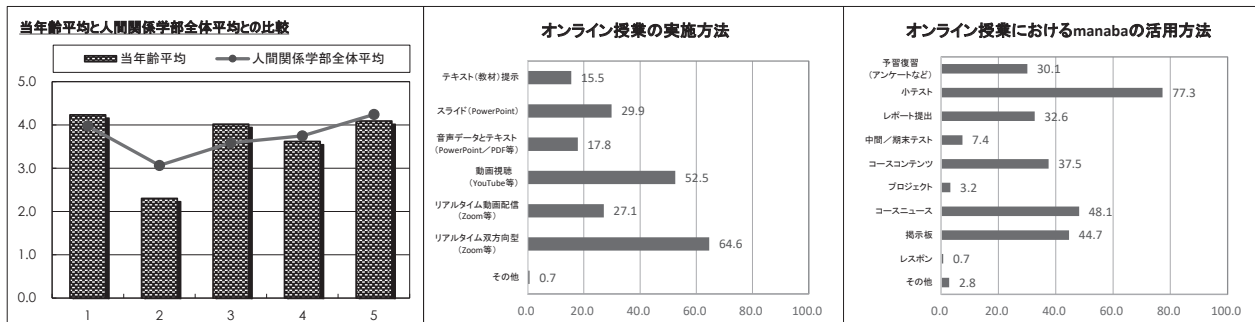


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

年齢		35歳以下						受講者数		765	
								回答者数		432	
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5	4	3	2	1	0			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.23	44.2	36.3	12.5	2.1	1.6	3.2	0.88		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	2.30	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.12	No1～5の 区分 平均値	
			6.0	7.2	24.3	35.6	26.4	0.5			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	4.02	38.2	34.3	16.2	3.9	4.2	3.2	1.06	No1～5の 学部全体 平均値	
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.62	23.8	27.8	22.0	4.9	8.3	13.2	1.22		
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.09	36.6	40.5	16.7	2.3	2.1	1.9	0.91		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		15.5	29.9	17.8	52.5	27.1	64.6	0.7			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ	その他
		30.1	77.3	32.6	7.4	37.5	3.2	48.1	44.7	0.7	2.8

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



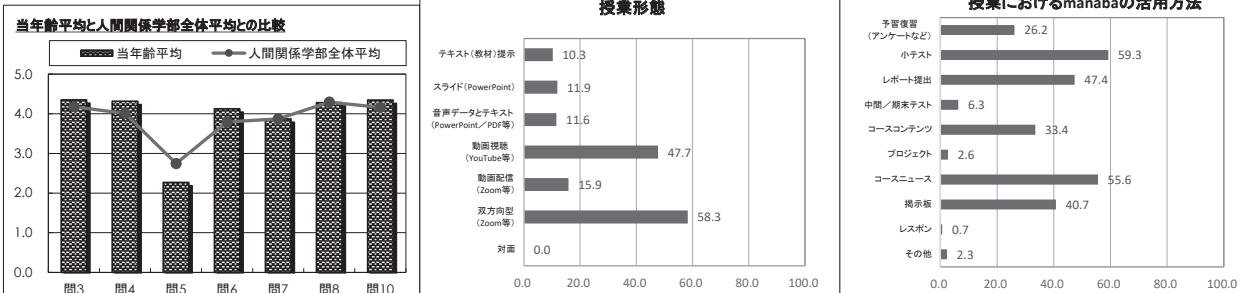
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

年齢		35歳以下							受講者数		896	
									回答者数		302	
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型						
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)				対面
			10.3	11.9	11.6	47.7	15.9	58.3	0.0			
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.35	56.3	27.2	12.6	1.0	2.3	0.7	0.91	※問4～8、10の平均値		
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.32	49.0	34.4	11.3	2.0	1.0	2.3	0.83	区分 平均値	3.87	
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.27	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.02			全体 平均値
			3.0	7.6	26.2	35.8	24.5	3.0				
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	4.12	40.1	30.5	13.9	4.0	2.3	9.3	0.99			
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.87	31.5	26.2	18.9	3.3	5.6	14.6	1.15			
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.28	46.4	38.1	10.3	2.3	1.3	1.7	0.85			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ	その他	
		26.2	59.3	47.4	6.3	33.4	2.6	55.6	40.7	0.7	2.3	
10	あなたは授業に満足しましたか	4.34	50.0	35.1	11.9	2.0	0.0	1.0	0.77			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢の「わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった」

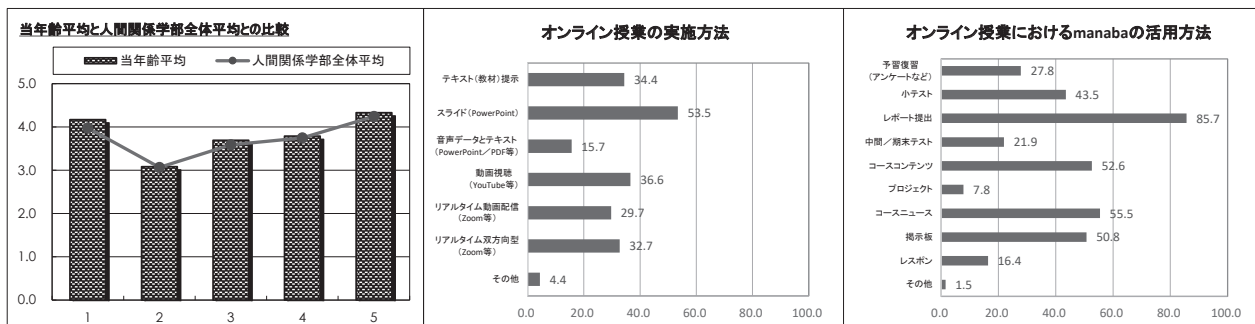


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

年齢		36～40歳						受講者数		1,105	
								回答者数		593	
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.17	44.7	33.6	12.5	4.9	2.0	2.4	0.97		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.08	3時間以上 15.3	2時間以上 3時間未満 18.9	1時間以上 2時間未満 31.5	30分以上 1時間未満 23.8	30分未満 8.9	していない 1.5	1.19	No1～5の 区分 平均値	3.81
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.69	25.5	30.4	22.8	5.6	6.4	9.4	1.15		
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.79	30.0	33.1	19.7	4.2	7.3	5.7	1.16	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.33	47.6	39.8	7.8	1.5	1.5	1.9	0.81		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		34.4	53.5	15.7	36.6	29.7	32.7	4.4			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
		27.8	43.5	85.7	21.9	52.6	7.8	55.5	50.8	16.4	1.5

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



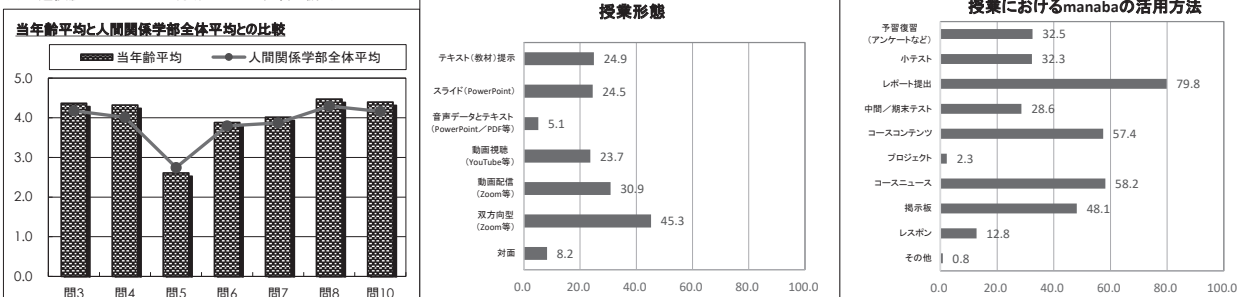
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

年齢		36～40歳							受講者数		1,383	
									回答者数		486	
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型						
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)				対面
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.37	24.9	24.5	5.1	23.7	30.9	45.3	8.2	※問4～8、10の平均値		
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.32	49.6	31.3	11.1	2.7	0.8	4.5	0.85			
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.61	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.11	区分 平均値	3.95	
			4.9	14.2	35.4	23.7	19.1	2.7		全体 平均値	3.81	
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.88	27.0	28.4	19.1	6.0	1.9	17.7	1.02			
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	4.01	34.4	34.2	14.8	3.9	3.5	9.3	1.03			
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.47	55.8	35.4	6.0	0.8	0.6	1.4	0.70			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他	
		32.5	32.3	79.8	28.6	57.4	2.3	58.2	48.1	12.8	0.8	
10	あなたは授業に満足しましたか	4.40	53.3	35.2	8.0	2.1	0.6	0.8	0.78			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢の「わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった」



2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

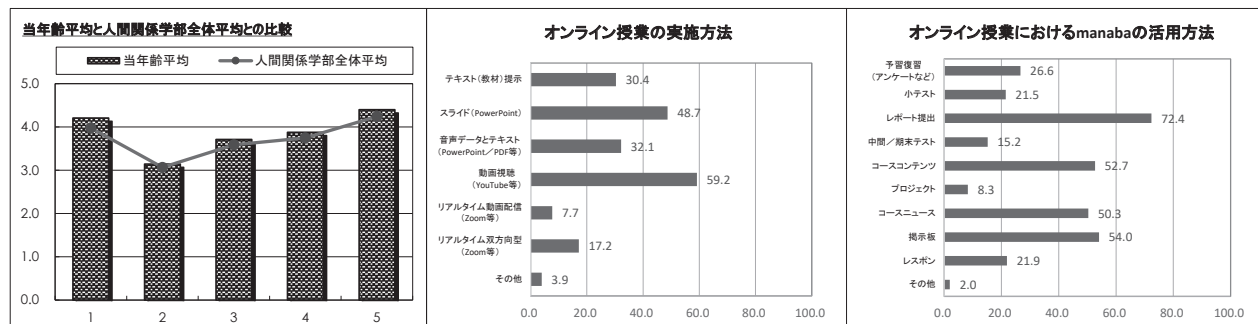
大妻女子大学

年齢	41～45歳
----	--------

受講者数	919
回答者数	507

No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差		
			5	4	3	2	1	0			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.20	44.0	34.3	14.0	2.8	1.6	3.4	0.91		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.14	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.09	No1～5の 区分 平均値	3.87
			13.6	20.7	35.7	23.3	5.3	1.4			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.71	25.0	29.2	26.4	4.9	4.9	9.5	1.09		
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.87	31.6	34.1	19.3	4.3	5.1	5.5	1.09	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.40	52.7	36.9	7.5	1.4	1.0	0.6	0.77		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		30.4	48.7	32.1	59.2	7.7	17.2	3.9			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
		26.6	21.5	72.4	15.2	52.7	8.3	50.3	54.0	21.9	2.0

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

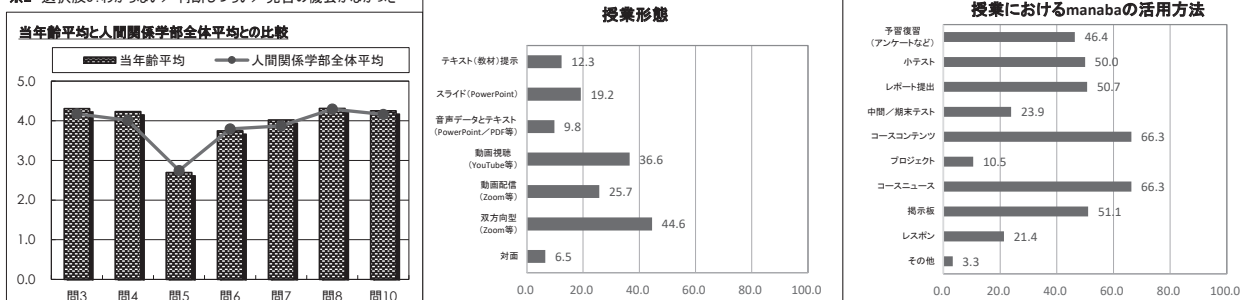
年齢	41～45歳
----	--------

受講者数	851
回答者数	276

問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差				
			5	4	3	2	1	0					
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい					
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型							
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)				対面	
			12.3	19.2	9.8	36.6	25.7	44.6					6.5
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.31	48.2	38.8	8.0	3.3	1.1	0.7	0.84	※問4～8, 10の平均値			
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.23	44.6	34.4	10.1	4.7	1.1	5.1	0.91	区分 平均値	3.88		
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.69	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.16			全体 平均値	3.81
			9.8	10.9	30.1	30.8	14.5	4.0					
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.75	23.6	26.4	18.5	8.3	2.9	20.3	1.10				
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	4.02	33.0	33.3	16.7	2.9	2.9	11.2	0.99				
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.31	47.5	39.9	8.0	2.2	1.4	1.1	0.83				
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他		
		46.4	50.0	50.7	23.9	66.3	10.5	66.3	51.1	21.4	3.3		
10	あなたは授業に満足しましたか	4.25	44.6	39.9	10.9	1.8	1.8	1.1	0.86				

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢の「わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった」



2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

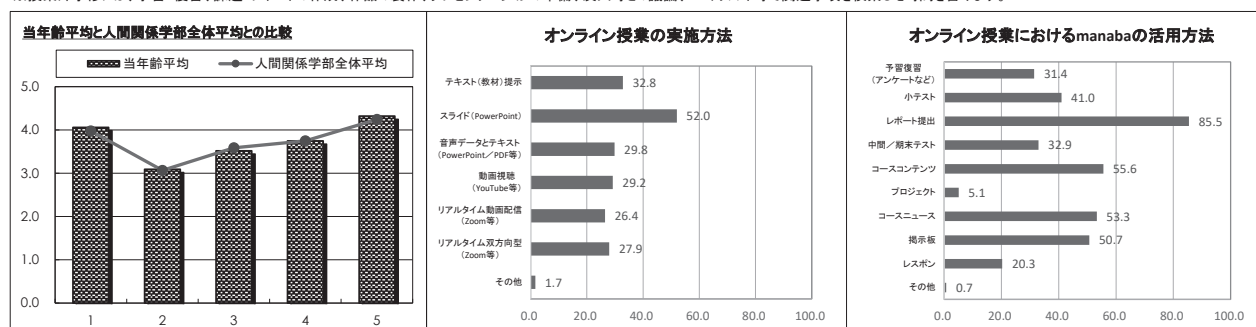
大妻女子大学

年齢	46～50歳
----	--------

受講者数	1,582
回答者数	1,006

No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.06	41.2	33.5	14.6	4.8	3.8	2.2	1.05			
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.09	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.14			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.52	13.5	20.0	35.3	20.9	8.5	1.8	1.13	No1～5の 区分 平均値	3.75	
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.75	27.5	34.0	19.1	6.6	6.4	6.5	1.15	No1～5の 学部全体 平均値	3.73	
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.32	49.3	37.5	8.9	2.4	1.2	0.7	0.83			
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (YouTube等)	その他				
		32.8	52.0	29.8	29.2	26.4	27.9	1.7				
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ ン	その他	
		31.4	41.0	85.5	32.9	55.6	5.1	53.3	50.7	20.3	0.7	

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

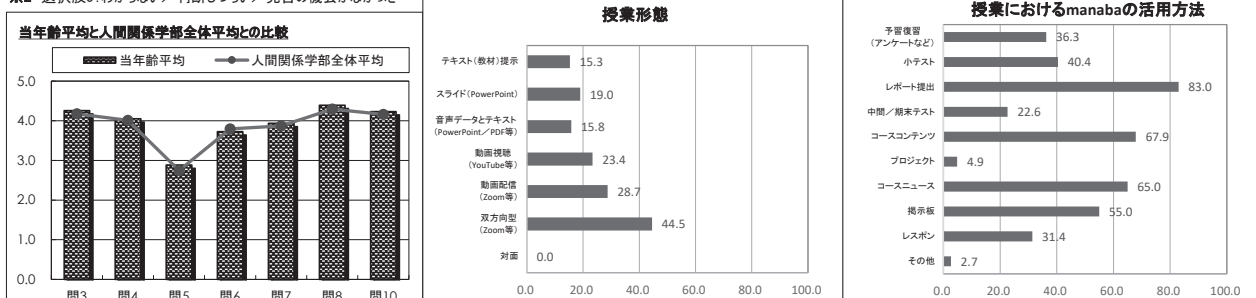
年齢	46～50歳
----	--------

受講者数	1,298
回答者数	411

問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型						
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)				対面
			15.3	19.0	15.8	23.4	28.7	44.5				0.0
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.26	50.6	33.8	9.5	1.9	3.9	0.2	0.98	※問4～8、10の平均値		
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.05	39.2	30.9	16.8	4.4	2.9	5.8	1.03	区分 平均値	3.88	
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.88	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.18	全体 平均値	3.81	
			9.7	19.2	32.6	21.4	14.4	2.7				
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.73	22.4	28.0	20.0	5.6	4.4	19.7	1.11			
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.94	34.5	29.4	16.3	3.9	5.4	10.5	1.13			
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.39	54.7	32.8	7.5	2.9	1.0	1.0	0.83			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ ン	その他	
		36.3	40.4	83.0	22.6	67.9	4.9	65.0	55.0	31.4	2.7	
10	あなたは授業に満足しましたか	4.23	47.9	36.3	8.0	4.4	2.7	0.7	0.96			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢の「わからない」/「判断しづらい」/「発言の機会がなかった」



2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

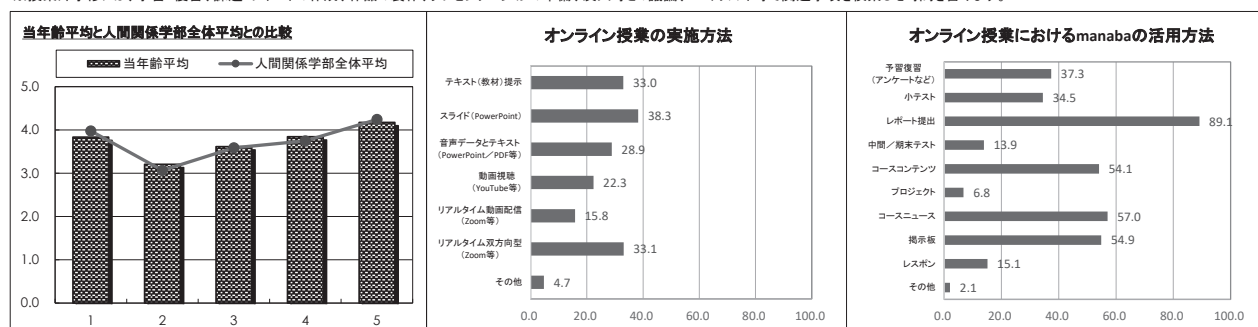
大妻女子大学

年齢	51～55歳
----	--------

受講者数	1,517
回答者数	873

No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5	4	3	2	1	0			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.84	28.5	38.1	17.0	7.8	3.9	4.7	1.07		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.21	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.15	No1～5の 区分 平均値	3.74
			15.8	23.0	32.1	20.2	7.1	1.8			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.61	24.5	27.6	22.7	6.4	7.8	11.0	1.21		
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.85	28.6	36.1	18.7	4.6	5.0	7.0	1.08	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.18	41.5	40.8	11.3	2.6	2.5	1.3	0.92		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		33.0	38.3	28.9	22.3	15.8	33.1	4.7			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ ン	その他
		37.3	34.5	89.1	13.9	54.1	6.8	57.0	54.9	15.1	2.1

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

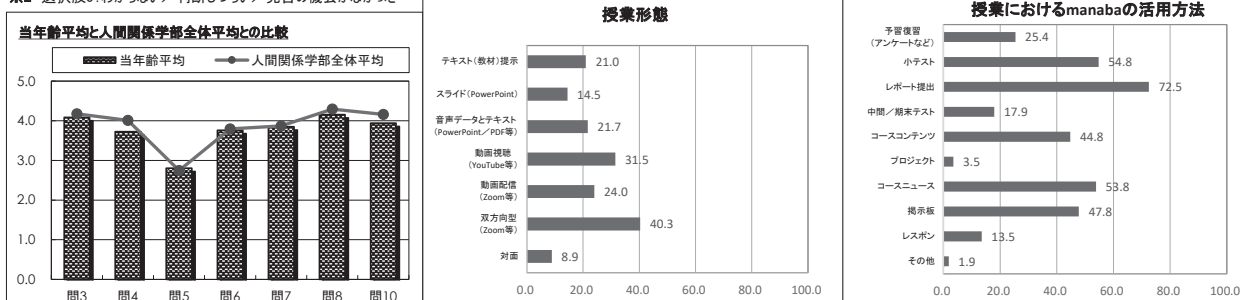
年齢	51～55歳
----	--------

受講者数	1,213
回答者数	429

問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型						
		テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)	対面				
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.09	21.0	14.5	21.7	31.5	24.0	40.3	8.9	1.05	※問4～8、10の平均値	
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.72		28.0	33.8	16.6	9.6	6.1	6.1	1.18	区分 平均値	3.70
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.81	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.19	全体 平均値		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.76	10.3	15.6	31.5	25.2	14.9	2.6	1.12			
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.85		30.8	32.2	16.6	4.9	6.1	9.6	1.15		
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.15		43.8	37.3	7.7	6.3	2.8	2.1	1.01		
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ	その他
		25.4	54.8	72.5	17.9	44.8	3.5	53.8	47.8	13.5	1.9	
10	あなたは授業に満足しましたか	3.94		38.0	35.7	11.7	6.3	6.5	1.9	1.17		

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢の「わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった」



2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

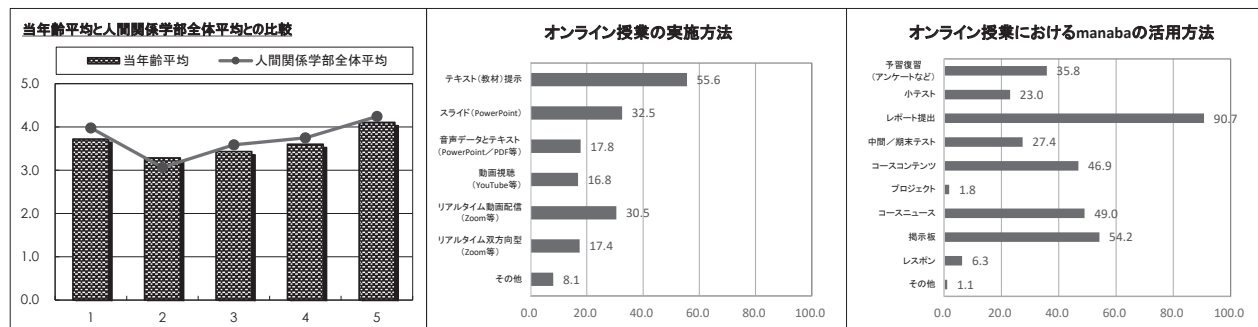
大妻女子大学

年齢	56～60歳
----	--------

受講者数	1,384
回答者数	843

No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.72	27.2	35.9	18.4	9.4	5.7	3.4	1.15			
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.28	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.08	No1～5の 区分 平均値	3.63	
			14.7	26.0	35.1	17.6	5.0	1.7				
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.43	15.5	30.2	28.0	8.5	7.1	10.6	1.12			
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.60	24.4	31.8	19.0	7.8	8.8	8.2	1.23	No1～5の 学部全体 平均値	3.73	
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.11	39.4	42.2	10.4	4.0	3.4	0.5	0.98			
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか		テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
			55.6	32.5	17.8	16.8	30.5	17.4	8.1			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
			35.8	23.0	90.7	27.4	46.9	1.8	49.0	54.2	6.3	1.1

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

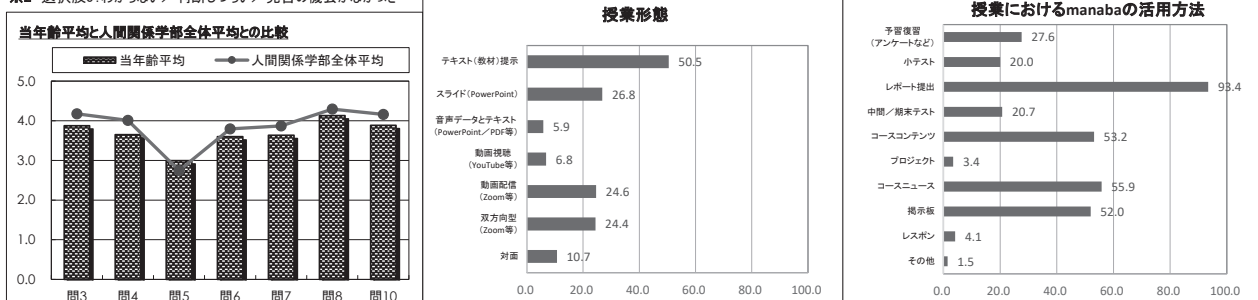
年齢	56～60歳
----	--------

受講者数	1,164
回答者数	410

問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型						
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データ&テキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)				対面
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	3.88	50.5	26.8	5.9	6.8	24.6	24.4	10.7	1.15	※問4～8、10の平均値	
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.65	24.9	32.9	21.0	9.8	5.9	5.6		1.16	区分 平均値	3.65
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.99	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない		1.01		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.60	7.8	19.0	42.2	21.7	6.8	2.4		1.04		
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.64	24.4	31.2	20.5	4.4	9.3	10.2		1.22		
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.13	37.8	44.4	8.5	4.6	2.4	2.2		0.93		
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
		27.6	20.0	93.4	20.7	53.2	3.4	55.9	52.0	4.1	1.5	
10	あなたは授業に満足しましたか	3.88	30.2	42.0	15.6	4.6	5.6	2.0		1.08		

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢の「わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった」



2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

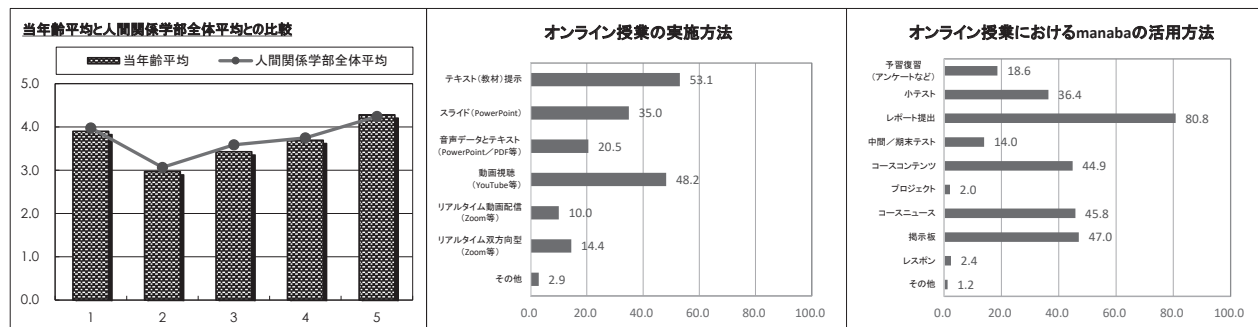
大妻女子大学

年齢	61～65歳
----	--------

受講者数	1,398
回答者数	838

No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.90	29.7	37.2	18.9	4.8	3.6	5.8	1.03			
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	2.97	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.09	No1～5の 区分 平均値	3.66	
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.43	19.0	24.3	26.1	8.4	8.6	13.6	1.21			
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.69	26.6	31.5	19.8	7.6	6.7	7.8	1.18	No1～5の 学部全体 平均値	3.73	
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.28	46.3	39.3	9.2	2.7	1.3	1.2	0.85			
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか		テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		53.1	35.0	20.5	48.2	10.0	14.4	2.9				
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ ン	その他
		18.6	36.4	80.8	14.0	44.9	2.0	45.8	47.0	2.4	1.2	

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

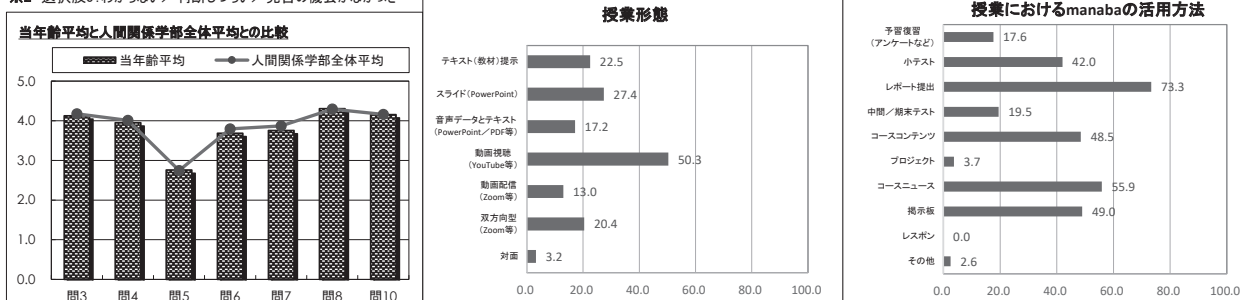
年齢	61～65歳
----	--------

受講者数	1,336
回答者数	431

問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型						
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)				対面
			22.5	27.4	17.2	50.3	13.0	20.4	3.2			
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.13	42.9	37.8	10.2	4.9	3.5	0.7	1.02	※問4～8、10の平均値		
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.95	32.7	33.9	18.1	6.3	2.3	6.7	1.02	区分 平均値	3.77	
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.76	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.08			
			5.8	16.5	36.0	24.6	13.2	3.9				
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.68	18.3	24.8	22.0	6.0	2.6	26.2	1.04			
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.75	27.8	27.6	19.3	5.6	6.3	13.5	1.18			
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.30	45.2	41.5	8.8	1.9	0.9	1.6	0.79			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ	その他
			17.6	42.0	73.3	19.5	48.5	3.7	55.9	49.0	0.0	2.6
10	あなたは授業に満足しましたか	4.16	40.6	39.9	11.6	4.4	1.6	1.9	0.92			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢の「わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった」

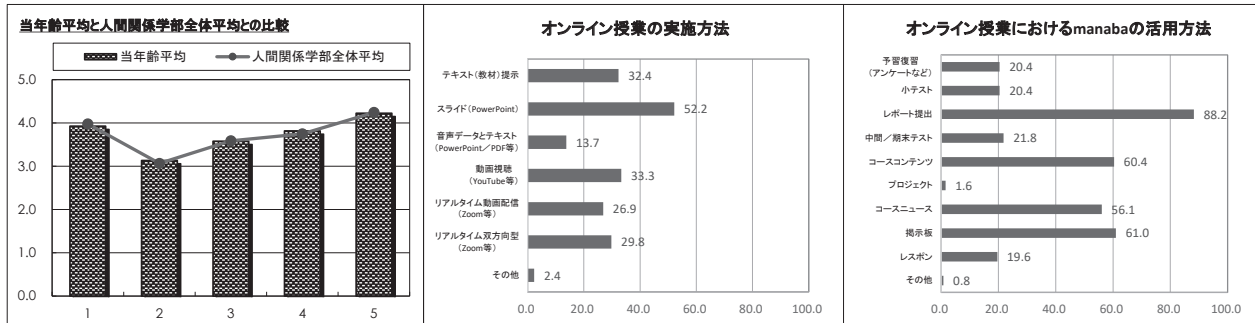


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

年齢		66歳以上		受講者数		836						
				回答者数		510						
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.93	31.6	37.1	20.4	4.7	2.9	3.3	1.00			
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.13	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.06	No1～5の 区分 平均値	3.74	
			12.0	21.2	38.4	20.6	5.7	2.2				
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.58	19.4	31.4	26.3	8.0	5.1	9.8	1.09			
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.82	27.3	35.5	19.0	4.3	5.5	8.4	1.10	No1～5の 学部全体 平均値	3.73	
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.23	42.4	41.0	10.8	2.9	1.2	1.8	0.85			
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか		テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
			32.4	52.2	13.7	33.3	26.9	29.8	2.4			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
			20.4	20.4	88.2	21.8	60.4	1.6	56.1	61.0	19.6	0.8

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



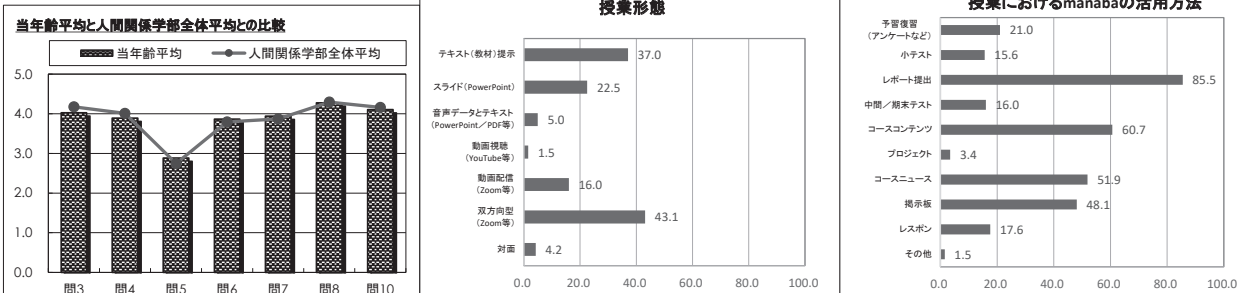
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

年齢		66歳以上		受講者数		798					
				回答者数		262					
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差		
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型					
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)			
			37.0	22.5	5.0	1.5	16.0	43.1	4.2		
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.02	39.3	37.8	13.4	3.8	5.3	0.4	1.08	※問4～8, 10の平均値	
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.89	30.9	38.2	16.4	5.7	4.6	4.2	1.07	区分 平均値	3.83
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.88	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.07		
			8.0	17.2	36.3	26.3	9.2	3.1			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.87	24.8	34.0	15.3	6.9	2.3	16.8	1.02		
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.94	30.5	38.2	13.0	4.6	4.6	9.2	1.07		
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.28	44.7	40.8	8.4	3.4	0.8	1.9	0.82		
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
		21.0	15.6	85.5	16.0	60.7	3.4	51.9	48.1	17.6	1.5
10	あなたは授業に満足しましたか	4.11	38.2	43.1	11.5	3.4	3.1	0.8	0.95		

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢の「わからない」「判断しづらい」「発言の機会がなかった」

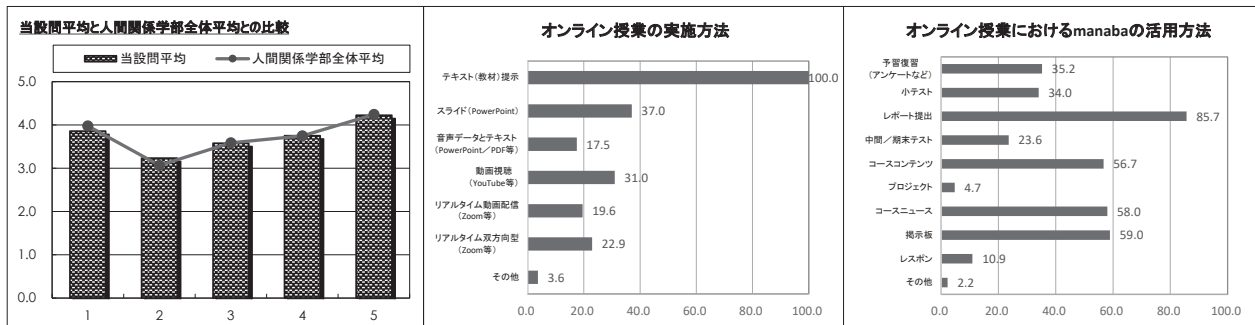


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

大妻女子大学

設問		問7_選択肢1						受講者数		-	
								回答者数		2,122	
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5	4	3	2	1	0			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.86	32.9	33.9	17.2	7.1	5.1	3.8	1.13		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.23	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.13	No1～5の 区分 平均値	3.73
			15.7	23.6	33.6	19.2	6.5	1.5			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.58	22.1	28.1	25.1	7.1	6.9	10.7	1.17	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.75	28.4	33.9	18.0	6.2	7.0	6.6	1.17		
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.23	45.4	38.2	10.0	3.1	2.3	1.0	0.92		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		100.0	37.0	17.5	31.0	19.6	22.9	3.6			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ ン	その他
		35.2	34.0	85.7	23.6	56.7	4.7	58.0	59.0	10.9	2.2

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



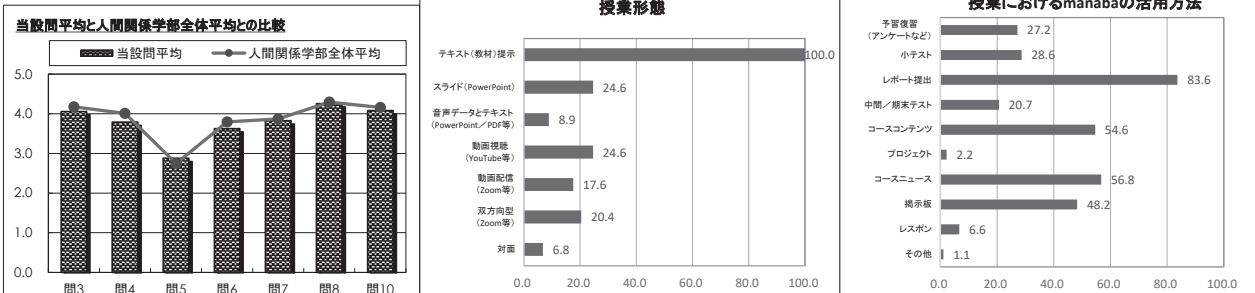
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

大妻女子大学

設問		問2_選択肢1						受講者数	-		
								回答者数	740		
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差		
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか	100.0	オンデマンド型			リアルタイム型			対面		
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)			
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.06	24.6	8.9	24.6	17.6	20.4	6.8	1.03	※問4～8, 10の平均値	
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.79	28.8	33.8	19.6	7.6	4.6	5.7	1.11	区分 平均値	3.75
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.88	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.09		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.63	7.3	19.2	37.6	22.4	11.5	2.0	1.07		
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.82	17.6	27.4	21.4	7.3	3.5	22.8	1.07		
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.26	44.1	43.1	6.9	3.4	1.6	0.9	0.86		
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ	その他
		27.2	28.6	83.6	20.7	54.6	2.2	56.8	48.2	6.6	1.1
10	あなたは授業に満足しましたか	4.08	38.6	40.1	13.4	3.8	3.2	0.8	0.98		

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

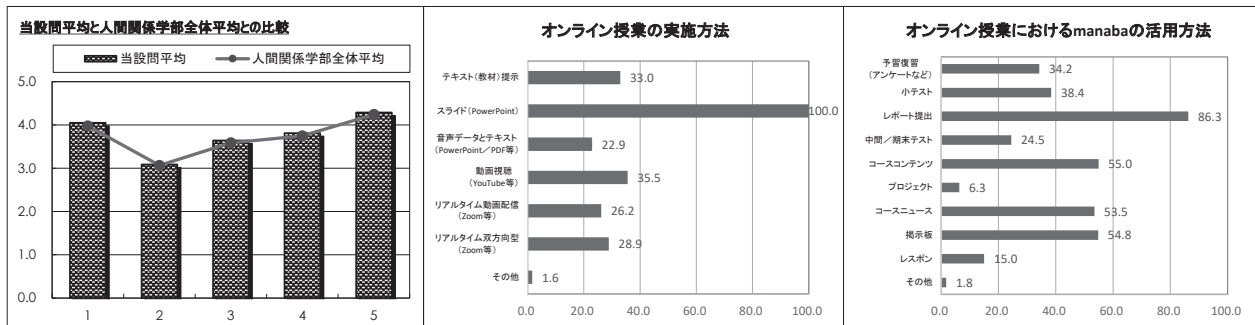


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

大妻女子大学

設問		問7_選択肢2							受講者数		-	
									回答者数		2,383	
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.05	36.6	37.6	15.0	4.6	2.5	3.7	0.98			
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.09	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.13	No1～5の 区分 平均値		
			12.9	21.1	34.5	21.7	8.3	1.6				
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.64	22.9	31.1	25.0	7.2	5.4	8.5	1.11			
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.81	29.9	33.5	19.1	5.5	5.8	6.3	1.13	No1～5の 学部全体 平均値		
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.29	46.2	40.1	9.3	1.9	1.5	1.0	0.83			
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他				
		33.0	100.0	22.9	35.5	26.2	28.9	1.6				
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他	
		34.2	38.4	86.3	24.5	55.0	6.3	53.5	54.8	15.0	1.8	

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



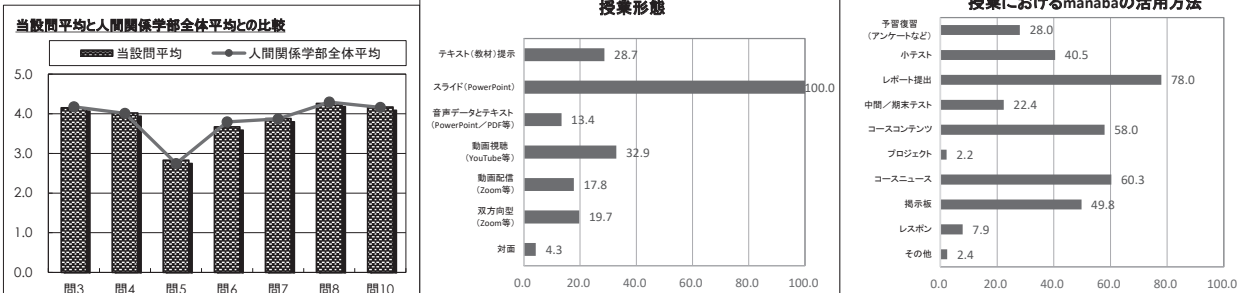
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

大妻女子大学

設問		問2_選択肢2							受講者数		-	
									回答者数		635	
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型						
		テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)	対面				
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.15	28.7	100.0	13.4	32.9	17.8	19.7	4.3	※問4～8、10の平均値		
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.02	34.8	34.2	16.4	3.6	3.1	7.9	1.01			
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.83	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.08	区分 平均値	3.81	
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.67	6.6	18.6	35.0	25.7	11.5	2.7	1.08	全体 平均値	3.81	
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.88	30.7	32.8	15.0	3.1	6.6	11.8	1.15	0.89		
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.26	46.0	39.1	7.6	3.9	1.7	1.7	0.89			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他	
		28.0	40.5	78.0	22.4	58.0	2.2	60.3	49.8	7.9	2.4	
10	あなたは授業に満足しましたか	4.17	42.0	39.2	10.2	3.5	2.7	2.4	0.95			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

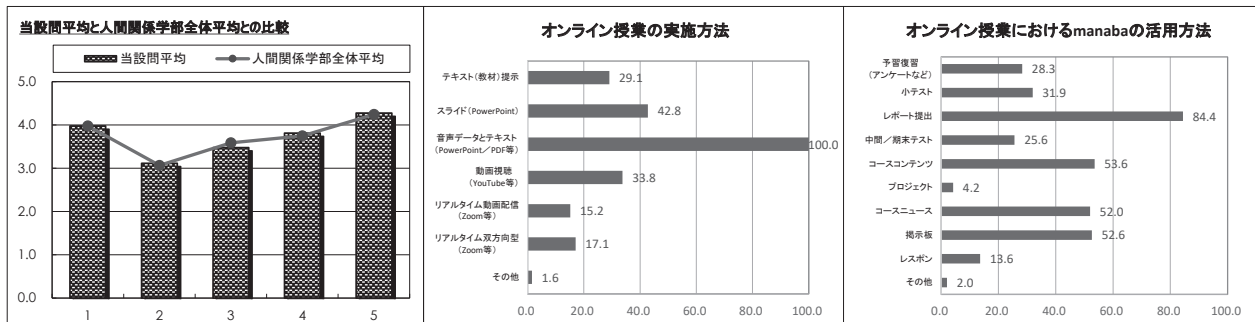


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

大妻女子大学

設問		問7_選択肢3						受講者数		-	
								回答者数		1,277	
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.98	34.7	36.1	16.3	5.6	3.1	4.2	1.03		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.12	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.10	No1～5の 区分 平均値	3.74
			11.9	23.0	34.8	21.9	6.7	1.6			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.48	17.3	30.2	26.0	6.7	8.1	11.7	1.16	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.81	29.8	33.9	19.4	4.9	6.0	5.9	1.13		
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.27	45.8	41.3	8.1	2.6	1.8	0.5	0.86		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		29.1	42.8	100.0	33.8	15.2	17.1	1.6			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
		28.3	31.9	84.4	25.6	53.6	4.2	52.0	52.6	13.6	2.0

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



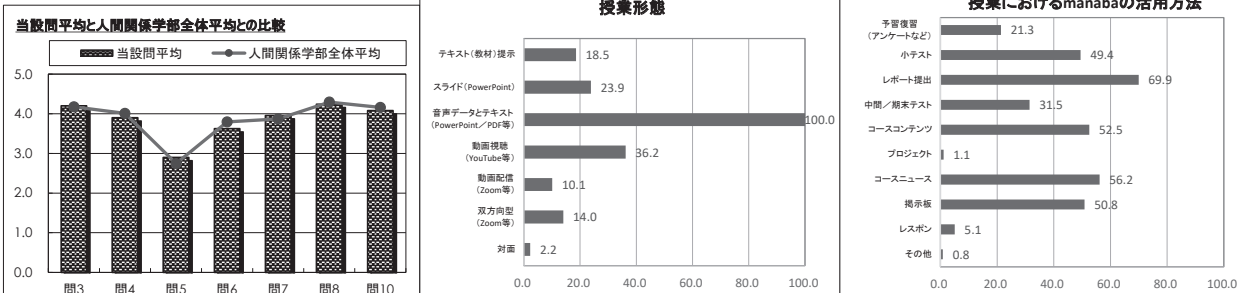
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

大妻女子大学

設問		問2_選択肢3							受講者数		-	
									回答者数		356	
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型			対面			
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)				
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.20	18.5	23.9	100.0	36.2	10.1	14.0	2.2	0.99 ※問4～8, 10の平均値		
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.90		30.9	35.4	17.1	5.6	3.9	7.0	1.06	区分 平均値	3.79
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.90	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.11	全体 平均値	3.81	
			8.4	19.4	34.0	25.3	10.4	2.5				
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.63		18.3	24.7	21.6	7.3	3.4	24.7	1.09		
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.96		33.7	32.3	18.0	3.9	3.9	8.1	1.06		
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.24		45.8	38.8	8.4	5.1	1.1	0.8	0.89		
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他	
		21.3	49.4	69.9	31.5	52.5	1.1	56.2	50.8	5.1	0.8	
10	あなたは授業に満足しましたか	4.08		39.9	39.0	11.8	4.5	3.7	1.1	1.02		

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

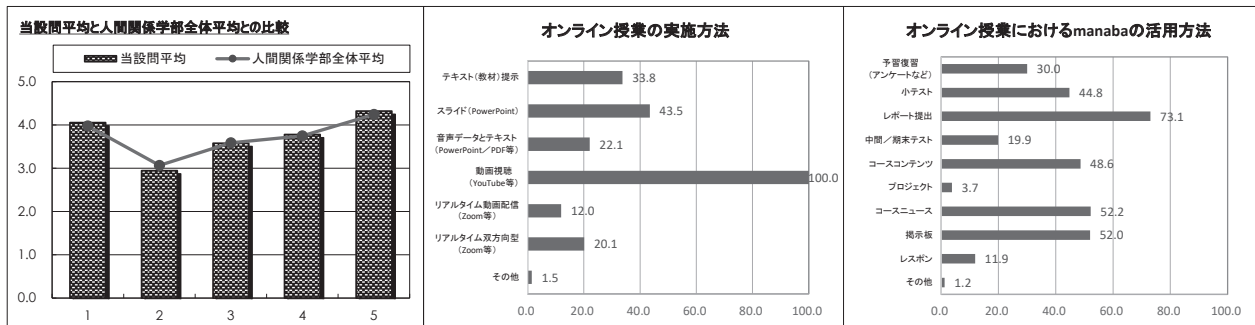


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

大妻女子大学

設問		問7_選択肢4						受講者数		-	
								回答者数		1,949	
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.05	36.2	38.5	14.8	4.0	2.7	3.8	0.97		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	2.94	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.15	No1～5の 区分 平均値	3.74
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.58	11.0	18.3	34.2	24.2	10.8	1.4	1.15		
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.78	27.4	35.7	18.4	5.4	6.3	6.8	1.13	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.32	48.7	38.2	8.6	2.0	1.5	1.0	0.83		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		33.8	43.5	22.1	100.0	12.0	20.1	1.5			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ	その他
		30.0	44.8	73.1	19.9	48.6	3.7	52.2	52.0	11.9	1.2

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



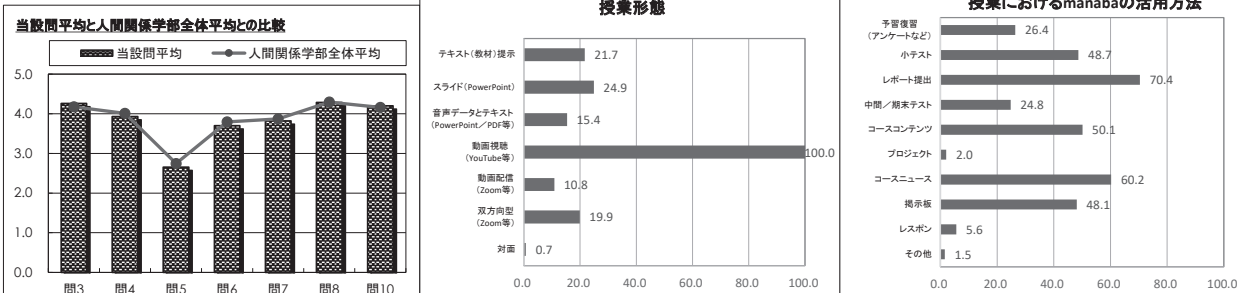
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

大妻女子大学

設問		問2_選択肢4						受講者数	-			
								回答者数	840			
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
			オンデマンド型			リアルタイム型						
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)	対面			
		21.7	24.9	15.4	100.0	10.8	19.9	0.7				
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.26	47.7	36.4	10.1	3.1	1.8	0.8	0.90	※問4～8, 10の平均値		
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.93	33.1	33.1	17.3	6.3	3.2	7.0	1.06	区分 平均値	3.77	
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.65	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.06			
			4.4	15.2	35.6	27.7	15.1	1.9		全体 平均値		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.70	19.6	26.3	20.6	6.5	2.9	24.0	1.06			
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.82	30.5	28.5	17.6	4.8	6.4	12.3	1.18			
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.28	45.5	41.3	8.1	2.9	1.2	1.1	0.83			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ	その他	
		26.4	48.7	70.4	24.8	50.1	2.0	60.2	48.1	5.6	1.5	
10	あなたは授業に満足しましたか	4.20	43.3	39.0	11.3	3.3	1.9	1.1	0.91			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

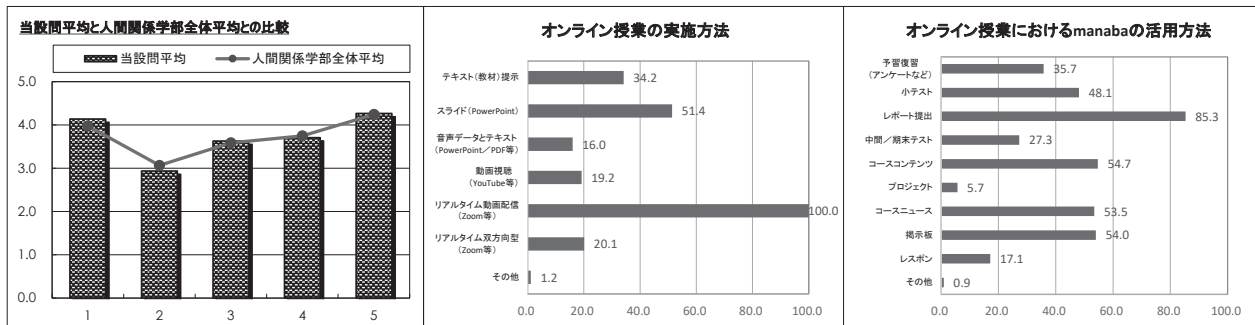


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

大妻女子大学

設問		問7_選択肢5						受講者数		-	
								回答者数		1,214	
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5	4	3	2	1	0			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.14	42.7	36.0	12.3	4.3	2.8	2.0	0.99		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	2.94	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.13	No1～5の 区分 平均値	
			11.3	16.6	35.3	25.5	10.0	1.4			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.63	23.7	30.3	25.9	7.8	5.6	6.7	1.13		
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.71	27.5	31.3	21.1	5.8	7.3	7.0	1.18	No1～5の 学部全体 平均値	
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.27	46.1	39.0	10.0	2.5	1.6	0.7	0.86		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		34.2	51.4	16.0	19.2	100.0	20.1	1.2			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
		35.7	48.1	85.3	27.3	54.7	5.7	53.5	54.0	17.1	0.9

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



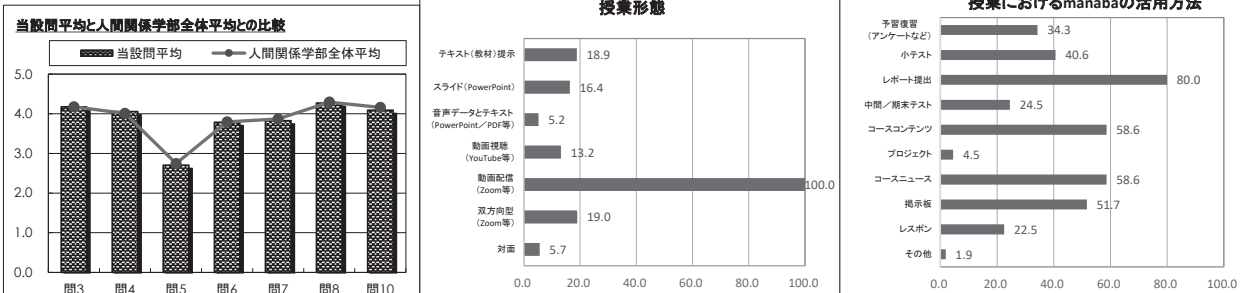
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

大妻女子大学

設問		問2_選択肢5						受講者数		-		
								回答者数		689		
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
			オンデマンド型			リアルタイム型						
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)	対面			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		18.9	16.4	5.2	13.2	100.0	19.0	5.7			
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.17	47.5	32.8	11.9	3.5	3.8	0.6	1.02	※問4～8, 10の平均値		
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.06	42.2	31.2	12.3	7.4	3.2	3.6	1.08	区分 平均値	3.79	
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.70	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.17			
			8.3	13.9	31.9	24.8	17.1	3.9		全体 平均値	3.81	
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	3.78	23.9	28.2	18.9	7.0	2.9	19.2	1.07			
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.82	29.6	30.2	17.3	4.5	6.2	12.2	1.16			
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.27	48.0	36.6	8.6	3.5	1.9	1.5	0.90			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ	その他
			34.3	40.6	80.0	24.5	58.6	4.5	58.6	51.7	22.5	1.9
10	あなたは授業に満足しましたか	4.09	43.5	33.4	12.3	6.1	3.3	1.3	1.05			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

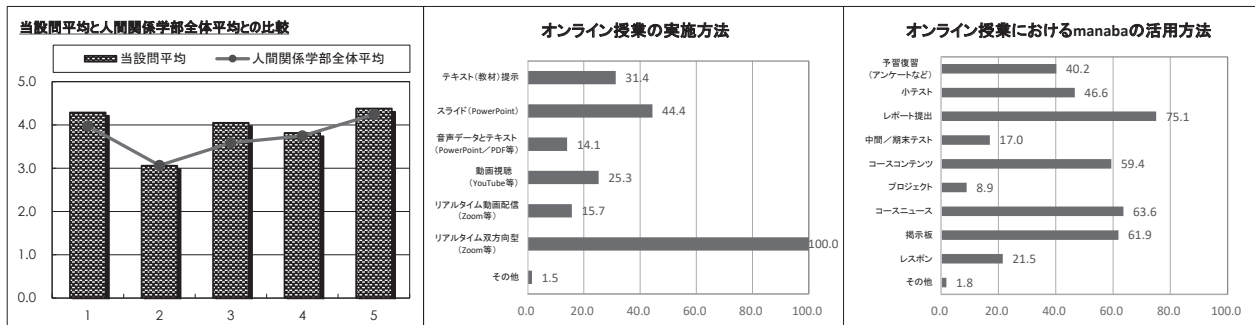


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

大妻女子大学

設問		問7_選択肢6						受講者数		-		
								回答者数		1,550		
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.29	49.4	33.6	11.5	2.9	1.2	1.5	0.87			
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.06	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.22	No1～5の 区分 平均値	3.92	
			14.9	20.8	30.1	21.8	11.4	1.0				
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	4.05	36.9	35.7	16.8	4.5	2.1	4.0	0.97			
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.82	28.6	33.7	17.9	5.5	5.5	8.8	1.12	No1～5の 学部全体 平均値	3.73	
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.38	51.7	36.8	8.0	1.4	1.1	1.0	0.79			
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか		テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
			31.4	44.4	14.1	25.3	15.7	100.0	1.5			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
			40.2	46.6	75.1	17.0	59.4	8.9	63.6	61.9	21.5	1.8

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



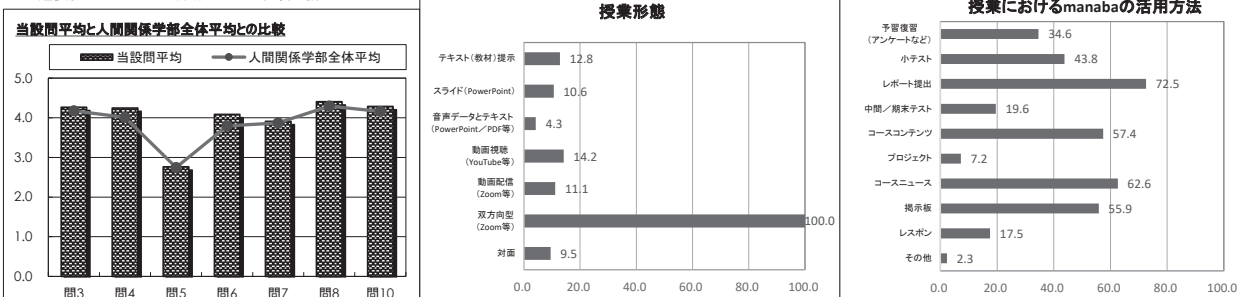
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

大妻女子大学

設問		問2_選択肢6						受講者数		-		
								回答者数		1,176		
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか		オンデマンド型			リアルタイム型						
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)				対面
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.26	12.8	10.6	4.3	14.2	11.1	100.0	9.5	※問4～8, 10の平均値		
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.24	48.9	33.1	10.0	3.9	2.4	1.7	0.96			
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	2.77	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.18	区分 平均値	3.95	
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	4.08	9.8	14.4	32.8	25.1	15.9	2.0	0.98	全体 平均値	3.81	
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.91	32.4	31.0	16.5	4.3	5.1	10.7	1.12			
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.40	54.3	33.9	6.6	2.6	0.9	1.6	0.80			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他
		34.6	43.8	72.5	19.6	57.4	7.2	62.6	55.9	17.5	2.3	
10	あなたは授業に満足しましたか	4.28	50.3	35.0	8.2	3.1	2.6	0.8	0.93			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

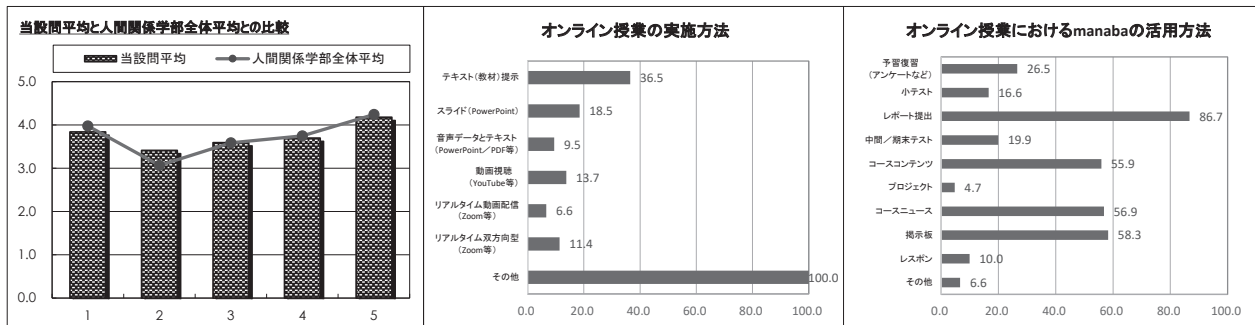


2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

大妻女子大学

設問		問7_選択肢7							受講者数		-	
									回答者数		211	
No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.84	29.9	37.4	14.7	9.5	3.8	4.7	1.10			
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.41	3時間以上 20.9	2時間以上 3時間未満 22.3	1時間以上 2時間未満 33.6	30分以上 1時間未満 15.6	30分未満 4.3	していない 3.3	1.13			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.59	22.3	28.0	23.7	5.7	7.6	12.8	1.19			
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.70	21.8	40.3	12.8	5.2	8.5	11.4	1.19			
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.18	38.9	45.5	7.6	3.3	2.4	2.4	0.90			
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示 36.5	スライド (PowerPoint) 18.5	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等) 9.5	動画視聴 (YouTube等) 13.7	リアルタイム 動画配信 (Zoom等) 6.6	リアルタイム 双方向型 (Zoom等) 11.4	その他 100.0				
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど) 26.5	小テスト 16.6	レポート提出 86.7	中間／ 期末テスト 19.9	コース コンテンツ 55.9	プロジェクト 4.7	コース ニュース 56.9	掲示板 58.3	レスポンス 10.0	その他 6.6	

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



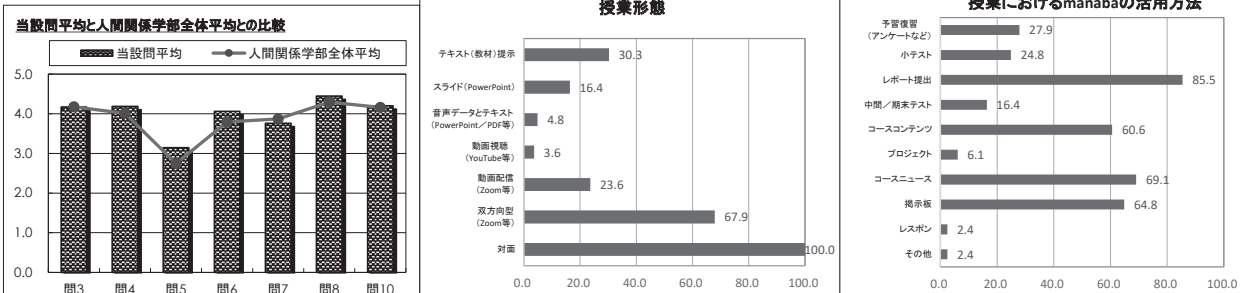
2020年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

大妻女子大学

設問		問2_選択肢7							受講者数		-	
									回答者数		165	
問.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5 そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまり そう思わない	1 そう思わない	0 わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか	30.3	オンデマンド型			リアルタイム型			対面			
			テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	動画配信 (Zoom等)	双方向型 (Zoom等)				
3	問2で回答した授業形態に満足していますか	4.17	43.0	41.8	7.3	4.8	3.0	0.0	0.97			※問4～8, 10の平均値
4	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.19	44.2	35.8	11.5	5.5	1.2	1.8	0.93	区分 平均値	3.97	
5	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※1	3.14	3時間以上 13.9	2時間以上 3時間未満 17.6	1時間以上 2時間未満 43.0	30分以上 1時間未満 14.5	30分未満 8.5	していない 2.4	1.11			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	4.06	34.5	34.5	10.3	4.8	3.0	12.7	1.03	全体 平均値	3.81	
7	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.76	23.0	35.8	20.0	3.0	6.1	12.1	1.09			
8	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.44	52.7	37.6	4.8	0.6	1.2	3.0	0.73			
9	授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポンス	その他	
		27.9	24.8	85.5	16.4	60.6	6.1	69.1	64.8	2.4	2.4	
10	あなたは授業に満足しましたか	4.20	46.1	37.0	10.3	2.4	3.6	0.6	0.98			

※1 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった



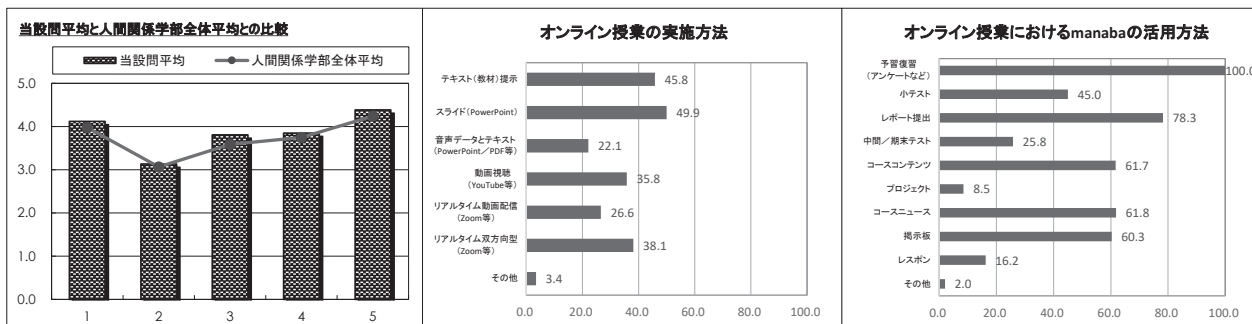
2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

大妻女子大学

設問	問8_選択肢1	受講者数	-
		回答者数	1,634

No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.12	41.9	34.8	13.5	4.4	2.6	2.8	0.99			
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.13	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.18	No1～5の 区分 平均値	3.86	
			15.4	22.0	31.3	21.7	8.8	0.9				
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.81	29.2	30.4	22.6	6.4	3.9	7.5	1.09			
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.85	32.0	34.6	16.3	5.3	6.5	5.2	1.15	No1～5の 学部全体 平均値	3.73	
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.38	52.9	35.6	7.6	1.8	1.2	0.9	0.80			
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他				
		45.8	49.9	22.1	35.8	26.6	38.1	3.4				
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ	その他	
		100.0	45.0	78.3	25.8	61.7	8.5	61.8	60.3	16.2	2.0	

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

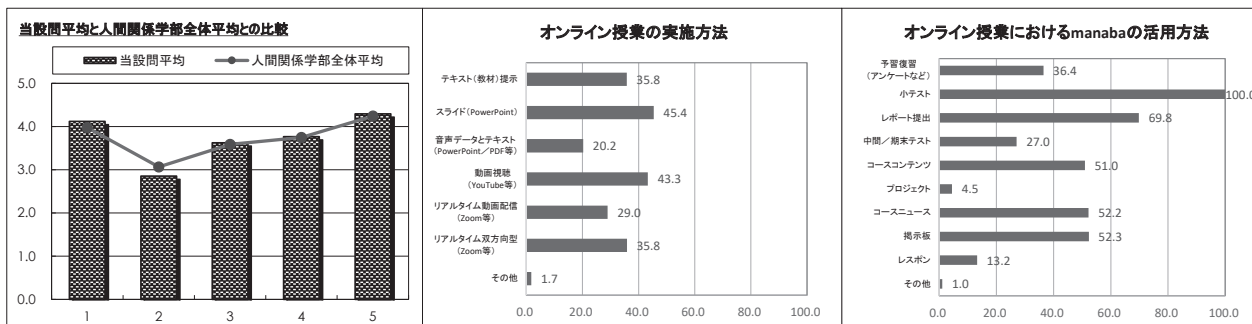
大妻女子大学

設問	問8_選択肢2
----	---------

受講者数	-
回答者数	2,017

No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.12	40.9	35.9	13.5	4.3	2.4	3.0	0.97			
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	2.85	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.16			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.62	23.7	30.1	23.5	7.5	6.5	8.5	1.16	No1～5の 区分 平均値	3.73	
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.77	27.8	33.4	19.3	5.3	6.5	7.7	1.15	No1～5の 学部全体 平均値	3.73	
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.30	47.8	37.8	9.6	2.0	1.6	1.1	0.85			
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他				
		35.8	45.4	20.2	43.3	29.0	35.8	1.7				
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ	その他	
		36.4	100.0	69.8	27.0	51.0	4.5	52.2	52.3	13.2	1.0	

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

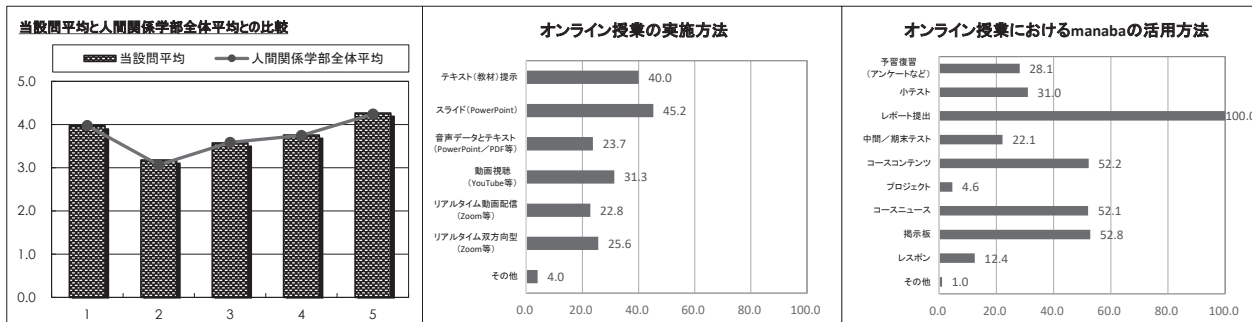
大妻女子大学

設問	問8_選択肢3
----	---------

受講者数	—
回答者数	4,546

No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差		
			5	4	3	2	1	0			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.97	35.5	35.5	16.2	5.8	3.5	3.5	1.05		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.18	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.12	No1～5の 区分 平均値	3.75
			14.6	21.6	35.4	20.3	6.4	1.7			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.57	21.3	29.3	25.1	7.4	6.6	10.3	1.15	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.76	27.9	33.6	18.7	5.9	6.6	7.2	1.16		
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.26	45.9	39.7	9.1	2.5	1.8	0.9	0.87		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		40.0	45.2	23.7	31.3	22.8	25.6	4.0			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ	その他
		28.1	31.0	100.0	22.1	52.2	4.6	52.1	52.8	12.4	1.0

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



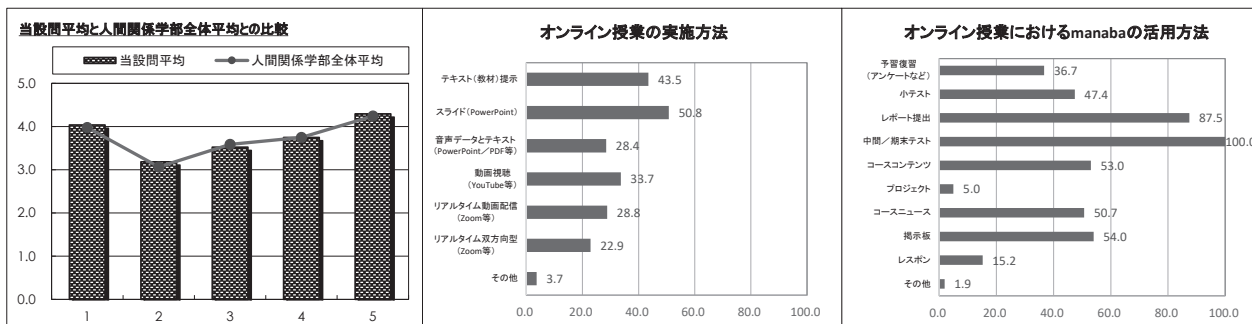
2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

大妻女子大学

設問	問8_選択肢4	受講者数	-
		回答者数	1,150

No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5	4	3	2	1	0			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.04	37.8	36.3	14.5	4.3	3.7	3.3	1.03		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.18	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.07	No1～5の 区分 平均値	3.76
			13.0	22.4	37.2	20.3	5.1	1.8			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.52	19.4	28.8	27.0	7.7	6.5	10.6	1.14		
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.75	26.3	35.2	19.7	5.1	6.6	7.0	1.14	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.30	46.9	40.5	7.2	2.3	1.9	1.1	0.85		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		43.5	50.8	28.4	33.7	28.8	22.9	3.7			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ	その他
		36.7	47.4	87.5	100.0	53.0	5.0	50.7	54.0	15.2	1.9

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

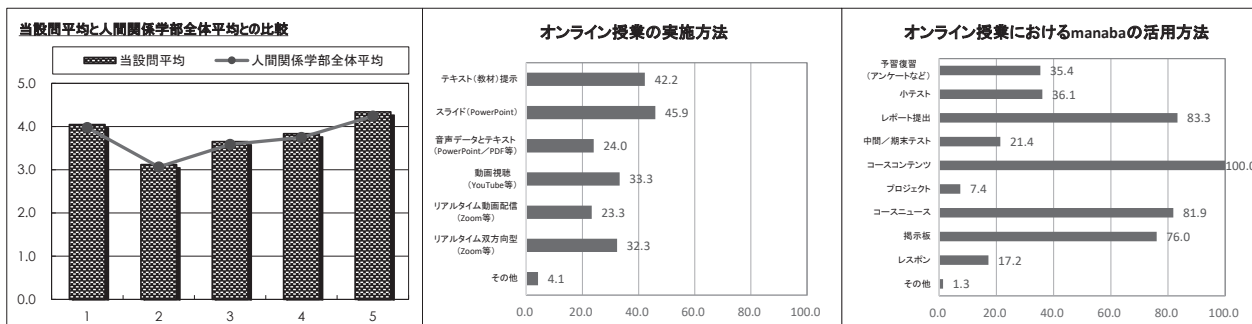
大妻女子大学

設問	問8_選択肢5
----	---------

受講者数	—
回答者数	2,851

No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差		
			5	4	3	2	1	0			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.04	38.1	35.4	14.6	5.2	2.9	3.8	1.02		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.12	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.15	No1～5の 区分 平均値	3.80
			14.5	20.2	34.5	21.4	8.1	1.3			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.65	23.2	30.0	24.8	5.7	6.2	10.2	1.13	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.84	30.8	33.8	16.5	5.2	6.3	7.4	1.15		
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.34	49.2	38.7	8.1	1.9	1.3	1.0	0.81		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		42.2	45.9	24.0	33.3	23.3	32.3	4.1			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ	その他
		35.4	36.1	83.3	21.4	100.0	7.4	81.9	76.0	17.2	1.3

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

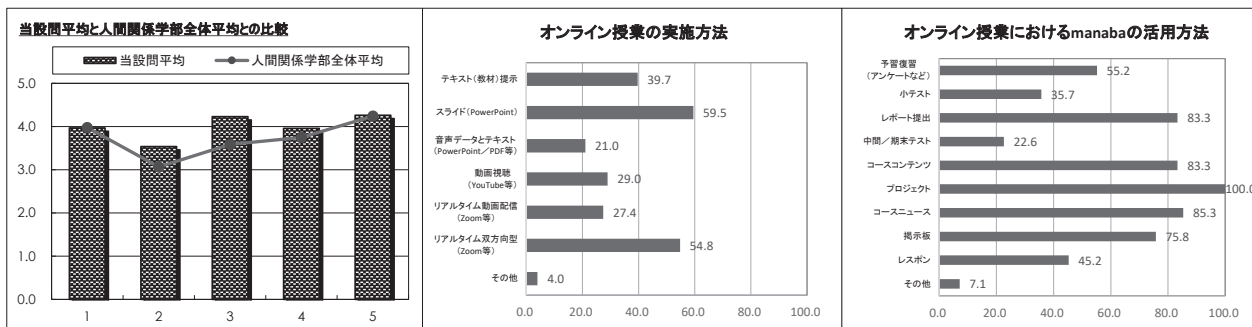
大妻女子大学

設問	問8_選択肢6
----	---------

受講者数	-
回答者数	252

No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差		
			5	4	3	2	1	0			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.97	39.7	33.3	14.3	4.8	6.3	1.6	1.15		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.53	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.25	No1～5の 区分 平均値	3.99
	30.2		19.8	26.6	15.1	6.3	2.0				
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	4.23	48.4	27.8	15.1	3.2	1.6	4.0	0.94		
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.96	39.7	25.8	18.3	5.6	4.8	6.0	1.15	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.26	48.0	37.7	9.1	1.6	3.2	0.4	0.93		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint ／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		39.7	59.5	21.0	29.0	27.4	54.8	4.0			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ	その他
		55.2	35.7	83.3	22.6	83.3	100.0	85.3	75.8	45.2	7.1

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

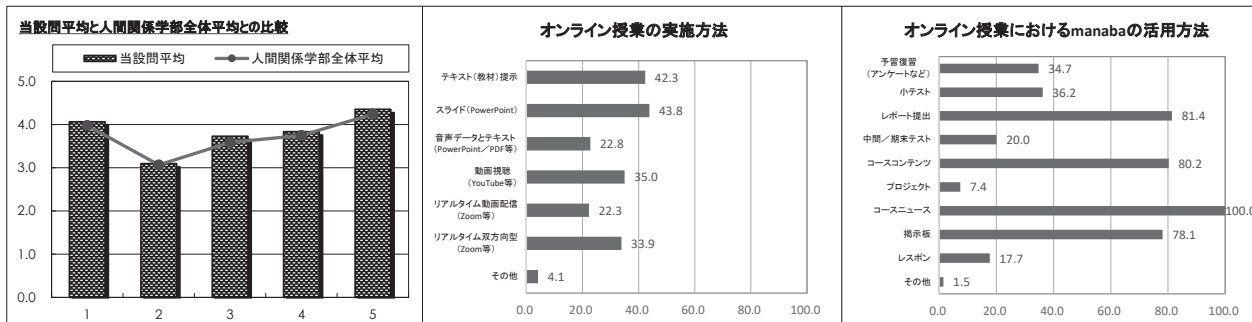
大妻女子大学

設問	問8_選択肢7
----	---------

受講者数	—
回答者数	2,909

No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差		
			5	4	3	2	1	0			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.06	38.9	35.8	14.8	5.2	2.6	2.9	1.00		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.09	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.17	No1～5の 区分 平均値	3.82
			14.2	20.8	32.9	21.8	9.1	1.2			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.73	25.3	30.9	24.1	5.2	5.1	9.5	1.10	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.84	30.9	33.4	17.2	4.8	6.4	7.3	1.15		
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.35	50.4	37.4	8.4	1.8	1.1	0.9	0.80		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		42.3	43.8	22.8	35.0	22.3	33.9	4.1			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ	その他
		34.7	36.2	81.4	20.0	80.2	7.4	100.0	78.1	17.7	1.5

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



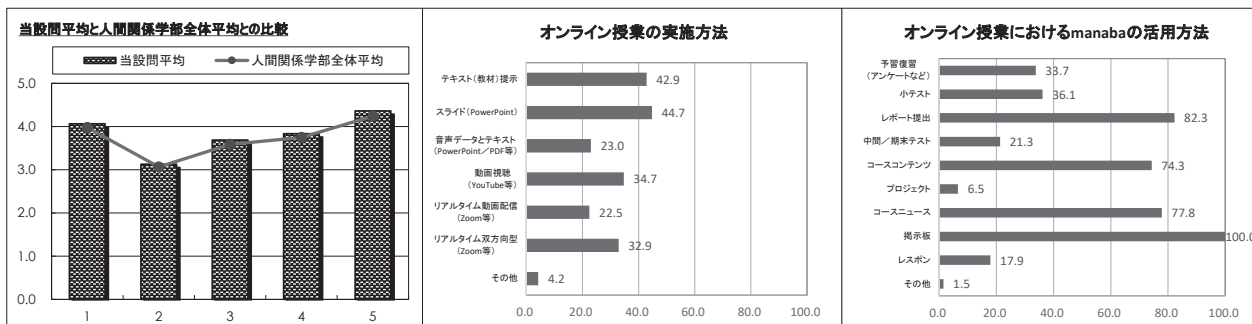
2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

大妻女子大学

設問	問8_選択肢8	受講者数	—
		回答者数	2,919

No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.06	39.0	35.3	14.3	5.1	2.8	3.5	1.01			
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.13	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.16	No1～5の 区分 平均値		3.82
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.69	15.0	20.5	33.6	21.3	8.2	1.4	1.12			
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.83	31.0	33.9	16.7	5.0	6.6	6.7	1.16	No1～5の 学部全体 平均値		3.73
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.36	50.9	37.5	7.6	2.1	1.1	0.8	0.80			
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他				
		42.9	44.7	23.0	34.7	22.5	32.9	4.2				
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ	その他	
		33.7	36.1	82.3	21.3	74.3	6.5	77.8	100.0	17.9	1.5	

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

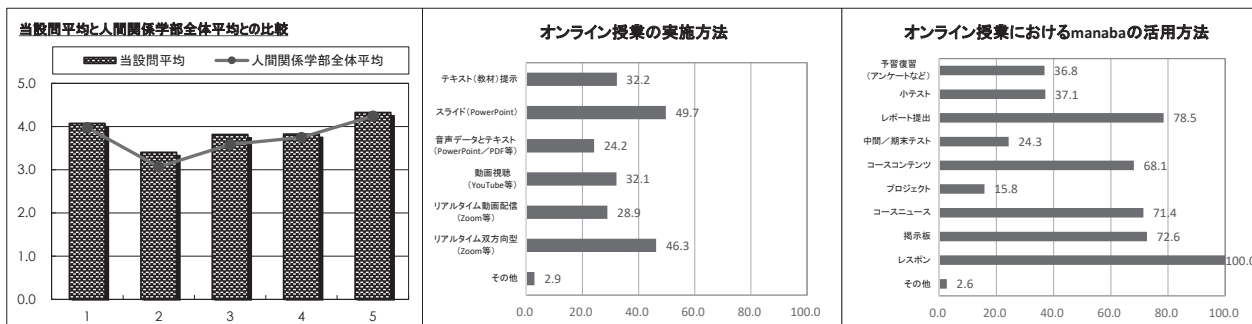
大妻女子大学

設問	問8_選択肢9
----	---------

受講者数	—
回答者数	720

No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準偏差		
			5	4	3	2	1	0			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	4.08	41.3	34.9	12.6	5.4	3.5	2.4	1.04		
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.40	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.20	No1～5の 区分 平均値	3.89
			23.8	21.1	30.8	16.9	6.0	1.4			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	3.82	29.0	33.3	21.7	5.3	4.7	6.0	1.09		
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.83	32.5	31.0	18.6	5.3	6.5	6.1	1.17	No1～5の 学部全体 平均値	3.73
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	4.33	49.9	37.9	8.3	1.8	1.8	0.3	0.84		
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他			
		32.2	49.7	24.2	32.1	28.9	46.3	2.9			
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ	その他
		36.8	37.1	78.5	24.3	68.1	15.8	71.4	72.6	100.0	2.6

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



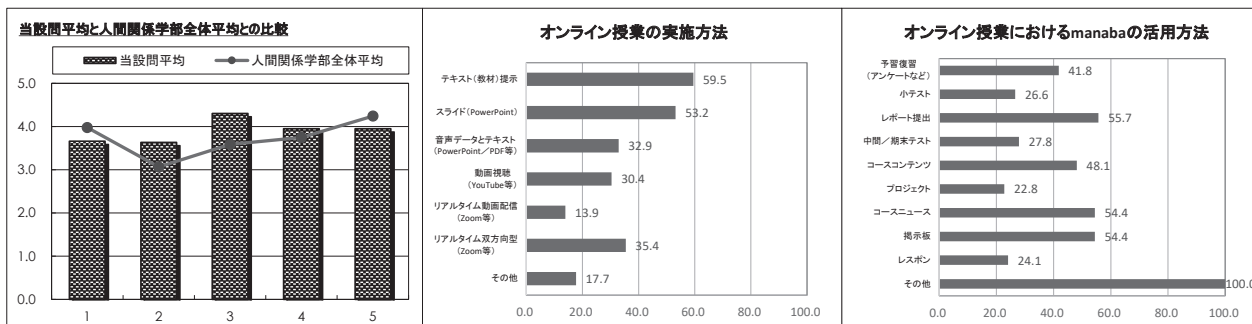
2020年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

大妻女子大学

設問	問8_選択肢10	受講者数	—
		回答者数	79

No.	設問文	平均点	回答率(%)						標準 偏差			
			5	4	3	2	1	0				
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
1	授業は学生の理解度を考慮しながら進められましたか	3.66	36.7	25.3	10.1	6.3	15.2	6.3	1.46			
2	授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか ※	3.64	3時間以上 30.4	2時間以上 2時間未満 22.8	1時間以上 2時間未満 24.1	30分以上 1時間未満 8.9	30分未満 7.6	していない 6.3	1.26			
3	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか	4.30	49.4	22.8	10.1	2.5	2.5	12.7	0.99	No1～5の 区分 平均値	3.89	
4	シラバスを科目の選択や学習の参考にしましたか	3.95	39.2	29.1	19.0	5.1	5.1	2.5	1.13	No1～5の 学部全体 平均値	3.73	
5	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか	3.95	41.8	31.6	7.6	6.3	8.9	3.8	1.27			
6	オンライン授業はどのような方法で実施されましたか	テキスト (教材)提示	スライド (PowerPoint)	音声データとテキスト (PowerPoint /PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	リアルタイム 動画配信 (Zoom等)	リアルタイム 双方向型 (Zoom等)	その他				
		59.5	53.2	32.9	30.4	13.9	35.4	17.7				
7	オンライン授業においてmanabaはどのように活用されましたか	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	掲示板	レスポ ン	その他	
		41.8	26.6	55.7	27.8	48.1	22.8	54.4	54.4	24.1	100.0	

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。



Ⅲ オンライン授業実践に関するアンケート

1. はじめに

今年度、新型コロナウイルス感染症の影響により対面からオンラインへの授業変更を余儀なくされた。このことは、学生だけでなく教員の授業実践に大きな影響を与えたといえる。本アンケートは教員を対象にオンライン授業実践の知見の蓄積を目的とし、今年度新たに実施したものである。

2. 調査概要

(1) 実施時期および手続き

2020年8月24日(月)～9月7日(月)に実施した。アンケートの実施にあたり、UNIPAを通じて、各教員への周知と調査への協力を依頼した。実施に際して、個人のプライバシーに配慮すること、調査結果は学部FD活動のためにのみ活用すること、調査結果を先生方へフィードバックし、今後の授業にご活用いただくことを伝えている。

(2) 調査項目

調査項目について説明する。担当された授業について、以下の8つの内容について回答を求めた。なお、同一の授業形態で複数の授業科目を担当されていた場合には、主なものを選択するように求めた。

調査カテゴリーと項目

- ① 担当科目数：当該授業形態の科目をいくつ担当されたのかにつきまして、以下の中から一つ選択してください。
(1科目、2科目、3科目、4科目、5科目以上、ない)
- ② 授業のタイプ：「インタラクティブ型 (Zoomなどのリアルタイム、双方向)」「オンデマンド型 (YouTubeなどの録画した動画)」「テキスト課題型」の中から一つ選択してください。
(インタラクティブ型、オンデマンド型、テキスト課題型)
- ③ 1回の授業時間：1回(90分)の授業時間(動画の視聴や講義など、リアクションペーパーやレポート等の学生が一人で課題を行う時間を除いた時間)はどのくらいでしたでしょうか。以下の中から一つ選択してください。
(90分、60分～90分未満、30分～60分未満、30分未満)
- ④ 学生の授業外学習時間：「令和2年度前期授業改善のためのアンケート」の結果を参考にいただき、学生が費やした授業外学習の平均時間を、以下の中から一つ選択してください。
(3時間以上、2時間以上3時間未満、1時間以上2時間未満、30分以上1時間未満、30分未満、していない)
- ⑤ 課題の内容・分量・提出回数：課題の締め切りまでの日数について、以下の中から当てはまるものすべて選択してください。その他を選ばれた場合は、その内容を記述してください。

(毎回の授業の振り返り：400 字未満、毎回の授業の振り返り：400～1000 字未満、毎回の授業の振り返り：1000 字以上、毎回の授業の振り返り：文字数指定なし、期末レポート：2000 字未満、期末レポート：2000～4000 字未満、期末レポート：4000 字以上、期末レポート：文字数指定なし、小テスト：0～5 回未満、小テスト：5～11 回未満、小テスト：11 回以上、文献購読授業で用いる課題文献の通読、発表の準備、その他)

- ⑥ 課題の提出締め切りまでの日数：課題の締め切りまでの日数について、以下の中から当てはまるものすべて選択してください。

(0～3 日、4～10 日、11 日以上)

- ⑦ 課題のフィードバックの有無：課題のフィードバックの有無について、以下の中から当てはまるものすべて選択してください。その他を選ばれた場合は、その内容を記述してください。

(全体にしている、個別にしている、していない、その他)

- ⑧ 学生の負担の度合い：学生にとって、授業（課題等含む）の負担度合いはどのくらいだと思いますか。以下の中から一つ選び、その理由についてお書きください。

(学生の負担に配慮し適切だったと思う、すべて適切だったとは思わない、どちらともいえない)

自由記入欄

- ① 先生が「これは良かった」と考える実践内容について、理由とともに教えてください。
- ② 先生が「これは良くなかった（悪かった）」と考える実践内容について、理由とともに教えてください。
- ③ オンライン授業全般に関してのご意見やご感想がありましたら、お書きください。

3. 調査結果の分析

以下に、アンケート集計結果の概要について報告する。

3-1. 授業形態：講義

① 授業のタイプ

インタラクティブ型 (21 名：33%)、オンデマンド型 (29 名：45%)、テキスト課題型 (14 名：22%) であり、Youtube などの録画した動画を配信してそれを閲覧してもらう形の授業の形式が最も多かった。また、Zoom などを用いたインタラクティブ型も 3 割以上であった。

② 1 回の授業時間

90 分 (17 名：27%)、60 分～90 分未満 (31 名：49%)、30 分～60 分未満 (15 名：24%)、30 分未満 (0 名) であり、60 分～90 分未満が約半数であった。90 分の中で課題に取り組む時間を確保した形の授業が多く行われていたことがわかる。

③ 学生の授業外学習時間

3 時間以上（2 名：3%）、2 時間以上 3 時間未満（8 名：13%）、1 時間以上 2 時間未満（23 名：38%）、30 分以上 1 時間未満（24 名：40%）、30 分未満（2 名：3%）、していない（1 名：2%）であり、30 分から 2 時間程度の授業外学習時間を学生が一つの授業につき費やしていたことがわかる。この点については、教員側の想定と学生が実際にかけた時間に相違があることも考えられ、貴重なデータだと考えられる。

④ 課題の内容・分量・提出回数

毎回の授業の振り返り（400 字未満）が 26 名、毎回の授業の振り返り（400 字～1000 字未満）が 10 名、毎回の授業の振り返り（1000 字以上）が 1 名、毎回の授業の振り返り（文字数指定なし）が 11 名、期末レポート（2000 字未満）が 21 名、期末レポート（2000 字～4000 字未満）が 12 名、期末レポート（4000 字以上）が 0 名、期末レポート（文字数指定なし）が 9 名、小テスト（0～5 回未満）が 20 名、小テスト（5～11 回未満）が 6 名、小テスト（11 回以上）が 11 名、文献購読授業で用いる課題文献の通読が 6 名、発表の準備が 2 名、その他が 17 名であった。

⑤ 課題の提出締め切りまでの日数

0～3 日が 13 名、4～10 日が 41 名、11 日以上が 19 名であった。

⑥ 課題のフィードバックの有無

全体にしている（39 名）、個別にしている（28 名）、していない（12 名）、その他（5 名）であった。

⑦ 学生の負担の度合い

学生の負担に配慮し適切だったと思う（38 名：60%）、すべて適切だったとは思わない（14 名：22%）、どちらともいえない（11 名：17%）であり、半数以上が適切だったと判断していた。

3－2．授業形態：講義＋演習

① 授業のタイプ

インタラクティブ型（12 名：63%）、オンデマンド型（3 名：16%）、テキスト課題型（4 名：21%）であり、Zoom などを用いたリアルタイム双方向型の授業が 6 割以上行われていた。

② 1 回の授業時間

90 分（10 名：53%）、60 分～90 分未満（4 名：21%）、30 分～60 分未満（5 名：26%）、30 分未満（0 名）であり、90 分の割合が半数以上と多かった。これはインタラクティブ型の多さと関連があるものといえる。

③ 学生の授業外学習時間

3 時間以上 (3 名 : 15%)、2 時間以上 3 時間未満 (5 名 : 25%)、1 時間以上 2 時間未満 (5 名 : 25%)、30 分以上 1 時間未満 (5 名 : 25%)、30 分未満 (0 名 : 0%)、していない (2 名 : 10%) であり、講義形式の授業よりも授業外学習時間が多いことが明らかとなった。

④ 課題の内容・分量・提出回数

毎回の授業の振り返り (400 字未満) が 4 名、毎回の授業の振り返り (400 字～1000 字未満) が 1 名、毎回の授業の振り返り (1000 字以上) が 0 名、毎回の授業の振り返り (文字数指定なし) が 5 名、期末レポート (2000 字未満) が 6 名、期末レポート (2000 字～4000 字未満) が 4 名、期末レポート (4000 字以上) が 0 名、期末レポート (文字数指定なし) が 2 名、小テスト (0～5 回未満) が 5 名、小テスト (5～11 回未満) が 2 名、小テスト (11 回以上) が 0 名、文献購読授業で用いる課題文献の通読が 1 名、発表の準備が 5 名、その他が 3 名であった。

⑤ 課題の提出締め切りまでの日数

0～3 日が 5 名、4～10 日が 7 名、11 日以上が 7 名であった。

⑥ 課題のフィードバックの有無

全体にしている (13 名)、個別にしている (10 名)、していない (1 名)、その他 (1 名) であった。

⑦ 学生の負担の度合い

学生の負担に配慮し適切だったと思う (11 名 : 55%)、すべて適切だったとは思わない (4 名 : 20%)、どちらともいえない (5 名 : 25%) であり、半数以上が適切だったと判断していた。

3-3. 授業形態：演習

① 授業のタイプ

インタラクティブ型 (25 名 : 78%)、オンデマンド型 (3 名 : 9%)、テキスト課題型 (4 名 : 13%) であり、最もインタラクティブ型の授業形態が多くとられていた。

② 1 回の授業時間

90 分 (20 名 : 63%)、60 分～90 分未満 (10 名 : 31%)、30 分～60 分未満 (1 名 : 3%)、30 分未満 (1 名 : 3%) であり、90 分の割合が最も多かった。

③ 学生の授業外学習時間

3 時間以上 (2 名 : 6%)、2 時間以上 3 時間未満 (8 名 : 26%)、1 時間以上 2 時間未満 (11 名 : 35%)、30 分以上 1 時間未満 (8 名 : 26%)、30 分未満 (0 名 : 0%)、していない (2 名 : 6%) であった、

④ 課題の内容・分量・提出回数

毎回の授業の振り返り（400字未満）が10名、毎回の授業の振り返り（400字～1000字未満）が2名、毎回の授業の振り返り（1000字以上）が1名、毎回の授業の振り返り（文字数指定なし）が6名、期末レポート（2000字未満）が12名、期末レポート（2000字～4000字未満）が3名、期末レポート（4000字以上）が1名、期末レポート（文字数指定なし）が5名、小テスト（0～5回未満）が7名、小テスト（5～11回未満）が1名、小テスト（11回以上）が1名、文献購読授業で用いる課題文献の通読が8名、発表の準備が20名、その他が7名であった。演習の授業では発表させることを課題として課しているところが多いことがわかる。

⑤ 課題の提出締め切りまでの日数

0～3日が7名、4～10日が18名、11日以上が12名であった。

⑥ 課題のフィードバックの有無

全体にしている（20名）、個別にしている（23名）、していない（0名）、その他（1名）であり、何かしらのフィードバックが行われていた。

⑦ 学生の負担の度合い

学生の負担に配慮し適切だったと思う（21名：66%）、すべて適切だったとは思わない（8名：25%）、どちらともいえない（3名：9%）であり、7割近くが適切だったと考えていた。これは、演習系の授業は受講者数が少ない傾向にあるため、より要望を反映しやすい状況だったと推察される。

3－4. 授業形態：実習

① 授業のタイプ

インタラクティブ型（8名：73%）、オンデマンド型（1名：9%）、テキスト課題型（2名：18%）であり、演習と同様にインタラクティブ型の授業が多かった。

② 1回の授業時間

90分（3名：30%）、60分～90分未満（5名：50%）、30分～60分未満（2名：20%）、30分未満（0名：0%）であり、60分～90分未満が約半数であった。90分の中で課題に取り組む時間を確保した形の授業が多く行われていたことがわかる。

③ 学生の授業外学習時間

3時間以上（0名：0%）、2時間以上3時間未満（3名：27%）、1時間以上2時間未満（5名：45%）、30分以上1時間未満（2名：18%）、30分未満（0名：0%）、していない（1名：9%）であった。

④ 課題の内容・分量・提出回数

毎回の授業の振り返り（400 字未満）が 1 名、毎回の授業の振り返り（400 字～1000 字未満）が 1 名、毎回の授業の振り返り（1000 字以上）が 0 名、毎回の授業の振り返り（文字数指定なし）が 2 名、期末レポート（2000 字未満）が 0 名、期末レポート（2000 字～4000 字未満）が 1 名、期末レポート（4000 字以上）が 0 名、期末レポート（文字数指定なし）が 1 名、小テスト（0～5 回未満）が 4 名、小テスト（5～11 回未満）が 1 名、小テスト（11 回以上）が 0 名、文献購読授業で用いる課題文献の通読が 1 名、発表の準備が 5 名、その他が 2 名であった。

⑤ 課題の提出締め切りまでの日数

0～3 日が 1 名、4～10 日が 7 名、11 日以上が 2 名であった。

⑥ 課題のフィードバックの有無

全体にしている（9 名）、個別にしている（5 名）、していない（1 名）、その他（1 名）であった。

⑦ 学生の負担の度合い

学生の負担に配慮し適切だったと思う（5 名：45%）、すべて適切だったとは思わない（3 名：27%）、どちらともいえない（3 名：27%）であった。

3－5. 授業形態：実技

① 授業のタイプ

インタラクティブ型（4 名：80%）、オンデマンド型（0 名：0%）、テキスト課題型（1 名：20%）であり、ほとんどがインタラクティブ型であった。

② 1 回の授業時間

90 分（1 名：25%）、60 分～90 分未満（2 名：50%）、30 分～60 分未満（1 名：25%）、30 分未満（0 名：0%）であった。

③ 学生の授業外学習時間

3 時間以上（0 名：0%）、2 時間以上 3 時間未満（1 名：17%）、1 時間以上 2 時間未満（1 名：17%）、30 分以上 1 時間未満（3 名：50%）、30 分未満（0 名：0%）、していない（1 名：17%）であった。

④ 課題の内容・分量・提出回数

毎回の授業の振り返り（400 字未満）が 2 名、毎回の授業の振り返り（400 字～1000 字未満）が 0 名、毎回の授業の振り返り（1000 字以上）が 0 名、毎回の授業の振り返り（文字数指定なし）が 3 名、期末レポート（2000 字未満）が 0 名、期末レポート（2000 字～4000 字未

満)が0名、期末レポート(4000字以上)が0名、期末レポート(文字数指定なし)が1名、小テスト(0~5回未満)が2名、小テスト(5~11回未満)が0名、小テスト(11回以上)が0名、文献購読授業で用いる課題文献の通読が0名、発表の準備が0名、その他が1名であった。

⑤ 課題の提出締め切りまでの日数

0~3日が0名、4~10日が4名、11日以上が1名であった。

⑥ 課題のフィードバックの有無

全体にしている(3名)、個別にしている(3名)、していない(1名)、その他(1名)であった。

⑦ 学生の負担の度合い

学生の負担に配慮し適切だったと思う(3名:60%)、すべて適切だったとは思わない(1名:20%)、どちらともいえない(1名:20%)であった。

4. 授業アンケート調査結果の活用

今年度は、急遽オンラインでの授業となったが、アンケートの結果を見ると、先生方の様々な試行錯誤が随所に見られ、特に自由記述に関する部分では今後の授業に活用できるものが数多く記述されていた。教員側の負担の多さやオンライン授業に対応するための備品のサポートなどいくつか重要な指摘もあげられており、次年度以降、オンライン授業が継続される場合には、何かしらの対応を考えていくことが重要だと考えられる。

Ⅳ 学科・専攻における令和 2（2020）年度 F D 活動への取り組み

1. 人間関係学科

（1）社会学専攻における F D 活動に関する取り組み

1) 社会学全体としての取り組み

i 今年度は新型コロナウイルスの影響で、前期は専攻会議のほとんどがメール協議、後期は Zoom や対面で会議を行うことが多かった。例年は、問題を抱えた学生たちへの対応というのが、会議の議題によくのぼり、そうした学生たちへの対応が検討されることが多かった。ただし、今年度は、メールで特定の学生についての情報を残すことに対する配慮が働いたため、とくに前期のメール協議のなかでは、こうした話題が出ることがなかった。後期も、ほとんどの教員が直接学生と会う機会がほとんどなかったため、そうした問題を抱える学生に対する話題がなかなかのぼってくる機会がなかった。この点は、例年にない特殊な環境によるものであった。

ii 今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、例年は 5 月末に開催されていた授業担当者懇談会が 11 月に Zoom 上での開催となった。非常勤の先生方のご意見をいただき、専攻としての取り組むべき改善作業の参考にした。毎年参加してくださる非常勤の先生もおられ、有意義な会となっている。

iii 社会学専攻では、平成 25 年度から「社会学基礎セミナーⅠ」の平準化を行うことにした。共通のテキストを指定して、レジュメの作り方、図書館の利用法、テキストの輪読、グループワークの実施など、担当教員が行う授業内容を取り決めた。採点基準については、「社会学基礎セミナーⅠ」、「社会学基礎セミナーⅡ」とも、S は 1 割以内、A と S の合計は 5 割を超えないという評価の分布の基準を設けるとともに、授業での報告を中心とした平常点と期末レポートの比重をそれぞれ 50% とし、その合算によって成績評価を決めるということが確認された。今年度は、各教員によって、manaba を用いた資料配信や Zoom 授業など、授業のやり方がそれぞれ異なっていたが、それでも、上記の共通部分は踏襲されており、この方針は令和 3 年度においても継続される。

iv 社会学専攻では、2 年次の「社会調査及び演習Ⅰ・Ⅱ」の授業の一環として学生による報告会を毎年 12 月上旬に開催している。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、manaba で連絡をし、Google Drive 上に、発表のスライドを提示するという形での開催となった。この報告会の主たる目的は学生の発表であるが、このポスターセッションは社会学の教員も全員閲覧できる形となっており、そのため他の教員が演習という授業をどのように行っているのかが分かる形となっている。そのため、教員にとっては、次年度からの授業運営の参考になるという意味で、教員の F D にとっても有意義な会となっていると考える。

2) 教員個々の取り組み

i 伊藤美登里

1. F D 活動における教員個々の取り組み

I. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. タイトル：人間関係学部の FD 研修会

日時：12 月 1 日

場所・方法：Zoom

内容：オンライン授業の効果的な進め方

II. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

【市販されている教材・テキスト】

1. タイトル：『よくわかる社会学第三版』（ミネルヴァ 書房）

内容：「リスク社会論」の部分を第一版で執筆した内容が古くなったため書き改めた

III. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. タイトル：講義科目のオンデマンド化

内容：新型コロナ流行に伴い、講義科目の授業内容をオンデマンド化した

ii 牛山美穂

1. FD 活動における教員個々の取り組み

I. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. タイトル：早稲田大学 CTLT セミナー

日時：2020 年 9 月 1 日（火） 13:00-14:00

場所・方法：Zoom Webinar にて開催

内容：オンライン授業における評価の工夫

2. タイトル：人間関係学部 FD 研修会

日時：2020 年 12 月 11 日（金） 15:00-17:00

場所・方法：zoom 講習会

内容：授業をよりよくするためのオンライン授業 Tips 第一分科会参加

II. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

【個別ではなく複数の授業で活用するために作成した教材・テキスト】

1. タイトル：社会学評論スタイルガイド&Google Scholar による文献リスト作成方法

内容：文献リストを作成するためのガイド

2. タイトル：レジュメの作り方（研究発表用）

内容：自分自身の研究発表をする際のレジュメの作成方法

3. タイトル：レジュメの作り方（文献購読）

内容：文献購読をする際のレジュメの作成方法

4. タイトル：KJ 法ワークショップ

内容：KJ 法を行う方法

III. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. タイトル：manaba のアンケート機能を用いたやり取り

内容：「文化表象分析入門」「ポピュラーカルチャーの世界」「医療社会学／医療と社会」「文化人類学」は Youtube 毎日で講義動画を視聴してもらう形式を取った。授業の冒頭に、講義に関係する質問を出題し、講義を視聴した後、2 日後の締め切りまでに manaba のアンケートから回答を記入してもらい、翌週の講義動画の冒頭で、いくつかの意見について紹介する、という形式をとった。特にオンライン授業で学生同士の繋がりが無いなか、こうした方法でほかの学生の意見を聴くことができるというのはよかったという意見をもらった。

2. タイトル：Zoom での学生の発表の際のチャットの活用

内容：「社会学基礎セミナーⅠ・Ⅱ」「現代社会論セミナーⅠ・Ⅱ」「社会学セミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」において、Zoom で学生が発表する際に、すべての学生に、チャットで発表者に対するコメントを書いてもらうようにした。これによって、聴いている学生たちもただ傍観しているだけでなく発表者の話をよく聞くようになるとともに、発表者も学生全員からコメントがもらえるという利点が生じる。なお、チャットに書かれたコメントは、授業終了後、manaba のお知らせから文書で内容を改めて全員に流し、後からゆっくり閲覧できるようにした。

iii 大出春江

1. FD 活動における教員個々の取り組み

I. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. タイトル：人間関係学部 FD 研修会

日時：2020/12/11

場所・方法：zoom 講習会

内容：授業をよりよくするためのオンライン授業 Tips 第一分科会参加

2. タイトル：「私の遠隔授業」オンラインセミナー（朝日ネット主催）

日時：2020/08/07

場所・方法：zoom 講習会

内容：筑波大学藤田晃之先生による教職課程や講義科目で Microsoft Stream と zoom、manaba を活用してどのように遠隔授業を実施したかについての実践報告

II. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

【個別ではなく複数の授業で活用するために作成した教材・テキスト】

1. タイトル：わたしのレジュメ報告例

内容：『現場から創る社会学理論』（ミネルヴァ書房、2017）の第1章を用いてレジュメ報告例を作成した。報告の形式と提示の仕方、批判的な読み方がわかるコメントの意義と重要性を強調し、オンライン授業のなかで簡潔にレジュメを作成する方法がわかるように工夫した。セミナー系科目でも授業のはじめに活用。3 年次生向け社会調査特論Ⅱの授業教材としても用いた。

Ⅲ. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. タイトル：授業における Respon の活用

内容：オンライン授業における双方向性を確保するための一つの方法として、2020 年度前期から Respon を活用した。リアルタイムで学生の書き込みを見ることができる点で manaba のオンラインレポートと異なり、また簡単なアンケート結果をグラフ化する機能があるため、その結果を次の授業でフィードバックすることで、学生たちには興味をもってもらえることがわかった。

iv 久保田滋

1. FD 活動における教員個々の取り組み

I. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

特になし

Ⅱ. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

特になし

Ⅲ. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. タイトル：コロナ禍におけるオンライン授業の構築

内容：動画配信と manaba の利用を中心としたオンデマンド授業、ZOOM を用いたリアルタイムのオンライン授業、そして、対面とオンラインを同時におこなうハイブリッド授業について、実践的に新たな教育スタイルの構築に取り組んだ。

v 小谷敏

1. FD 活動における教員個々の取り組み

I. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. タイトル：第 40 回社会学合同セミナー

日時：2020.12.11 および 12 日

場所・方法：ZOOM

内容：大妻、法政、日大、上智、流通経済の 5 大学 6 ゼミが、研究報告を行うイベント。

【学会参加】

1. タイトル：日本マスコミュニケーション学会秋季大会

日時：2020 年 11 月 16 日

場所・方法：ZOOM

内容：急逝したマスコミ学者守弘仁志氏の追悼セッションの司会者を務めた

Ⅱ. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

【市販されてはいないが授業で活用するために作成した教材・テキスト】

1. タイトル：人間関係総論講義録

内容：オンデマンド資料配信型授業のための講義録を「ライブ感覚」で作成。

vi 齊藤 豊

1. FD 活動における教員個々の取り組み

I. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. タイトル：人間関係学部 FD 研修会

日時：2020 年 12 月 11 日（金）15:00-17:00

場所・方法：zoom 講習会

内容：授業をよりよくするためのオンライン授業 Tips 第一分科会にて発表

II. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

【市販されている教材・テキスト】

1. タイトル：佐々木 理恵『ここだけ読めば決算書はわかる! 2020 年版』新星出版社

内容：決算書（貸借対照表、損益計算書など）の読み方

2. タイトル：齊藤 豊『女子大生のためのコンピューター教科書』電気書院

内容：マイクロソフト Office の使い方を中心に学生生活と就職活動のための ICT 能力育成

III. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. タイトル：効率的な Zoom 授業の進め方

内容：Zoom を利用する上での技術的ノウハウをまとめた

vii 野辺 陽子

1. FD 活動における教員個々の取り組み

I. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. タイトル：2020 年度人間関係学部 FD 研修会

日時：2020.12.11（金）15:00～17:00

場所・方法：Zoom

内容：「授業をよりよくするためのオンライン授業 Tips」

II. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

特になし

III. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. タイトル：Zoom のブレイクアウト機能を用いたグループワーク

内容：アカデミックリテラシーについて、学生同士で相互チェックを行わせた

viii 干川剛史

1. FD 活動における教員個々の取り組み

I. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. タイトル：2020 年度人間関係学部 FD 研修会

「授業をよりよくするためのオンライン授業 Tips」

日時：2020 年 12 月 11 日（金）15:00～17:00

場所・方法：Zoom による開催

内容：「分科会での議論」

第 1 分科会（司会：牛山 FD 委員）齊藤豊／Zoom 授業初体験ドキュメント

第 2 分科会（司会：本田 FD 委員長）田中優／オンラインによる演習授業について
－受講生 116 人での質的データ解析演習の事例報告－干川参加

第 3 分科会（司会：上野 FD 委員）佐藤富士子／力を合わせて、オンラインなんてへ
っちゃら！

「各分科会の結果報告、まとめ」（司会：本田 FD 委員長）

II. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

【市販されている教材・テキスト】

1. タイトル：『現代と社会学』干川剛史著・同友館・2016 年）

内容：○「社会学概論Ⅰ」（前期火 1 時限・4 時限）での使用：第 1 章「現代社会の構造」・
第 2 章「現代社会をとらえるための基本的な考え方」・第 3 章「現代社会と社会学
理論」

○「社会学概論Ⅱ」（後期火 1 時限・4 時限）での使用：第 4 章「都市化と地域社会
の変動」・第 5 章「現代社会と家族」

○「現代社会論セミナーⅠ」（前期水 3 時限）での使用：第 6 章「格差社会と不平
等」・第 8 章「現代社会とボランティア」

2. タイトル：『デジタル・ネットワーキングの展開』干川剛史著・晃洋書房・2014 年）

内容：○「現代社会論セミナーⅡ」（後期水 3 時限）での使用：第 1 章「デジタル・ネット
ワーキングとソーシャル・キャピタル」・第 3 章「阪神・淡路大震災におけるデジタ
ル・ネットワーキングの展開」・第 4 章「日本海重油災害におけるデジタル・ネット
ワーキングの展開」・第 6 章「災害デジタル・ネットワーキングにおける情報通信技
術（ICT）活用の実態と課題」・第 7 章「東日本大震災におけるデジタル・ネットワ
ーキングの展開」

III. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. タイトル：担当科目（ゼミ・卒論・卒研等を含む）の内容や授業方法の改善、教育効果向上 のための取り組み

内容：新型コロナウイルス感染防止のために今年度の授業はすべてオンライン授業で実施
した。まず、講義形式の授業については、manaba を使用し、毎回の授業の課題を

「コースニュース」で提示し、その際に適宜、Google Drive に課題に関連した資料を掲載した。そして、受講者に、その資料と教科書を使用して課題に解答し、締め切り日までに「レポート」に提出するように指示した。また、質問は、「掲示板」で随時受け回答する。担当教員は、提出期日後に「レポート」に提出された課題の解答を回収し採点を行い、主な解答を参照した上で講評を「コースニュース」で提示し、受講者にそれを読んで復習するように指示をした。

他方で、演習・実習形式の授業についても、manaba を使用し、課題の提示と関連資料の掲載、受講者による課題の解答の提出の方法は、講義形式の授業と同様であるが、発表担当の受講者が提出した課題の解答を「掲示板」に掲載した。そして、その解答について報告担当者以外の受講者全員が見解・助言を「掲示板」に掲示しながら議論を行い、議論が終了した時点で担当教員が講評を「掲示板」に掲示し、受講者全員は、その講評を読んで課題のについての考察・見解をレポートに記載し締め切り日までに「レポート」に提出した。そして、担当教員は、レポートを回収・採点した。

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（論文や著書）】

1. タイトル：干川剛史「東日本大震災被災地（気仙沼市及び南三陸町）における復興に関する調査研究」大妻女子大学人間生活文化研究所『人間生活文化研究』No. 30 2020.p511-538.

内容：本稿では、まず、南三陸町と気仙沼市で参与観察とアンケート調査を継続して実施して東日本大震災発生から長期にわたる復興過程の実態と変化を把握した。次に、被災地復興に関わる諸主体間の相互協力信頼関係に基づく関係構造を「デジタル・ネットワーク・モデル」によって可視化することで復興過程の現状と課題を解明した。

2. タイトル：干川剛史「災害対応における ICT 利用の実態と課題—山形県沖地震・鹿児島豪雨・台風 19 号と令和 2 年 7 月豪雨を事例として—」大妻女子大学人間関係学部紀要『人間関係学研究』No. 22 2021.p35-50.

内容：本稿では、令和元年に発生した山形県沖地震、鹿児島豪雨、台風 19 号及び令和 2 年発生の 7 月豪雨の各大規模災害において総務省東北・信越・東海・九州の各総合通信局と連携して筆者が実施した、被災地の自治体に対する Wi-Fi ルーターや携帯電話・タブレット端末等の情報通信機器の無償貸与の仲介や「被災者支援システム」の導入支援を中心とする情報通信支援活動の実態と課題を明らかにした。

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（学会や研究会等）】

【学会】

1. タイトル：干川剛史（報告者）「東日本大震災被災地における復興の現状と課題—気仙沼市と南三陸町を事例として—」第 93 回 日本社会学会大会ポスターセッション
日時：2020 年 11 月 1 日（日）10:30～13:00
場所・方法：オンライン大会・追加資料の配布には、大会特設サイトからリンクされている OneDrive へアップロードによる資料配布により研究発表を行った。

内容：この報告では、東日本大震災被災地の南三陸町と気仙沼市で参与観察とアンケート調査を継続して実施して東日本大震災発生から長期にわたる復興過程の実態と変化を把握した上で、被災地復興に関わる諸主体間の相互協力信頼関係に基づく関係構造を「デジタル・ネットワーキング・モデル」によって可視化することで被災地復興の現状と課題を解明した。

【研究会等】

1. タイトル：干川剛史（ファシリテーター）「地域情報化アドバイザーによる ICT を活用した防災・災害対応支援の仕組みづくり」総務省令和 2 年度地域情報化アドバイザー全体会議分科会防災分野（前半）

日時：2020 年 9 月 28 日（月）13:30～17:30

場所・方法：Microsoft Teams による開催

内容：地域情報化アドバイザーの専門的知識・技術・経験を結集した、地方公共団体等を ICT の活用によって効果的に支援する仕組みづくりについてワークショップ形式で検討した。

2. タイトル：干川剛史（報告者）「この 1 年間（2019 年 10 月～2020 年 9 月）の活動報告」総務省令和 2 年関東総合通信局地域情報化アドバイザー会議

日時：2020 年 10 月 15 日（木）14:00～16:15

場所・方法：MS Teams による開催

内容：「令和元年台風 19 号」による長野県内の被災自治体への支援活動／「令和 2 年 7 月豪雨」による岐阜県内の被災自治体への支援活動及び熊本県・鹿児島県・福岡県内の被災自治体の実態調査／地域情報化アドバイザー全体会議分科会防災分野（前半）でのファシリテーターとしての活動について報告した。

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（研究）】

1. タイトル：「令和 2 年 7 月豪雨」による熊本県・鹿児島県・福岡県内の被災自治体の実態調査
内容：九州地方（熊本・鹿児島・福岡県）の被災 7 市町村の「令和 2 年 7 月豪雨」への災害対応における情報通信利用の実態把握を目的にした以下の項目について現地調査を行った。

1. 災害対応における情報通信機器の調達・貸与及び使用状況
2. 被災住民に対する罹災証明書の発行や支援金・見舞金の配分などで情報システムの使用状況
3. 総務省の「MIC-TEAM（災害時テレコム支援チーム）」からの支援状況

ix 牧野智和

1. FD 活動における教員個々の取り組み

I. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. タイトル：人間関係学部 FD 研修会

日時：2020/12/11

場所・方法：zoom 講習会

内容：授業をよりよくするためのオンライン授業 Tips 第一分科会参加

【学会参加】

特になし

【その他】

I. タイトル：立教大学オンライン授業講習会

日時：2020/4/23

場所・方法：zoom 講習会

内容：オンライン演習の実施方法について

II. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

【市販されている教材・テキスト】

特になし

【市販されてはいないが授業で活用するために作成した教材・テキスト】

「日常生活論」「子どもと教育社会学」用に作成した読み物テキストを、例年の教材とは別に準備した（A4 で各 100 ページ程度）

【個別ではなく複数の授業で活用するために作成した教材・テキスト】

特になし

【その他】

特になし

III. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. タイトルがあるような試みではないが、演習／講義それぞれの授業でリアルタイム／オンデマンド双方を試行錯誤しながら、その差配については一年中取り組んでいた。

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（論文や著書）】

特になし

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（学会や研究会等）】

特になし

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（研究）】

特になし

【その他】

特になし

(2) 社会・臨床心理学専攻におけるFD活動に関する取り組み

各教員のFD活動の取り組み

教員個々の特筆すべきFD上の取り組みを“Ⅰ．企画あるいは参加した教育関連の研修会”、“Ⅱ．授業で活用するために作成した教材・テキスト”、“Ⅲ．教育内容に関する質の向上を図るための取り組み”に分けて記述し、その成果を報告する。

春日文

Ⅰ．企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1．精神分析と認知行動療法における多元論

日時：2020年12月20日

場所・方法：Zoomによるオンライン

内容：東 斉彰先生：認知行動療法と多元論

岡野憲一郎先生：精神分析における多元論

両先生によりご講義およびディスカッションに参加

2．AJAJ（ユング派分析家協会）第8回研修会

日時：2021年3月7日

場所・方法：Zoomによるオンライン

内容：山口素子先生：ユング派の心理療法と親面接

田熊友紀子先生：ユングの文献から「水と無意識」について学ぶ

両先生によりご講義およびディスカッションに参加

【学会参加】

1．日本発達心理学会第31回大会

日時：2020年3月2日～4日

場所・方法：大阪国際会議場

内容：学会参加

2．日本心理臨床学会第39回大会

日時：2020年11月20日～26日

場所・方法：Web開催

内容：事例研究発表および学会参加

Ⅱ．授業で活用するために作成した教材・テキスト

特になし

Ⅲ．教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（論文や著書）】

1．「悪性リンパ腫を呈した男性との支持的心理療法の過程：歌を通して自分らしさを表現したことで適応能力が向上した事例からの一考察」

内容：歌を通して自分らしさを表現した悪性リンパ腫を罹患した60代後半の男性に対し

て支持的心理療法を行った。面接開始時、クライアントは絶望感や不安を抱えている様子がみられたが、現実状況への再適応を促すことを目的とした支持的心理療法の過程のなかで、歌がクライアントにとって重要な意味を持つことをクライアント自身が気づくこととなった。その後、クライアントは歌を通してライフレビューを始め、現実を受け止め始め、次第に未来を意識するようになった。最終的にクライアントは自主的に今後の人生について検討するようになるとともに、自らの希望を語るようになった。支持的な関わりを通して、次第にクライアントの本来の適応能力の回復がみられ、現実状況への再適応に繋がったと考えられた。

2. 「児童期後期から青年期における歌唱活動が越境的交流および情動発達に及ぼす影響」
内容：本研究では、児童期後期から青年期における歌唱活動が、越境的交流と情動発達に及ぼす影響について検討することを目的とし、小中高校生とその母親に、児童期後期・青年期前期・青年期後期でそれぞれ150名ずつ、計450名を対象に質問紙調査を行った。その結果、歌唱活動と越境的交流の関連に関しては、全ての年齢段階において、母親との歌唱活動により、情動の安定や自分で自分に歌いかけをする自立化である垂直的な越境活動が深化するとともに、友だちとの歌唱活動が促されることがわかった。また、垂直的な越境活動が深化することにより水平的な越境活動が進行することがわかった。歌唱活動と情動発達の関連に関しては、年齢段階において変容がみられた。児童期後期では、母親との歌唱活動により、情動の制御と調節が促されることが示唆された。また、一人での歌唱活動および友だちとの歌唱活動により、情動表現が促されることが示唆された。青年期前期では、母親との歌唱活動により、情動の理解と認識および情動の制御と調節が促されることが示唆された。青年期後期では、友だちとの歌唱活動により、情動の理解と認識および情動の制御と調節が促されることが示唆された。

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（学会や研究会等）】

1. 老年期における孫育てが精神的健康に及ぼす影響—歌いかけ・歌唱活動に着目して—
内容：社会的文化的子育ての中でも、歌いかけ・歌唱活動に焦点化し、孫に対する歌いかけ・歌唱活動が、祖父母の精神的健康にどのような影響を与えるのかについて検討することを目的とした研究を現在継続中である。

香月菜々子

I. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. 人間関係学部 FD 研修会 「授業をよりよくするためのオンライン授業 Tips」
日時：2020 年 12 月 11 日（金）15:00～17:00
場所：オンライン開催（Zoom 会議室）
内容：分科会「オンラインによる演習授業について—受講生 116 人での質的データ解析演習の事例報告—（田中優先生）」に参加した。情報作業ツールを駆使することで、対面時とほぼ変わらずに質的データ解析の学びが進められたケースについてご紹介

いただき、オンライン演習の可能性について有益な学びの時間となり、今後の活力となる有意義な研修会となった。

【学会参加】

1. 日本心理臨床学会第39回大会—心理臨床学における『原点』の思索—

会員企画シンポジウム2 「原点としての描画法から、現代描画法理論の生成へ」

日時：第1部 11月20日（金）～11月26日（木）

シンポジウム動画配信

第2部 11月23日（月・祝）13:30～14:30

シンポジストと参加者とのディスカッション@オンライン（リアルタイム）

場所：オンライン開催（Zoom 会議室）

内容：本大会において企画された2つの会員企画シンポジウムのうちの一つとして、約3000名を対象に開催された。当初は対面での開催を予定されていたが、コロナ禍の影響にともない、急きょオンラインでの開催となった。「絵とことば研究会」のメンバー（佐々木玲仁（九州大学）・高石恭子（甲南大学）・穂苅千恵（山王教育研究所）・筆者）により、第1部では、描画法の原点に立ち返り、その本質と新たな現代理論生成をテーマに交わされた議論の動画配信を行った。第2部では、参加者との双方向のやりとりを実現するため、オンライン（リアルタイム）でのZoom配信を行い、参加者を交えたディスカッションが行われた。若手・中堅の実践家からの発言はもとより、ベテランの先生方からも貴重なコメントを頂き、新旧が混じりあうことで歴史がひと続きとなり、且つ特定の学派にとらわれることのない、大変豊かな対話の場となった。なお、こちらは本大会初、ならびに唯一オンライン（リアルタイム）開催の題目であり、今後の学会運営を考える上で、貴重な実践例の一つとなった。

【その他】

1. 絵とことば研究会主催「遠隔状況下における非言語的な臨床技法の開発」

日時：2020年6月18日 19:00～20:30

場所：オンライン開催（Zoom 会議室）

内容：新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、緊急事態宣言が発令され、日本全国の心理臨床の現場は、従来通りの対面面接の実施が不可となった。この事態を打開すべく、遠隔状況下における心理面接の在り方が急きょ模索された。とりわけ、描画法に代表される非言語的な臨床技法を介してのやりとりが遠隔状況下で可能となるのか、いかにして可能とするのかについて、「絵とことば研究会」の佐々木玲仁先生と香月とが話題提供者となり、約10名の心理臨床家との間でディスカッションを行った。香月は本学大学院研修施設（心理相談センター）での実践例としての「交換日記・交換絵日記を用いた心理相談／遊戯療法」を紹介し、主として子どもたちとの有機的（身体性を含有した温かみのある心理的）な関わりが可能となる様子を語るほか、カウンセリング初心者である大学院生を対象とした実践教育のひとつとしての有益性を示唆した。“遠隔＝オンラインカウンセリングの導入”という、世の公式とはまるで正反対の発想に基づく面接法であるが、参加者からは普段の臨

床実践に近い在り方として支持を得たことと、今後の展開が興味深いとの感想が多く寄せられ、筆者自身の臨床実践の励みとなった。

Ⅱ. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

【市販されてはいないが授業で活用するために作成した教材・テキスト】

1. 「キャンパスライフとメンタルヘルス」における書き込み式レジメの作成

内容：筆者が担当する全学共通科目の「キャンパスライフとメンタルヘルス」の講義内容を元に、昨年度に出版されたテキスト「キャンパスライフ・サポートブッケーこころ・からだ・くらしー」（共著）をさらに強化し、またオンライン状況下における学生たちの主体的な学びを促進するために、書き込み式のレジメを作成した。重要なポイントを空欄とし、学生自らが重要なキーワードをテキストや筆者の語りからピックアップして書き込むことで、授業内容の理解が深まるようにデザインされている。

【個別ではなく複数の授業で活用するために作成した教材・テキスト】

1. 全ての授業における教材の改訂（大学院）

内容：昨年度の授業評価アンケートの結果や、心理臨床領域での新しい知見や研究動向を参考にしつつ、授業で使用する教材全ての改訂を行い、manaba に挙げるほか、必要に応じてメールや郵送での配付を行った。

Ⅲ. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. 授業におけるリアクションペーパーの活用

内容：毎回、授業実施後にリアクションペーパーの提出をもとめ、学生たちに授業について理解した内容、疑問に思うことなどをまとめてもらい、次の授業で教員から全体に向けてフィードバックすることで、授業内容の理解に役立てた。今年はオンライン（リアルタイム）による講義が主となったため、リアクションペーパーの回収には manaba のレポート機能を活用したほか、また授業中に双方向のやりとりを可能とするために Zoom のチャット欄の活用を行った。さらに respon などのアンケート機能を活用することで、講師と学生達の間ばかりでなく、学生達の意見をみなで共有することを可能にしたことで、学生同士は直接会えないながらも、他者の意見に耳を傾けることで、自ずと多角的な視点が身につくといった利点が生じた。また、教室（Zoom 会議室）の環境改善についてもコメントをもとめ、意見を収集し改善を図るといった取り組みも行われた。

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（論文や著書）】

1. 大妻女子大学心理相談センター紀要 17 号 P.59-73

「感性の働きがもたらす理解—大学院実習における“五感のワーク”体験プロセスの考察—」
内容：大学院と学内実習施設との連携による臨床実践的な基礎トレーニングとして導入された「五感のワーク」に焦点をあて、その特徴と役割、そして有効性について探索的に明らかにすることを目的とした研究論文である。18 名の調査協力者を対象に、「五感のワーク」での体験について計量テキスト分析を用いて整理した結果、9 分

類が見出された。ワークへの参加を通じて、自らの五感で感知する機能を回復し、自分が置かれている現状を見直し、能動的に取り組めるといった変化が見られたほか、他者の異質性を受け容れるおおらかさが養われること、さらには図としての心理療法の営みをささえる地としての場のありように気付くことが挙げられた。これらはいずれも心理療法の実践力の養成に寄与するものであり、「五感のワーク」の役割が明確化されたと共に臨床実践の基礎を養う方法としての有効性も示唆された。

2. 大妻女子大学心理相談センター紀要 18 号（印刷中）

「大妻女子大学心理相談センター新型コロナウイルス感染症対策について」

内容：大学院の学内実習機関である大妻女子大学心理相談センターで継続して実施されている新型コロナウイルス感染症対策をもとに、環境整備の実際と、大学院生を含む相談スタッフ等が日々どのような対策を行いながら、臨床実践に励んでいるのかをまとめている。これらはすべて、大学院生たちが自らの心理実習の中で行った実践の記録でもあり、これまで通りの営業が困難となった場合に、心理援助をいかにして可能にするのか、またその時々ニーズにもとづいて瞬時に判断をし、臨機応変に対応することが心理臨床の場では常に求められることを示す教育的な資料と位置づけられる。

3. 大妻女子大学心理相談センター紀要 18 号（印刷中）

「交換日記・交換絵日記」を用いた心理面接・遊戯療法の実践について

内容：新型コロナウイルス感染症の影響により、大学院の学内実習機関である大妻女子大学心理相談センターは約5ヶ月にわたり「臨時閉室」とせざるを得なかった。遠隔でのやりとりを余儀なくされた状況の中で、相談者との心理的なつながりを維持し、さらには対話を発展させうる場として、大妻女子大学独自の「交換日記・交換絵日記」を用いた心理面接・遊戯療法を開発し、実践を積み重ねている。その現状と有効性ならびに留意点、そして将来的展開について考察されている。これらはすべて、大学院生たちが自らの心理実習の中で行った実践の記録でもあり、危機的な状況下において、いかにして心理援助を可能にするのか、またその時々ニーズに沿っての臨機応変な対応が心理臨床の場では常に求められ、ひいては新しい手法が生み出されることを端的に示す、教育的な資料と位置づけられる。

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（学会や研究会等）】

1. 神奈川県メンタルヘルスサポート協会主催

「2020 年度 WAIS-IV 研修会～基礎から実践まで～ 講師：大六一志」参加

日時：2020 年 10 月 15 日（5 時間）

場所：オンライン開催（Zoom 会議室）

内容：改訂され、現場に導入されて間もない知能検査 WAIS-IV について、これまでの WAIS シリーズとの相違点や、解釈の際の重要点、また実際の解釈事例から学び、参加者ひとりひとりが臨床実践に役立てられる内容であった。WAIS-IV は心理アセスメントの重要な柱の一つであることから、研修会で得た内容は、その直後から学部なら

びに大学院での講義／演習のなかで学生達に向けて還元された。また、学内実習施設においては、大学院生を対象に、検査実施からフィードバックまでの一連の心理アセスメント実践指導を行う際に役立てられた。

2. 一般社団法人日本臨床心理士会主催

「2020 年度定例研修会 第 6 回ひきこもり心理臨床研修会」

日時：2021 年 2 月 14 日（日）10:00～16:00

場所：オンライン開催（Zoom 会議室）

内容：ひきこもり専門委員会委員長の平野学先生の司会により開催された。「ひきこもり」は従来、青少年や若年期の問題として扱われがちであったが、昨今では中高年の子どもと高齢の親という「8050」問題として注目されている現状の報告に続いて、その実践事例と理論的研究について、この分野の第一人者のおひとりである竹中哲夫先生にご講義いただいた。後半の部では当事者のお一人として様々な活動を行っている方そして、ひきこもりを経験した方からもお話をいただくことで、様々な角度からこの問題をとらえることが可能となり、まさに今進行していることを痛感させられた。教育場面において不登校傾向の学生への対応を考える上でも有益な内容であり、来年度の学部・大学院の講義のなかで紹介できるよう、心掛けたい。

田中優

I. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. 2020 年度人間関係学部 FD 研修会

日時：2020.12.11（金）15:00～17:00

場所・方法：オンライン（zoom）

内容：★第 2 分科会（司会：本田 FD 委員長）

話題提供（田中優）

オンラインによる演習授業について－受講生 116 人での質的データ解析演習の事例報告－

【学会参加】

1. 日本心理学会第 84 回大会

日時：2020.9.8（火）～11.2（月）

場所：ウェブ開催（東洋大学）

内容：心理学における最新の研究内容の発表、シンポジウム等

2. 日本社会心理学会第 61 回総会

日時：2020 年 11 月 7 日（土）・8 日（日）

場所：ウェブ開催（学習院大学）

内容：社会心理学における最新の研究内容の発表、シンポジウム等

II. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

【市販されている教材・テキスト】

1. 改訂新版：心理学論文の書き方---卒業論文や修士論文を書くために

【市販されてはいないが授業で活用するために作成した教材・テキスト】

1. 各種プリント

内容：心理学概論Ⅰ・Ⅱ、ファッションと社会心理学等の授業で、授業内容に即して作成。

Ⅲ. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. 教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み

内容：講義において、manaba等で、学生の意見をできるだけ吸い上げ、授業の中でフィードバックし、それを元に討議する形を取り、学生の考える時間と双方向のコミュニケーションを多くする努力をした。

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（学会や研究会等）】

1. 学部教育検討会

内容：学部のカリキュラムを中心に、大学院授業についても、その連続性と一貫性について、授業間の連携を担当教員全員で検討し、教育効果を高める検討会を定期的におこなっている。

2. 大妻保育臨床研究会

内容：保育園、幼稚園、認定こども園など、保育現場における臨床心理学的支援に関する学際的な研究会を主催し、調査研究、定期的な研究会等をおこなっている。

【その他】

1. ゼミ合宿（オンライン）

内容：2月に、3年生、および、次年度のゼミ生となる2年生の2学年合同で、3年生の卒論計画発表会を軸としたゼミ合宿（オンライン）を行った。各学年の参加については、3年生は、卒論計画発表会を実施することで3年次のゼミ活動を中心とした卒論をより具体的に進めることができる。また、3月からの就活開始にそなえて、ある程度の計画をまとめることで、就活と卒論の両立が見込める。2年生は、3年生を良きモデルとして、新年度のゼミ活動、卒論、就活に対するイメージを掴むことができている。

西河正行

Ⅰ. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. コロナと日本人の心

日時：2020年8月3日（月）20：00（～21：30）

場所・方法：Web

内容：日本人の愛について

2. 人生を物語として紡ぎ出す方法

日時：2020年9月19日（土）～9月25日（金）

場所・方法：オンデマンドWeb開催

内容：心の楽屋について

3. コロナと日本人の深層心理

日時：2020 年 9 月 27 日（日）15:00～16:30

場所・方法：Web

内容：コロナの影響について

4. あの素晴らしい愛について

日時：2020 年 11 月 18 日 20 時（～21:30）

場所・方法：Web

内容：コロナ下における愛の様相について

内容：コロナの影響について

5. 今また、新しい心の旅を

日時：2021 年 2 月 11 日 15 時（～16:30）

場所・方法：Web

内容：探し続けることについて

Ⅱ. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

【市販されてはいないが授業で活用するために作成した教材・テキスト】

1. 「精神分析的人格理論の基礎」補助教材

内容：オンライン授業のためのパワーポイント資料

Ⅲ. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. マンガによる精神分析的心理療法の実際の紹介

内容：強迫神経症の治療過程をマンガ化したもの

2. 各種ビデオ教材の使用

内容：「公認心理師の職責」では過去に集めた種々のビデオをテーマごとに編集し、教材として活用した。

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（論文や著書）】

1. 学生相談におけるグループのあり方を巡って—26 年間の実践を振り返る—

内容：ある 4 年制大学の学生相談室における 26 年間のグループワーク実践の過程を批判的に検討した

廣瀬雄一

Ⅰ. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. 一般社団法人日本公認心理師養成機関連盟 第 6 回研修会「実習及び演習を担当する教員研修〈総論〉」

日時：2020 年 10 月 25 日（日）10:00～17:00

場所：Zoom オンライン開催

内容：大学・大学院での公認心理師養成に必要な科目である「心理演習」「心理実習」「心

理実践実習」の実施における留意点や法的な枠組みの理解、さらにコロナ禍における適切な対応などに関して学ぶ研修会に参加した。厚生労働省公認心理師専門官島田隆生氏らを講師に、他大学の運営の実情に関する意見交換なども行われ、大変有意義な機会となった。

2. 2020 年度人間関係学部 FD 研修会「授業をよりよくするためのオンライン授業 Tips」

日時：2020 年 12 月 11 日（金）15：00～17：00

場所：Zoom オンライン開催

内容：分科会「オンラインによる演習授業について－受講生 116 人での質的データ解析演習の事例報告－（田中優先生）」に参加し、オンライン授業実施において Twitter、Trello など様々なツールを併用した取り組みについてのお話を聞き、貴重な学びを得た。受講したことで、今後の授業実践に対するモチベーション向上にもつながった。

【学会参加】

1. 日本心理療法統合学会第 1 回大会

日時：3 月 6 日（土）～3 月 7 日（日）

場所：Zoom オンライン開催

内容：特定の学派に依拠するのではなく多様な学派の理論を組み合わせることで、より良質で効果的な心理支援の発展を目指すこの学会の第 1 回大会に参加した。人間の多様性とそれに向き合う心理療法の持つ多様性に誠実であろうとするそのあり方について学ぶことで、これからのわが国の心理臨床のあり方、心理臨床家のあるべき姿についての検討を深めたことは、公認心理師養成教育にも活かされるように思われた。

Ⅱ. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

【市販されてはいないが授業で活用するために作成した教材・テキスト】

1. 授業名「心理実習」で使用する『2020 年度 心理実習ガイド』

内容：実習の概要、学ぶべき内容、受講する上での留意点などについて詳細に解説したものの。医療・保健、教育、福祉、司法・犯罪、産業・労働の 5 分野それぞれの学習のポイントもまとめた。

2. 授業名「心理実習」で教員が使用する『2020 年度 心理実習指導マニュアル [引率指導者用]』

内容：実習の概要、教授すべき内容、実習運営上の留意点などについて詳細に解説したものの。医療・保健、教育、福祉、司法・犯罪、産業・労働の 5 分野それぞれの学習のポイントもまとめた。

3. 授業名「心理実践実習」で教員が使用する『2020 年度 心理実践実習指導マニュアル [実習指導教員用]』

内容：実習の概要、教授すべき内容、実習運営上の留意点などについて詳細に解説したものの。医療・保健、教育、福祉、司法・犯罪、産業・労働の 5 分野それぞれの学習のポイントもまとめた。

Ⅲ. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. Manaba の活用

内容：「心理演習」では授業 1 回ごとに小レポートを課し、授業内容の習得の程度を確かめるとともに、そこに感想・要望も記載させることで、授業の改善に役立てた。「心理実習」では、6 か所の学外実習先ごとの「コンテンツ」を作成することで、各実習の実施日、必要な準備、レポート提出日など、ひと目で確認できるよう工夫した。

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（論文や著書）】

1. 著書：『心の臨床を哲学する—Philosophy of Psychiatry & Psychology』（新曜社、2020）

内容：「ナラティブ・アプローチによる心理臨床—一人々の「声」を取り戻す実践」の節を執筆担当した。社会構成主義を背景に持つナラティブ・セラピーは、「セラピストは、専門知を用いた正確な見立てと適切な介入によってクライアントを回復に導く」という専門家優位の治療観に賛同しない。「クライアントこそが専門家である」とし、クライアントから学び、問題に対する理解や発見を協同で探索するそのあり方などについて述べた。その内容は、公認心理師、臨床心理士養成教育の質を高めることに寄与する検討であると考えられる。

2. 論文：「リワークにおける森田療法とコラボレイティブ・アプローチの統合の試み」（2020） 心理臨床学研究、38（1）、5-15。

内容：森田療法は「助言」「指導」「修正」という専門家主導のあり方により、クライアントの受け入れ難さを生じるという課題があった。筆者はその克服のため、Anderson & Goolishian が提唱する、クライアントとの協同によって新たな意味や方法を発見していこうとする「コラボレイティブ・アプローチ」を援用することを試みた。取り上げたのは、復職支援に特化した精神科デイケアであるリワークにおける心理臨床実践であった。それは心理臨床において公認心理師、臨床心理士が果たし得る役割についての示唆を含んだ検討であった。

3. 論文「コロナ禍での学びと心理臨床のこれから～臨床心理実習に関わる仕事を通じて」（2021）大妻女子大学心理相談センター紀要、18、印刷中。

内容：コロナ禍に見舞われた 2020 年の臨床心理実習では、マスクやフェイスシールドの着用、オンライン形式での実施といった異例の事態が続いた。それにより例年通りの学びの機会が得られなかったことは残念であった一方、緊急事態での実習だからこそ得られたものもまた、あったように思われた。コロナ禍での創意工夫から見出された心理臨床の新たな可能性と、公認心理師、臨床心理士養成のための実習が有する意義についての本論文の議論は、より質の高い教育実践へとつながる検討であると考えられる。

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（学会や研究会等）】

1. 第 71 回 Philosophy of Psychiatry & Psychology 研究会

日時：2020 年 5 月 31 日（日）14：00～18：00

場所：Zoom オンライン開催

内容：精神医学や臨床心理学を中心とした人間の心に関わる学問や実践に対し、哲学的反省を加えることを目的として定期開催されている研究会に参加した。当日は精神科医の田所重紀先生（室蘭工業大学保健管理センター）を講師として、『「感情コントロール有害説」を理論的に擁護する』というテーマで参加者同士活発なディスカッションが行われた。認知行動療法、森田療法の知見を基礎としたそこでの議論から、クライアントが感情をコントロールすることを目指す心理療法的実践のあり方と是非について検討を深めたことで、公認心理師、臨床心理士の養成、教育の質的向上につながる重要な示唆を得ることとなった。

2. 『心の臨床を哲学する』合評会

日時：2020年7月26日（日）13：00～18：00

場所：Zoom オンライン開催

内容：分筆者として携わった書籍『心の臨床を哲学する』（新曜社）の内容を紹介するとともに、そのテーマについてディスカッションを交わす催しに参加した。精神科臨床や心理臨床を含む心の臨床全般を、「精神医学」「心理学」「心の哲学」の3つの視点から多面的に議論、検討することを通じ、専門職としての公認心理師、臨床心理士のあるべき姿を展望した。

福島哲夫

I. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. 人間関係学部 FD 研修会

日時：2020年12月11日（金）15:00-17:00

場所・方法：zoom 講習会

内容：授業をよりよくするためのオンライン授業 Tips 第一～第三分科会すべてに参加

II. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

【市販されている教材・テキスト】

1. 公認心理師必携テキスト 改訂第2版

内容：公認心理師としての試験、資格取得後の活動に必要なすべての領域にわたり、詳しく解説したテキスト

III. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. 心理療法動画の撮影と編集

内容：現代日本の実際の心理療法を学生に知ってもらうために、教員自身の実践している心理療法場面を、対象者の同意の上で撮影し、編集と解説を施したうえで、授業内で呈示した。

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（論文や著書）】

1. 開業臨床のサバイバルモデル（「臨床心理学」第20巻第5号 644-646）

内容：臨床心理士・公認心理師の活躍の場の一つとしての開業領域の持つ可能性について、

具体的に論じた。「公認心理師の職責」「心理演習」での教育内容の質の向上につながった。

古田雅明

I. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. 企画した研修会「論文抄読 ハンスの会」

日時：2020年6月から2020年3月 年10回毎月第一土曜日

内容：大学院生と大学院修了生、精神科医師と共に精神医学、臨床心理学に関する論文を抄読する会の講師を務めた。現役の大学院生と修了生が交流する場となった。

2. 企画した研修会「多摩精神分析セミナー・アセスメントコース オンラインセミナー」

日時：2021年2月14日

内容：臨床心理士・公認心理師を対象にしたオンラインセミナーを企画し、実施した。本学修了生も多く参加しており、彼らのフォローアップ研修となった。このことが院生教育に何が必要かを知る機会となった。

3. 参加した研修会「日本公認心理師養成機関連盟第6回研修会（オンライン）」

日時：2020年10月25日

内容：公認心理師資格の必修科目である心理演習と心理実習について、研修を受けると共に他大学の教員と情報共有することができた。指導方法だけでなく、履修の先修条件の設定方法や実習生の選抜方法等について情報を得ることができた。

【学会参加】

1. 動物介在教育・療法学会 第13回学術大会

日時：2020年10月3日～10月10日

場所：オンライン

内容：大会にオンラインで参加し、最新の知見を得たり他の研究者と交流した。

2. 日本心理臨床学会第39回大会

日時：2020年11月20日～11月26日

場所：オンライン

内容：大会にオンラインで参加し、最新の知見を得たり他の研究者と交流した。

II. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

【市販されている教材・テキスト】

1. 第2回 公認心理師試験 問題解説 2nd Gakken（監修 福島哲夫）

内容：国家試験の問題の解説を一部担当。「心理演習」や「公認心理師の職責」の授業で活用した。

【市販されてはいないが授業で活用するために作成した教材・テキスト】

1. 「心理実習ガイド」「心理実習引率指導マニュアル」

内容：公認心理師養成に係る実習の学生向け実習ガイドと、教員向け指導マニュアルを臨床心理学系の教員（廣瀬雄一・春日文・香月菜々子）と共同で作成し、心理実習の

授業に使用した。

【個別ではなく複数の授業で活用するために作成した教材・テキスト】

1. 「臨床心理実習ガイド」「心理実践実習指導者マニュアル」

内容：公認心理師養成に係る実習の大学院生向け実習ガイドと、教員向け指導マニュアルを臨床心理学系の教員（廣瀬雄一・春日文・香月菜々子）と共同で作成し、臨床心理実習（心理実践実習）、臨床心理実習Ⅱ、臨床心理特別実習の授業に使用した。

Ⅲ. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. 学部ゼミ生と大学院生、修了生との交流会

内容：臨床心理学系大学院進学を希望する学部 3、4 年のゼミ生と大学院のゼミ生がオンライン上で情報共有する機会を夏休みに設けた。さらに大学院生には、修了し現場で活躍している臨床心理士・公認心理師と交流する機会を持たせた。在学生在がキャリアイメージを持って学習するきっかけとなった。

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（論文や著書）】

該当なし

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（学会や研究会等）】

1. 学会発表「動物介在活動・療法（AAA・AAT）を取り入れたオフキャンパスプログラムの開発ー新型コロナウイルス状況下での活動取り組みについてー」（筆頭発表者：横川滋彰（関西国際大学） 動物介在教育・療法学会 第 13 回学術大会）

内容：他大学の教員と初年次教育に関連した動物介在教育の実践研究を発表した。

2. 学会発表「保育者は園児とどう別れているかー対象喪失からの検討ー」（筆頭発表者：井上美鈴（清和大学短期大学部） 日本心理臨床学会 第 39 回大会）

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（研究）】

1. 「中堅心理臨床家のキャリア形成プロセス」（研究代表：古田雅明）

内容：本学戦略的個人研究の研究助成を受けた。

2. 「力動的ケースフォーミュレーションのためのアセスメントツールの開発」（研究代表：古田雅明）

内容：精神分析武田こころの健康財団の研究助成を受け、上記の共同研究を行った。

堀洋元

I. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. 人間関係学部 FD 研修会「授業をよりよくするためのオンライン授業 Tips」

日時：2020 年 12 月 11 日

場所・方法 オンライン（Zoom）

内容：第 2 分科会『オンラインによる演習授業についてー受講生 116 人での質的データ解析演習の事例報告ー』に参加し、演習授業での授業の工夫を知っただけでなく参加者同士の意見交換を行い有意義な機会となった。

Ⅱ. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

【市販されてはいないが授業で活用するために作成した教材・テキスト】

1. 「心理学統計法」の教材作成

内容：統計解析ソフトを SPSS から HAD に変更したため、過年度の SPSS 版から HAD 版に改訂した。

Ⅲ. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. manaba の活用

内容：チームティーチングによる授業では複数教員の manaba コースを統合し、教材のアップロードやコースニュースの配信、課題の回収を一元化した。

2. respon の活用

内容：リアルタイム型授業の際、学生個人のコメントを respon に回答してもらい、個々の意見を見える化して課題レポート作成の参考になるような場を提供した。

3. Zoom の活用

内容：講義系科目でゼミなど既存のグループごとにブレイクアウトルームを作り、文献検索を行うなど協同作業しやすいグループ作りを模索した。

本田周二

I. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. 学部 FD 研修会「授業をよりよくするためのオンライン授業 Tips」

日時：2020 年 12 月 11 日（金）

場所：Zoom

内容：田中先生の「オンラインによる演習授業についてー受講生 116 人での質的データ解析演習の事例報告ー」というタイトルの発表を伺い、教職員で意見交換ができ、大変有意義であった。

【学会参加】

1. 大学教育学会第 42 回大会

日時：2020 年 6 月 7 日（土）～8 日（日）

Ⅱ. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

なし

Ⅲ. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. 授業における Zoom、respon、manaba、Youtube の活用

内容：オンライン授業への対応の一つとして様々なツールを用いてできる限り対面と同じ、もしくはそれ以上の教育効果を得るための工夫を行った。

2. 3 年ゼミでの個別面接

内容：半期ごとに一人に対して 30 分程度の個別面談（Zoom）を行い、サポートを行った。

3. 4年ゼミでの個別指導

内容：全体ゼミとは別に個別ゼミ（Zoom）を定期的実施することで、一人一人の進度に合わせた指導を行った。

4. 新3年ゼミでの個別面接

内容：次年度ゼミ配属の決まった学生一人に対して30分程度の個別面談（Zoom）を行い、サポートを行った。

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（論文や著書）】

1. 論文「大人数授業におけるアクティブラーニングとしてのジグゾー法の導入」（工学教育 68巻3号）

八城薫

I. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. 2020年度人間関係学部FD研修会「授業をよりよくするためのオンライン授業 Tips」

日時：2020.12.11（金）15:00～17:00

場所・方法：zoom

内容：3つの分科会のうち、「田中優/オンラインによる演習授業についてー受講生116人での質的データ解析演習の事例報告ー」に参加しました。

【学会参加】

1. 日本心理学会

日時：2020.9.8（金）～11.2（月）

場所・方法：東洋大学（主催）web開催

内容：以下、2件を発表した。

- ①フォトジェニックな旅行者の類型化（1）ー旅行写真を投稿する理由と投稿写真の基準からの検討ー
- ②フォトジェニックな旅行者の類型化（2）ー旅行写真投稿の語り分析ー

II. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

【市販されている教材・テキスト】

1. 質問紙調査と心理測定尺度ー計画から実施・解析までサイエンス社

内容：質問紙調査を一度も経験したことのない初学者が、最初に学ぶべき基礎知識をひとつおり身につけることができるテキストです。調査の実施計画・方法から、心理測定尺度の使い方・作り方、結果の整理・解析、論文・レポートの書き方、研究者としての心構えまで、著者陣が独自の尺度開発や調査法の授業をうけもった経験を活かして詳しく解説しています。また、近年欠かせなくなっているウェブ調査やテキストマイニングの基礎知識についても盛り込まれています。

2. 臨床現場で役立つ質的研究法 臨床心理学の卒論・修論から投稿論文まで 新曜社

内容：日頃の臨床実践を、質的研究法を用いてどうやって論文化するか。その論文をどのように実践に役立てることができるのか。KJ法、グラウンデッド・セオリー・アプ

ローチ、課題分析、合議のプロセスなど、その具体的手順やアイデアを、実際の研究例を交えてわかりやすく解説しています。

【市販されてはいないが授業で活用するために作成した教材・テキスト】

1. HAD を用いた心理統計マニュアルの作成（授業名：心理学統計法）
内容：Excel 上で動くプログラムを用いたデータ解析（カイ二乗検定、t 検定、分散分析、相関、因子分析、重回帰分析など）の実施と心理学のレポートの書き方に則した結果のまとめ方に関する資料を作成。
2. HAD を用いた調査研究法マニュアルの作成（授業名：社会心理学調査研究法）
内容：Excel 上で動くプログラムを用いたデータ解析（カイ二乗検定、t 検定、分散分析、相関、因子分析、重回帰分析など）の実施と心理学のレポートの書き方に則した結果のまとめ方に関する資料を作成。
3. 社会心理学概論の教材作成（授業名：社会心理学概論）
内容：オンライン授業における理解促進のためのスライド資料および予習用講義メモを作成。

Ⅲ. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. 学生の積極的参加を促進する双方向・交流型授業の展開
内容：オンライン授業において、manaba（プロジェクト、respon）、zoom 投票などを多く盛り込むことで、学生の積極的参加を促しました。授業後には manaba アンケート機能および Google フォーム機能を用いて、個別の質問や授業改善の意見交換を行いました。

2. 人間福祉学科

1) 国家試験対応及び受験対策講座 【国家試験対応委員 松山 博光】

人間福祉学科は、卒業後に福祉・保健・医療機関施設等で役立つ国家資格の社会福祉士(SW)・精神保健福祉士(PSW)・介護福祉士(CW)を養成している。1年次から学科の正規授業に国家試験に係る指定科目を設置している。国試対応委員会は、国家資格を現役合格出来るように3年次から受験指導等を行っている。

今年度の活動は、新型コロナウイルス感染拡大によりこれまでとは異なる取り組みとなった。特に多摩キャンパスにおいて模擬試験を実施することや対面式による国家試験特別講座等が困難となった。

しかし学生の真摯な学習意欲より高め、国家試験への合格率を高める工夫を取り入れながら1. 模擬試験の実施、2. 特別講座の開講、3. 国家試験の手続き及び個別学習指導及びグループ指導の支援を実施した。今年度の受験対応等は、以下の通りである。

1. 国家試験に向けた模擬試験の実施【全て在宅受験】

社会福祉士模擬試験については、社会福祉士履修課程受講者の3年生(希望者)・4年生に対して、年4回実施した。精神保健福祉士模擬試験は、精神保健福祉士履修課程受講者の3年生・4年生を対象として、年間3回実施した。介護福祉士模擬試験は、3・4年生に対して年3回実施した。

1) 第1回模擬試験(5月16日・土)

本学科より受験対象者へ前年度実施された第32回社会福祉士・第22回精神保健福祉士・第32回介護福祉士の国家試験問題冊子(無料)を配布した。学生は、全員在宅受験を実施した後、自己採点を報告し、今後の受験への対応を検討する資料を集約した。

2) 第2回模擬試験(7月18日・土)

本学科より受験対象者へ「中央法規出版社」から出題された社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士の試験問題冊子を配送した。本模擬試験は、有料(介護福祉士：無料)であるがほぼ全員が受験した。全受験生の成績は、今後の受験への対応策を検討する資料として集約した後、各ゼミ担当教員へ配布した。

3) 第3回模擬試験(10月24日・土)

本学科より受験対象者へ「日本ソーシャルワーク教育学校連盟」(ソ教連)から出題された社会福祉士・精神保健福祉士の試験問題冊子を配送した。本模擬試験は、有料であるがほぼ全員が受験した。全受験生の成績は、今後の受験への対応策を検討する資料として集約した後、各ゼミ担当教員へ配布した。

4) 第4回模擬試験(11月28日・土)

本学科より受験対象者へ「福祉教育カレッジ」から出題された社会福祉士(無料)・精神保健福祉士(有料)の試験問題冊子を配送した。本模擬試験は、ほぼ全員が受験した。

介護福祉士受験の4年対象者(3年希望者・有料)に対して「中央法規出版」の介護福祉士模擬試験(無料)を実施(在宅受験)した

全受験生の成績は、今後の受験への対応策を検討する資料として集約した後、各ゼミ担当教員へ配布した。

2. 社会福祉士国家試験に向けた特別講座の実施【Zoomによるオンライン講座】

コロナウイルスの対策のため、前期は全てオンライン授業であった。社会福祉士国家試験を目指す学生の中には、勉強の仕方が分からない、勉強のリズムが作れないなど、不安を抱えている学生も少なくない。そこで前期のうちに、少しでも国試に向けた勉強を前に進めたい学生のために、希望者を対象としたオンライン講座を実施した。

社会福祉士国家試験については、特に4年生を対象にプロの学外講師による特別講座を前・後期期間（授業外）に実施した。また本学科専任教員による特別講座も後期期間に実施した。

介護福祉士国家試験については、専任教員と非常勤講師が受験対策科目と国家試験の直前講座を実施し、模擬試験結果で明らかになった正答率の低い科目を中心に取り組んだ。

本講座では、国試対策の勉強の仕方からスタートし、夏休み以降の本格的な受験対策の土台となる基礎知識を身に付ける事である。特に特別講座は、今年度実施した国試模擬試験の結果を分析した後、正答率をより伸ばすことを目標に指定科目を選定し、指導した。この国家試験直前の特別講座は、受講は強制ではないが、ほぼ全員が受講した。

1) 学外講師による国試受験の第1回特別講座（有料）

特別講座は、長年豊富な実績を持つ国試受験指導のベテラン講師を迎えて行った。合格ラインに届く効率の良い独習方法を踏まえて、現役合格出来るように指導した。受講対象は、3・4年の希望者である。

指導方法は、対面が困難なため Zoom・manaba・メールで実施した。第1回6月15日から第8回8月7日迄開催した。講座内容は、第1回：国家試験の全体像を知る。第2回：社会福祉法、第3回：社会福祉士に関する問題、第4回：介護保険法、第5回：権利擁護、第6回：虐待に関する施策、第7回：福祉計画、第8回：SWの理論であった。

2) 学外講師による国試受験の第2回特別講座（有料）

国家試験の直前講座として、第1回目と同様に学外講師による指導であった。本年度は、受講する対象は、今年度社会福祉士国家試験を受験する4年国試受験生中心である。方法は、Zoom・manaba・メールによるリアルタイム講座である。日時は、1月9日（土）、16日（土）、23日（土曜）の9：00～16：00（昼休み含む）。1日6時間×3科目であった。

3) 本学科教員による国家試験の直前特別講座（無料）

今年度は、4年生へ事前（manaba ニュース、学生メール、ゼミ教員より）に周知して、Zoom・manaba・メールによるリアルタイム講座として学科教員による直前特別講座（令和3年1月11日（月）～1月28日（金）〔土日除く〕午前10時～午後5時、90分1コマ）を実施した。開講科目と担当教員は、以下の通りである。

- ①「人体の構造と機能及び疾病」：尾久 裕紀先生
- ②「地域福祉の理論と方法」：松山 博光
- ③「保険医療サービス」：丹野 真紀子先生
- ④「相談援助の基礎と専門職」：山本 真知子先生

- ⑤「高齢者に対する支援と介護保険制度」：井上 修一先生
- ⑥「低所得者に対する支援と生活保護制度」：嶋貫 真人先生

3. 国家試験の手続き及び個別学習指導及びグループ指導の支援

前年度と同じく、受験手続きの支援等は、受験生に対して受験説明会の開催を行うと共に多摩校事務部と連携しながら願書の書類作成を具体的に指導した。同時に受験日までの学習の進め方や前日や当日の心構え等について説明する機会を設けた。

特に今年度は、コロナ禍により来学が困難となったが、Zoom によるオンライン説明会（7/21、8/31）、manaba とメール・電話による受験の情報提供、受験生から質疑等を随時対応した。

また受験勉強のために自習室を確保したものの、恒例の4年演習ゼミを中心に各担当教員による個別指導（メールや電話・Zoom 等）とグループ学習支援を実施した。特に精神保健福祉士コースや介護福祉学専攻では、専任教員による国家試験指定科目への受験指導をきめ細かく実施した。

今年度は、これまでの活動とは異なる取り組みになったものの、受験する学生が各自の勉強スケジュールに合わせて学習できる環境を可能な限り整えた。年末年始も含め、夜遅くまで勉強する学生に対して学科教職員だけでなく、事務職員をはじめとする多摩キャンパスのスタッフが一丸となって国試受験への様々な支援を受けた。

2) 複数教員で担当している科目における教員間の連携

社会福祉士等の国家試験受験資格取得のための教育課程においては、将来実際に福祉現場に就職した際に直面する多様な問題への対応能力を養うため、1 クラス 20 人以下の少人数で編成される講座を開講している。国家試験指定科目の授業担当者を構成していくためには、専任教員だけでは人数が足りず、必然的に非常勤講師の力に頼ることになる。各講座の教育目標やシラバスの内容、あるいは成績評価の方法等の基本的事項について、全教員が共通認識を持って授業に臨む必要がある。

そこで、学期の開始前に打ち合わせの会を設定し、前期の授業担当者懇談会の機会を利用して意見交換を行う等、科目担当者間の連携を密にするための努力を日頃から心がけている。

①相談援助実習指導、事前指導・事後指導【丹野 真紀子】

社会福祉士受験資格取得課程を希望した学生にとって、同課程のために開講されている多くの科目の中でも特に重要な位置を占めるのが、多くの者が3年次に履修する「相談援助現場実習」である。

今年度はコロナ禍により、まず、令和2年2月28日付で文部科学省と厚生労働省から「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う医療関係職種等の各学校、養成所および養成施設等の対応について」が発出され、4月3日には日本ソーシャルワーク教育学校連盟より「新型コロナウイルス感染拡大傾向に伴う社会福祉士及び精神保健福祉士養成教育に対する考えについて会長声明」が出され、6月末日までの実習実施見合わせとなった。更に、5月26日には、日本ソーシャルワーク教育学校連盟から「新型コロナウイルス感染症に伴う社会福祉士・精神保健

福祉士養成の対応について」が出され、これらをもとに、本学での「相談援助実習」実施についてどのように考えるか、福祉実習委員会で議論を重ねた。7月には、「社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士 夏実習の考え方」を決定し、学生、保護者、実習施設に通知し、条件のあった施設での実習を実施した。12月には「春実習の考え方」を学生、保護者、実習施設に通知し、同様の手続きのもと、実施予定である。

実習実施にあたっては、学生には実習2週間前からの自粛を求め、体温測定などの体調管理を義務付け、実習中も実施した。

このような状況下では、「相談援助実習」のみならず、2年前期の「相談援助実習指導Ⅰ・Ⅱ」も影響を受け、コロナ禍で最善の授業を試みるに至った。

2年前期の「相談援助実習指導Ⅰ」の授業が開講されている。この授業では、実際に障害者福祉・児童福祉・高齢者福祉等の各福祉現場で相談援助業務に従事しておられる職員の方をゲストスピーカーとしてお招きして、その仕事の魅力や学生に要望したいこと等を伝える機会をもうけている。しかし、今年度はコロナ禍であったため、実際の福祉現場で相談業務に従事していた実習助教の協力のもとで実施した。また、2年生の夏休みを利用して福祉現場でのボランティア活動体験は断念せざるを得なかった。

2年後期の「相談援助実習指導Ⅱ」では、「相談援助実習指導Ⅰ」の内容をさらに発展させた形で、現場実習において要求される実践的な能力（利用者との面接技法、ケース記録の書き方等）を学ぶことになる。また、この授業の中で実施される実習配属試験において、次年度に実習を行なうために必要な基礎的な知識が身に付いているかどうかの判定を行っている。そして、この試験で一定以上の得点をあげた者だけが、社会福祉士課程の次のステップに進むことができることになる。なお、2年次の秋には、次年度においてどの分野での実習を希望するのかの意思表示をしてもらうため、障害者・児童・高齢者・地域の各福祉分野の実習指導を担当する教員が、それぞれの分野での現場実習の内容を具体的に解説する時間ももうけた。学生面接はZoomを活用し、対面に近い形で学生と面接することを通して来年度に向けてのモチベーションの維持に努めた。

3年次の「相談援助現場実習」に向けた「事前・事後指導」の授業は、夏実習組と春実習組とでカリキュラムの進行が異なってくるが、いずれも高齢・障害・地域・児童の実習分野ごとに現場で求められる専門知識を身に付けていけるよう、Zoomとmanabaを活用しながら実施した。実際に実習がスタートした後においても、実習指導担当教員や実習担当助教による巡回指導・帰校日指導が行われた。帰校日指導ではZoomを活用し、コロナ対策を行ったうえでの実施となった。例年同様、巡回指導の内容は、すべてWEB上に登録されて指導に関わるスタッフ全員がこれを閲覧することができるようになっている。そのため実習開始後に何らかの指導上の留意点等が発生した場合においては、随時このWEB情報を確認することで相互の意思統一を図ることができるようになっている。

②相談援助演習【井上 修一】

今年度は、オンラインと対面授業を組み合わせで実施した。また、オンライン授業もリアルタイムとオンデマンド型を組み合わせ、学生の希望もふまえながら実施した。演習によっては、

オンライン限定クラスを設け、専任の教員を配置して対応した。こうした取り組みは、今後の授業運営に幅を持たせることにつながった。

実践能力の高い社会福祉士になるためには、知識の習得を基礎にしながらも、実習・演習科目のなかで、体験的に理解を深めていく必要がある。

本学においても、厚生労働省のシラバスに沿った内容を踏まえ、よりきめ細かい教育実践に努めている。そのため、相談援助演習をⅠ～Ⅴに分け、それぞれ段階的に、また共通シラバスをもとに授業を行っている。ちなみに相談援助演習Ⅰ・Ⅱはミクロ、Ⅲはメゾ、Ⅳはマクロ、Ⅴは統合的な位置づけとなっている。今年度も相談援助演習Ⅳにおいて多摩市の10エリアの地域課題とその解決に向けた事前学習と地域調査を実施した。多摩市地域福祉計画から地域課題を抽出し、さらに、エリアごとの住民団体を調べて、電話等で団体にインタビューしながら、課題解決の道筋をまとめた。今後は、この試みをさらに深め、多摩市の地域課題の解決に実際に貢献できればと考えている。

本学科では、実習と演習の連動性を意識され、理解の深まりを下支えしている。各演習を取りまとめるのは常勤の教員であり、非常勤講師との情報共有が丁寧になされるだけでなく、それぞれ工夫された教材を持ち寄り、学生にとってわかりやすい授業展開を試みている。

③社会福祉学基礎セミナーⅠ【丹野 真紀子】

本科目は、入学直後の1年前期に開講されている。今年度はコロナ禍で対面授業が出来ず、入学式もオリエンテーションも対面での実施が無いなか、どのような工夫が出来るのか、担当教員間で何度も話し合った。検討した結果、なるべく対面に近い形で実施しようと、初回の授業からZoomとmanabaを活用した授業展開を試みた。特にmanabaについては、他の授業での活用が考えられるため、1年生が大学生活に早く慣れてもらうこと、違和感を少なくすること、対面での授業はないが、友達作りも視野に入れた授業づくりを意識した。

本来、この科目は、入学して間もない新入生に、専門科目の授業とは違った視点から多様な福祉実践のあり様を学び、大学での学習に求められる言語表現、文章作成能力、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力の基礎を身につけることを目的としている。Zoomでの授業となっても、この目的は変更せず、1コマの授業展開に工夫を加えることで目的に近づけた内容が出来ないか、担当している6名の教員それぞれが意見を出し合い、1クラス20人以下の少人数制を活かし、少しでも学生が個性を発揮しやすい授業展開を工夫した。

内容としては、3つのテーマを掲げている。1つ目のテーマは、「福祉の世界の扉を開こう」とし、担当教員がそれぞれの専門領域の現場について概説する。次に、「利用者、援助者両者の立場で考察してみよう」をテーマに、車椅子や白杖などを用いた要支援者の体験を行う。3つ目のテーマは「福祉の現場を知り、自分の目で見て学んでこよう」とし、福祉現場の実践者から話を聞くこと、学生自身が国立ハンセン病資料館を見学し、ハンセン病をめぐる福祉・社会問題についてクラス内で発表する、というものである。1年次の前半で、福祉実践の多様性を知り、レポート作成やプレゼンテーションの基礎を学び、文章作成のルールや文献の活用、文章構成など基本的な部分を身に付けられるようにプログラムを構成している。そのため、上記3つのテーマそれぞれに対して「仮説」「検証」「結果」「考察」を意識したレポートを書かせ、

回を追うごとに文献活用や考察視点を深めていけるよう工夫した。

残念ながら、いつも行っている施設見学や体験学習はできなかったが、今回のコロナ禍の状況を分析評価することで、福祉的視点の学びに繋がったと思われる。Zoom のブレイクアウトルームでのディスカッションと発表を通して、学生間のつながり作りに繋がったと考えている。学生にとって、同級生とディスカッションができる貴重な機会であったとのコメントがレポートにも書かれており、今後の大学生活全体への不安が軽減されたり、その後の生活に希望を見出す機会にもなっていると思われる。

④社会福祉学基礎セミナーⅡ【藏野 ともみ】

本セミナーは人間福祉学科 1 年生を対象とし、「社会福祉学基礎セミナーⅠで身に付けた大学で自ら学ぶための基礎力を踏まえ、各自が福祉に関する研究課題を持ちそれに取り組む方法を学ぶ」ことを目的としている。全てのゼミが「読む・聴く・書く・話す・考える」の基礎訓練」を共通テーマとして、最終的には、グループで一つの研究課題を見出し、パワーポイントでプレゼンテーションを行っている。

今年度は、本授業もオンラインで実施したため、全体会を取りやめ、ゼミ毎に対面もしくはオンラインでプレゼンテーションを実施した。取り上げられたテーマは、「性別の壁を越える平等結婚」「僻地に住むケアラーの課題」「男性の子育て」「勤労学生の生活課題」等多様であり、現代社会の問題を福祉学から現状分析及び課題提起・解決方法の提案等の発表が行われた。

本セミナーは 4 名の専任教員と 2 名の非常勤講師が担当し、授業目標及び評価基準、授業の進め方、取り扱う教材、学生への自宅学習課題等について頻繁に情報交換を行い、共通に取り組む点とオリジナルで取り組む点について分けて実施している。

その他、今年度は、本授業を活用して、オンライン上で少人数に分かれて先輩学生と交流し、大学での学びや大学生活、実習、就職、アルバイト等について気楽に話す時間等を設定した。

オンラインでこそその学びに対する手応えもあり、今後も学生のフィードバックを参考にしながら、教員間で意見交換を行いながら、教育方法や教材のアイデアを学びあっていきたい。



研究発表の様子



グループ研究の成果をプレゼンしました

⑤介護実習及び介護総合演習【金 美辰】

介護福祉士養成教育のカリキュラムに合わせ、介護実習は「実習施設・事業等（Ⅰ）」と「実

習施設・事業等（Ⅱ）」に分類された。前者は、多様な施設で利用者の暮らしを理解することが目的である。後者は、全実習時間である 450 時間の 3 割を占め、介護過程の展開を目的としている。介護福祉学専攻では、平成 28 年度より、既存の「介護実習Ⅰ」から「介護実習Ⅳ」に加え、「介護実習入門」を取り入れて、5 段階に分けて介護実習を実施している。「介護実習入門」は、1 年次に 5 日間、「介護実習Ⅰ」は、2 年次に介護老人保健施設で 12 日間実施する。「介護実習Ⅱ」は、3 年次に障害児・者施設で 12 日間、「介護実習Ⅲ」は、3 年次に介護老人福祉施設で 28 日間実施する。「介護実習Ⅳ」は、4 年次に居宅介護サービス事業所で 5 日間を実施する。また、「介護入門実習」は、「介護実習Ⅲ」で配属される介護老人福祉施設で 5 日間見学実習として実施され、3 年次の「介護実習Ⅲ」での学びを深めることを目的としている。介護実習は、1 年次から 4 年次までの間に、計 57 日間、456 時間実施される。各段階の実習目標が達成できるように、実習関連科目の連携を重視した組み立てで授業を展開している。本年度はコロナ禍で感染予防や感染拡大防止のため、介護実習Ⅰと介護実習Ⅲを学内演習に切り替えて実施した。実習の事前及び事後指導科目として、「介護総合演習Ⅰ～Ⅳ」を 2 年次前期から 3 年次後期に配当している。「介護総合演習」では、グループ演習を通して、実習施設の法的根拠や目的、人員配置、利用者像、サービス内容などへの知識習得を目指すほか、実習後のフィードバックを通して介護施設や利用者支援への理解を深めている。介護過程の展開を目的とする「介護実習Ⅲ」の終了後に開講する「介護総合演習Ⅲ」では、実習で展開した介護過程をもとに、ケーススタディを行い、受け持ち利用者の状況や状態に応じた、学問的・科学的根拠に基づく介護のあり方の視点を養う。また、この成果を「介護総合演習Ⅲ」の授業でケーススタディ報告書としてまとめることで、情報の共有や介護のあり方についての学びを深める。

⑥生活支援技術・介護技術科目【佐藤 富士子】

介護は生活能力が加齢や障害によって低下し、今まで自分で出来ていたことが出来なくなると言う変化が生じることで必要とされる業である。そして、介護学は人の役に立つことを目指した実践学としての学問ともいえる。方法論としてあるのが科目「生活支援技術」や「介護技術」であり、技術は単なる手順として身につけていくものではなく、生活における人の基本動作を理解し、加齢や障害でその動作が出来なくなった場合どのような支援をしていけばよいのかを具体的に考え、判断する、行動できることに意義がある。

どのような科目を履修するか、家政学（栄養調理・被服）に関する科目のほか、利用者の「起き上がる」「座る」「立ち上がる」「歩く」といった日常生活の基本動作や介護動作の基本を中心に学ぶことができる。さらに、基本動作の関連する技術を基盤として、移動・更衣・食事・排泄・清潔等に関する具体的方法を身につけことが生活支援技術あるいは介護技術である。また、生活の延長線上には死がある。心身の状態や生活環境に応じたケアやターミナルケアができるようになるにも技術が必要である。

しかし、今年度はコロナ禍の中で実習室での演習により体験ができず、担当する教員の工夫と創造力が求められた。演習ができないことを課題で学生に様々な体験をしてもらうという、例えば次のような工夫がなされていた。

＜非常勤講師 青柳佳子先生の例＞

- ①入浴介護：タオルで自助具を作成し試してみる
 - ②2日間（できれば3日間）洗髪せずに過ごし、その後の洗髪での身体的、精神的変化
 - ③YouTubeで公開した動画を視聴して、改善点を考える
 - ④利き手を使わずトイレで排泄を体験
 - ⑤100円ショップで購入できるリハビリパンツを購入し、着用体験から感じる事
 - ⑥シーツに皺を寄せて、皺がある状態で一晩寝てみる
 - ⑦ネット上で公開されている福祉機器を紹介し、視聴する
- などである。

技術は一つの技術を単独で身につけるものではなく、Aと言う技術の積み重ねでBがあるというように関連させて身につけていくものであるが、それらを含め現場実習では意図的な指導が必要なのではないかと推察できる。

(1) 人間福祉学科におけるFD活動に関する取り組み

各教員のFD活動の取り組み

各教員のFD活動の取り組みとして、「Ⅰ「企画」あるいは、「参加」した教育関連の研修会」、「Ⅱ授業で活用するために作成した教材・テキスト」、「Ⅲ教育内容に関する質の向上を図るための取り組み」という3項目をまとめた。

①井上 修一

Ⅰ. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. 2020年度人間関係学部FD研修会「授業をよりよくするためのオンライン授業Tips」

日時：2020年12月11日（金）

場所・方法：大妻女子大学多摩キャンパス オンライン実施

内容：第3分科会 佐藤富士子／力を合わせて、オンラインなんてへっちゃら！「成績評価のためのループリックの活用」に出席

Ⅱ. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

【市販されている教材・テキスト】

1. 著書『介護福祉士国家試験解説集』（中央法規）

内容：「人間と社会」「社会の理解」を分担執筆した。担当した章では、国家試験の科目である「人間と社会」「社会の理解」を担当した。「社会の理解」では、日本国憲法をはじめとするわが国の法制度の歴史、憲法の中でも生存権の理解、福祉六法の成立過程、障害者自立支援法の成立年、社会福祉法のポイントなどを解説した。

また、「人間と社会」では、軽度認知症のある方の事例問題解説、社会福祉士及び介護福祉士法に定める義務規程と、日本介護福祉士会の倫理綱領に基づいた解説を行った。作成した教材は授業等で知識を確認するために活用した。

【個別ではなく複数の授業で活用するために作成した教材・テキスト】

1. 全ての授業における教材の改訂

内容：昨年度の授業評価アンケートの結果や近年の当該領域の研究動向などを参考にしながら、全ての授業に関して、使用する教材の改訂を行った。

Ⅲ. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. 授業におけるリアクションペーパーの活用

内容：毎回の授業においてリアクションペーパーを書いてもらい、その中の質問に対して次の授業でフィードバックし、授業内容の理解および授業改善に役立てた。

【その他】

特に無し。

②上野 優子

I. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. 2020 年度人間関係学部 FD 研修会

「授業をよりよくするためのオンライン授業 Tips」

日時：2020 年 12 月 11 日（金）

場所・方法：大妻女子大学多摩キャンパス オンライン実施

2. 令和 2（2020）年度 一般社団法人 東京都レクリエーション協会

「ジュニア指導のための講習会」

日時：2020 年 11 月 28 日（土）

場所・方法：駒沢オリンピック記念体育館 オンライン実施

3. 令和 2（2020）年度 東京体育学会 第 97 回研究会

「大学スポーツの未来 –UNIVAS を考える–」

日時：2020 年 12 月 5 日（土）

場所・方法：オンライン形式

II. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

【市販されてはいないが授業で活用するために作成した教材・テキスト】

1. オンライン授業用に、すべての授業について、配布用の資料、教材等を改定した。

特に、スポーツ実技については、各種、種目の特性を重要視するため、他大学の教員とともに、その種目を専門に取り組んでいる体育大学専門の学生やコーチ等とコマ送り単位での映像を作成した。

講義科目については、学生がわかりやすく取り組めるように、文言等の注釈は念入りにつけた。

「シーズンスポーツ」授業は、軽登山に行くことが最大の目標である。今年度は、学生が参加できないため、担当教員が自ら高尾山に出向き、出発から下山後までをビデオ撮影を行った。登山中の所々で、テスト問題を作成した。このビデオを編集し、期間限定の YouTube 動画配信とした。タイトルは、「おうちで高尾山」である。

【個別ではなく複数の授業で活用するために作成した教材・テキスト】

1. 全授業において教材の改訂を行った。特に、manaba を活用し、授業の理解度等も含め、アンケート機能などはフルに活用した。文献や図書館等の機能も、大いに活用できるようにオリジナルの教材を作成した。

III. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. manaba をフルに活用した。また、Zoom での授業を取り入れたので、manaba の併用をすることにより、オンライン授業もスムーズに取り組めた。スポーツの授業では、自宅での身体活動を促し、運動後の活動量を確認するためには、フィードバックが欠かせないため、個々の学生からのフィードバックに対する指導者からの意見や指示等は欠かせない。特に 120 名以上の授業が 2 コマ続いている授業は、学生一人一人のコメントをフィードバックす

ることは、至難の業であった。

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（学会や研究会等）】

1. 本来は、東京 2020 オリンピック・パラリンピックが開催される予定であったが、オンラインへと変更になったため、JOC 主催の青少年向けの講話を取り入れた。

【その他】

1. 専任教員ならびに非常勤講師との連携がスムーズであることは、今年度のようなオンライン授業では、特に欠かせない。お互いの情報を共有することは特に重要であった。授業の資料を共有できるように、スポ研ライブラリーなるものを開設した。

③小川 浩

I. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. 人間関係学部 FD 研修会

日時：令和 2 年 12 月 11 日（金）

場所・方法：ZOOM

内容：★第 2 分科会（司会：本田 FD 委員長）

田中優／オンラインによる演習授業について－受講生 116 人での質的データ解析演習の事例報告－

【学会参加】

1. 第 36 回日本ストレス学会学術総会

日時：令和 2 年 10 月 24 日（土）16：00～18：00

場所：北里大学医療衛生学部多目的室 1・2

内容：「発達障害者の就労から就労継続へのシームレスな支援の可能性」というタイトルのシンポジウムで座長を務め、発達障害のある学生の大学から職業生活への移行支援について、就労支援機関、大学学生相談、医療機関等の連携の在り方について検討した。

II. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

【市販されてはいないが授業で活用するために作成した教材・テキスト】

1. 「ジョブコーチ論」

内容：「ジョブコーチ論」は今期から始まる新しい授業であったため、一連の授業内容についてパワーポイントの資料を作成した。また、オンライン授業となったため、演習をオンラインできるように工夫した。

2. 「障害特性論」

内容：「ジョブコーチ論」は今期から始まる新しい授業であったため、一連の授業内容についてパワーポイントの資料を作成した。また、オンライン授業となったため、動画等の視覚教材をオンラインで活用できるように加工・修正した。

Ⅲ. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【その他】

特に無し。

④尾久 裕紀

I. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. 東京法哲学研究会 2020 年度 7 月例会
日時：令和 2 年 7 月 25 日
場所・方法：オンライン
2. 東京法哲学研究会・法理学会合同研究会
日時：令和 2 年 9 月 7 日
場所・方法：オンライン
3. 東京法哲学研究会 2020 年度 12 月例会
日時：令和 2 年 12 月 19 日
場所・方法：オンライン
4. 人間関係学部 FD 研修会 授業をよりよくするためのオンライン授業 Tips 第一分科会加
日時：令和 2 年 12 月 11 日
場所・方法：オンライン

【学会参加】

1. 日本リスクマネジメント学会に参加し、「感染症が人に心理に与える影響とマネジメント」について口頭発表した。
日時：令和 2 年 7 月 11 日
場所・方法：オンライン
2. 日本精神神経学科会総会に参加
日時：令和 2 年 9 月 28 日～30 日
場所・方法：オンライン

【その他】

1. ENEOS 株式会社 川崎製油所「メンタルヘルスマネジメント（ラインケア）研修」に講師として参加
日時：令和 3 年 3 月 8 日、9 日
場所・方法：オンライン

Ⅱ. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

1. オンライン授業となったため、オリジナル資料をすべてオンライン用に作成し、配布した。

Ⅲ. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

1. manaba を活用し、オリジナルのドリルを作成し、実施した。
2. 授業の積極的学びを推進するための工夫を試みた。（参考図書、文献の紹介など）

【その他】

特に無し。

⑤金 美辰

I. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. 学部 FD 研修会

日時：2020 年 12 月 11 日（金）

場所・方法：大妻女子大学多摩キャンパス

内容：「授業をよりよくするためのオンライン授業 Tips」

2. 韓日高齢者福祉研究会

日時：2020 年 10 月 22 日（木）

場所・方法：WEB 開催

内容：「福祉と保健・医療の統合的観点からみたコミュニティケアの政策の方向」

3. 韓日高齢者福祉研究会

日時：2020 年 12 月 28 日（月）

場所・方法：WEB 開催

4. 韓日高齢者福祉研究会

日時：2021 年 1 月 25 日（月）

場所・方法：WEB 開催

5. 韓日高齢者福祉研究会

日時：2021 年 2 月 24 日（水）

場所・方法：WEB 開催

内容：「地域資源としての家族介護終了者による支援活動」

【学会参加】

1. 第 29 回日本介護福祉学会総会

日時：2020 年 8 月 29 日（日）

場所・方法：WEB 開催

内容：「コロナ禍における介護福祉の挑戦」

2. 第 12 回対人援助学会

日時：11 月 14 日（土）～15 日（日）

場所・方法：WEB 開催

内容：「コロナ禍と対人援助」

II. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

オンライン授業に合わせて、オンライン用の資料を作成し、配布した。

III. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. 授業内容や受講者数に応じて、ZOOM、manaba、Youtube 等を活用した。

2. respon の小テストやアンケート機能を活用し、学生の授業への理解度を確認しながら授業に取り組んだ。

【その他】

特に無し。

⑥藏野 ともみ

I. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. 人間関係学部 FD 研修会第 1 分科会「Zoom 授業初体験ドキュメント」参加

日時：2020 年 12 月 11 日

場所・方法：Zoom

内容：Zoom を初めとするオンライン授業に関する工夫について知り、参加者相互に自らの工夫を話し、助言をする等貴重な時間であった。特にオンラインでの演習方法等について考える機会となった。

【その他】

1. 認定社会福祉士認証・認定機構主催：認定社会福祉士認定研修会

日時：2020 年 10 月 24 日～25 日、11 月 7 日～8 日、11 月 28 日～29 日 3 回担当

場所・方法：日本社会福祉士会事務所 Zoom

内容：認定社会福祉士認定研修の講師及びファシリテーターを担当した。

2. 日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催：社会福祉士及び精神保健福祉士実習演習担当教員講習会

日時：2020 年 8 月 20 日～21 日、12 月 19 日～20 日 2 回担当

場所・方法：日本ソーシャルワーク教育学校連盟事務所 Zoom

内容：精神保健福祉士演習担当教員の「演習方法」及び「シラバス作成」に関する講義・演習の講師を担当した。

II. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

【市販されてはいないが授業で活用するために作成した教材・テキスト】

1. 「精神保健福祉相談援助演習」ワークブックの作成

内容：ソーシャルワーク理論、倫理綱領、事例を取り入れたワークブックを作成している授業の予習、宿題に活用し、自宅学習での内容が授業で活用できるようにしている。

【その他】

1. 国家試験対策のためのドリルの作成

内容：ゼミ及び精神保健福祉士養成課程の学生が、受験対策勉強会に臨むための事前学習の一環となるよう、manaba を活用したドリルを作成している。さらに応用問題を作成し、復習用に活用している。

III. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. 毎時間の小テストの実施と学生個別の学習状況に応じた個別課題の提示・個別指導

内容：10名～70名等、全ての授業(講義、演習形式)で、毎時間小テストを作成、テスト直しとコメント付き返却、個別課題の設定と指導を実施している。

2. 実習科目における社会資源集の作成指導

内容：半期かけて学生個人が自らの学習を積み上げていくポートフォリオ形式の冊子作成と、個別指導を行った。

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（学会や研究会等）】

1. 若手研究者との教授法に関する研究会の実施

内容：学外の若手研究者とアクティブラーニングについての研究会を実施した。2020年8月8日、10月17日、11月15日の3回、zoomで実施した。zoomによる講義、演習の模擬授業を行い、その後、互いに自らの工夫やアイデアを共有し、助言を行った。

2. 相談援助技術に関わる演習教育の研究会実施

内容：16年前から他大学の教員と教授方法や教材についての研究会を実施している。今年度は人数を限定し、2020年11月22日、2021年1月9日～10日にかけて京都府立大学で行った。

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（研究）】

1. 日本ソーシャルワーク教育学校連盟：2020年度 厚生労働省生活困窮者就労準備支援事業費等補助金（社会福祉推進事業分）「新たな社会福祉士養成カリキュラムにおける教員研修のあり方に関する調査研究事業」委員

内容：社会福祉士及び精神保健福祉士のカリキュラム改訂に伴う、演習実習担当教員と実習指導者の研修内容の見直し、研修会教材作成、プレ研修の実施、報告書の作成等を行った。プレ研修は2021年2月8日、15日にzoomで実施。

【その他】

1. 国家試験受験に向けた勉強会の実施

内容：精神保健福祉士、社会福祉士国家試験受験に向け、定期的に zoom 及び対面で実施した。

⑦佐藤 富士子

1. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会】

1. 介護福祉士養成大学連絡協議会

テーマ：これからの介護福祉養成大学の教育を考える ～専門性の構築を目指して～

日時：2021年10月17日（土）13：00～15：00

場所・方法：Zoom

内容：厚生労働省 社会・援護局福祉基盤課 福祉人材確保対策室
介護福祉専門官 伊藤 優子氏による基調講演

2. 介護福祉士養成大学連絡協議会

テーマ：コロナ禍の効果的な実習

日時：2021 年 12 月 19 日（土）14：00～16：00

場所・方法：Zoom

内容：前半の 55 分はコロナ禍における介護福祉実習の効果な実習の取り組みについて、
25 分発表。

後半は分科会ごとにグループワーク

【学会参加】

1. 日本介護福祉学会

テーマ：コロナ禍における介護福祉の挑戦

日時：2021 年 8 月 29 日（日）9:30～17:30

場所・方法：Zoom

内容：コロナ禍において感染症との闘いが顕在している中、生活支援である「介護 k 福祉学」の実践的研究と構築に向けて議論する場とする。

Ⅱ. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

なし

Ⅲ. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【その他】

特に無し。

⑧嶋貫 真人

Ⅰ. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. 学部 FD 研修会

日時：2020 年 12 月 11 日（金）

場所・方法：Zoom によるミーティング

内容：「授業をよりよくするためのオンライン授業 Tips」というタイトルでグループ討議

Ⅱ. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

【市販されてはいないが授業で活用するために作成した教材・テキスト】

1. 「社会福祉学セミナーⅠ～Ⅳ」では、昨年度に引き続き、社会保障の各領域から題材をとった初学者向け教材の増補・改訂作業を行ないました。このプリントは、当該テーマに関する問題の所在を提示するための資料であると同時に、末尾にいくつかの設問を置いてゼミでの活発な議論を促す効果もねらっています。福祉系学部生のために、法学初学者にわかりやすく、なおかつ学生の興味を引きそうなテーマを用いた教材となるよう心がけているものです。
2. 社会福祉士国家試験を受験する学生のための模擬問題とその解説（低所得）について、最新の出題傾向をふまえた改訂を行ない、あわせて受験対策講座の授業を実施しました。

【その他】

1. 教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み

- ・講義形式の授業においてはほぼ毎回レジュメを配布し、授業の理解を助けるとともに、学生の復習の便宜となるように配慮しました。

- ・manaba を利用して学生からの質問や意見を受け付け、双方向の授業となるよう工夫しました。

Ⅲ. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. 今年度はほとんどの授業をオンラインで実施したため、授業開始前の教材・資料のアップによる予習の促しや、授業終了後のリアクションペーパーを利用した質疑応答等、例年以上に双方向の意思疎通を活発に行うことを心がけました。

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（研究）】

社会福祉士受験資格取得課程の新カリキュラムが 2023 年度からスタートすることに合わせて、実習先の新規開拓活動を行ってきましたが、その過程で出会った実習指導者の方と Zoom を使って実習教育に関する意見交換を行うことができました。

【その他】

特に無し。

⑨丹野 真紀子

Ⅰ. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. 学部 FD 研修会

日時：2019 年 12 月 11 日（金）

場所・方法：大妻女子大学多摩キャンパス

内容：授業をよりよくするためのオンライン授業 Tips

2. オンライン研修会

日時：2021 年 1 月 22 日（金）

場所・方法：オンライン（Webex）

内容：子ども虐待を見逃していませんか

【学会参加】

1. 第 68 回秋季大会（日本社会福祉学会）

日時：2020 年 9 月 12 日（土）～13 日（日）

場所・方法：WEB 開催

内容：新型コロナウイルスがもたらしている生活問題に立ち向かう

【その他】

1. DV・性暴力被害にかかわる支援者のための研修講座 2020

日時：2021 年 2 月 6 日（土）・2 月 7 日（日）

場所：オンライン（Zoom）

内容：女性への暴力と社会構造、行政の援助制度の活用方法、外国人女性への支援など、具体的な DV・性暴力被害に関わる支援の実際について学ぶことが出来た。

Ⅱ. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

【市販されている教材・テキスト】

1. 著書「相談援助」（建帛社）

内容：第2章3 関連援助技術、第3章5 専門職の倫理と倫理的ジレンマについて執筆した。社会福祉士を目指す学生のために適宜授業内でテキストとして用いた。

2. 著書「周産期医療が求めるソーシャルワーカーの専門性と独自性」

内容：周産期医療におけるソーシャルワークの役割を事例を通して分析したものである。医療福祉論の中でテキストとして用いた。

【市販されてはいないが授業で活用するために作成した教材・テキスト】

1. Zoom でのリアル授業で用いるため今まで使用してきたすべての教材、配布資料を改定した。特に、全面的に改訂した科目は当該科目は、「ソーシャルワークⅡ-A」「ソーシャルワークⅡ-B」「社会福祉援助技術論Ⅲ-A」「保健医療サービス」の4科目である。Zoom リアルタイムでの授業用に映像を加えたり、小テストやアンケートを実施することで、学生の緊張をほぐすなどの工夫をした。また、ソーシャルワーク系の科目では、なるべく最近の現状に合った事例を提供するため、新しい事例を加えたり、既存の事例を制度改正に合わせて修正・加筆することも行った。また、「保健医療サービス」では、統計データや法令の改定及び廃止等への対応も行った。

【個別ではなく複数の授業で活用するために作成した教材・テキスト】

1. すべての授業で manaba を活用し、授業途中に学生の緊張を解くことも考え、アンケートを実施した。基本的には、内閣府が実施したものを、そのまま活用したり、学生に合わせて変更することもあった。また、多くの学生に指導に関する論文も参考にし、学生自身が今の自分考え方をフィードバックできるよう工夫した。

Ⅲ. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. manaba の活用

ほとんどの授業を Zoom によるリアルタイム授業としたので、授業中にも manaba を活用した。それ以外にも学生に課した個別課題に関しては、manaba のレポート機能を活用し、提出された。授業当初は学生自身も manaba の活用に戸惑うこともあったようであるが、後期になると、問題なく使用できていた。また、毎回の授業ではアンケート機能とレポート機能を利用し、授業に関するコメントを求めた。特に、質問については次の授業で取り上げ、さらに説明を加えた。前回の授業の復習にもなり、学生自身、自分の苦手分野に気付くようである。

また、課題については manaba のコメント機能を活用し、全員にコメントをつけて返却した。それにより、学生自身、できない項目の理由がわかり、再提出の際、かなりの改善が見られた。

2. 授業間の連動を意識した授業プログラムの組み立ての工夫

社会福祉援助技術論と相談援助演習の関係は深い。担当していない相談援助演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ・Ⅴの授業進行状況を把握し、学生が演習と理論とを関連して学べるよう意識した。それぞれの担当者から、演習の進み具合や、演習で学生が困っている点などを伺った。そのうえで、講義の中で理論的に説明し、この理論と演習の意味を伝えることで、ソーシャルワークを机上の理論として理解するのではなく、身近に活用する技術として理解することができたと思う。

3. 専任教員と非常勤教員との連携

主担当である相談援助演習Ⅲでは、共通シラバスを作成し、教育内容の共通化、授業展開の共有化を試み、学生がどの教員が担当することになっても一定レベルの教育の質を確保できるよう調整した。

4. 個別指導の充実

相談援助実習事前指導、事後指導においては、学生の個別作業も多く、学生間の格差が見られた。そのため、授業外でも学生が自由に相談できる場を提供し、学生の個別作業がしやすく、また、学生自身の力で乗り越えられるようサポートした。これにより、学生は自分で考えることの重要性、時間はかかってもできるという自信をつけ相談援助実習に臨むことができたと言っていたので教育的効果は高かったと思われる。

5. 履修学生全員参加を意識した授業の組み立て

ソーシャルワークの理論を理解するためには事例による全員参加の学習を目指した。事例の見方、問題点の整理の仕方を学生自身が考え、多くの学生に板書してもらうことを通して、全員参加の事例研究となった。これは、社会福祉現場などの実践で活用することも意識している。

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（論文や著書）】

1. 「大学生に「性」をどう伝えるか考える」実践記録研究会

内容：DV やデート DV などにかかわるソーシャルワーカーに必要となる「性」に関する理解や周産期医療の現場における DV 問題の支援についてどう学生に伝えるか分析し、まとめたものである。

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（学会や研究会等）】

1. 「面接技法」

内容：NPO 女性の安全と健康のための支援教育センターから依頼を受け、2020 年 10 月 24 日に上記内容の研修を行った。

2. 社会福祉実践に関わる研究会の実施

内容：毎月 1 回、社会福祉実践現場で活躍している相談員らと最新の社会福祉現場の実情、支援の実際についての研究会を主宰した。

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（研究）】

1. スーパービジョンに関する研究

内容：高齢分野にかかわる社会福祉士実践者 2 名と共同研究

⑩松山 博光

I. 企画あるいは参加した教育関連研修会

【研修会】

1. 2020 年度人間関係学部 FD 研修会

テーマ：「授業をよりよくするためのオンライン授業 Tips」Zoom 開催

日時：2020 年 12 月 11 日（金）午後 3 時～午後 5 時

内容：★第 3 分科会（司会：上野 FD 委員）

「佐藤富士子／力を合わせて、オンラインなんてへっちゃら！」

2. ゆるたまネット学習会「多摩地域企業等情報交換の集い」

テーマ：多摩市内の子ども食堂・誰でも食堂への支援法について

主催：多摩地域企業・大学等連絡会（事務局：多摩ボランティア・市民活動支援センター）

日時：令和3年3月15日（月曜）午後2時～午後4時

場所・方法：コロナ渦により Zoom 開催

参加団体：大妻女子大学、アマゾンデータサービスジャパン（株）AWS InCommunities／
（株）ヴァリエント／グラフィックアート・イオル／恵泉女学園大学／国士舘大学
防災・救急救助総合研究所／生活協同組合パルシステム東京／（一社）祥鶴／し
ごと・くらしサポートステーション／西都ヤクルト販売（株）／（株）タウン
ニュース社／多摩大学／東京ヴェルディ（株）／東京海上日動システムズ（株）
／東京キリンビバレッジサービス（株）／（株）としまフューネス／トヨタモ
ビリティ東京（株）／トヨタ西東京カローラ（株）／（福）日本心身障害児協
会 島田療育センター／（特非）どんぐりパン／二幸産業・NSP グループ／
（特非）フードバンク TAMA／明治安田生命保険（相）／（福）楽友会／多摩
市役所／（福）多摩市社会福祉協議会

内容：当初は、対面であったが、コロナ渦により Zoom での開催になった。多摩市内の大学と企業が多摩市に暮らす貧困家庭の子ども等に対して、食育を通じてどのように支援することが望ましいか検討（フードバンクのあり方等）した。

【学会参加】

1. 健康生きがい学会第11回大会延期に伴う座談会開催

新型コロナウイルスの影響による感染症拡大防止のため、11月に開催予定をしていた第11回大会（開催校：大妻女子大学）が延期となり、代わりに web 会議方法 Zoom を用い、オンラインで懇談会を開催した。

テーマ：オンライン版 生きがいを考える懇談会

～「ポスト・コロナ」社会における生きがいについて考える～

主催：健康生きがい学会（★松山博光：学会理事・コーディネーター）

日時：令和2年11月14日（土曜）午後1時～午後3時

場所・方法：コロナ渦により Zoom 開催

内容：昨年の第10回大会は、京極会長の基調講演「在宅ケアの充実で共に生きる地域社会を築く」があった。「生きがいと健康の関係」について話された。

今回の懇談会では、そこから話を展開して、さらに生きがいについて深く掘り下げ、これからの長期化するポスト・コロナ社会における、生きがいについて、どう考えれば良いかなどを討論した。

パネリストは、以下の7名である。京極 高宣（当会会長・社会福祉法人浴風会理事長）、辻 哲夫（学会理事長・元厚生労働省事務次官）、宮島 敏（当会常務理事）松山 博光（当会理事）、児玉 桂子（当会理事）、上原 紀美子（当会理事）吉田 隆幸（当会理事）

【研究会参加】

全てコロナ禍により中止。特記事項無し

Ⅱ. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

【その他】

今年度前期・後期の講義・演習は、テキスト（参考文献の提示有り）は使用せず、対面で実施することが出来ないため全科目に対してオンライン向けの教材（パワポ用のレジュメ・動画）を作成した。

Ⅲ. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

今年度は、全講義・演習において Manaba を活用した。特にコースニュース・コンテンツ・レポートを通じて、講義・演習の事前・事後自己学習を実施し、課題等を提示し理解度を深めさせた。

【その他】

特に無し。

⑪山本 真知子

I. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. 「授業をよりよくするためのオンライン授業 Tips」

日時：2020 年 12 月 11 日

場所・方法：zoom

内容：第 3 分科会の佐藤富士子先生の「力を合わせて、オンラインなんてへっちゃら！」の分科会に出席した。コロナ禍の中で 4 月、5 月の状況下でどのように授業を組み立てて学生に指導していったのかという内容であった。

Ⅱ. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

【市販されている教材・テキスト】

1. 『クエスチョン・バンク社会福祉士国家試験問題解説 2021』

内容：本書は、2020 年 2 月に実施された第 32 回社会福祉士国家試験の解説を行った。担当した解説部分は「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」の 4 問（問 138、139、141、142）である。

Ⅲ. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. オンライン状況下での zoom を使った取り組み

内容：①100 人規模の授業において、zoom のブレイクアウト・セッション、チャットを使い相互のディスカッションや質疑応答を行うことができる授業に取り組んだ。1 年生の授業においては、友人関係があまり広まらない中で他の学生とコミュニケーションを取れるということもあり参加できてよかったとの声があった。

②manaba の使用したフォローアップを行った。毎回レポート機能で質問や感想を

受けた後、質問に対して回答できる機会を作った。対面の授業においてもリアクションペーパーの質問に対する答えは行っていたが、より個別に質問ができることもあって、例年よりも多くの質問があった。

⑫石井 千麻

I. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. 介護福祉士養成大学連絡協議会 第2回研修

日時：12月19日

場所・方法：オンライン（Zoomにて実施）、

内容：「コロナ禍の効果的な実習」

I部 講師2名による講義

II部 分科会ごとのグループワークに参加した。

【学会参加】

1. 日本社会福祉学会 秋季大会

日時：9月12日～13日

場所・方法：オンライン（Zoomにて実施）

内容：「新型コロナウイルスがもたらしている生活問題に立ち向かう」

ポスター発表「福祉専門職における、対人・専門職スキルとしての自己覚知の研修と評価についての整理」を行なった。

2. 第28回 介護福祉学会大会

日時：10月31日

場所・方法：オンライン（Zoomにて実施）

内容：基調講演「高齢者・障害者介護におけるロボット技術利用を考える」に参加した。

講師：五島清国 氏（公益財団法人テクノエイド協会）

【その他】

1. 神奈川県社会福祉士会 地域包括ケア推進事業部主催

日時：11月29日（日）

場所・方法：オンライン（Zoomにて実施）

内容：県民向け講座「コロナ禍における社会福祉活動の変化～ソーシャルワーカーは何を経験し、何をしてきたのか～」

講師 白梅学園大学 長谷川俊雄教授

「今、この時代を一緒に生きる」をテーマに講座の運営を行った。

III. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. 生活支援技術における演習補助

専任教員の指導・助言のもと、実技演習のための物品準備、演習補助を行う。実習室物品等の管理・点検・補修を行なった。

2. 介護実習事前・事後指導及び巡回指導・学内演習の実施

介護実習入門～Ⅳに向けた実習目標立案の助言・指導、実習巡回指導、学内演習の実施、実習施設との連絡調整、実習報告書作成に関しての指導を行なった。

3. 相談援助実習事前・事後指導及び巡回指導

専任教員の指導・助言のもと、相談援助実習に向けた実習個人票作成の助言・指導、実習施設との連絡調整、実習巡回指導を行なった。

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（論文や著書）】

1. 短報「福祉施設での従事者のサークル活動による離職予防と人材育成の効果」（人間生活文化研究 No.30）

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（学会や研究会等）】

1. 社会学系コンソーシアム第 13 回 公開シンポジウム「メディア学の使命：ジャーナリズム研究からプラットフォーム研究まで」に参加した。

日時：1 月 23 日

場所・方法：オンライン（Zoom にて実施）

内容：「メディア学」とは、どのような学問であるべきかを考える

⑬縄岡 好晴

I. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. 令和 2 年度 FD 研修会「授業をよりよくするためのオンライン授業 Tips」

日時：2020 年 12 月 11 日

場所・方法：オンライン開催

内容：オンラインによる演習授業について－受講生 116 人での質的データ解析演習の事例報告－

2. 令和 2 年度日本臨床発達心理士研修会

日時：2020 年 11 月 8 日

場所・方法：オンライン開催

内容：臨床発達心理士資格更新研修会

3. 令和 2 年度日本臨床発達心理士研修会

日時：2020 年 12 月 13 日

場所・方法：オンライン開催

内容：臨床発達心理士資格更新研修会

4. 令和 2 年度日本臨床発達心理士研修会

日時：2021 年 2 月 23 日

場所・方法：オンライン開催

内容：臨床発達心理士資格更新研修会

【学会参加】

1. 第 29 回日本 LD 学会（オンライン）

日時：2020年10月10・11日

場所・方法：オンライン開催

内容：自主シンポジウム：自閉症スペクトラムの人の余暇・自由時間の支援（４）－学校現場での余暇指導を充実させるために－

2. 第29回日本LD学会（オンライン）

日時：2020年10月10・11日

場所・方法：オンライン開催

内容：ポスター発表：職場適応を測定するアセスメントツールに関する検討

3. 第28回職業リハビリテーション研究・実践発表会（オンライン）

日時：2020年12月5・6日

場所・方法：オンライン開催

内容：ポスター発表：転職支援でのTTAPの活用事例

4. 第55回日本発達障害学会（オンライン）

日時：2020年12月26・27日

場所・方法：オンライン開催

内容：学会企画シンポジウム：高機能ASDの就労上の課題とそれに伴う高機能ASD者に特化した就労支援の必要性

Ⅱ. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

【市販されている教材・テキスト】

1. 「共生社会学」（福村出版）

内容：【第3章 障害児・者の理解と支援 1.発達障害（ASD）、2.限局性学習症、3.障害者就労の基本原則、4.障害者権利条約、5.障害者差別解消法と合理的配慮】について執筆した。障害児・者の理解を深める際の参考資料として使用した。

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. 「相談援助実習事前指導」「相談援助実習(障害・精神分野)」における連携と取り組み

内容：事前指導において担当教員のご指導のもと実習先への提出書類の確認、実習指導者への依頼と調整、実習における指導を行った。

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（論文や著書）】

1. 精神障害・発達障害のある方とともに働くための Q&A50

～採用から定着まで～（日本加除出版）

内容：【第5章発達障害のある方とともに働くには】について執筆した。就労支援に関心のある学生に対し参考資料として使用した。

2. 職業リハビリテーション用語集（やどかり出版）

内容：【第4章法律等に基づく関係機関及びサービス：発達障害者支援センター】の機能について執筆した。関係機関の情報を整理する際の参考資料として使用した。

3. 発達障害者のための就労アセスメントツール

－Becker Work Adjustment Profile2- BWAP2－（合同出版）

内容：【第4章代表的な支援方法】について翻訳した。就労支援に関心のある学生に対しア

セスメントツールの参考資料として使用した。

⑭飛田 和樹

I. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. 社会福祉士実習演習担当教員講習会

日時：2020年9月1日～4日（演習分野）、9月8日～11日（実習分野）

場所・方法：オンラインミーティングツール Zoom

内容：社会福祉士養成における実習・演習教育に必要な事項について

2. 日本福祉大学大学院特別公開セミナー「福祉・医療・介護の実践・政策に応える大学院の研究アプローチ―地域志向―社会開発の視点から問題解決の方策を探る―」

日時：①2020年9月27日（日）13:15～16:30

②2020年10月24日（土）13:15～16:30

③2020年11月29日（日）13:15～16:30

④2020年12月13日（日）13:15～16:30

場所・方法：オンラインミーティングツール Zoom

内容：①「地域福祉とコミュニティソーシャルワーク」

②「地域共生社会確立に向けたソーシャルワークの課題」

③「全人間的理解のツールとしての ICF（国際生活機能分類）」

④「介護保険 20 年：評価と展望」

3. 2020 年度人間関係学部 FD 研修会「授業をよりよくするためのオンライン授業 Tips」

日時：2020年12月11日（金）15:00～17:00

方法：オンラインミーティングツール Zoom

内容：第3分科会「力を合わせて、オンラインなんてへっちゃら！」

4. 介護福祉士養成大学連絡協議会 2020 年度第 2 回研修会

日時：2020年12月19日（土）14:00～16:00

方法：オンラインミーティングツール Zoom

内容：コロナ禍の効果的な実習（I 部：講義のみ聴講）

【学会参加】

1. 日本社会福祉学会第 68 回秋季大会

日時：①2020年9月12日（土）13:00～15:00

②2020年9月13日（日）13:00～16:00

場所・方法：オンラインミーティングツール Zoom

内容：①スタートアップ・シンポジウム「研究者としてのキャリア形成について考える」

②学会企画シンポジウム「いま福祉現場で何がおきているか―新型コロナウイルスがもたらした影響」

2. 第 28 回日本介護福祉学会大会

日時：2020年10月31日（土）13:00～17:00

場所・方法：オンラインミーティングツール Zoom

内容：大会テーマ「介護の未来を考えるー健康科学からのアプローチー」

3. 日本地域福祉学会研究シンポジウム

日時：2020年12月11日（日）10:00～15:30

場所・方法：オンラインミーティングツール Zoom

内容：主要テーマ「地域共生社会と地域福祉研究」

4. 日本地域福祉学会公開研究フォーラム

日時：2021年3月13日（土）13:00～17:00

場所・方法：オンラインミーティングツール Zoom

内容：「地域の多様性に応じた包括的支援システムの構築に向けて」

Ⅱ. 授業で活用するために作成した教材・テキスト

【市販されてはいないが授業で活用するために作成した教材・テキスト】

1. 介護実習ⅠおよびⅢの学内演習に係る資料

内容：介護実習ⅠおよびⅢが新型コロナウイルス感染拡大防止のため学内演習に振り替えとなったことに伴い、学内演習において担当する講義資料を作成した。

Ⅲ. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. 介護実習事前・事後指導および巡回指導

内容：介護実習入門～Ⅳに向けた実習目標立案の助言・指導、実習指導巡回、実習施設との連絡調整、実習報告書作成に際しての指導を行った。

⑮藤本 優

Ⅰ. 企画あるいは参加した教育関連の研修会

【研修会・研究会参加】

1. 「グローバルな仲間たちオンライン・フェスタ・学び、出会い、つながろう!」

日時：2020年5月16日（土）13:00～20:00

場所・方法：オンライン開催

内容：① 13:00～ 1.Zoom や Miro のオンラインワークショップ体験とスキルを習得)

② 16:30～ 4人の演者によるミニプレゼン

「国際協力と地域おこしのフィールドで活躍する現場について」

2. 「第99回新宿食支援研究会 勉強会」

日時：2020年6月19日（金）19:30～21:00

場所・方法：オンライン開催

内容：在宅医療に従事する薬剤師の方に薬剤師と食支援の関係や地域での生活を支える連携についての講演及びグループディスカッション

3. 「2020年度社会福祉士実習演習担当教員講習会 演習分野講習」

日時：2020年9月1日（火）～9月4日（金）

場所・方法：オンライン開催

内容：社会福祉士養成における演習教育に必要な項目について

4. 「食と農で「地域」とつながるセミナー」

日時：2020年10月23日（金）19：00～20：30

場所・方法：オンライン開催

内容：地域の特産品を活かして住民同士の交流&地域づくりを促進するなどの事例を共有した

5. 「地域共生社会開発プログラム連続イベント」

日時：2020年11月30日（月）14：00～15：30

場所・方法：オンライン開催

内容：地域共生社会開発プログラムの概要説明とプログラムを活動した事例の報告

6. 「授業をよりよくするためのオンライン授業 Tips」

日時：2020年12月11日（金）15：00～17：00

場所・方法：オンライン開催

内容：オンライン授業の事例に基づいて議論をしつつ授業方法を学んだ

7. 「Online Social Impact Day2020」

日時：2021年1月23日（土）17：00～19：00

場所・方法：オンライン開催

内容：社会的インパクトマネジメントにおける事例報告

8. 「M-GTA 研究会」

日時：2021年2月13日（土）13：00～18：00

場所・方法：オンライン開催

内容：M-GTA を活用した研究の分析ワークショップ

【学会参加】

1. 「日本福祉教育・ボランティア学習学会 第26回オンライン大会」

日時：2020年11月28日・29日

場所・方法：オンライン開催

内容：多文化共生とボランティアリズム

2. 「日本社会福祉学会関東地域ブロック研究大会」

日時：2021年3月6日（土）

場所・方法：オンライン開催

内容：社会福祉学教育と専門職養成

Ⅲ. 教育内容に関する質の向上を図るための取り組み

【教育内容に関する質の向上に向けた授業内での取り組み】

1. 「相談援助実習事前指導」「相談援助実習（高齢分野）」における連携と取り組み

内容：事前指導において担当教員のご指導のもと実習先への提出書類の確認、実習指導者への依頼と調整、実習における指導を行った。

【教育内容に関する質の向上に向けた授業外での取り組み（論文や著書）】

1. 「障害者と地域住民の協働による地域課題の解決のための活動に関する文献レビュー」

活動の課程とその要因に焦点をあてて－」

内容：障害者就労継続支援事業等における地域住民との協働活動について文献をもとに理論を生成した。

V オフィスアワー

はじめに

2020（令和 2）年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で大学生活は一変した。大学は、対面授業からオンライン授業に一齐に切り替わり、学生はひたすらオンライン授業を受けることになった。とくに前期は大学側の準備等で、遅れて授業が始まったところが多く、教員も始めての体験で準備に手間取ったこともあり、学生・教職員への影響は大きかったと思われる。このような中で「オフィスアワー」はどのような状況だったのか、今後の課題についても述べておく。

本来のオフィスアワーは、教員が学生の大学生活全般にわたる質問や相談を受けられるように研究室にいる時間のことである。学生は教員が設定している時間帯であれば、所属学科の教員だけではなく、どの学部、学科、専攻の教員の研究室を一人でもあるいはグループでも訪問してもよく、本学でも平成 16 年度から FD 活動の一環として導入し、今年度で 17 年目を迎えた。

令和 2 年度の実施要綱は表 1 の通りである。

表 1 令和 2 年度オフィスアワー実施要綱

活動目的	オフィスアワーは、学生の大学生活全般にわたる相談を通じて、学生がより良いキャンパスライフを送れるように支援する組織的な活動である。
相談内容	学生生活全般に関わる事柄であり、特別な制約は設けない。
対象者	本学の学生個人又はグループとする（学部・学科・専攻は問わない）
担当者	学生は、クラス指導主任やゼミ担当教員に限らず、人間関係学部の全専任教員（助手は除く）と相談することができる。
相談時間	①月曜日から金曜日までの 1 時限から 5 時限（昼休みを含む）、土曜日の 1 時限から 2 時限（昼休みを含む）のうち、原則として 1 コマ（90 分間）を相談時間に当てる。 ②指定時間外は事前予約により相談する。
相談場所	原則として各専任教員の研究室とする。
実施方法	①教員はオフィスアワーとして設定した時間内は研究室に在室している。 ②教員は、学生が安心して相談できるように事前説明を行ない、特別なことがない限り他に漏らさないことを説明する。
周知方法	① 教員は、毎年講義開始時にオフィスアワーの利用を学生に伝える。 ②新年度毎に「人間関係学部オフィスアワー・スケジュール一覧表」を作成し、学生への配布および学部掲示板（1 階）、各共同研究室掲示板（4 階）に掲示する。 ③学部ホームページに実施要綱とスケジュール一覧表を掲載する。
FD 報告	担当教員は、オフィスアワーに関する意見・感想等を当該年度の FD 報告書に掲載するため、報告書（年度末に別途配布）を提出する。

1. オフィスアワーの結果

今年度は、授業の多くがオンライン授業となり、学生の大学への入構がまったくできない時期もあった。必然的に研究室への訪問の機会もなくなり、多くは ZOOM、メール、電話などを用いて学生の相談を受けた。対面での相談が必要な学生には学部の許可を得て、入構し、研究室で行えるようにした。本来のオフィスアワーの時間帯に相談を受けた教員もいたが、ほとんどの教員はそれ以外の時間帯にも対応した。もともと学生の相談がオフィスアワー以外の時間に入ることが多く、教員は柔軟に対応していたこともあり、その傾向がより強まったともいえる。相談の内容を見ると、授業内容の質問、日常生活の相談、進路・就職相談、さらに今年度はオンライン授業に対する不安、自粛生活での心身の不調の相談などが加わり、多岐にわたっていた。

2. 各教員からの意見や感想について

- ・細かい相談にのるには、（感染防止に気をつけながらも）対面の必要性があるかもしれない。
- ・メールでのやり取りの方が、学生にとって気軽に行えるため、問い合わせの件数が例年より大きく増えた。
- ・アポなしでふらっと研究室に立ち寄れる気軽さがなくなり、オフィスアワーの利用に敷居が高くなったのではないかと感じる。
- ・オンラインによるコミュニケーションに困難を感じている学生に対しては、メール等のオンラインでの対応方法の限界を感じた。
- ・例年であれば空き時間やすれ違ったときに、何気なくおしゃべりをする学生がアポイントを取らなければ教職員と話ができない状況に、学生は疲弊したのではないか。
- ・相談のアポイントを取れない学生、オフィスアワーについてハードルが高いと思っている学生に対する対応について考えていく必要がある。

3. 今後の課題

昨年と同じ時期（すでに新型コロナウイルス感染症が拡大し始めていた）に、2019 年度のオフィスアワーに関する FD 報告書に「相談方法として、メールや manaba、さらに Hangouts Meet、ZOOM などのオンラインツールが今後増えていく可能性もあり、教員は柔軟な対応をしていく必要もある」ことを課題としてあげた。

新型コロナウイルス感染症により、オンラインによる相談をせざるを得なくなったが、仮に新型コロナウイルス感染症が収束しても、本来の研究室での相談に加え、オンラインでの相談も可能とすることで、新しいオフィスアワーの在り方が常態となるかもしれない。

他方、オンライン相談に馴染まない学生も一定数いることからより柔軟な対応をしていかなければならないだろう。

◆◆◆ 予約無しで教員の研究室を訪問して相談できる時間帯です。時間を確かめて気軽に活用してください。◆◆◆

月	火	水	木	金
1 9:00 10:30				通年 香月 菜々子 9:00 10:30
2 10:40 12:10			前期△ 小川 浩 通年 田中 優 10:40 12:10	2
通年 嶋貴 真人	前期△ 伊藤 美登里 通年 尾久 裕紀 通年 西河 正行 前期△ 古田 雅明 通年 千川 剛史 通年 堀 洋元	通年 佐藤 富士子 通年 福島 哲夫 通年 松山 博光	通年 上野 優子 前期△ 大出 春江 通年 金 美穂 通年 久保田 滋 通年 千川 剛史	通年 伊藤 美登里 通年 井上 修一 前期△ 大出 春江 通年 齊藤 豊 前期△ 古田 雅明 通年 堀 洋元 通年 牧野 智和
屋 休 み				屋 休 み
3 13:00	通年 牛山 美穂	前期△ 山本 真知子 後期▲ 山本 真知子	後期▲ 小川 浩 通年 春日 文 通年 藤野 ともしみ 後期▲ 古田 雅明 後期▲ 山本 真知子	13:00 3
4 14:40 16:10	通年 小谷 敏 通年 野辺 陽子	後期▲ 八城 薫	通年 丹野 真紀子	14:40 16:10 4
5 16:20 17:50			後期▲ 大出 春江	16:20 17:50 5
月	火	水	木	金

- ◆ 指定時間外の相談は教員に直接予約してください。
- ◆ 相談場所は原則、7号館4階の各個人研究室です。
- ◆ 変更が生じた際は、学部HP (<http://www.hum.otsuma.ac.jp/>) ⇒⇒⇒ 及び、7号館(1階と4階に掲示)でお知らせします。



【本件に関する問い合わせ先】

2020(R2)年度 人間関係学部FD委員会 ningenfd@ml.otsuma.ac.jp
福島哲夫(学部長)、大出春江(学科長)、尾久裕紀(学科長)
社会/牛山美穂、心理/本田周二(委員長)、福祉/上野優子

< 配付・掲示先等 >

- ・ 4月のガイダンスで配付
- ・ 7号館に掲示(1階と4階)
- ・ 学部HPに掲載 <http://www.hum.otsuma.ac.jp/>

ヨミ	教員名	時期	曜日	時限等	時間帯	場所・7号館4F
イトウ ミトリ	伊藤 美登里	前期△ 後期▲	火・金	屋休み	12:10-13:00	74132
イノウエ シュウイチ	井上 修一	通年	金	屋休み	12:10-13:00	74811
ウエノ ユウコ	上野 優子	通年	木	屋休み	12:10-13:00	74872
ウジヤマ ミホ	牛山 美穂	通年	火	3	13:00-14:30	74151
オオデ ハルエ	大出 春江	前期△ 後期▲	木・金	屋休み	12:10-13:00	74152
オガワ ヒロシ	小川 浩	前期△ 後期▲	木	2 3	16:20-17:50 10:40-12:10 13:00-14:30	74842
オギエウ ヒロキ	尾久 裕紀	通年	火	屋休み	12:10-13:00	74812
カスカ アヤ	春日 文	通年	木	3	13:00-14:30	74482
カツキ ナナコ	香月 菜々子	通年	金	1	14:00-10:30	74581
キム ミジン	金 美穂	通年	木	屋休み	12:10-13:00	74841
クホタ シゲル	久保田 滋	通年	木	屋休み	12:10-13:00	74181
クラノ トモミ	藤野 ともしみ	通年	木	3	13:00-14:30	74851
コタニ サトシ	小谷 敏	通年	月	4	14:40-16:10	74142
サイトウ コカ	齊藤 豊	通年	金	屋休み	12:10-13:00	74161
サトウ フジコ	佐藤 富士子	通年	水	屋休み	12:10-13:00	74871
シマズキ マサト	嶋貴 真人	通年	月	屋休み	12:10-13:00	74822
タナカ マサシ	田中 優	通年	金	2	14:40-12:10	74381
タンノ マキコ	丹野 真紀子	通年	木	4	14:40-16:10	74852
ニシカワ マサユキ	西河 正行	通年	火	屋休み	12:10-13:00	74382
ノハタ ヨウコ	野辺 陽子	通年	月	4	14:40-16:10	74141
フクシマ テツオ	福島 哲夫	通年	水	屋休み	12:10-13:00	74381
フルタ マサアキ	古田 雅明	前期△ 後期▲	火・金	屋休み	12:10-13:00	74881
ホシカワ ツヨシ	千川 剛史	通年	火・木	屋休み	12:10-13:00	74131
ホリ ヒロモト	堀 洋元	通年	火・金	屋休み	12:10-13:00	74281
ホンダ シュウジ	本田 周二	通年	金	2	10:40-12:10	74481
マキノ トモカズ	牧野 智和	通年	金	屋休み	12:10-13:00	74182
マツヤマ ヒロミツ	松山 博光	通年	水	屋休み	12:10-13:00	74831
ヤシロ カタル	八城 薫	前期△ 後期▲	水	< 国内研修期間中につき実施いたしません > 4	14:40-16:10	74882
ヤマモト マチコ	山本 真知子	前期△ 後期▲	木	3	13:00-14:30	74821

VI クラス指導について

本学教育体制の特徴の一つとして、クラス指導主任制度がある。入学時から学生をクラスに分け、クラス指導主任が「学習」「学生生活全般」にわたってきめ細かく指導、助言、相談を行う学生支援の仕組みである。本制度は、全国各地から入学してくる学生が新しい環境に適応し安心して修学できるよう、きめ細かな指導をする必要性を説いた学祖大妻コタカの意思を継承し設けられている。

2020 年度はコロナ禍により年度の始めにおこなわれる学科・専攻によるガイダンスが実施されず、授業開始も例年より 1 ヶ月遅れてスタートしたため、例年なら対面でおこなうクラス単位の学生指導も非対面でおこなうことになった。今年度の報告書はその意味で大学環境が使用できない中でおこなうクラス指導、という実験的ともいえるべき状況下における教員の戸惑い、工夫、要望としてアンケート結果を読んでいく。

以下では、2020 年度クラス指導について、「クラス指導の状況」「クラス指導を行う際に工夫している点」「クラス指導に関する意見・感想」の順にまとめている。

1. クラス指導の現状と教員からの意見

(1) 2020 年度のクラス指導の状況

1) 人間関係学科 社会学専攻

- * 休学や退学にかかわる相談が 4 件あった。前期は GPA1.5 未満の学生の指導があったが、後期はオンデマンド化でそれまで低い成績であった学生の成績が向上したため、履修指導の必要な学生はいなかった。その他、就職活動に関する質問を受けた。
- * 今年度は 1 年生のクラス指導を担当したが、新学期に対面でのガイダンスができなかった分、manaba を通じて連絡事項が伝わっているかどうか確認するために、個別にメールをしたり電話をかけたたりする必要がある、例年とは違う大変さがあったと思う。
- * 2020 年度はクラス全体への働きかけの機会はなかった。卒業要件単位の不足が心配される学生にはメールで個別に連絡をとり、助言をおこなった。休学している学生および復学して 2 年次生と学んでいる学生に対し、メールと電話と Zoom 面談により指導をおこなった。
- * コロナ禍において、一同に集うことがなかなかできなかったが、入学してまだ友達も作れない状況にあった 1 年生に対し、Zoom を用いたクラス懇親会を開催し、後期になってクラスガイダンスをおこなった際には、諸々の事情で参加できない学生に対しても Zoom での配信・参加を併用した。
- * manaba を通じた情報共有およびメールを使った学生個別指導
- * GPA が低い学生に電話、メール、LINE 等で面談を行い、人間関係学部の面談書式を用いて、記録を取った。
- * 卒業論文のみを残している学生が多い 4 年生の担任だったので、今年度の状況にもかかわらず混乱はあまりなかったが、履修単位が不足している学生の履修計画等について指導を行った。

2) 人間関係学科 社会・臨床心理学専攻

- *manaba を通じての学生とのやり取りであったが、頻繁にメールでやり取りをする学生が限られていた印象がある。
- *できるだけ慎重に、学生の主体性を重んじつつ、必要な時には家庭への介入も行う。
- *今年は2年Aクラスと3年Aクラスを担当しました。対面で会う機会がほとんどなく、教員個人によるクラス指導というものはほとんどなかった印象です。それよりは、社会・臨床心理学専攻教員全員から各学年に向けてメッセージを頻繁に送ったり、相談窓口をZoom上で設けたりするなどの活動がクラス指導になったと感じています。
あとは、学部と大学院の専攻主任をしている関係で、他の教員のクラス指導のサポートを行う機会が多くありました。
- *新入生のクラス指導だったため、入学時のメール開通確認や履修登録時の個別対応など、主にメールでの指導を行った。
- *2年Bクラスを担当した。対面ではなかったことであまり相談されることはなかったが、成績不振の学生への働きかけをメールで行った。

3) 人間福祉学科

- *クラスのメンバーに対して、資格取得の相談、奨学金の紹介、就職活動等の相談を行ってきた。今年度はZoomによって行った。
- *多岐にわたる様々な学生がいる。新型コロナウイルス感染症というパンデミックを我々は経験することになり、思いもよらない件数の相談があった。また、各授業に関する要望や意見等は、かなりの件数であった。
オンライン授業は、学生によっては孤立を感じさせるアイテムでもあり、一方で、通学時間の短縮やプライベートに使用できる一日の時間が増大したことによって日々充実している学生もいた。
- *必要に応じて、履修指導や進路指導等をZoomを使用して実施した。
- *3月からクラス向けにmanabaでの情報配信を始め、年間を通して学科としてだけでなくクラス単位で情報を伝えてきた。4年生の担任であったため履修指導等は限られたが、卒論作成や就職活動、国家試験の情報等については、担当者やゼミ教員だけでなく、クラス担任からも連絡するように心がけた。
また、授業に対する配慮願いがこの状況下で少し増えたため、学生相談センターや事務と連絡・協働することが多かった。しかし保護者とのコミュニケーションを直接取る回数が減ったことは残念であった。保護者に向けた情報提供のあり方についてももっと検討するべきだったように考える。
- *学生への連絡は全てmanabaのクラスコースを使用した。閲覧記録のない学生にはさらにメールでの連絡とした。
卒業年次であること介護福祉士の国家試験の受験、あるいは社会福祉士とのダブル試験を受ける学生で、直接指導がなかなかできなかった。
特に卒業認定が危うい学生への指導には困難を要した。

- * 例年同様、継続的な指導を要すると思われる案件については、次回以降の面談内容に発展させられるよう、その都度面談内容のメモをとるようにしました。
- * 2年生の担当であったので、後期には、資格取得にかかわる相談が多くあった。対面授業がままならず、ネット環境の難しい学生についても相談を受けることが多かった。Zoomを活用した個別面談を行い、指導した。
- * 今年度のクラスは、卒業年次であった。特に成績（GPA）が好ましくない（卒業が危ぶまれる）学生に対しては、教育支援Gとゼミ担当教員と共に対応するように心がけた。
- * 今年度1年生の担任として、4月の緊急事態宣言下のスタートだった。manabaの使い方、UNIPAの使い方など、4月の履修登録の際は学生一人ひとりにメールや電話で対応したが、マンパワーでは足りない点多々あったと感じている。まだZoomが使用できないこともあったが、例年の1年生に比べ今年の1年生はとても不安な中で学校生活を始めたため、今後2年生になって対面授業が始まった際に再度学生の状況の確認が必要になると考える。個別の相談に関しては、対面やメール、電話でやりとりをし、対応したが、来年度以降はできるだけ対面での丁寧な指導を心がけていきたい。

（２）クラス指導を行う際に工夫している点

１）人間関係学科 社会学専攻

- * 相手の納得が得られるよう、時間をかけて行うよう心掛けている。
- * 今年度はとくに対面で指導をすることができなかつたため、Zoomやメールで、相手に誤解や不安を与えない言葉遣いに気を遣った。
- * 欠席の多い学生とGPA1.5未満の学生に個別にメールで連絡をおこない、卒業にむけた継続的な支援をおこなった。
- * 上記の活動（＝Zoomによるクラス懇親会）の際に、学生同士が相互にコミュニケーションをとる時間をなるべく多く与えるように試みた。
- * GPAが低い背景（家庭の状況、アルバイトなど）を詳しく聞き取るようにしている
- * これも今年度特有の状況だが、manaba上の情報伝達はできる限り丁寧に、伝え漏れがないよう配慮した。

２）人間関係学科 社会・臨床心理学専攻

- * 学生とのやり取りについては、学生に不要なプレッシャーを与えないように、メールなどでの文章表現を工夫したり、クラス全体へのメッセージなどに形を変えるなどの配慮をしている。
- * できるだけ慎重に、学生の主体性を重んじつつ、必要な時には家庭への介入も行う。
- * 自分が臨床心理学を専門としているので、個人的な悩み相談も多くなりがちですが、カウンセラー的な対応にならないよう職業的立場の境界を保ち、あくまで教員として対応するように工夫しています。
- * オンラインによる履修指導の際は事前に了解を得てビデオオンとし、対面による履修指導に近い状況で行った。
- * これまで同様、まずは当人の話を聞くことに重点を置いた対応をしてきた。

3) 人間福祉学科

- *できるだけ早い時期に名前を覚え、教室での様子、学内での友人関係等を把握しながら、個別に対応できるように工夫している。今年度はその成果が少しずつ見られ、進路等についても気軽に相談できる雰囲気ができてきた。
- *様々な学生がいるので、個性を尊重することは最も大切であろう。学生個々人については、昨年実施した面談のメモ書きを整理し、一年経ったことへの成長や変化を確認することになっている。時間の許す限り、話を聞いたり、メールでのやり取りなどいつでも受付可能としている。
- *学生の話进行聴することに重点を置いた。
- *今年度はこまめに **manaba** や **UNIPA** を確認し、学生のアクセス状況や授業出席状況の把握することを心掛けた。また、これまで継続的に相談にのっていた学生に連絡することを意識した。
- *例年同様、継続的な指導を要すると思われる案件については、次回以降の面談内容に発展させられるよう、その都度面談内容のメモをとるようにしました。
- *ネット環境の問題もある学生もいるが、その場合は電話で対応した。ネット環境に問題のない学生について、**Zoom** で個別に面接時間を取り対応し、じっくりと話を聞くよう心掛けた。
- *今年度は、コロナ渦のため対面の指導は困難であった。履修登録の年度始めから電話・やメール・ラインを通して、就学・就活等の相談に対して個別に指導した。
- *今年度は対面での相談が難しかったこともあり、担当する授業での **manaba** やメールを使用して相談に乗るように心がけた。授業の際にささいな個別の相談も **manaba** のレポート機能で相談しても良いと伝え、細かい質問にも対応できるようにした。

(3) クラス指導に関する意見・感想

1) 人間関係学科 社会学専攻

- *今年度からはじめてクラス指導を行うので、例年と比較することはできないが、今年度は学生と対面で会う機会がほとんどなかったため、自分のクラスの学生の名前や顔、学生同士の関係などがほとんどわからない状況であり、掴みどころがない印象がある。
- *2020 年度に懇親の機会が一度ももてないまま卒業を迎えることは、学生にとっても教員にとっても大変、残念である。
- *来年度も、コロナ対策が継続的に必要になる中、学生同士が十分な交流を安全な環境でおこない、少しでも充実した学生生活ができるようにサポートしていく必要があると考える。

2) 人間関係学科 社会・臨床心理学専攻

- *職務上、クラス指導は行っていない。学内実習施設における大学院生および研究員の指導としては、小まめな情報の伝達と確認に努めること、個々人のニーズをできるだけ把握するよう努め、それぞれが自らの力を伸ばせるような環境の実現と教育的指導を継続している。昨今では、学生同士のコミュニケーションの難しさや、社会人としての基本的な態度や対人スキル（報告、連絡、相談の徹底）を身につけることなどが課題となっており、工夫が続けら

れている。

- *授業で **manaba** を使っているが、クラス指導にも使えると思う。ポートフォリオとして、個別のやり取りが残っていると、学生との指導がやりやすいと思う。また、指導記録としても有用であると思う。
- *オンラインではかなり難しい。ゼミでは **Zoom** を使った茶話会などができたので、1, 2 年生も年に数回でもゼミ形式で教員の元に集うことがあってもよいのではないか。
- *クラス指導は 1 学年に A クラスと B クラスがありますので、大学教員として経験豊かな先生と若手の教員や学生委員、教務委員など役割に応じて教員がペアになると良いと感じています。
- *オンライン授業が中心の 1 年だったからこそ、定期的にクラス指導の時間を設けたり、問い合わせしやすい窓口を設けるなど、学生にとってアクセスしやすい環境を整備できると良い。
- *今年度に関しては、あまりクラス指導という点で円滑であったとはいえないと感じている。次年度対面が中心となるので、そこで今年度の分も指導していければと考えている。

3) 人間福祉学科

- *個性豊かないろいろな学生がおり、担任一人では解決できないことも多い。各方面のエキスパートとなる専門の方々や、部署との連携は必要と思われる。
- *担当クラスが 3 年次のため、就職に関する悩みや相談が多かった。次年度も継続して学生の相談に丁寧に対応していきたい。
- *4 年生の担任であり、学生の就職動向が気になっていたが、なかなか状況を把握することが難しい 1 年であった。1・2 年生の時に、一般企業志望に絞った学生等の苦戦状況を時々聞くことはできたが、就職支援グループに繋げるのが精いっぱいであったとも言える。学生委員及び就職支援グループと協働できる体制が、対面が難しい状況下でも取れるように工夫していかなければならない。一方で就職に配慮が必要な学生については、共生社会文化研究所のプロジェクトの先生方に相談になって頂くことが 3 年生の時からできており、早い時期に内定を取ることができた。今後も、学生とのコミュニケーションを重視しながら、多様な部署や諸先生方にご相談していく体制を大切にしていきたい。
- *学生の悩みは多様であり、コロナ禍でメンタルに不安を抱える学生も増えてきている。学生からの相談には必ず応じることが大事だと感じた。
- *2 年次と 3 年次に退学した学生（進路変更：本人・家族と相談）がいたものの、4 年間の務め無事に果たした。
- *今年の年度初めの履修指導は本当に学生も教員も大変だった。電話をかけるのにも、UNIPA の情報だけでは十分に学生の様子がわからず、大学に来なければできないこともあり、教員側の個人情報の保護や UNIPA を学外でみられるようにするなど、緊急事態の際は必要であると感じた。
- 3・4 年次になると学年全体を担当する授業もない場合は、クラス全体の指導が難しくなるので、UNIPA の学生の情報などをゼミの先生にも公開していった方がより学生を指導しやすいと感じる。

2. まとめと課題

大学の教員は講義、演習、実習等で学生に専門的知識や技能を与え、自ら考える力が身につくよう、そしてそれらをもとに、自己を表現したり問題解決にあたれるように指導することを基本的業務の一つとする。他方、自己の専門領域に関する研究を行い、それを発信していくことが期待されている。クラス指導主任という役割はこれらのいずれにも属さない、大妻女子大学を特徴づける本学教員に与えられた業務である。狭義の教育と研究という2本柱には直接かわらず、教員業務としては表面化しにくいという特徴があった。

しかし2019年度入学生からは前期 GPA 1.5 未満の学生を対象とする指導に加え、0.75 未満の学生に対してはクラス指導主任による助言、通年で 0.75 未満が続く場合、専攻主任と学科長による指導、さらに2年にわたって改善が見られない場合は学部長による面談がおこなわれる（その結果、成業の見込みがないと判断された場合、退学の勧告がおこなわれる）ことが『履修の手引き』に明記された。それに加えこれらの指導は記録として残されることが義務づけられた。

このことは近年、文部科学省が進めてきた大学の質保証のための GPA 活用の一環であり、本学の「成績不振学生」に対する修学指導は、全学的な義務という性格をもつようになった。この修学指導を記録することと、その結果を年に一回、報告することが義務づけられた。これらはクラス指導主任の役割を表面化させ、さらにその業務を一定程度、標準化させることにつながった。

学科・専攻別にまとめた「(1) クラス指導の状況」「(2) クラス指導を行う際に工夫している点」「(3) クラス指導に関する意見・感想」からわかる、2020年度固有の特徴は次の通りである。

コロナ以前の2019年度におけるクラス指導の工夫としては、1) 話しやすい雰囲気作りをする、2) 学内で声がけをするように努める、3) 話を聞くようにする、といったものだった。これらはクラスのなかで授業や日常生活に困難を抱えている学生がいないか、確認するための工夫として用いられていた。

コロナ以降の2020年度のクラス指導では manaba を使った情報共有が中心であり、個別に対応に必要な学生についてはメール、電話、Zoom が用いられていた。2019年度のように大学で会った際に声をかけることができず、受講している学生と受講していない学生の違いは（科目担当者でない限り、）manaba の閲覧記録で把握するほかはない。50 名前後のクラス単位となると、学生からの発信がない限り彼女らが抱える困難に気づくことは難しい。

今後の課題は、大学生活や授業で困難を抱えている学生への気づきや対応が「配慮願ひ」に基づく情報共有で終わらないようにしていくことが、もう一つのクラス指導主任の重要な役割であることを改めて確認することではないかと思う。コロナ以降は、これらの指導にとって面談することが大前提であったものが、Zoom を活用することで、時間と場所に拘束されずにより円滑に進めやすくなったことが発見され、より一層有効に活用していくことが望まれる。

Ⅶ 人間関係学部FD研修会

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインでの授業実践という大学始まって以来の状況となった。誰しものが対面と同等、それ以上の実践を目指して年度の始まる前から継続的にオンラインでの授業実践に関する様々な取り組みを行ってきた一年であった。そして、その試行錯誤の中で様々な事例が蓄積されていった。これらの事例を共有することが今年度のFD研修会として相応しいと考えられたため、本年度は「授業をよりよくするためのオンライン授業 Tips」と題して、実施した。

1. 日時・場所等

- ・2020年12月11日（金）15:00～17:00
- ・実施方法：Zoom

2. 内容

（1）タイムスケジュール

スケジュール

- 15時00分 開会のあいさつ
- 15時15分 分科会での議論
- 16時40分 各分科会の結果報告、まとめ
- 17時00分 閉会

（2）分科会の内容

第1分科会：齊藤豊先生「Zoom 授業初体験ドキュメント」

（司会：牛山先生）

第2分科会：田中優先生「オンラインによる演習授業について－受講生116人での質的データ解析演習の事例報告－」（司会：本田先生）

第3分科会：佐藤富士子先生「力を合わせて、オンラインなんてへっちゃら！」

（司会：上野先生）

なお、それぞれの分科会はZoomの録画機能によって録画され、他の分科会参加の方も見られるように共有を行った。

3. 終了後の参加者アンケート結果から

（1）全体的な評価

- ・オンライン授業のために学部の英知を結集する良い企画であった。
- ・第二分科会に参加しました。私にはとてもまねできない技術を駆使されたものでしたが、勉強になりました。いくつかの点は授業に取り入れたいと思っています。
- ・はじめてのFD研修会でしたが、ディスカッションでもさまざまな意見交換ができ、とても

有意義だったと感じました。

- ・大学生になると、行動範囲も広がるため、情報社会の悪い面についてきちんと伝える必要があると考えている。今回の分科会では、インターネットの良い面だけでなく、悪い面など、学生に早く伝えるべきことをちょうど良いタイミングで上手く伝えられていると感じた。
- ・今年度は、突然のオンライン授業となったため、様々なオンラインのツールやその良し悪し、先生方が苦勞されている点などがわかり、大変有意義な研修会でした。
- ・まずはFD委員の先生方、本当におつかれさまでした。2020年は未知なる感染症により、従来の大学の在り方や指導体制がまさに根底からひっくり返った年でしたので、さまざまな先生方のご苦勞をお聞きし、互いに労うとともに、オンライン中心の講義におけるさまざまな工夫やアイデアについて意見交換ができたこと、大変有意義だったと感じております。また、こうした危機的状況においての学生さんの頑張りと成長にはある種めざましいものがあったようにも思えると同時に、やはり課題過多の傾向への懸念と、適度な休息が例年よりも必要ではないかとの問題意識も新たに持つことができました。後期のこり 1 か月半ですが、すこしでも工夫ができればと思います。本当にありがとうございました
- ・テーマと内容は良かった。
- ・分科会では話題提供の先生だけでなく、参加した先生方からの Tips も聞けて、オンライン授業の参考になりました。今年度もスキルをインプットできる素晴らしい研修会でした。ありがとうございました。
- ・オンライン授業は初めてことで先生方の工夫等いろいろ伺いすることができ大変参考になりました。
- ・今年度の研修により、指導のあり方が広がりました。
- ・ZOOM の利用方法や応用、使用環境について。特に教員・学生関係なくオンラインで対応する際の環境については個々違うこともあり、今後の課題でもあるように感じた。
- ・業務において、私立大学情報教育協会の FD 活用コンテンツをご案内しておりますが、先生方のお話にもオンライン授業への様々な工夫と取り組みを感じることができました。
- ・今年度はオンライン授業で本当にいろいろなことがあったため、その総括や今後に向けてもこのようなオンライン授業に特化しての FD 研修会を開催することの意義が大きかったと思います。
- ・初めてのオンライン開催、進行も内容もスムーズで大成功だったと思います。先生方の創意工夫ある対応や大変だったことなどが分かり、非常に参考になりました。
- ・準備された先生方、大変お疲れ様でした。
- ・オンラインの方が、他の分科会も後日診ることができるのでよいのではないかと考えた。
- ・今回も素晴らしい企画をしていただき、ありがとうございました。
どの分科会も参加したいテーマでしたので、他の分科会も是非動画視聴したいです。
- ・内容：社会状況に合った適切なテーマだったと思います。
実施方法：Zoom でレコーディング、他の分科会の内容を後から視聴できる、というのは大きなメリットだと思います。

（２）今後取り上げて欲しいテーマについて

- ・感染症の影響が、来年度、どの程度あるのかによっても変わってくるかと思いますが、対面授業が多くなることを考えますと、対面授業の重要性や必要性など再認識できるような内容があっても良いかなと思う次第です。
- ・来年度もオンライン授業が中心となりそうなので、引き続きオンライン授業のノウハウを深めるために知恵を出し合う会を企画していただきたいです。
- ・オンラインと対面（オンサイト）のハイブリッド授業のノウハウや活用法について
- ・引き続きオンライン授業について
- ・来年度はオンラインと対面がミックスされるため、新たな課題が出てくるかと思います。また Google に移行することになっているため、Google の使用方法や manaba 等との連動などの方法など知ることができると嬉しいです。
- ・次年度の状況にもよりますが、対面＋オンラインのハイブリッド型授業の作り方に関する Tips を取り上げてほしいです。課題ではありませんが、Tips が映像化され、学部ホームページなどで発信するなど他の学部にも先駆けて発信するなど、FD 活動報告書の二次元化できると面白いと思います。
- ・毎年 FD 委員会で適切なテーマを取り上げていただいているので、それに満足しています。
- ・次回もオンラインを希望します。
- ・授業の技術的方法（ノウハウ）の改善ではなく、教員の研究成果をどのように授業で教える内容に反映させて授業の質を高めるかについて。
- ・学部共通科目について考える
- ・非常勤講師の先生の中で、授業評価の高い先生の授業を紹介してもらおう
- ・TEP の授業紹介
- ・毎年、「授業 Tips」というテーマは大変参考になります。今後も継続していただきたいと思っています。
- ・講義・実習・演習の評価法について
- ・内容が非常に参考になるので、大変だと思いますが複数回開催できれば更に良いと思いました。

（３）実施時期について

- ・この時期がちょうど良い（20 名）。

（４）研修会の形式等について

- ・今のままで良い（19 名）

その他（1 名：教授会が文書協議だったため時間が早まりましたが、個人的には早めに設定していただける方が助かるので、今年度の実施時間は最適でした。）

Ⅷ 授業改善に向けた学生の代表者（学友会）との意見交換

2020 年度人間関係学部授業改善 FD を以下の通り実施した。今年度も、「授業改善に向けた学生の代表者（学友会）との意見交換」を実施した。

1. 実施日時

- ・2021 年 1 月 22 日（金）12 時 20 分～12 時 55 分

2. 参加者

- ・教員：7 名（福島学部長、大出学科長、尾久学科長、上野先生、牛山先生、本田先生）
- ・学生：8 名（学友会）
- ・オブザーバー：1 名

3. 内容

冒頭の自己紹介を終えたあと、授業に対する学生からの要望について議論を行った。以下、学生から出てきた意見と教員とのやり取りの結果をまとめたものを記載する。

- （1）manaba で資料のみの授業があり、重要な部分や求められているものが伝わりづらいため、レジュメの工夫（重要な点にマーカーを引く、太字にするなど）や授業方法の工夫をしてほしい。ただし、資料のみでの授業でも、しゃべり言葉でレジュメが書いてあり、省略されているところがなかったものについては、先生の音声がなくても理解しやすかった。

→次年度は資料だけ提示というものは減ってくるものと考えている。今年の実践を踏まえながら改善していきたい。一方、形式で良し悪しを判断するのではなく、授業のクオリティを高めていくことを考えることが必要である。

- （2）評価方法について、シラバス等で告知はされているが工夫してもらいたいと感じるもの（例えば、最終レポートのみで評価されるなど）があった。学期末課題一つだけの評価とするのではなく、毎回の振り返りなども評価してもらいたい。

- （3）オンラインでのテストで、カンニングをさせないためにテスト時間を短くするのはやめてほしい。見直しもできず、ネット環境も気にしながらであるため焦って集中できない。カンニングを防ぐのであればレポートにする、見て解くことを前提に意見を求めるなど問題を工夫してほしい。

→科目の特性もあり、一概に言えないところもあるが、共有する。

- （4）大学の LMS として manaba があるが、それ以外のアプリ（slack など）を指定されて連絡するように伝えられ、混乱した。使用するツールは統一してほしい。

→非常勤の先生で大学ごとに様々なアプリの使用を求められ、その場合には、その先生が慣れているアプリを使用してもらうことがあった。また、manaba では匿名での質問ができず、slack だと匿名での個人のやり取りができるという利点もある。どういう意図

でそのアプリを使用するのか、教員と学生でコンセンサスが取れていることが大切だと感じる。

- (5) 当初はオンライン授業への戸惑いがあったが、慣れてくると通学時間が省かれて楽だという形に意見が変わってきた。一方、PC に長時間向き合うことで手が痛くなるなど心身に不調が出ている。現在、期末レポートの最中で、PC と一对一の作業を求められるものが多く大変である。これからもオンラインが続くのかについて不安もある。

パソコンの実習系の授業はオンラインでの実施が大変だった。説明はわかりやすいが、PC を使った演習で学生の PC 環境によってできることとできないことがあったり、苦手な子が苦勞していたのでできれば対面にしてほしい。

→今後の見通しとしては、1 月 7 日に学長から UNIPA でメッセージがあった通り、8 割対面、2 割がオンラインを予定している。もちろん、今後の状況次第でいろいろと変更することは出てくると思うが、対面授業を多くするというのが大きな方針としてあり、そこにオンデマンドやリアルタイムも効果的なものは適宜取り入れることを考えている。教員も学生もオンライン授業に慣れていない中で大変な思いをしたが、オンライン授業の良さもある。日本でのオンライン授業は始まったばかりでまだまだ改善が期待できる。

以上のように、学生と教員の間で授業改善に向けた活発な意見交換が行われた。なお、今回挙げられた意見について学部全体で共有し、今後の改善のヒントにすることとした。そして、今後も継続して関連のテーマについて議論を続けていくことの重要性が確認された。

IX 非常勤講師との教育懇談会

本学では、非常勤講師との教育懇談会を毎年5月末に開催しているが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う非常事態宣言を受け、この懇談会は、後期にオンライン方式で開催された。授業の質の充実・向上に向けて、また、大学としても初のオンライン授業実施となることに対応するべく、様々な意見交換が行われた。

懇談会の実施についても、初のオンライン形式のため、各学科専攻別に複数の日程で開催された。開催期日の記載については、9月以降に実施された期日を掲載しているが、各学科専攻とも、4月から各教科において専任・非常勤講師との綿密な打ち合わせが実施され、今年度のオンライン授業を円滑に進行できたものと思われる。

主な意見、質問、要望等は以下の通りである。

1. 各学科専攻における懇談会開催日時および内容について

(1) 人間関係学科社会学専攻

開催日時：令和2年11月7日（土） オンライン（Zoom）形式

※4月以降、各教科必要に応じて複数回の打ち合わせを設けた。

(2) 人間関係学科社会・臨床心理学専攻

開催日時：令和2年10月31日（土） オンライン（Zoom）形式

※4月以降、各教科必要に応じて複数回の打ち合わせを設けた。

(3) 人間福祉学科

開催日時：令和2年10月31日（土） および日程があわない非常勤講師との懇談会を別日で実施した（9月4日、9月8日、9月30日、10月1日、10月8日、10月14日、10月20日）。オンライン（Zoom）形式

※4月以降、各教科必要に応じて複数回の打ち合わせを設けた。

2. 各学科専攻における懇談会の内容について

(1) 人間関係学科社会学専攻

教務委員牧野先生の司会で授業担当者懇談会が進められた。はじめに専攻主任の干川先生から挨拶があり、次にFD委員の牛山先生からオンライン授業に関するアンケート結果が、社会学専攻の常勤と非常勤の教員の回答を中心に紹介された。

これらを踏まえて、参加者全員でオンライン授業の取り組み、工夫、課題などを巡り意見交換がおこなわれた。質疑応答は以下の通りである。今年度は前期開催ではないこともあり、質疑応答というよりもオンライン授業をどのように行ったかという経験を紹介する内容が中心に話し合われた。

Q1：当初、年明けに対面授業を3回と予定して希望を出していたが、これを1回に変更したい。どこに連絡をするのがよいか。

A1：教育学事支援グループにその旨、伝えて欲しい。

Q2：授業の性格上、漫画や映像を学生にたくさん見せている。しかし、今年度は紙に書いて配付資料とするほかはなかった。今後、オンライン授業でどのようにしたら動画をみせることができるか。

A2：オンデマンド型にすると（YouTubeへアップロードして繰り返し観る方法）警告がくる。そのため、PCで再生した動画を授業時にZoomでリアルタイムに視聴することができることが対応策と考えられる。

Q3：Zoomによる授業で顔を出しながらいない学生がいるがどう対応するべきか。

A3：授業のはじめに、目や顔を見てはじめて意見を交わせるものだから、顔を出すことは大切だということをはじめに学生に伝えておくことが重要である。

<その他の意見>

1）前期は授業を担当していなかったので、今回のFDアンケート結果やそれを巡る懇談会で出た話題などが大変参考になった。

2）学生たちの「課題地獄」ということも聞いていたので、課題について配慮した。それまで活用しなかったmanabaだが、オンライン授業になって最大限活用した。

3）オンラインで顔出しに消極的な学生に対しては、就活もオンラインでするために必要だということを伝えている。またパワーポイントを使ったプレゼンができるように指導している。

4）リアルタイムのオンライン授業を予定していたが、履修学生が多かったためテキスト課題型で授業を実施することにした。作業量が膨大になり教員にとってはかなり負担だった。

（2）人間関係学科社会・臨床心理学専攻

はじめに学部長の福島先生より挨拶があり、その後、専攻教員の自己紹介と、参加された非常勤の先生方の自己紹介が行われた。次に本田先生（教務委員・FD委員長）よりオンライン授業に関するアンケート結果の紹介があった。その後、参加者全員でオンライン授業の工夫や課題などについて意見交換が行われた。

主な質疑応答は以下の通りであった。

Q1：Zoomのブレイクアウトルームセッションでのグループワーク時の個別対応を希望した学生がいた。オンラインでの対応で工夫されている点についてお尋ねしたい。

A1：・グループワークで何を話して良いか分からないと申し出があった学生に、一度教員と一対一で練習をしてから学生同士のグループワークに参加させたら、うまくいった。

・画面をオフにしている人の表情が分からない部分があった。授業後の感想では、グループワーク時にはあまりしゃべることが苦手な人も色々感じたことを伝えてくれる印象があった。

・Zoomに写る自分の顔が苦手という学生には、マスクをしながらの参加をOKとした。

Q2：課題が多すぎて学生が疲弊しているという情報があった。先生方はどのように対応をされているのか。

A2：・授業時間内に課題に取り組む時間を確保している。

・字数制限なしで感想を書かせたところ、1行2行で書いてくる学生がいて、字数制限も取り入れないといけないと感じた。課題提出を延長したりして対応している。

・大学院希望者向けの英語の授業で例年課している英単語を毎週覚えてくる課題は引き続き行った。授業時間を分割し1人15分ずつ個人面談を入れて調査した。課題が重いと可哀そうだなと思う反面、せっかく大学で学ぶ機会なのに、必要な知識を身につけられているのかな、と思うジレンマもある。

・授業時間内に小テストを実施し、授業時間外に取り組む課題は出していない。

Q3：3・4年生の出席してこない学生の事情についてどこまで考慮すればいいのか。

A3：基本的には課題は提出したかどうかきちんとみるようにしている。個別対応は申し出があった場合に対応している。授業の到達目標があるので、その枠内での考慮になると思う。

A4：一般的に大学では課題の量の文字数をどのくらいで設定しているのか。

Q4：・課題の内容分量について、毎回の授業の振り返りのデータ（FD アンケート）を紹介した。

・文字数は決めておらず、感想かまとめか、求める内容を明確に示すことを心掛けている。

（3）人間福祉学科

はじめに、尾久学科長より挨拶があり、本学科に対する協力への感謝の言葉が述べられた。その後、各教員からの自己紹介とオンライン授業および一部対面授業となる科目についての様々な意見や質問があった。主だった内容は、以下の通りである。

Q1：Zoom リアルタイムの授業時に顔出しを原則とせず、学生の事情に合わせて任せると、ほとんどが顔出しをしない。反応が分らないため、学生の理解度などが把握できない。

A1：英語科目は顔出し授業を実施している。それを成績評価の全てとはしていない事例等をお話しする。

Q2：前期は資料の提供を中心にしたところ、提供する資料の量や情報が増え、学生は負担が多かった。後期は、Zoom のリアルタイムを組み合わせ、重要なポイントのみで授業を展開している。

A2：オンライン授業の方法について、Zoom リアルタイムの工夫、オンデマンドの工夫等を情報共有し合った。90分授業の時間の確保と質の確保、また過剰な課題量の調整等について話し合う。

Q3：家政学実習の科目をZoom リアルタイムとしている。対面も実施したいが、感染症対策及び責任の所在等、踏み切れないところも多い。

A3：本学の対応状況をお伝えする。

Q4：（他大学での様子）ハイブリッドの授業を展開すると、教員及び対面に参加している学生を撮影するパソコンがそれぞれ必要な状況。また授業人数によっては、TAを付けて、学生のフォローをする必要がある。

A4：本学でも参考にしていきたい。

Q5：（他大学での様子）1年生のグループラインを作成し、情報共有する仕掛け等工夫をしている。

A5：本学でも参考にしていきたい。

「相談援助実習指導Ⅱ」

本授業は統一シラバスによって進められている。話し合われた事項は、下記のとおりである。

Q1：出席管理について

A1：初回はガイダンスのため合同授業となっている。その後も配属試験等、合同授業があり、クラスごとの出席管理が使えない。そのため、manaba のアンケートや小テスト等のデータを援用し、出席確認することとした。

Q2：授業用統一資料の共有方法について

A2：manaba のリンク機能を使い、各クラスと3年生の一部の学生をつないで、連絡できるようにした。そのことで、manaba のコースニュースやレポート機能による連絡が全て一律管理できるようになった。非常勤講師のなかには、まだ manaba を使いこなせない先生もいらっしゃるため、有効な措置であった。

Q3：Zoom のアカウント取得について

A3：学院の Zoom アカウント取得について確認した。また、授業開始後のサポート体制も教員で分担して対応することを確認した。

Q4：実習を辞退する学生の動向について

A4：9月末日時点で辞退届を提出した学生を名簿から削除するとともに、配属試験後に実習を辞退する学生の動向についても共有した。

Q5：対面クラスとオンラインクラスについて

A5：授業内容として、事例検討、ロールプレイ、意見交換があるため、対面授業が望ましい。そのため、対面授業を可能な限り実施するとともに、covid-19 の感染予防策と学生への注意喚起方法について共有した。また、実家に帰省している等、オンライン希望の学生を集め、クラスを再編することも協議した。その結果、オンラインクラスを井上が担当し、対面クラスを相川、末松、星野の3先生に担当いただくことになった。

Q6：学生の通信環境と使用端末について

A6：前期の動向から、学生の通信環境として Wi-Fi が不安定な者がいること、一部の学生の中には、スマホで授業を受けている学生の状況を共有した。

「相談援助演習Ⅰ・Ⅱ」

Q1：対面の授業とオンラインの授業を取り入れるが、対面に参加できない学生はどのように対応するのか。

A1：オンラインの授業しか参加できない学生の把握をし、人数によってオンラインクラスを作る予定である（実際10名の学生が遠方や事情があり、対面授業への参加ができないため、オンラインクラスを作成し、専任教員が対応している）。

Q2：対面授業を行う際の対策はどのように行うか。

A2：マスクの着用等の対策について大学からの UNIPA の情報を周知している。その他、換気を常に行う、席に名前を記入したテープを貼り他の席に座らないようにする、消毒液を 1 本ずつ準備し消毒を適宜するようにする、熱がある場合や風邪症状がある場合は休むようにアナウンスする。などを **manaba** で周知を行うようにする。

Q3：オンライン授業の際の授業の流れはどのようになるか。

A3：例年の授業の流れを基本に、オンラインでできることを考え見直していく予定。**Zoom** を 3 時間続きで行うと疲労度も高いため、事例検討などの際は **Zoom** を止めて、**manaba** 等を使用していくようにする。また、資料などは **manaba** のコースを共通（リンク）となるよう対応する。

Q4：大学に来てオンライン授業を受けたい学生がいる場合はどうすればいいか。

A4：各割り当てられている教室で受講することは可能で、その場合、PC 等を各自持参し、イヤホンやマイクも持参するように伝えるように学生へアナウンスをする。

Q5：今後、感染者が増えた場合減った場合の対面授業の増減の変更はあるか。

A5：適宜状況に応じて考えていくが、月に 1 回見直しをするので、変更の可能性はある。その際は、先生方に意見をお聞きして考えていく予定である。

「社会福祉学基礎セミナーⅡ」

Q1：**Zoom** 授業の方法について、テクニックの部分と学生指導上の留意点について

A1：**Zoom** の操作方法について実際に実施して練習を行った。

学生への留意点として、以下の 2 点について話した。

①1 年生対象の基礎ゼミについては、まだ学生が登校していないこと、友だちや相談できる相手ができていないことから、授業のプログラムに工夫が必要である。そのため、授業の方法論について相談した。具体的には、小グループの活用方法、学生間や先輩学生との交流企画等も入れたい旨を話した。

②配慮が必要な学生の状況が十分に把握できていない状況にある。**Zoom** でのグループ研究や討論に参加できない等の気になる学生がいる場合は、専任教員に教えて欲しいとお願いした。

Q2：課題の提示方法や内容・分量について

A2：リアルタイムの **Zoom** 授業やオンデマンド授業により、学生の生活リズムが崩れ、課題に追われている状況等の現状を共有した。当該科目は共通シラバスであるため、各ゼミで足並みを揃えた課題指示等を話した。パソコンの環境やパソコンソ操作の習熟度にバラツキがあり、**PowerPoint** 資料作成が全員できるとは限らない。例年通りにプレゼンテーションの際に **PowerPoint** 資料作成を必須にすると、限定された学生に負荷がかかる可能性が高いことが懸念される。これらのことから、今年度は発表資料を **Word** で作成することを認めることにした。

Q3：シラバスの見直し、追記分について

A3：授業のねらいや課題の提示は変更しないが、授業内容の一部をゼミ別ではなく、共通内容に変更することと、評価方法、学修方法等について書き換えを具体的にお願いした。

X 人間関係学部におけるFD活動の課題

新型コロナウイルス感染症による影響により、前期の授業開始が5月のGW明けにずれ込むという過去にない状況の中で、いかに教育の質を落とさず、高めていくのかについて試行錯誤を続けた2020年度だったと言える。Zoomはもちろんのこと、manabaなどの本学のLMSの使用率は昨年度までは決して高いとは言えなかったが、一年たってみると、様々なツールを用いながら多様な授業実践を展開できたことは教職員一人一人の大きな自信になったのではないかと考えている。また、ツールの活用の仕方にも様々なものが見られた。Zoomのようなリアルタイム双方向型の授業ではなく、オンデマンド型の授業で学生たちの理解度が高まる実践が報告されていたことは、「良い授業とは何か」を考える際に大切となる視点の一つであろう。これらの実践を共有するために今年度は本学部の特徴である学部FD研修会において、「授業をよりよくするためのオンライン授業Tips」をZoomにて実施した。そして、すべて録画して他の分科会での様子を見られるようにした。例年、他の分科会の話聞いてみたいという要望が多く寄せられており、今回のようなZoomで実施をして、その映像を後日共有するという形は、今後の研修会のあり方として可能性を広げたものになったと考えられる。

本学部の教職員は元々、FDに対する意識や教育に対する意識が高いことが強みの一つだと言えるが、その強みがこのような緊急事態において、より発揮されたのではないだろうか。実際に、授業に関するアンケートの結果を見ると、「授業外学修時間」「新しいものの見方・考え方の習得」「授業への積極的な参加」の項目で、例年よりも高いという結果が出ている。特に例年数値が最も低いままであった「授業外学修時間」については、大幅な増加であり、学生の負担の増加という点には考慮すべきであるが、学びの質保証という視点からするとプラスであったと判断できる。

オフィスアワーをオンラインで実施したことも今年度の工夫の一つであろう。例年オフィスアワーは対面での時間を設けているが、今年度は対面での実施は困難であったため、オフィスアワーを開かないという選択肢も考えられたが、オンラインでメールなどを通してでも学生たちに教員の門戸を開くという姿勢を示せたことが良かったと考えている。他にも授業担当者との懇談会や授業改善に向けた学生の代表者との意見交換会についてもZoomなどにより実施することができた。一方で、オフィスアワーの実際の利用率は例年よりも少なかったことを考えると、さらなる改善が必要な部分であったと言える。保護者懇談会を開催することができなかったことは残念であり、次年度は何らかの形で保護者との意見を交換する機会を設けることが望ましいだろう。このようにまだまだ課題は残されているが、未曾有の事態に止まることなく教職員が試行錯誤しながら実践をしているというところを学生に見せることができたことは、今後の大きな財産になったのではないだろうか。

令和2(2020)年度人間関係学部FD委員会

委員長 本田 周二 (人間関係学科、社会・臨床心理学専攻、准教授)
委員 福島 哲夫 (人間関係学部長、人間関係学科、社会・臨床心理学専攻、教授)
大出 春江 (人間関係学科長、人間関係学科、社会学専攻、教授)
尾久 裕紀 (人間福祉学科長、人間福祉学科、教授)
牛山 美穂 (人間関係学科、社会学専攻、准教授)
上野 優子 (人間福祉学科、教授)

令和2 (2020)年度 人間関係学部 F D 活動報告書

令和3 (2021)年5月発行

発行 大妻女子大学人間関係学部
〒206-8540 東京都多摩市唐木田2-7-1

著作・編集 大妻女子大学人間関係学部 F D 委員会
ningenfd@ml.otsuma.ac.jp

印刷・製本 株式会社相模プリント
〒252-0144 神奈川県相模原市緑区東橋本1-14-17
TEL 042-772-1275
FAX 042-774-1913